V501SH 基本操作編

V501SH 基本操作編

This Manual includes an English Abridgement

V501SH
基本操作編

vodafone

マナーもいっしょに携帯しましょう。

はじめに

このたびは、「V501SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V501SH をご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V501SH のボーダフォンライブ！に関する説明は付属のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.18-21）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V501SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V501SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

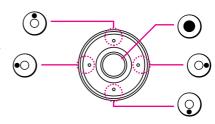
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.18-21）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の見かた

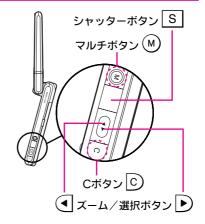
本書では、V501SHをオープンポジション（☞P.1-11）にした状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。
本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■やを押すとき ……………………
  - ■やを押すとき ……………………
  - ■を押すとき …………………

サイドボタン

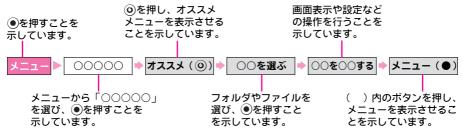
ビューアポジション（☞P.1-12）で使用するときなどは、本体右側面の各ボタンを使用します。
本書では、各ボタンでの操作を右のように表記しています。

- シャッターボタンには「S」の刻印はありませんが、他のボタンと区別するため「S」と表記しています。

本書の表記

■本文中のマーク

[icon]：Vodafone live!編を示しています。

■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（◉で始まる操作）は、次のように表記しています。（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBAC1）※
（１タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■テクスチャーパネル（２枚）※

■急速充電器（SHCQ01）※

■miniSD™メモリカード（32Mバイト）★
（カスタムスクリーンのコンテンツ入り）

■L型ビデオ出力ケーブル（SHPU01）※

■miniSD™メモリカードアダプタ★

※ オプション品としても取り扱いしております。
★ 試供品です。

主なオプション品

■卓上ホルダー
■シガーライター充電器
■マイク付液晶オーディオリモコン
■アナログ変換ケーブル
■デジタル変換ケーブル

- 付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.18-21）までご連絡ください。
- 本書では、「**miniSD™メモリカード**」を、以降「**メモリカード**」と記載いたします。

目次

2 基本的な操作のご案内

6 カメラ機能

11 メモリカード

12 データ管理（データフォルダ）

14 セキュリティ機能

15 その他の機能

17 Abridged English Manual

17 Abridged English Manual

18 付録

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
	警告	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
	注意	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は	記号は	⚠記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。	しなければならないこと（指示）を表しています。	気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V501SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V501SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、必ずボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

**電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。**

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。
（☞P.iii）
- 電池パックをV501SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V501SH専用です。
それ以外の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

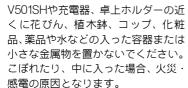
V501SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

V501SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V501SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。
また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV501SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V501SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

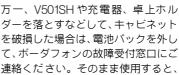
- V501SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V501SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V501SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

衝撃を与えない

V501SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、V501SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V501SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V501SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V501SHを絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月1日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオヘッドホンを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ストラップを持ってV501SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

メモリカード、miniSD™メモリカードアダプタを乳幼児の手の届くところに置かない

あやまって飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

航空機内では、V501SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

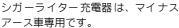
充電器の取り扱いについて

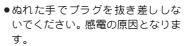
指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

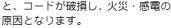
火災・感電の原因となります。

- 急速充電器
  AC100V
- シガーライター充電器
  DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。

- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

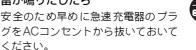
接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは
（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

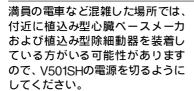
感電・けがの原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

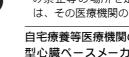
ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V501SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V501SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV501SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V501SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V501SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠注意

V501SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV501SHや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

⚠注意

V501SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V501SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

ステレオヘッドホンやL型ビデオ出力ケーブルの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

自動車内でご使用のとき

V501SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（ディスプレイ裏側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
キャビネット（ディスプレイ下側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓、カメラ透明窓	アクリル樹脂
背面飾り（カメラ、サブディスプレイ部）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アルミ蒸着，アクリル系塗装）
ネジカバー（ディスプレイ上側）	ABS樹脂／塗装
ネジカバー（ディスプレイ下側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
キャビネット（操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
サイドボタン、マルチガイドボタン、ボーダフォンライブ！ボタン、メールボタン、電源ボタン、開始ボタン、ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ファンクションボタン	ABS樹脂／クロムメッキ
キャビネット飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
キャビネットサイド飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
メモリカードスロットカバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
ネジカバー（操作ボタン上／ヒンジ部）	ウレタン樹脂
電池パック	PC樹脂
充電端子	ナイロン6T／BRASS、Auメッキ（下地：ニッケル、銅）
ネジ（ディスプレイ側）、ネジ（操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ
化粧パネル	アクリル樹脂／インモールド

⚠注意

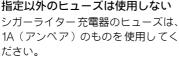
充電器の取り扱いについて

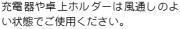
急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V501SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

- 電池パックの充電は、周囲温度5℃〜35℃の場所で行ってください。
  この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV501SH／メモリカードに登録したデータ（アドレス帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V501SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V501SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V501SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くでV501SHを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V501SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中はV501SHを絶対にご使用にならないでください。
- V501SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V501SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V501SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- V501SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- V501SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V501SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
絶対に分解、改造はしないでください。
- V501SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V501SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。
周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- **V501SHは防水仕様にはなっていません。**
水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV501SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **V501SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
故障やけがの原因となります。
  - V501SHをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり、座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- V501SHのVIDEO　OUT／イヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V501SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ずV501SHの電源を切ってから取り外してください。
データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- V501SHは、磁石を使用したセンサーにより、ポジションの検出を行っています。そのため、磁石を使用した携帯電話やアクセサリーなどを近づけると、表示が乱れるなど正常に動作しないことがあります。ご注意ください。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【V501SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
  この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【V501SH】のSARは、0.27W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  - ■総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  - ■社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ご利用になる前に

代表的な機能

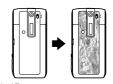
● ▒▒ の利用には、メモリカードが必要です。

4つのポジション
ディスプレイ部分が180度回転して、使い方に応じて4つのポジションが選べます。

P.1-11

モーションコントロール
方位や加速度を検出するセンサーの搭載により、V501SHの動きに連動したいろいろな機能が利用できます。

P.1-14

テクスチャーパネル
お好みに応じて、V501SHの外装パネルを変更できます。

P.1-15

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守録に設定できます。

P.3-3

アドレス帳
最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登録できます。

P.5-3

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。

P.6-2

プリント指定（DPOF）
メモリカード内の静止画にプリント情報を設定し、ショップなどでプリントできます。

P.6-39

画面表示設定／画面パターン設定
壁紙やマイキャラクタ、画面パターンなどが設定できます。

P.7-2、P.7-5、P.7-11

カスタムスクリーン
V501SHの画面イメージなどを、一括で変更できます。

P.7-8

ポストカードメーカー
静止画に文字などを貼り付けてポストカードやカレンダーが作成できます。

P.6-41

ミュージックプレイヤー
V501SHで音楽を録音したり、再生できます。（有料）

P.9-2

ボイスレコーダー
V501SHで音声を録音／再生したり、録音した音声を着信音にできます。

P.10-2

メモリカード
静止画や動画、アドレス帳など、各種データをメモリカードに保存できます。

P.11-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。

P.12-3

着うた®
着うた®（音楽）をダウンロードして、着信音やアラーム音などに設定できます。

P.12-34

電子ブック
メモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、閲覧できます。

P.12-40

赤外線通信
赤外線を利用して、他の機器との間でデータのやりとりができます。

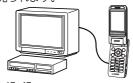
P.13-2

スケジュール
時間や期日の決まった予定を登録して、スケジュール管理を行えます。

P.15-13

バーコード
バーコードを読み取ったり、アドレス帳などからバーコードを作成できます。

P.15-32、P.15-37

外部出力
ご家庭のテレビなどで、静止画／動画や画面の表示内容を見られます。

P.15-45

ボーダフォンライブ！
メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションの各機能が利用できます。

別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.16-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手からのメッセージをお預かりします。

P.16-4

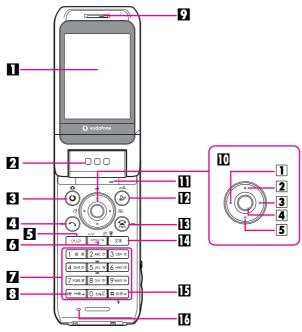
割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。

P.16-6

三者通話サービス
３人で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。

P.16-7

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 スピーカー
着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

3 ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン
- 短押し：ボーダフォンウェブを利用するときや、左下のソフトキーを利用するときに使用します。
- 長押し：モバイルカメラを起動するときに使用します。

4 開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

5 クリアボタン
入力した電話番号、文字などを削除するときや、各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

6 スケジュール／メモ／A／aボタン
スケジュールを登録／表示するときや、通話内容／音声を録音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。
文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。

7 ダイヤルボタン
- 短押し：電話番号や文字の入力に使用します。
- 長押し：いろいろな機能のショートカットを呼び出すときに使用します。

P.1-4～P.1-7の操作方法は代表的なものを記載しています。モバイルカメラの動作など詳しい操作方法については、各機能を参照してください。

8 ＊ボタン
メール表示中は、前のメールを表示するときに使用します。また、文字入力中は、絵文字リストの表示に使用します。

9 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

10 マルチガイドボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 リダイヤル／ノートパッドメモリボタン
- 短押し：以前かけた電話番号に再度かけるときや前の画面に戻るときに使用します。
- 長押し：ノートパッドメモリの呼び出しに使用します。

2 ショートカットボタン
- 短押し：ショートカットを呼び出すときに使用します。
- 長押し：V アプリライブラリを呼び出すときに使用します。

3 アドレス帳ボタン
- 短押し：アドレス帳に登録した電話番号を呼び出すときや機能を選択するときに使用します。
- 長押し：アドレス帳登録に使用します。

4 ファンクション（F）／誤動作防止ボタン
- 短押し：各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。
- 長押し：誤動作防止を設定するときに使用します。

5 着信履歴ボタン
- 短押し：かかってきた電話の履歴を表示するときに使用します。
- 長押し：受話音量調節に使用します。

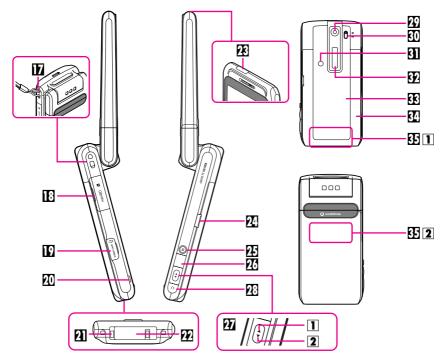
11 マイク（送話口）
ビューアポジションでの通話時に、お客様の声をここから伝えます。

12 メールボタン
- 短押し：メールを利用するときや、右下のソフトキーを利用するときに使用します。
- 長押し：でか文字モードを設定／解除するときに使用します。

13 電源／終了ボタン
- 短押し：通話を終了するときや着信時の応答を保留するとき、メニューの設定中止などに使用します。
- 長押し：電源を入れるときや切るときに使用します。

14 文字／マナー（♀）ボタン
- 短押し：文字の種類を変えたり、アドレス帳を登録するときに使用します。
- 長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

15 ＃ボタン
メール表示中は、次のメールを表示するときに使用します。また、文字入力中は、記号リストの表示に使用します。

16 マイク（送話口）
お客様の声をここから伝えます。

17 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付ける穴です。

18 メモリカードスロット
メモリカードを挿入する場所です。

19 VIDEO OUT／イヤホンマイク端子／光デジタル・ライン入力端子
L型ビデオ出力ケーブルやマイク付液晶オーディオリモコンなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

20 スモールライト
次のように点灯／点滅します。
- 充電中：赤色で点灯
- 着信時：設定したパターンで点滅

21 充電端子

22 外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

23 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

24 電池カバーロック
電池カバーを固定するためのレバーです。電池カバーを取り外すときに開きます。

25 マルチボタン
モーションコントロールを利用するときに使用します。また、スポットライトを点灯するときにも使用します。

㉖ シャッターボタン

●ビューアポジション時

■短押し：メニュー項目を選択するときや実行するときに使用します。

■長押し：モバイルカメラを起動するときに使用します。

㉗ ズーム／選択ボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。

1：上へ移動、2：下へ移動

㉘ Cボタン

●ビューアポジション時

メールが起動します。また、各種メニュー操作をキャンセルするときなどに使用します。

㉙ モバイルカメラ（レンズカバー）

ここからの画像を撮影します。

㉚ 接写スイッチ

接写モードと通常モードを切り替えるときに使用します。

㉛ モバイルライト

電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

㉜ サブディスプレイ

着信のお知らせなどが表示されます。

㉝ テクスチャーパネル

お好みのパネルに取り替えることができます。

㉞ 電池カバー

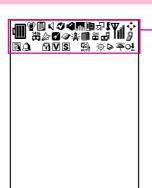
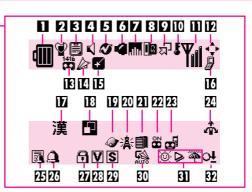
㉟ 内蔵アンテナ

この部分にアンテナが内蔵されています。

1：ビューアポジション時に動作

2：ビューアポジション時以外に動作

内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

1 （電池レベル表示）
電池残量の目安を表示します。
（スポットライト表示）
スポットライト点灯時は「」と「」が交互に表示されます。

2 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

3 （インフォメーションあり表示）
不在着信、簡易留守の用件、メール受信などがあるときに表示されます。
（オフラインモード表示）
オフラインモードに設定したときに表示されます。

4 （スピーカーホン表示）
スピーカーホンで通話しているときに表示されます。
（スピーカー受話表示）
スピーカー受話で通話しているときに表示されます。
（ステーションメニュー手動更新表示）
ステーションのメニューを手動で更新しているときにグレーで表示されます。

5 （Vアプリ起動中表示）
Vアプリを起動しているときに表示されます。
（Vアプリ一時停止中表示）
一時停止しているVアプリがあるときに表示されます。

6 （回線接続表示）
メールサーバーと通信しているときやウェブでサービスセンターと通信しているときなどに表示されます。
（外部出力表示）
L型ビデオ出力ケーブルを使って他の機器と接続しているときに表示されます。

7 （音楽再生／音楽録音中表示）
音楽の再生／録音中に表示されます。
（音声再生／音声録音中表示）
音声の再生／録音中に表示されます。

8 （メモリカード状態表示）
メモリカードの状態が表示されます。

9 （ユーザーショートカット表示）
ユーザーショートカットに登録できる画面で表示されます。
（SSL表示）
SSLに対応している情報画面で表示されます。

10 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットデータを呼び出したときは点滅して表示されます。

11 （電波状態表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外
（赤外線通信中表示）
赤外線通信中に表示されます。

12 ／／／（スクロール表示）
画面の続きがあるときに表示されます。

⑬（メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

⑭（メール受信表示）
スカイメールなどを受信すると表示されます。

⑮（スーパーメール受信表示）
スーパーメールなどを受信すると表示されます。

⑯（本体表示）／（メモリカード表示）
データの保存先を表示します。

⑰ 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を表示します。

⑱／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを表示します。

⑲（ウェブ受信表示）
ウェブで情報を受信すると表示されます。

⑳（ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると赤色で表示されます。

㉑（通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

㉒（留守表示）
簡易留守録が設定されているときに表示されます。

㉓（録音表示）
簡易留守録の用件が録音されているときに表示されます。

㉔（モーションコントロールショートカット表示）
モーションコントロールショートカットが利用できるときに表示されます。

㉕／（スケジュール表示）
スケジュールが登録されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があるときに表示されます。

㉖（アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

㉗（ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止が設定されているときに表示されます。

㉘（バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

㉙（サイレント表示）
通常着信時の着信音量が、「**サイレント**」に設定されているときに表示されます。

（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「**ステップ**」に設定されているときに表示されます。

㉚（自動応答メール表示）
自動応答メールが設定されているときに表示されます。

㉛など（お天気アイコン表示）
現在いるエリアの天気が表示されます。（別途申し込みが必要です。）

㉜（誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

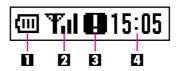
液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。

- バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ！の各着信のそれぞれに設定できますが、画面に表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（P.7-2）しているときは、画面のアイコン表示を消すことができます。（マーク待受け表示：P.7-11）

サブディスプレイ

● それぞれのアイコンの意味は、ディスプレイと同様です。（☞P.1-8～P.1-9）

1 （電池レベル表示）

通常は「」が表示されます。電話や情報着信時、アラーム動作時には、サブディスプレイ全面に「」、「」、「」、「」、「」、「」の各アイコンと、着信や動作を示すメッセージが表示されます。

（スポットライト表示）

スポットライト点灯時は、「」と「」が交互に表示されます。

2 （電波状態表示）

3 （インフォメーションあり表示）

不在着信、簡易留守録の用件、メール受信などがあるときに表示されます。

●「」が表示されているときに、S を長く（１秒以上）押すと、着信の種類に応じたアイコンが表示されます。

（オフラインモード表示）

（自動応答メール表示）

4 時間表示／音楽再生／ボイス再生

現在の時刻が表示されます。ストップウォッチやキッチンタイマーの動作中や、音楽や音声などを再生／録音中は、動作を表すアイコンと現在の時間が交互に表示されます。

補足 クローズポジション時に S を長く（１秒以上）押すかⓂを押すと、サブディスプレイのパネル照明が点灯します。［サブディスプレイの照明設定（☞P.7-13）を「OFF」にしているときは、点灯しません。］

V501SHのお取り扱い

V501SHは使い方に応じて、４つのポジションが選べます。
- 本書では、「**オープンポジション**」での操作を中心に説明します。ただし、モバイルカメラ（☞P.6-2）は「**ビューアポジション**」での操作を中心に説明しています。

ポジションを変更する

- ポジションを変更するときは、両手で持ってゆっくりと操作してください。力を入れすぎると、破損の原因になります。

1

2

クローズポジション

ディスプレイを内側にして、２つ折りにした状態です。（お買い上げ時の状態です。）
- 携帯するときにおすすめします。

補足

通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。

3 ディスプレイ部分を止まるまで開く。

オープンポジション

画面を見ながら、ダイヤルボタン操作をするときの状態です。
- 通話や文字入力などに適しています。

4 **ディスプレイ部分を右回りに180度回転させる。**

5

6 **ディスプレイ部分を閉じる。**

7

セルフショットポジション

画面を見ながら、ダイヤルボタンを使ってモバイルカメラ操作をするときの状態です。

- お客様を撮影するときなど、画像を確認しながらの撮影に適しています。

- 通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。
- ディスプレイ部分は、左回りには回転できません。

ビューアポジション

ディスプレイ部分を外側にして、2つ折りにした状態です。

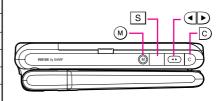
- モバイルカメラの撮影などに適しています。
- S、C、▶、◀、Mを使って、オープンポジションとほぼ同様に基本的な操作ができます。

ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

ビューアポジション時のボタン操作

ビューアポジション時では、S、C、▶、◀、Mの各ボタンを使って操作します。

待受画面での操作

ボタン	操作	動作
S	長押し	モバイルカメラ起動
	短押し	インデックスメニュー表示
C	短押し	メールメニュー表示
▶※1	長押し	Vアプリライブラリ表示※2
	短押し	ユーザーショートカット表示※2
◀※1	長押し	受話音量変更※2
	短押し	着信履歴表示※2
M	短押し	ユーザーショートカット表示

※1　動作は表示方向設定によって変わります。
※2　カレンダー（☞P.7-4）が表示されているときは操作できません。

待受画面以外での操作（着信中、通話中、モバイルカメラ、Vアプリを除く）

各ボタンは次のように、オープンポジション時のボタンと対応しており、基本的な操作はオープンポジション時とほぼ同様に行えます。

ビューアポジション時		オープンポジション時
S	長押し	◎
	短押し	●
C	長押し	メールボタン
	短押し	クリア
▶※1	短押し	上または右※2
◀※1	短押し	下または左※2

※1　動作は表示方向設定によって異なります。
※2　動作する方向は、表示される画面によって異なります。

モーションコントロール

V501SHには、動き（方位や加速度）を検出するモーションコントロールセンサーが搭載されています。
このセンサーを利用した機能には、次のものがあります。

モーションコントロールカーソル	V501SHを傾けてカーソル移動やメニュー選択を行います。	☞P.1-33
モーションコントロールショートカット	V501SHを振ってユーザーショートカットを呼び出します。	☞P.15-28
シェイクカウンター	V501SHを振った数を数えます	☞P.15-24
シェイクサウンダー	V501SHを振って音を出します。	☞P.15-25
簡易方位計	方位を表示します。	☞P.15-23
ビューア時表示方向	ビューアポジション時に、自動的に表示方向を切り替えます。	☞P.7-15

●これ以降、上記の各機能を総称して「**モーションコントロール**」と記載します。

モーションコントロールをお使いになる前に

■ モーションコントロールを初めてお使いになるときは、お使いの場所や環境に応じて最適な状態でお使いになれるよう、モーションコントロール補正を行ってください。（☞P.15-22）

■ V501SHを振ったり動かすときは、次のことにご注意ください。

- V501SHを強く振りすぎないでください。誤ってV501SHを投げてしまったり、手首を痛めたりする原因になります。
- V501SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。

■ 次のような環境では、モーションコントロールが正常に動作しないことがあります。

- 電車や地下鉄、自動車などへの乗車中
- 金属製品（金属製の机や棚など）の近く
- 鉄などで遮断された屋内
- エレベーター内およびエレベーターの近く
- 磁気の強いもの（下記）の近く

■ 次のような磁気の強いものをV501SHに長時間近づけると、それ以降モーションコントロールが正常に動作しなくなることがあります。このようなときは、モーションコントロール補正を行ってください。（☞P.15-22）

- 磁石（ホワイトボード用、家具や鞄の開閉用など）
- 音響製品のスピーカー、磁気ネックレスなど

テクスチャーパネル

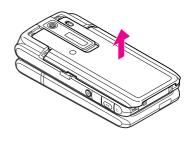
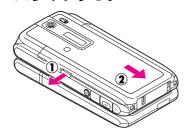
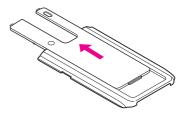
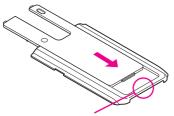
V501SHの外装パネル（サブディスプレイ側）を、お好みで変更することができます。
- お買い上げ時には、２種類のテクスチャーパネルが付属しています。
- テクスチャーパネルは、同梱品以外にも、金属や皮革、岩石といったさまざまな素材感、質感を表現したパネルを、オプション品として取り扱いしています。

テクスチャーパネルを取り替える

- 電源を入れたままテクスチャーパネルを取り替えるときは、電池が外れないようご注意ください。

1 接写スイッチを通常モードにする。

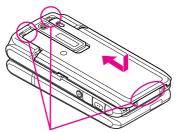
2 電池カバーロックを矢印①の方向に引いたあと、電池カバーを矢印②の方向に、スライドする。

3 電池カバーを、矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

4 現在のテクスチャーパネルを取り外す。

5 新しいテクスチャーパネルを取り付ける。

- 電池カバーとテクスチャーパネルの間にすき間ができないように、テクスチャーパネルを押しながらスライドさせます。

6 接写スイッチが通常モードになっていることを確認し、電池カバーを取り付ける。

- 電池カバーとキャビネットとの間にすき間ができないように、電池カバーを押しながらスライドさせます。

- ツメが差し込まれていることを確認してください。

7 電池カバーロックを矢印の方向に押し、電池カバーを固定する。

- 「カチッ」と音がするまで、押し込んでください。

- テクスチャーパネルは、必ず取り付けてお使いください。テクスチャーパネルを外した状態でお使いになると、V501SH内部に異物が入り込み、故障の原因になることがあります。
- 取り付け、取り外しをくり返すと、テクスチャーパネルが外れやすくなることがあります。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- **指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）になる可能性があります。また、V501SHが故障することがあります。**
- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃～35℃
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が始まるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約115分です。
  - ■常温（電源 OFF 時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭のテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭のテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックやV501SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できなくなることがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

- 電池パック単体で充電することはできません。
- V501SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「▥」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- V501SHを開いた状態でも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約130分
連続待受時間	約450時間
連続操作時間	約230分
連続再生時間	約7.5時間

※ 上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整を「**明るさ4**」（お買い上げ時）にしているときの時間です。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V501SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 連続操作時間とは、通話をしないで連続してV501SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- 連続再生時間とは、オフラインモードで連続して音楽（ミュージック）を再生し続けたときの利用可能時間です。
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（5℃～35℃の温度範囲でお使いください。）
  - ■V501SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■ステーションを使用しているとき
  - ■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■音楽（ミュージック）を再生したり、ボイスレコーダーで録音／再生したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■V501SHのポジションを頻繁に変更したとき
  - ■モーションコントロールを多く利用したとき
- **設定**
  - ■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき
  - ■壁紙にアニメーションを設定したとき
  - ■スクリーンアニメを設定したとき
  - ■パネルセーブが働かないように設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

●照明設定（☞P.7-12）
●サブディスプレイの照明設定（☞P.7-13）
●モバイルライト（☞P.6-24）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.15-44）
●パネルセーブ（☞P.15-41）

電池が切れたら

●電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ…**」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
電池アラーム音が鳴っているときに㊐を押すと、電池アラーム音は止まります。電池パックを充電してください。
（マナーモード設定時には、電池アラーム音は鳴りません。）
また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「**ピピ**」と断続音が約５秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

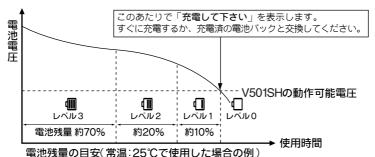
●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

●「▯」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
ディスプレイの電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

● 下記の電池レベル表示はあくまでも電池残量の目安です。

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル1が早めに表示されます。
高温下では、レベル1が遅めに表示されます。

電池レベル表示がレベル1になると、音楽の録音や再生、ボイスレコーダーの録音、モーションカメラ（MPEG）モードでの撮影など利用できない機能があります。
（☞P.6-20、P.9-4、P.9-11、P.10-2）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライトや電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃〜35℃以外
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了

■電源が切れているとき

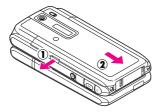
スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	消灯	周囲温度が5℃〜35℃以外
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

●必ず、V501SHの電源を切ってから行ってください。

1 接写スイッチを通常モードにする。

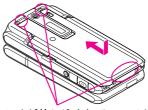
2 電池カバーロックを矢印①の方向に引いたあと、電池カバーを矢印②の方向にスライドする。

3 電池カバーを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

●テクスチャーパネルは取り外さないでください。

4 電池パックを取り付ける。

●印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

5 接写スイッチが通常モードになっていることを確認し、電池カバーを取り付ける。

●電池カバーとキャビネットとの間にすき間ができないように、電池カバーを押しながらスライドさせます。

●ツメが差し込まれていることを確認してください。

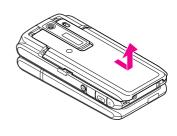
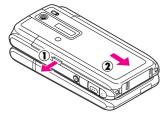
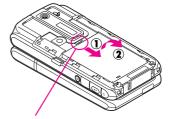
6 電池カバーロックを矢印の方向に押し、電池カバーを固定する。

●「カチッ」と音がするまで、押し込んでください。

取り外す

●必ず、V501SHの電源を切ってから行ってください。
●V501SHを操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

1 **接写スイッチを通常モードにする。**

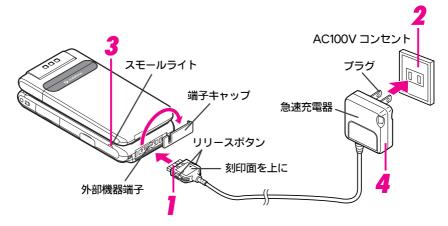
2 **電池カバーロックを矢印①の方向に引いたあと、電池カバーを矢印②の方向にスライドする。**

3 **電池カバーを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

4 **電池パックを持ち上げ、取り外す。**

●電池パックのこの部分に指をかけ、矢印①の方向に押し込み、矢印②の方向に持ち上げます。

補足

V501SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

● リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
● リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  ■ショートさせない。
  ■分解しない。

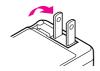
急速充電器を利用して充電する

●必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターを差し込む。

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-20）

●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

●充電時間：☞P.1-17

4 充電が完了したら…

V501SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

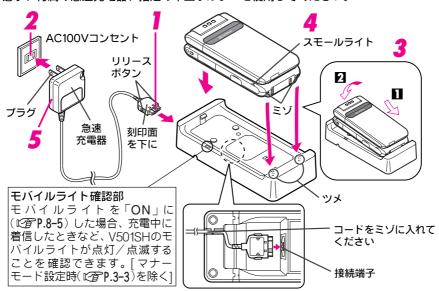
●接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●このあと、V501SHの端子キャップを元に戻してください。

急速充電器を携帯するときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

●必ず、付属の急速充電器、指定の卓上ホルダーを使用してください。

モバイルライト確認部
モバイルライトを「ON」に（P.8-5）した場合、充電中に着信したときなど、V501SHのモバイルライトが点灯／点滅することを確認できます。[マナーモード設定時（P.3-3）を除く]

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

●「**カチッ**」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

●卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

注意　卓上ホルダーを使用して充電するときは、電池カバーとテクスチャーパネルをV501SHに取り付けて充電してください。

3 V501SHに電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

●1のようにV501SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、2の矢印の方向に「**カチッ**」と音がするまで押し下げてください。

●充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：P.1-20）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

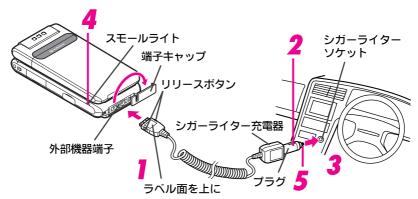
●充電時間：P.1-17

5 充電が完了したら…

V501SHを卓上ホルダーから取り外し、プラグをACコンセントから抜く。

補足　卓上ホルダーの操作方法などについては、卓上ホルダーの取扱説明書を参照してください。

シガーライター充電器を利用して充電する

●必ず、指定のシガーライター充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、シガーライター充電器の接続コネクターを差し込む。

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

●充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-20）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

●充電時間：☞P.1-17

5 充電が完了したら…

V501SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

●接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●このあと、V501SHの端子キャップを元に戻してください。

注意

●このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
●シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しないことがあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
●シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
●炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。
●自動車を運転するときは、V501SHを絶対にお使いにならないでください。

補足

●シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
●シガーライター充電器を使って充電するときは、V501SHを固定させるため、車載ホルダーを利用することをおすすめします。

電源を入れる／切る

1 **V501SHをオープンポジションにする。**

2 **（PWR）を長く（1秒以上）押す。**

ディスプレイが点灯し、アニメーションのあと、上のような「**待受画面**」が表示されます。

3 **電源を切るときは、（PWR）を長く（2秒以上）押す。**

アニメーションが表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

はじめてお使いになるとき

■ アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行います。

「1YES」選択➡◉➡時刻設定画面へ（☞P.1-28）

■時刻を設定しないとき：「2NO」選択➡◉➡時刻未設定の待受画面へ

■ ◉、◎、（メール）、クリア、スケジュール/メモ、文字、（カメラ）を押すと、ネットワーク自動調整を行う画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行います。

「1YES」選択➡◉

●ネットワーク自動調整について詳しくは、📖P.1-4を参照してください。

電源を入れたときや、切ったときに画面が一瞬暗くなりますが、故障ではありません。

●V501SHをクローズポジションにしたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けられます。

●V501SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：☞P.15-41）

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

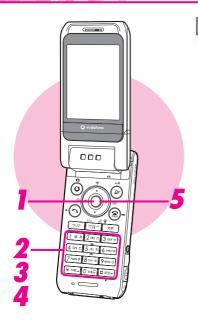
誤動作防止を設定する

1 ◉を長く（１秒以上）押す。

「」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出られます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- PWRを長く（２秒以上）押しても、電源は切れません。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、◉を長く（１秒以上）押す。

「」が消え、誤動作防止が解除されます。

日付／時刻の設定

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能

1 「9時刻設定」を選び、●を押す。

2 年（西暦）を入力する。

例：2005年➡ 2 0 0 5

3 月・日を入力する。

例： 7月15日➡ 0 7 1 5

4 時・分を入力する。

時刻は24時間制で入力します。

例：午後３時５分➡ 1 5 0 5

5 ●を押す。

設定した時刻の「０秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。
曜日は自動的に設定されます。

カーソルについて

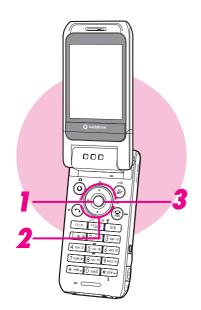
■ 文字入力時に表示される「■」および、メニューを選択するときの色帯の部分を「**カーソル**」といいます。文字入力時のカーソルは、◎を押すと１文字単位で、◎を押すと１行単位で移動できます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦／日付／時刻を再設定してください。

- 西暦／日付／時刻を合わせていないとき、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.7-3、P.7-4）
- 通話中も日付／時刻の設定が行えます。

機能の呼び出し方

インデックスメニューから機能を呼び出す

V501SHのいろいろな操作は、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面から行います。

1 ●を押す。

インデックスメニューが表示されます。

- インデックスメニューの表示は変更できます。（☞P.7-6）

2 ◎でメニュー項目を選ぶ。

- オススメニューの表示：◎
- Vアプリライブラリの表示：◎

3 ●を押す。

選んだメニュー項目の画面が表示されます。

■インデックスメニューの項目

ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニューが表示され、撮影やバーコード読み取りなどを行えます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行えます。
インフォメーション	インフォメーションメニューが確認できます。
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-30）が表示され、各機能の設定や確認を行えます。
電話	アドレス帳の登録／検索や、リダイヤル／着信履歴の確認などを行えます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V501SHに保存したデータを確認できます。
メモリカード	メモリカードメニューが表示され、メモリカード関連の機能が利用できます。

オススメニュー

■ インデックスメニューで、◎（オススメ）を押すと、オススメニューが表示されます。
オススメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が集められています。

インデックスメニュー　　オススメニュー

ファンクションメニューから機能を呼び出す

インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、◉を押すと、ファンクションメニューが表示されます。
ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に固有の番号がつけられています。（☞P.18-2）

■大分類を選ぶ

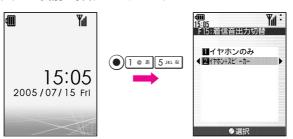
◎を押し、大分類を選んだあと、◉を押す。

選択した項目は色帯付きで表示されます（カーソル）

＜大分類＞

＜各機能＞

■番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面で◉（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

待受画面に戻す

■ 機能を呼び出したあとやメニューを表示したあとなどに、各画面で☎を押すと、待受画面（☞P.1-26）に戻ります。
- 確認画面が表示されたときは、「1YES」を選び◉を押すと待受画面に戻ります。
- ビューア時設定（☞P.15-23）で「**モーションコントロールON**」に設定すると、ビューアポジションでV501SHを振ったときに、☎の短押しと同じ操作ができます。

機能を操作中にメールを利用する

■ 機能を操作中に、次の操作を行います。

　✉（１秒以上）➡**メール確認／受信／返信／アドレス帳登録など**

- 機能の画面に戻るときは、［クリア］を押します。
- 呼び出したメールの画面（受信メールリスト画面を除く）で✉を長く（１秒以上）押すと、新たに受信メールリスト画面が表示されます。［クリア］を押すと、最初に呼び出したメールの画面に戻ります。
- 通話中や待受画面、Vアプリ画面では操作できません。メールが呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

機能を操作中に他の機能を呼び出す

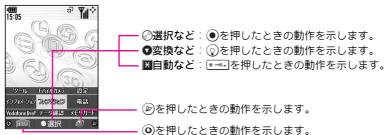
■ 機能を操作中に、次の操作を行います。

　◎（１秒以上）➡**マルチメニュー表示**➡**機能選択**➡◉

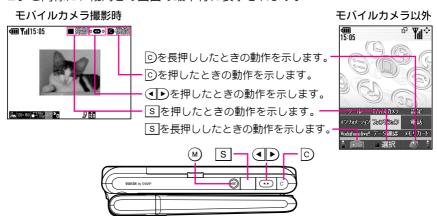
- 機能の画面に戻るときは、［クリア］を押します。（「**簡易電卓**」を利用したあとは、☎を押します。）
- 呼び出した機能の画面で◎を長く（１秒以上）押しても、新たに他の機能を呼び出せません。
- 呼び出した機能の画面で✉を長く（１秒以上）押すと、受信メールリスト画面が表示されます。この画面からは、メールの確認だけが行えます。メールを確認したあとは、［クリア］を押すと呼び出した機能の画面に戻ります。
- 通話中や待受画面、Vアプリ画面では操作できません。新たな機能が呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

1

ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

●オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、文字を押したときの動作を示します。

ビューアポジション時のソフトキーの使い方

ビューアポジションでは、ソフトキーの表示される位置が2通りあります。モバイルカメラ操作のときは横向きの画面の最上行に、それ以外の操作のときはオープンポジションと同様に、縦向きの画面の最下行に表示されます。

モーションコントロールカーソルを利用する

Mボタン設定（☞P.15-22）を「**モーションコントロールカーソル**」にすると、Ⓜを押したあとのV501SHの傾きにより、メニューや項目のカーソルを移動／選択を行うことができます。（モーションコントロールカーソル）

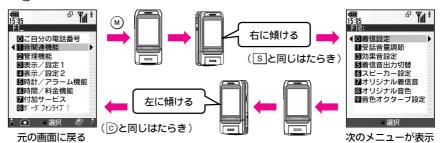
- クローズポジションでは利用できません。
- インデックスメニューなどの９分割画面では、カーソルの移動（上下左右斜めに移動）だけ行えます。
- お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。

■カーソルを移動する

Ⓜを押したあと、V501SHを前後に傾けると、カーソルの移動が行えます。（「✥」／「⇕」表示）
再度Ⓜを押すと、モーションコントロールカーソルは終了します。

- Ⓜを押して「✥」または「⇕」が表示されない画面では、操作できません。

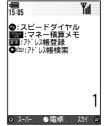
■メニューや項目を選ぶ／元の画面に戻る

Ⓜを押したあと、V501SHを右に傾けると項目の選択、左に傾けるとキャンセル操作が行えます。（「✥」表示）
再度Ⓜを押すと、モーションコントロールカーソルは終了します。

- Ⓜを押し「✥」が表示されない画面では、操作できません。

- 次のときはモーションコントロールカーソルは終了します。
  - ■ポジションが変わったとき　■電話の着信などがあったとき
  - ■パネルセーブが動作したとき
- モーションコントロールカーソル利用中は、ビューア時表示方向（P.7-15）は行われません。

ボタン設定（P.15-22）を「ON」にすると、を押している間モーションコントロールカーソルが利用できるようになります。を離すと、モーションコントロールカーソルは終了します。

クイックオペレーション

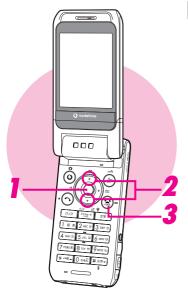
待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能が画面に表示されます。
（右の画面は数字を1ケタ入力したときの例です。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルでは）を押すと、その機能が操作できるようになります。
- ビューアポジションでは操作できません。

入力する数字のケタ数 / 機能	1	2	3	4	5〜6	7〜12	13〜24
スピードダイヤル：P.5-14	○	○	×	×	×	×	×
マネー積算メモ：P.15-43	○	○	○	○	○	×	×
アドレス帳登録：P.5-4	○	○	○	○	○	○	○
アドレス帳検索※1：P.5-13	○	×	×	×	×	×	×
簡易電卓：P.15-42	○	○	○	○	○	○	×
簡単メール送信：P.3-15	○	×	×	×	×	×	×
リピートアラーム設定※2：P.15-7	×	×	×	○	×	×	×
スケジュール表示※3：P.15-19	×	×	×	○	×	×	×

※1　アカサタナ検索が利用できます。
※2　設定する時刻を24時間制の4ケタで入力します。（すでに5件のリピートアラームが登録されているときはエラー表示となります。）
また、アラームは「**リピートOFF**」で登録されます。（P.15-7）
※3　表示する月･日を4ケタで入力します。現在の日付を含む、以後1年間のスケジュールを表示できます。

ダイヤルボタンでのショートカット

ユーザーショートカット（☞P.15-27）に登録されている機能やデータは、待受画面で、ダイヤルボタンまたは◎を長く（1秒以上）押すと表示されます。

機能の操作方法を確認する

ファンクションメニューから操作できる機能以外の操作方法を確認します。（ガイド機能）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1

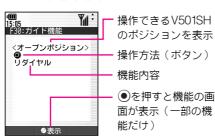
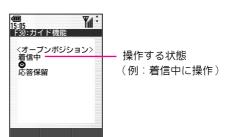
1 「0ガイド機能」を選び、◉を押す。

ガイド機能画面（スポットライト点灯の操作説明）が表示されます。

2 ◎を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、PWRを押す。

■ガイド機能画面の見かた

暗証番号

V501SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた４ケタの番号です。
V501SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 「**操作用暗証番号**」はV501SHの操作で変更できます。（☞P.14-2）

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された４ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みの際に必要な番号です。

- 「**交換機用暗証番号**」はV501SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、所定の手続きが必要となります。
  詳しくは、お問い合わせ先（☞P.18-21）までご連絡ください。

- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになったときは、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.18-21）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

- 電波状態を確認してください。
- 画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.18-8）

2 市外局番からダイヤルする。

- 同一市内へ通話するときでも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号の通知／非通知を設定する

- 電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
  - ■通知する……1 8 6
  - ■通知しない…1 8 4

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたら

- で、カーソル「＿」を移動したあとクリアを押すと、カーソル位置の番号が消えます。
- クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。
- を押したあとは、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手が話し中のとき

- を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、を押す。

- V501SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V501SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

ビューアポジションで電話をかける

アドレス帳を利用して電話をかけます。

■あらかじめアドレス帳に相手を登録しておいてください。（☞P.5-4）

S ➡「電話」選択 ➡ S ➡「2アドレス帳検索」選択 ➡ S ➡ アドレス帳呼出（☞P.5-13）➡ S（メニュー）➡「発信」選択 ➡ S

●ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。

●ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

S	通話中メニュー表示
C（長押し）	通話終了
▶	受話音量大
◀	受話音量小

通話中にクローズポジションにしたときの動作を設定する（クローズ終話設定）

■ 通話中にV501SHをクローズポジションにしたときの動作を設定します。

●➡「ファンクション」選択 ➡ ● ➡「1音関連機能」選択 ➡ ● ➡「0着信設定」選択 ➡ ● ➡「1通常着信」選択 ➡ ● ➡「7クローズ終話設定」選択 ➡ ● ➡「1ON」／「2OFF」選択 ➡ ●

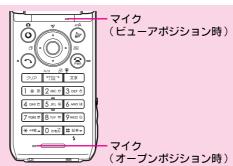
ON	電話は切れます。	OFF	こちらの声が相手に聞こえなくなります。

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

●通話時にマイクをふさいでいると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

●内蔵アンテナ部分（☞P.1-7 35）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。

●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。

●オープンポジションで通話することをおすすめします。

●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-20、P.2-21）

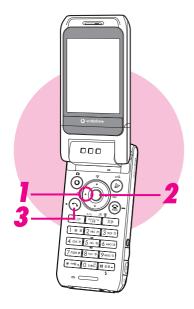
●累積の通話時間（☞P.2-20）や通話料金（☞P.2-21）の目安を確認することもできます。

●スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.8-22）

●国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。

●最新の20件まで記憶しています。

1 ◎（□）を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
V501SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ◯を押す。

表示されている電話番号が発信されます。

●同じ番号に２回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが、記憶されます。
●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-16）

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登録し、アドレス帳の電話番号の先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登録できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録　国際発信またはセット発信用の番号を登録します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ プリセット登録

「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉

■ 登録されている番号を変更する：「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡クリア（1 秒以上）➡番号入力➡◉

●「**国際発信**」は７桁以内、「**セット発信**」は６桁以内で入力します。

国際発信／セット発信　プリセット登録した番号を付加して電話をかけます。

メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳検索 ➡ アドレス帳を呼び出す ➡ メニュー（◉）

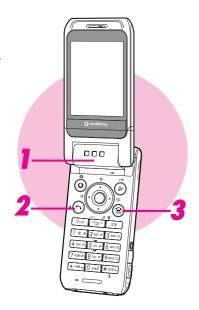
「国際発信」／「セット発信」選択➡◉

緊急呼出発信について

緊急呼出発信とは、「**110**」や「**119**」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

■緊急呼出発信番号…110、119、118

●V501SHで発信を制限する機能を利用しているとき、緊急呼出発信の利用は次のようになります。

機能	利用	機能	利用
オフラインモード（☞P.3-6）	発信不可	簡易ロック（P.14-3）	発信可
ダイヤル操作禁止（☞P.14-2）	発信可	誤動作防止（P.1-27）	発信不可
ダイヤル禁止（☞P.14-3）	発信可		

電話を受ける

1 **着信中に、V501SH をオープンポジションにする。**

相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。V501SHのアドレス帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、登録している名前が表示されます。

簡易留守録設定中に着信があると

- 応答メッセージが流れたあと、録音が始まります。（☞P.15-4）

2 **[通話]を押す。**

- 次のボタンを押しても、電話を受けられます。（エニーキーアンサー）
  [0 わをん]〜[9 WXYZ ら]、[＊ ゛゜絵]、[＃ 記号]、[スケジュール/メモ]、[クリア]、[◎]、[メール]、[左]、[右]

■ 電話に出られないとき：☞P.2-9〜P.2-11

3 **通話が終わったら、[PWR]を押す。**

- V501SH をクローズポジションにしても、電話は切れます。V501SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

ビューアポジションで電話を受ける　ビューアポジションで電話を受けます。

着信中に[S]（1秒以上）➡通話が終わったら[C]（1秒以上）➡通話終了

- ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

[S]	着信メニュー表示	[C]（長押し）	応答保留（☞P.2-9）
[S]（長押し）	通話開始	[◀]	着信音を小さくする
[C]	クイックサイレント（☞P.2-7）	[▶]	着信音を大きくする

■ 通話中にできること：☞P.2-3

電話番号や名前の表示について

■ 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。
■ メモリカード内のアドレス帳に登録している相手からの着信時は、名前やピクチャーコール／メールの画像は表示されません。また、指定着信音で設定した着信音も鳴りません。（☞P.5-7、P.5-10）

着信時の着信音量を調節する

■ 着信音が鳴っているときに、◎（小さくする）／◎（大きくする）を押します。押すたびに着信音量が調節できます。
- 上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定（☞P.8-2）に反映されます。
- マナーモード設定中は、調節できません。

着信音量を一時的に「サイレント」にする（クイックサイレント）

■ 着信中に[文字]を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「**2クイックサイレント**」にしているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、クイックサイレントが行えます。（クローズポジション時だけ）

エニーキーアンサーの有効／無効を設定する

■「OFF」にすると、エニーキーアンサーを無効にすることができます。

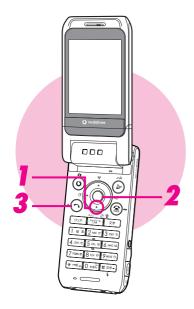
◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「1音関連機能」選択➡◉➡「0着信設定」選択➡◉➡「1通常着信」選択➡◉➡「8エニーキーアンサー」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

- 着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-16）
- アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信のとき、着信時の動作を約3秒間遅らせられます。（ワンコールサイレント：☞P.2-12）
- 着信音の音量やパターン、モバイルライトの色や点滅パターン、スモールライトの点滅パターンは変更できます。（☞P.8-2）

かけてきた相手にかけ直す

発信者番号を通知してかかってきた電話は、その番号を利用して電話をかけられます。

●過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-16）として最新の20件まで記憶しています。

1 を押す。

記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。

V501SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、●を押す。

3 を押す。

表示されている電話番号が発信されます。

●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。

●電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。

●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-16）

電話に出られないとき

着信を保留にする（応答保留）

相手にアナウンスを流し、電話を保留します。

1 着信中に、V501SHをオープンポジションにする。

2 ☎を押す。

約５秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。

- 着信音を「**サイレント**」に設定しているときは、応答保留音は鳴りません。

3 電話に出られる状態になったら、⌒を押す。

- エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても電話に出られます。

ビューアポジションでの応答保留 ビューアポジションで応答保留の操作を行います。

着信中にⓒ（１秒以上）➡電話に出られる状態になったら[S]（１秒以上）

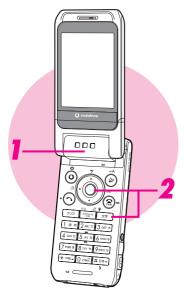
クローズポジションのまま応答保留／着信拒否する

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「**1応答保留**」または「**3着信拒否**」にしているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（１秒以上）押すと、応答保留／着信拒否が行えます。

- 応答保留中に☎を押すかV501SHをクローズポジションにすると、応答保留中の電話は切れます。［クローズ終話設定（☞P.2-3）を「OFF」にしているときは、電話は切れません。］
- 応答保留中に相手が電話を切ると、電話は切れます。

メッセージを録音する

かかってきた電話を簡易留守録で応答し、相手のメッセージを録音します。

●この操作を行うと、その着信に限り留守録音します。常に簡易留守録を設定しておくこともできます。(☞P.15-4)

1 着信中に、V501SHをオープンポジションにする。

2 着信音が鳴っている間に、◉ 文字 の順に押す。

応答文が流れたあと、録音が始まります。

■ 録音されたメッセージを聞く：◉ スケジュール/メモ (☞P.15-5)

注意　録音ができない状態(☞P.15-4)のときは、操作できません。

留守番電話サービスについて

■ 留守番電話サービスを開始しておくと、電波の届かない場所にいるときや通話中など、電話に出られないときに、留守番電話センターに転送し、伝言メッセージをお預かりすることができます。(☞P.16-4)

■ 次の操作を行うと、着信中に留守番電話センターに転送できます。

◉➡PWR

●サイドキー設定の着信時の動作(☞P.15-3)を「**5留守電センター転送**」にしているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く(1秒以上)押すと、留守番電話センターに転送できます。(クローズポジション時だけ)

●関東・甲信/東海/関西地域でご契約され、関東・甲信/東海/関西地域でご利用の場合に有効です。

クローズポジションのままで応答する

着信中にサイドボタンを長く（１秒以上）押して、応答することができます。

- お買い上げ時には、Ⓒを長押し（１秒以上）すると「**簡易留守録**」が起動するように設定されています。Ⓒ以外のサイドボタンを着信中に使用するときは、サイドキー設定（☞P.15-3）を行ってください。
- 設定できる応答の動作は次のとおりです。

応答保留	相手にアナウンスを流し、電話を保留にする	☞P.2-9
クイックサイレント	かかってきた着信に限り、着信音を「**サイレント**」にする	☞P.2-7
着信拒否	かかってきた電話を切る	☞P.2-9
簡易留守録	V501SHで相手のメッセージを録音する	☞P.15-4
留守電センター転送	留守番電話センターに転送し、相手の伝言を録音する（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）	☞P.16-4

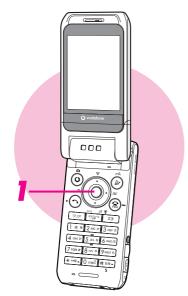
1 着信中に、Ⓜ、Ⓢ、◀、▶、Ⓒのいずれかを長く（１秒以上）押す。

設定した機能で応答が始まります。

簡易留守録を設定していても、録音が利用できない状態（☞P.15-4）のときは、自動的にクイックサイレントが動作します。

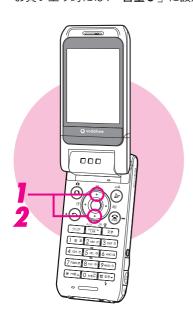
迷惑電話を防止する

V501SHのアドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信音を約３秒間遅れて鳴らすかどうかを設定します。

● お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 「1ON」を選び、●を押す。

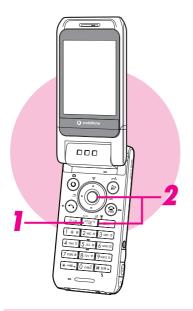
通話中の操作

受話音量を調節する

レシーバー（受話口）から聞こえる相手の声の大きさを、５段階で調節できます。
●お買い上げ時には、「音量５」に設定されています。

1 通話中に、◎を押す。

2 ◎（小さくする）または◎（大きくする）を押す。

押すたびに受話音量が調節できます。
●約５秒間そのままにしておくか ◉ を押すと、設定されます。
●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

録音が始まります。

2 録音を終わるときは、●または[スケジュール/メモ]を押す。

- 電源を切っても録音内容は保存されています。

■ 音声メモの再生方法や消去方法：☞P.15-6

クローズ終話設定（☞P.2-3）を「ON」にしているときに、V501SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、録音も終わります。

数字のメモを登録する（ノートパッドメモリ）

通話中に入力した数字を、最大３件まで登録できます。
相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。

- １件につき、最大24ケタまで登録できます。（数字0〜9、＊、＃）
- すでに３件登録されている状態で登録すると、古いものから順に消去されます。
- 登録した番号を、アドレス帳に登録することもできます。

1 通話中に、数字を入力する。

2 [スケジュール/メモ]を押す。

ノートパッドメモリに登録されます。

- 通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登録されます。

ノートパッドメモリの確認

登録したノートパッドメモリを確認します。

メニュー ▶ 電話

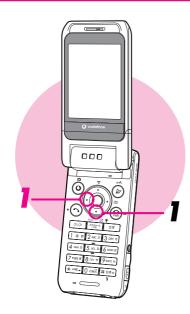
「6ノートパッドメモリ」選択➡●

- 新しいものから順に３件まで表示されます。
- [通話]を押すと、表示されている番号に電話をかけられます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
- リダイヤルがあるときは、◎ ◎（**ノートパッド**）の順に押しても、ノートパッドメモリを表示できます。

■ 確認終了：[PWR]
■ アドレス帳への登録：ノートパッドメモリ選択➡[メール]（**メニュー**）➡「**アドレス帳登録**」選択➡●➡P.5-4〜P.5-5
■ ノートパッドメモリの消去：ノートパッドメモリ選択➡[メール]（**メニュー**）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡●➡「1YES」選択➡●

リダイヤル／着信履歴の確認

リダイヤルを確認する

1 ◉（□）を押す。

記憶している日時と電話番号が、新しいものから順に一覧表示されます。

●リダイヤルがないときは、着信履歴が表示されます。

■ 表示されている電話番号に電話をかける：◉

■ 待受画面に戻る：◉

着信履歴を確認する

1 ◉を押す。

記憶している日時と電話番号が、新しいものから順に一覧表示されます。

■ 表示されている電話番号に電話をかける：◉

■ 待受画面に戻る：◉

リダイヤル／着信履歴の消去 リダイヤル／着信履歴を消去します。

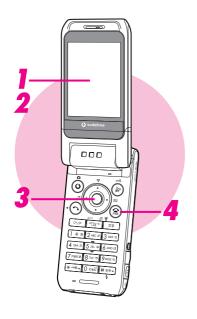
メニュー ▶ 電話

「4リダイヤル」／「5着信履歴」選択➡◉➡◉（メニュー）➡「一件消去」／「全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

着信履歴に表示されるもの

着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの（ワンコールサイレントを含む）
応答保留	応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守録で録音されたもの
留守転送	かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
着信拒否	かかってきた電話を拒否したもの
公衆電話	公衆電話からかかってきたもの
非通知設定	相手が電話番号を通知してこなかったもの

インフォメーションメニュー

電話に出られなかったときや、メールなどを受信してすぐに確認できなかったときには、インフォメーションメニューが表示されます。インフォメーションメニューを利用すると、簡単な操作で情報を確認できます。

1 着信があると…

着信のあった日時と不在着信や簡易留守録の件数が表示されます。

2 約５秒後、インフォメーションメニューが表示される。

3 ◎で確認する項目を選び、◉を押す。

- ◎を押すたびに着信日時の新しいものから、◎を押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。
- ◎を押すと、表示されている電話番号に電話をかけられます。

4 確認を終わるときは、◎を押す。

インフォメーションメニューに未確認の情報があると

■ 待受画面に「▤」が表示されます。次の操作を行うと、インフォメーションメニューが表示されます。

待受画面で◉➡「インフォメーション」選択➡◉

■ クローズポジションではサブディスプレイに「❗」が表示されます。次の操作を行うと、未確認情報のアイコンが表示されます。

S（１秒以上）

- 情報を確認しないで、インフォメーションメニューを終了するときは、操作２のあと◎を押します。（待受画面に「▤」が表示されています。）
- 不在時の着信内容は、インフォメーションメニューを終了したあとでも確認できます。（☞P.2-16）

インフォメーションメニューの見かた

不在着信	不在時に着信があったときは、件数が表示されます。
簡易留守	V501SHがお預かりしている、メッセージの件数が表示されます。(☞P.15-4)
メール受信	受信メッセージが届いたことを示しています。(☞P.2-4)
自動応答メール	自動応答メール(☞P.6-2)を送信(または送信失敗)したことを示しています。※1
送信予約メール	送信予約メールの送信が完了したことを示します。
通信レポート受信	サービスセンターからの通信レポートが届いたことを示しています。(☞P.2-4)
ウェブ受信	自動配信サービスによるメッセージが届いたことを示しています。(☞P.7-11)
ステーション受信	新着情報や緊急情報が届いたことを示しています。(☞P.13-7)
メール蓄積量警告	サービスセンター内のメールサーバーの蓄積量が、全容量の80%を超えていることを示しています。※3
本体メモリフル警告	V501SHの蓄積メモリの容量がなくなっていることを示します。※2

※1 「**自動応答メール**」を選び◉を押すと、表示は消えます。
※2 不要なデータを削除すると、表示は消えます。
※3 サーバーからメールを受信するか、サーバーのメールを消去すると表示は消えます。

インフォメーションメニューの各種設定

インフォメーションリセット　インフォメーションメニューの表示を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ インフォメーションメニュー設定 ➡ インフォメーションリセット

「1YES」選択➡◉

インフォメーションリセットを行っても「**メール蓄積量警告**」、「**本体メモリフル警告**」の表示は消えません。

ランプ表示設定　インフォメーションメニューに未確認の情報があるとき、モバイルライトやスモールライトを点滅させます。

お買い上げ時ランプ表示なし（すべての項目）

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ インフォメーションメニュー設定 ➡ ランプ表示設定

モバイルライトを点滅させる

項目選択➡◉➡「1モバイルライト」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉

スモールライトを点滅させる

項目選択➡◉➡「2スモールライト」選択➡◉

- スモールライトのカラーパターンは選べません。

ライトを点滅させない

項目選択➡◉➡「3ランプ表示なし」選択➡◉

- ランプ表示設定は、不在着信、メール受信、ウェブ受信など、項目ごとに設定できます。
- ワンコールサイレントを「ON」にした場合、V501SHのアドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信でワンコールサイレントの動作を行ったときは、ランプ表示しません。

- 「**モバイルライト**」または「**スモールライト**」にしている場合、オフラインモード設定中（☞P.3-6）にV501SHをクローズポジションにしているときは、オフラインモード中のランプ表示が優先されます。
- 「**モバイルライト**」または「**スモールライト**」にしているときは、「**ランプ表示なし**」にしているときに比べて、電池の利用可能時間が短くなります。

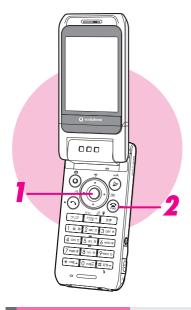
タイムアウト設定　インフォメーションメニューを表示したあと、約10秒後に自動的に待受画面に戻るかどうかを設定します。

お買い上げ時タイムアウトしない

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ インフォメーションメニュー設定 ➡ タイムアウト設定

「1タイムアウトする」／「2タイムアウトしない」選択➡◉

通話時間表示

直前（前回）の通話時間および累積通話時間の目安を確認します。
●電話をかけたときと電話がかかってきたときの両方を表示します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能

1 「3通話時間」を選び、◉を押す。

■ 累積通話時間を確認する：「2累積通話時間」選択➡◉

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話時間消去　累積の通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 累積通話時間

◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

通話時間の自動表示　通話後、自動的に通話時間の目安を表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 即時表示

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

●通話料金も自動的に表示されます。

●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。
（応答保留中は計算されます。）

通話料金表示

直前（前回）の通話料金および累積通話料金の目安を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能

1 「1通話料金」を選び、●を押す。

■ 累積通話料金を確認する：「0累積通話料金」選択➡●

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話料金消去

累積の通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 累積通話料金

●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡●

通話料金の自動表示

通話後、自動的に通話料金の目安を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時間／料金機能 ➡ 即時表示

「1ON」／「2OFF」選択➡●

- 通話中転送を行ったときは、通話料金は表示されません。
- 通話時間も自動的に表示されます。

- 電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積通話料金の記憶は消えません。
- 直前の通話が着信通話のときなどは、「-------円」と表示されます。
- オプションサービスの三者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金が表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断されたときなど（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。

電話番号とプロフィールの確認

お客様ご自身のV501SHの電話番号を確認します。

- V501SH にオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mail アドレス、郵便番号、パーソナルデータ、フォト設定が登録できます。
- V501SHの電話番号の変更や消去はできません。

メニュー ▶ ファンクション

1 「0ご自分の電話番号」を選び、◉を押す。

■ オーナー情報（プロフィール）の確認：
（詳細）➡操作用暗証番号（4ケタ）入力

- オーナー情報画面の見かたは、アドレス帳と同様です。（☞P.5-12）
- オーナー情報を利用してバーコードを作成できます。（☞P.15-37）

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

オーナー情報の登録／編集　オーナー情報を登録／編集します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ ご自分の電話番号 ➡ 詳細（）

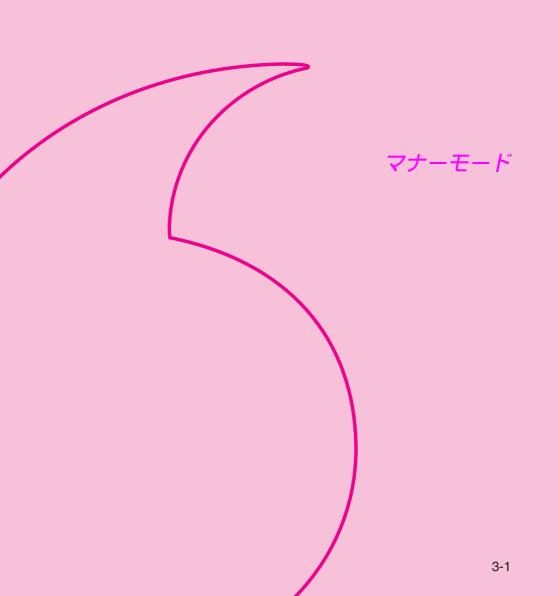
操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「修正」選択➡◉➡P.5-15「アドレス帳を修正する」操作4～6

■ オーナー情報の消去：◉➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ オーナー情報のコピー：（項目選択）➡◉➡「コピー」選択➡◉➡P.4-17「コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作5以降

▪ フォト設定の画像はコピーできません。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■ **マナーモード**：☞P.3-3
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
また、マナートークモード、簡易留守録を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナー設定変更の設定による）

■ **バイブ設定**：☞P.8-4
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、振動でお知らせします。

■ **音量調節**：☞P.8-2、ⓞP.12-2
「**サイレント**」にすると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ動作中の音も鳴らさないようにできます。

■ **マナートークモード**：☞P.3-5
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

■ **メール着信音、ウェブ着信音、ステーション着信音の各設定**：☞P.8-2
メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■ **オフラインモード**：☞P.3-6
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブ、ステーションの利用などもできなくなります。

■ **簡易留守録**：☞P.15-4
電話に出られないときに、相手の用件をV501SHに録音できます。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

●ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除できます。

マナーモードを設定する

1 [文字]を長く（1秒以上）押す。

「[icon]：**マナーモード**」が点灯します。
また、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定に応じて次のアイコンが表示されます。

[icon]	留守表示	[icon]	バイブレータ
[icon]	サイレント	[icon]	ステップ

マナーモードを解除する

1 マナーモードが設定されている待受中に、[文字]を長く（1秒以上）押す。

「[icon]」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ ボタン確認音／エラー音／パワーON／パワーOFF時の効果音や警告音が鳴らなくなります。ただし、割込通話中や切替通話中の警告音は鳴ります。
■ シェイクサウンダーやバーコード認識完了音の音量は、マナーモードのサウンド再生音量に従います。
■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音やセルフタイマー音は鳴ります。
■ ミュージックプレイヤーで再生中の音楽や、ボイスレコーダーで再生中の音声が、V501SHのスピーカーから聞こえなくなります。（マイク付液晶オーディオリモコンを使用しているときは、イヤホンから聞けます。）
●マイク付液晶オーディオリモコンを使用しているとき、マナーモード設定中に着信があると、着信音量を「**サイレント**」にしていてもイヤホンでは音量1になります。
■ 簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。
■ 簡易留守録の録音中は、相手の声がレシーバー（受話口）から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

●お買い上げ時の設定は、次のとおりです。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
アラーム音量	サイレント	アラームバイブレータ	ON	Vアプリ再生音量	サイレント
Vアプリバイブレータ	ON				

簡易留守録

簡易留守録のON／OFFを設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定２➡マナー設定変更➡簡易留守録

「1ON」／「2OFF」選択➡●

着信音量

着信音量を設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定２➡マナー設定変更➡着信音量

「1通常着信」～「6配信確認」選択➡●➡「1サイレント」／「2ステップ」／「3音量１」選択➡●

●サイレントに設定すると、スピーカーから音が鳴らなくなりますが、イヤホンへは音量１で出力されます。

バイブレータ

着信を振動でお知らせするかどうかを設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定２➡マナー設定変更➡バイブレータ

「1通常着信」～「6配信確認」選択➡●➡「1ON」／「2OFF」選択➡●

アラーム音量

アラーム音量を設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定２➡マナー設定変更➡アラーム音量

音量選択➡●

アラームバイブレータ

アラーム動作時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

メニュー▶ファンクション➡表示／設定２➡マナー設定変更➡アラームバイブレータ

「1ON」／「2OFF」選択➡●

ランプ設定

着信時のランプの動作を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ ランプ設定

「1通常動作」～「3OFF」選択➡●

●変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定（☞P.8-2）などで設定されている内容に従います。
スモールライト	スモールライトが点滅します。
OFF	すべて点滅しません。

マナートークモード

マナートークモードのON／OFFを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ マナートークモード

「1ON」／「2OFF」選択➡●

●マナートークモードに設定すると、マイクの感度が上がり、通話中に小さな声で話しても伝わるようになります。（「」点滅）

マナートークモードを設定していなくても、通話中に文字を長く（１秒以上）押すと、マナートークモードの設定ができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。

サウンド再生音量

サウンド再生音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更

「6サウンド再生音量」選択➡●➡音量選択➡●

Vアプリ再生音量

Vアプリ再生音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更

「9Vアプリ再生音量」選択➡●➡「1サイレント」／「2音量１」選択➡●

Vアプリバイブレータ

Vアプリバイブレータを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マナー設定変更 ➡ Vアプリバイブレータ

「1ON」／「2OFF」選択➡●

電波の送受信を停止する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。（オフラインモード）

- オフラインモードを「ON」にすると、電話の発着信、ボーダフォンライブ！など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

オフラインモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ オフラインモード

1 「1ON」を選び、◉を押す。

「📵」が点灯します。

オフラインモードを解除する

➡ オフラインモード

1 「2OFF」を選び、◉を押す。

「📵」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足

- ネットワーク接続型のVアプリ（☞ P.10-4）を一時停止しているときにオフラインモードを設定しようとすると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「1YES」を選び、◉を押すと、オフラインモードが「ON」に設定されます。（オフラインモードを「OFF」にするまで、ネットワークには接続できません。）
- オフラインモード設定中、V501SHをクローズポジションにしたり、パネルセーブが動作したときは、スモールライトが次の順に点滅します。
  - ■赤色→緑色→橙色→赤色…

文字の入力方法

文字入力について

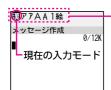
ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。また文字入力には、かな入力方式とポケベル入力方式（☞P.4-10）があります。

●文字入力については、一部（P.4-10「ポケベル方式で入力する」）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明します。

文字入力モード

文字入力モードは、文字入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→Ａ→A→1→絵→漢・・・

●入力モード切替中は、[ナビ]を押しても切り替わります。

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大／小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小／大文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大／小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小／大文字）	区	区点コード

大文字と小文字を切り替える

■ かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[ｽｹｼﾞｭｰﾙ/ﾒﾓ]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケベル入力方式（☞P.4-10）では全角入力モード、半角入力モードで[ｽｹｼﾞｭｰﾙ/ﾒﾓ]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

漢アｱＡA 1絵 ⇔ 漢アｱａA 1絵

絵文字コード入力モードと区点コード入力モードを切り替える

■ [◎]を押すと次の順に切り替わります。

絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…

●絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

●変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
●アドレス帳のヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：全角カタカナ入力モードで[1 @ あ]を3回押すと、「ウ」が表示されます。

●文字入力中に[↶]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに[↶]を押すと、「あ」になります。

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>漢字（ひらがな）
［全角］</th><th>カタカナ
［全角／半角］</th><th>英数字
［全角／半角］</th><th>数字
［半角］</th><th>絵文字コード1～6
／区点コード</th></tr>
<tr><td>1 @ あ</td><td>あいうえお
ぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオ
ァィゥェォ</td><td>@．／＿—1
□（スペース）</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2 ABC か</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>ＡＢＣａｂｃ２</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3 DEF さ</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>ＤＥＦｄｅｆ３</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4 GHI た</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>ＧＨＩｇｈｉ４</td><td>4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5 JKL な</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>ＪＫＬｊｋｌ５</td><td>5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6 MNO は</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>ＭＮＯｍｎｏ６</td><td>6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7 PQRS ま</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ７</td><td>7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8 TUV や</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>ＴＵＶｔｕｖ８</td><td>8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9 WXYZ ら</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ９</td><td>9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0 わをん</td><td>わをんー、。
↲（改行）</td><td>ワヲンー、。
↲（改行）</td><td>，．０↲（改行）</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>＊ ゛゜絵</td><td>゛゜／履歴／記号入力（全角）／
絵文字入力（全角）※1</td><td>゛゜＿※2</td><td>E-mailアドレス用／
URL用変換（半角）※3</td><td>✱-,（ポーズ）※4</td><td>————</td></tr>
<tr><td># 記号</td><td colspan="3">履歴／記号入力（全角）※5／絵文字入力（全角）</td><td>#</td><td>————</td></tr>
<tr><td></td><td>変換（前候補）</td><td colspan="4">カーソル上移動</td></tr>
<tr><td></td><td>変換（後候補）</td><td colspan="4">カーソル下移動↲（改行）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル左移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル右移動</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="5">文字入力モードの切り替え</td></tr>
<tr><td>スケジュール／メモ</td><td colspan="2">小文字／大文字変換
（変換できる文字で有効）</td><td>小文字／大文字変換+
大文字／小文字入力
モードの切り替え</td><td>————</td><td>————</td></tr>
<tr><td>クリア
短押し</td><td>1文字消去、
変換中止</td><td colspan="3">1文字消去</td><td>入力済コード消去／
1文字消去</td></tr>
<tr><td>クリア
長押し</td><td colspan="5">全文字消去</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">最大64文字まで復元※6</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">決定</td></tr>
<tr><td></td><td>音訓変換</td><td colspan="3">————</td><td>絵文字／区点コードの
切り替え+絵文字1～6／
履歴のリスト表示※7</td></tr>
<tr><td></td><td>カナ英数変換</td><td colspan="3">————</td><td>絵文字1～6の
リスト表示※7</td></tr>
</table>

※1　変換中の文字があるときは入力できません。
※2　「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3　E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※4　「ー」や「,（ポーズ）」は、電話番号入力時だけ入力できます。
※5　半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モード選択時は半角で入力されます。
※6　[クリア]（短押し）で消去した文字は、直後に[↶]を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。
※7　リスト表示は、区点コード入力モードでは利用できません。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「**鈴木**」と入力するときを例に説明します。

- カタカナは、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードで入力します。
  漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、[3DEFさ]を3回押す。

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 [◎]を押す。

- 同じボタンを使って次の文字を入力するときは、必ず[◎]を押します。

3 [3DEFさ]を3回押したあと、[＊゛゜]を押す。

4 [2ABCか]を2回押す。

- ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作6へ進みます。

5 （変換）を押したあと、で文字を選ぶ。

- 他の変換候補画面：（次へ）／（前へ）
- 変換の中止：クリア
- 文字の区切りを変えて変換する：☞下記

6 を押す。

学習機能について

■ 漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

近似予測変換と連携予測変換について

■ 漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.4-14）

ユーザー辞書について

■ よく使う単語はユーザー辞書に登録しておくと便利です。（☞P.4-15）

- ユーザー辞書は、見出し語を付けて単語登録することで、変換候補に表示できるようになります。

■目的の漢字に変換されないとき

上記操作5のあと、クリアを押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、で変換の対象となる文字の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

文字を変換したあと、◉を押す代わりに[スケジュール/メモ]を押します。

例：「西山大輔」と変換するとき

にしやまだいすけ 西山大輔 西山大輔

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

1 文字を入力し、[スケジュール/メモ]を押す。

- 小文字にできない文字では、[スケジュール/メモ]を押しても変わりません。

つ
っ
つ

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、[＊゛゜絵]を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと元に戻ります。また、「**は行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと半だく点が付き、3回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、[＊゛゜絵]を押しても変わりません。

は
ば
ぱ
は

半角カタカナ入力モードのとき

- [＊゛゜絵]を1回押すとだく点が、2回押すと半だく点が半角1文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、[クリア]を押します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
- 同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず◎でカーソルを移動させてから入力してください。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

1 記号変換が可能なモードで、[#記号]または[＊絵]を押す。

これまで入力した記号や絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

●お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したとき（☞下記）、履歴リストは「--」と表示されます。

2 [◎]で記号／絵文字を選び、[●]を押す。

●１つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

■ 他の記号／絵文字の入力：[⊙]／[#記号]（押すたびに履歴リスト→記号リスト１～３、絵文字リスト６～１の順に切替）

■逆順でリストを切り替える：[＊絵]

■[○]を押すと、記号／絵文字リストの隠れている部分を表示できます。

3 絵文字の入力を解除し、文字を入力するときは、[0わをん]～[9WXYZ]のいずれかを押す。

押したボタンに割り当てられている文字が、そのまま入力されます。

●[✉]（**戻る**）または[クリア]を押しても、絵文字の入力を解除できます。

記号／絵文字履歴を消去する

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

[✉]（メニュー）➡「[0]入力／変換設定」選択➡[●]➡「[5]絵／記号履歴リセット」選択➡[●]➡「[1]実行」選択➡[●]

■文字入力画面に戻る：上記操作のあと、[クリア]➡[クリア]

■ 絵文字コード入力モードでは、記号／絵文字履歴は消去できません。

絵文字コード入力モードでの操作

■ 絵文字をコードで入力するときは、次の操作を行います。

絵文字コード（２ケタ：☞[O]P.17-8～P.17-10）入力

■絵文字コードを修正する：２ケタ目を押す前に[クリア]

■ 絵文字をリストから入力するときは、次の操作を行います。

[✉]（リスト）➡絵文字選択➡[●]

●絵文字リストは、[⊙]を押すたびに絵文字リスト１～６→履歴リストの順に切り替わります。

補足

●半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。

●全角のモードで操作したときは全角の記号、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）

●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し[○]（**変換**）を押すと、一部の記号を入力できます。

顔文字を入力する

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2「8顔文字」を選び、●を押す。

3 顔文字を選び、●を押す。

- 2ケタの数字（01～50）を入力すると、入力した番号の顔文字が確認できます。

絵文字1～6入力モードでは、顔文字は入力できません。

- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。

スペースを入力する

1 文字入力画面で、を押す。

- 英数字入力モードでは、1 @ あを7回押してスペースを入力することもできます。

改行する

メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効です。

1 文末で、を押す。

- 文の途中で改行するときは、改行する位置で0 わをんを数回押して「↲」を表示させます。漢字（ひらがな）入力モードでは、このあと●を押します。
- 0 わをんを押す回数は入力モードによって異なります。（☞P.4-3）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

1 英数字入力モードで、＊ 絵を押す。

2 文字を選び、●を押す。

- 全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

アドレス帳のデータを入力する

文字入力中にアドレス帳を呼び出し、登録している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入できます。

●利用できる項目は、「名前」、「電話番号１～３」、「E-mailアドレス１～３」、「パーソナルデータ」です。

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2 （TEL）を押す。

3 利用する相手のアドレス帳を呼び出す。

アドレス帳検索方法：P.5-13

■（TEL）を押す必要はありません。

4 で項目を選び、を押す。

選んだ項目の内容が記憶されます。

5 で文字列を挿入する位置を選ぶ。

6 を押す。

記憶されていた文字列が挿入されます。

電話番号やE-mailアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」を付ける

■ アドレス帳の電話番号やE-mailアドレスをメール本文に挿入するときは、上記操作５のあと次の操作を行うと、電話番号やE-mailアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」を付けられます。

（セット）➡「1TEL:」／「2mailto:」選択➡

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「各種情報入力」選択➡➡「1オーナー情報入力」選択➡➡操作用暗証番号（４ケタ）入力

●呼び出したオーナー情報内の電話番号やE-mailアドレスを利用するときは、上記操作４～６と同様に操作します。

区点コードで入力する

目的の文字が変換候補に表示されないときや、読み方のわからない文字を入力するときは、区点コードで文字を入力できます。

1 区点コード入力モードで、区点コード（４ケタ：P.18-9～P.18-12）を入力する。

ポケベル方式で入力する

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「0入力／変換設定」を選び、◉を押す。**

3 **「1入力方式」を選び、◉を押す。**

4 **「2ポケベル」を選び、◉を押す。**

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■ かな入力方式に戻す：「**1かな**」選択➡◉

5 **ポケベルコード（２ケタ：☞P.4-11）を入力する。**

●ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル方式で文字入力モードを切り替える

■ ポケベル入力方式では、文字入力画面で［文字］を押すたびに、次のように切り替わります。

全角大文字入力モード（「Ｐ」反転）→半角大文字入力モード（「Ｐ」反転）
→絵文字コード１～６（「絵」反転）／区点コード入力モード（「区」反転）

●絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、◎を押すと切り替わります。

■ 全角入力モード、半角入力モードで［スケジュール/メモ］を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

●ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。

●だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞P.4-11）を参照してください。

ポケベルコード一覧

- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ■部分は、文字入力後[スケジュール/メモ]を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	※1
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペース	♥	※2
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			っ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ゃ		ゅ		ょ					※2
	9										
	0				、	。					

半角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ｯ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
	9										
	0				,	.					

※1 [7 PQRS ま][0 わをん]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効です。）

※2 [8 TUV や][0 わをん]の順に押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

- 「♥」、「☎」は半角２文字分となります。

いろいろな変換機能

音訓変換を利用する

通常変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して1文字ずつ変換します。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。

2 ◎（音訓）を押す。

3 漢字を選び、◉を押す。

1文字変換を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに先頭の1文字を入力するだけで、漢字に変換できます。（1文字変換）

例：以前に「鈴木」を変換したとき

- 1文字変換で利用されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.4-15）と共用しています。
（1文字変換の内容は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
そのため、ユーザー辞書の登録内容や件数によっては、1文字変換の内容が記憶できないことがあります。
- 1文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（1文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大20件です。記憶可能な件数を超えると、古い1文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 ひらがなを入力し、（カナ英数）を押す。

●「AM」と入れるときは、[2ABCか][6MNOは]の順に押したあと、（**カナ英数**）を押します。

2 で文字を選び、を押す。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	_	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	―	―	―	―
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4　■な行…5　■は行…6　■ま行…7
■や行…8　■ら行…9　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…0

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換できます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

●ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換できません。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	[6MNOは][6MNOは][＊゛゜小]（び）[7PQRSま][7PQRSま]（み）[8TUVや][8TUVや][8TUVや][8TUVや][8TUVや][8TUVや]（よ）[1@あ][1@あ][1@あ]（う）（変換）
ワンタッチ変換	[6MNOは][＊゛゜小]（ば）[7PQRSま]（ま）[8TUVや]（や）[1@あ]（あ）（ワンタッチ変換）

1 ひらがなを入力し、を押す。

カーソルが緑色に変わります。

●ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）でを押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えられます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■ 通常変換に戻す：[クリア]➡（通常変換）

2 で文字を選び、を押す。

ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「**あ**」を入力すると「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00〜10:59	11:00〜16:59	17:00〜22:59	23:00〜4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ⋮	あちぃ〜 後でね いただきま〜す♪ 移動中 ⋮	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ⋮	アウチ！！ ありがとう いえーい！！！ 行こうね ⋮

- 表示される言葉は、時間帯ごとであらかじめ登録されています。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換したときは、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の文字変換関連機能

変換方法の設定 「近似予測変換」および「連携予測変換」（☞P.4-5）を利用できないようにします。

お買い上げ時 ON（利用する）

文字入力画面で ⓜ（メニュー）➡「0 入力／変換設定」選択➡◉➡「2 近似予測」／「3 連携予測」選択➡◉➡「2 OFF」選択➡◉

変換履歴の消去 これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

文字入力画面で ⓜ（メニュー）➡「0 入力／変換設定」選択➡◉➡「4 学習辞書リセット」選択➡◉➡「1 実行」選択➡◉

- ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

辞書の登録／追加

よく使う言葉をユーザー辞書に登録する

よく使う言葉（単語）に見出し語をつけて、最大100件まで登録できます。
登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示されます。
●同じ見出し語は５件まで登録できます。

ユーザー辞書の登録 ユーザー辞書に新しい単語を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録

単語入力 ➡ ◉ ➡ 見出し語入力 ➡ ◉
- 単語は最大全角15文字（半角30文字）まで、見出し語はひらがなで最大８文字まで入力できます。

ユーザー辞書の編集 登録したユーザー辞書を修正／削除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ 辞書編集

ユーザー辞書を修正する

単語選択 ➡ ◉ ➡ 単語修正 ➡ ◉ ➡ 見出し語修正 ➡ ◉ ➡ 「1上書登録」／「2新規登録」選択 ➡ ◉

ユーザー辞書を１件ずつ消去する

消去する単語選択 ➡ ✉（メニュー） ➡ 「2消去」選択 ➡ ◉ ➡ 「1YES」選択 ➡ ◉

ユーザー辞書をすべて消去する

✉（メニュー） ➡ 「3全消去」選択 ➡ ◉ ➡ 「1YES」選択 ➡ ◉

ダウンロードした辞書を追加する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を２件使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が文字の変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ O P.8-2）でご案内しています。

ダウンロード辞書の設定 ダウンロードした辞書ファイルを使用します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

番号選択 ➡ ◉ ➡ 辞書ファイル選択 ➡ ◉
- ダウンロード辞書設定済の番号への登録：番号選択 ➡ ◉ ➡ ✉（メニュー） ➡ 「変更」選択 ➡ ◉ ➡ 辞書ファイル選択 ➡ ◉

データフォルダから辞書ファイルを設定する

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡辞書ファイル選択➡(メニュー)➡「ダウンロード辞書登録」選択➡◉➡番号選択➡◉

■辞書ファイル設定済の番号への登録時：「1YES」／「2NO」選択➡◉

ダウンロード辞書の解除　ダウンロード辞書の使用を解除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

使用を解除する番号選択➡◉➡(メニュー)➡「設定解除」選択➡◉

文字の編集

指定した文字を削除する

1 **で削除する文字を選び、クリアを押す。**

カーソル上の１文字が消えます。

● クリアで消去した文字は、直後にを連続して押すと、最大64文字まで復元できます。(を押して復元途中に、以外のボタンを押すと、それ以上の復元はできません。)

木の下 ⬇ クリア 木下

注意　クリアを長く（１秒以上）押すと、すべての文字が消えます。このときはを押しても、消去した文字は復元できません。

入力した文字を修正する

1 **クリアで不要な文字を削除する。**

2 **正しい文字を入力する。**

美紀子 ⬇ クリア 美子 ⬇ 美樹子

コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

連続した文字列を、最大全角約7500文字（半角約15000文字）までコピー（複写）／カット（切り取り）して、他の場所にペースト（貼り付け）します。

●「メニュー」が表示される画面に、ペーストできます。

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2 「1コピー」または「2カット」を選び、●を押す。

3 コピー／カットする文字列の最初の文字を選び、●を押す。

文字列の開始位置が指定されます。（画面下部中央に「終了」が表示されます。）

■ 開始位置の再指定：クリア

カット例

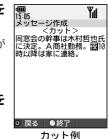
4 コピー／カットする文字列の最後の文字を選び、●を押す。

●カットすると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 ペースト先の画面を表示し、（メニュー）を押す。

6 「3ペースト」を選び、●を押す。

7 ペーストする位置を選び、●を押す。

記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

カーソルの位置を基準にして、それより前または後の文字を、まとめて消去します。

1 （メニュー）を押す。

2 「6カーソル後消去」または「7カーソル前消去」を選び、●を押す。

3 ●を押す。

テキストメモ

よく使う文章をテキストメモとして登録しておくと、メールの本文入力などで利用できます。

- V501SHには最大20件、メモリカードには最大300件のテキストメモを登録できます。
- テキストメモを最大件数まで登録すると、新規作成できません。不要なテキストメモを消去するときは、P.4-20を参照してください。

テキストメモに文章を登録する

- 1件のテキストメモに登録できる最大文字数は、メモ形式で最大全角約500文字（半角約1000文字）、ノート形式で最大全角約64文字（半角約128文字）です。
- お買い上げ時には、「**記号絵文字**」が10件登録されています。これらの記号絵文字を編集した内容を登録することもできます。

メモ形式で登録する

メニュー ▶ ツール

1 「9テキストメモ」を選び、◉を押す。

あらかじめ登録されている記号絵文字のタイトルや、登録した文章の最初の部分が表示されます。

- テキストメモの確認：テキストメモ選択➡◉
- メモリカード内のテキストメモの利用：✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「新規作成」を選び、◉を押す。

4 「1新規メモ」を選び、◉を押す。

5 文章を入力し、◉を押す。

- メモリカードへの登録：◎（SD）
  - ■V501SHに戻す：上記操作のあと◎（📱）

6 「1YES」を選び、◉を押す。

テキストメモに登録されます。

- 他のテキストメモを登録するときは、操作2～6をくり返します。

> **メールやアドレス帳などの文字入力画面から登録する**
>
> ■ 文字入力画面で、次の操作を行います。
> ✉（**メニュー**）➡「**4テキストメモ登録**」選択➡◉➡**登録する最初の文字選択**➡◉➡**登録する最後の文字選択**➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

ノート形式で登録する

メニュー ▶ ツール ➡ テキストメモ

1 ◎（メニュー）を押す。

2「新規作成」を選び、◉を押す。

3「2新規ノート」を選び、◉を押す。

4「本文」を選び、◉を押す。

5 文章を入力し、◉を押す。

6「カテゴリ」を選び、◉を押す。

7 カテゴリを選び、◉を押す。

- 作成日時／修正日時の確認：「**詳細**」選択 ➡ ◉
  - ■ 作成画面に戻る：上記操作のあと クリア

8 ◎（完了）を押す。

- メモリカードへの登録：◎（SD）
  - ■ V501SHに戻す：上記操作のあと◎（📱）

9「1YES」を選び、◉を押す。

●他のテキストメモを登録するときは、操作１～９をくり返します。

ノート形式のテキストメモは、赤外線通信で送信できます。（☞P.13-2）

その他のテキストメモ関連機能

テキストメモの編集 テキストメモを修正／消去します。

メニュー ▶ ツール ➡ テキストメモ

メモ形式のテキストメモを修正する

テキストメモ選択➡(メニュー)➡「メモ編集」選択➡●➡内容修正➡●➡「1新規登録」／「2上書登録」選択➡●

ノート形式のテキストメモを修正する

テキストメモ選択➡(メニュー)➡「メモ編集」選択➡●➡「本文」／「カテゴリ」選択➡●➡内容修正／カテゴリ選択➡●➡(完了)➡「1新規登録」／「2上書登録」選択➡●

テキストメモを1件ずつ消去する

テキストメモ選択➡(メニュー)➡「消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

vファイルとして保存 ノート形式のテキストメモをvファイルとしてデータフォルダのetcフォルダに保存します。(☞P.12-38)

メニュー ▶ ツール ➡ テキストメモ

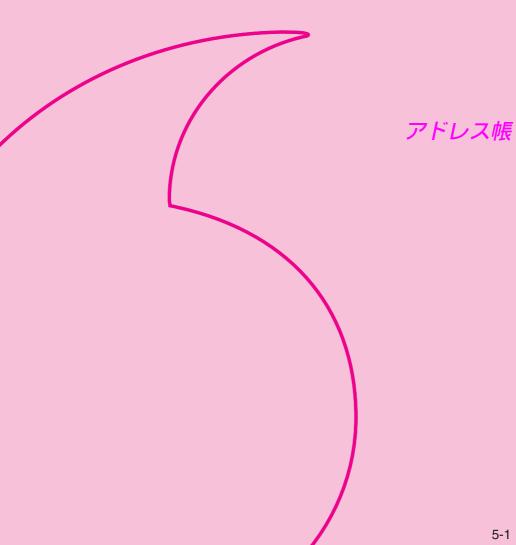
テキストメモ選択➡(メニュー)➡「データフォルダに保存」選択➡●➡タイトル入力➡●➡登録先選択➡●

- メモ形式のテキストメモは、vファイルとして保存できません。Text形式として保存されます。
- 新規作成したフォルダにも保存できます。

メモ形式➡ノート形式に変換 メモ形式のテキストメモを、ノート形式に変換します。

メニュー ▶ ツール ➡ テキストメモ

テキストメモ選択➡(メニュー)➡「ノート形式へ変換」選択➡●

- テキストメモの内容によっては、変換時に内容が変化することがあります。
- ノート形式のテキストメモは、メモ形式には変換できません。

アドレス帳

アドレス帳について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどをアドレス帳に登録しておけば、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信することができます。
また、アドレス帳に登録している相手から電話があったときには、相手の名前や写真などが表示されます。

■アドレス帳から電話をかける（☞P.5-11）

■アドレス帳からメールを送信する（☞ P.3-3）

■電話などの着信があると

大切なデータを失わないために
アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- アドレス帳を誤って消去しないように、また他人が使用できないように設定することができます。（メモリ使用禁止：☞P.14-3）
- 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でアドレス帳のやりとりができます。（☞P.13-2）

アドレス帳登録

アドレス帳に登録できる項目

- V501SHのアドレス帳には、000～499番まで最大500件登録できます。
- メモリカードのアドレス帳には、0000～9999番まで最大10000件登録できます。

項目		内容
:名前		最大全角9文字（半角18文字）まで入力できます。 漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登録できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角18文字（だく点、半だく点含む）まで入力できます。
:電話番号		アドレス帳1件につき、最大3件の電話番号を登録できます。
:E-mailアドレス		アドレス帳1件につき、最大3件のE-mailアドレスを登録できます。それぞれ最大半角60文字まで入力できます。
:グループ		アドレス帳を、最大10種類のグループ（グループ0～グループ9）に分けて管理できます。グループ名を登録／変更したり、グループごとに着信音を設定できます。
:パーソナルデータ		登録した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
:シークレット設定		他人に見られたくないアドレス帳を、シークレットデータとして登録できます。
:フォト設定		静止画をアドレス帳に登録できます。登録した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたときに、登録した静止画が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定できます。
	メールコール	登録した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定できます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登録している画像を表示するかどうかを設定します。
	メールフォルダ	送受信したメールを、自動的に設定したフォルダに振り分けます。
	自動応答メール設定	登録した相手からメールを受信したとき、あらかじめ設定した内容のスカイメールを自動的に返信できます。

アドレス帳編集中に着信があると

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。通話終了後、編集中の画面に戻ります。

アドレス帳の基本的な登録方法

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳登録

アドレス帳入力画面

1 相手の名前を入力する。

2 ◉を押す。

「 :」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に入力されます。

- コピー／貼り付けなどで入力したときや、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「 :」選択➡◉➡ヨミ入力➡◉

■ 登録の中止：◎（取消）➡「1YES」選択➡◉

3 「☎:」を選び、◉を押す。

4 電話番号を入力する。

- 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

■ 電話番号の修正：◎でカーソルを間違った数字に移動➡クリアで数字を消去➡正しい数字を入力［クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消えます。］

■ 電話番号の区切り（「-」）の入力：＊ﾟ゛絵（2回押す）

▪「-」も電話番号の1ケタとしてカウントされます。

■ ポーズ（「,」）とプッシュトーンの入力：＊ﾟ゛絵（3回押す）➡ダイヤルボタンで数字などを入力

▪「,」ひとつにつき、約1秒のポーズが入力されます。ポーズ以降に入力した数字などは、プッシュトーンとして送信できます。（☞P.15-2）

5 ◉を押す。

6 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数の電話番号の登録：「☎:<未登録>」選択➡◉➡操作4～6をくり返す

7 「 :」を選び、◉を押す。

8 E-mailアドレスを入力する。

9 ◉を押す。

10 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数のE-mailアドレスの登録：「 :<未登録>」選択➡◉➡操作8～10をくり返す

■ グループの設定：「 :」選択➡◉➡グループ選択➡◉

■ パーソナルデータの入力：「 :」選択➡◉➡パーソナルデータ入力➡◉

■ フォトの設定：☞P.5-6

■ シークレットの設定：☞P.5-7

11 （登録）を押す。

メモリ番号（１件ごとのアドレス帳に付けられている固有の番号）の入力画面が表示されます。

12 *V501SHに登録する*

1 メモリ番号（３ケタ：000～499）を入力する。

１件分のアドレス帳が登録されます。

■ マイク付液晶オーディオリモコンを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.15-47）

■ スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～099を入力（☞P.5-14）

メモリカードに登録する

1 （）を押す。

●メモリカードが取り付けられていないときは、「」は表示されません。

■ V501SHに登録：もう一度（）

2 メモリ番号（４ケタ：0000～9999）を入力する。

V501SHの空いているメモリ番号に自動登録する

■ [＊]を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。

■ 百の位、十の位の数字を押したあと[＊]を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定できます。

●**百の位だけを指定する（数字を１ケタ入力後 ➡ [＊]）**

[3][＊]と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

●**十の位までを指定する（数字を２ケタ入力後 ➡ [＊]）**

[2][1][＊]と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

メモリカードの空いているメモリ番号に自動登録する

■ [＊]を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。

■ 千の位や百の位、十の位の数字を押したあと[＊]を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定できます。

●**千の位だけを指定する（数字を１ケタ入力後➡[＊]）**

[3][＊]と押すと、3000～3999の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

●**百の位までを指定する（数字を２ケタ入力後➡[＊]）**

[2][1][＊]と押すと、2100～2199の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

●**十の位までを指定する（数字を３ケタ入力後➡[＊]）**

[1][2][3][＊]と押すと、1230～1239の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

V501SHとメモリカードの間で、アドレス帳のやりとりができます。（☞P.11-9）

こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
メモリNoXXXに上書しますか?	指定したメモリ番号がすでに使われています。	上書きするときは、「1YES」を選び、◉を押します。他のメモリ番号に登録するときは、「2NO」を選び、◉を押してから、他のメモリ番号を入力してください。 空いているメモリ番号に登録するときは、P.5-5を参照してください。
これ以上登録できません	空いているメモリ番号がありません。	不要なメモリ番号に上書きするか、不要なアドレス帳を消去してください。 (☞P.5-15)
シークレットデータが登録されています	シークレットデータとして登録されているメモリ番号を指定しています。	シークレットモードに設定すると、書き換えられます。(☞P.14-6)

アドレス帳に静止画を登録する（フォト）

アドレス帳に登録した相手から電話がかかってきたときやメールが送られてきたとき、登録した静止画を表示することができます。

フォトを設定する

フォトを設定すると、自動的にオプション設定の「**ピクチャーコール／メール**」(☞P.5-7) が「ON」に設定され、着信時に静止画が表示されるようになります。

●表示しないようにするときは、「**ピクチャーコール／メール**」を「OFF」にしてください。

1 アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「 📷:」を選び、◉を押す。

2 ***データフォルダの静止画を登録する***

1「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 静止画を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

●静止画のサイズによっては、選択できないことがあります。

静止画を撮影して登録する

1「2写メール撮影」を選び、◉を押す。

2 画像を画面に表示する。

3 ◉を押す。

静止画が撮影されます。

4 ◉を押す。

静止画がデータフォルダに登録され、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

着信時に静止画を表示しないようにする

アドレス帳に静止画を登録したときは、自動的に「**ピクチャーコール／メール**」が「ON」に設定され、着信時に画像が表示されるようになります。これを、表示されないようにすることができます。

1 **アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「オプション設定」を選び、◉を押す。**

2 **「3ピクチャーコール／メール」を選び、◉を押す。**

3 **「2OFF」を選び、◉を押す。**

■ 静止画を表示する：「1ON」選択➡◉

4 **◎（完了）を押す。**

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

データフォルダ内の静止画を登録しているときに、次の操作を行うと、ピクチャーコール／メールは「OFF」になります。

- 静止画の消去
- ファイル名の変更
- ファイルの移動

シークレットデータに設定する

1 **アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「🔑:」を選び、◉を押す。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

●登録後は、シークレットモードにしないと、シークレットデータは確認できません。（☞P.14-6）

シークレットデータを解除する

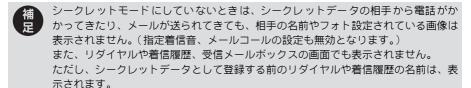
■ シークレットモード（☞P.14-6）にしたあと、次の操作を行います。

アドレス帳呼び出し（☞P.5-11）➡◉➡「修正」選択➡◉➡「🔑:」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡アドレス帳登録（☞P.5-15操作6〜8）

注意

操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

補足

シークレットモードにしていないときは、シークレットデータの相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきても、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。
ただし、シークレットデータとして登録する前のリダイヤルや着信履歴の名前は、表示されます。

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

メニュー ▶ 電話

1「4リダイヤル」または「5着信履歴」を選び、◉を押す。

2 （メニュー）を押す。

3「アドレス帳登録」を選び、◉を押す。

4 *新しいアドレス帳に登録する*

1「1新規登録」を選び、◉を押す。

2 名前を入力し、◉を押す。

自動的に電話番号が入力され、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

登録済のアドレス帳に追加登録する

1「2追加登録」を選び、◉を押す。

2 追加登録するアドレス帳を呼び出す。（☞P.5-13）

- （TEL）を押す必要はありません。
- すでに3件の電話番号を登録しているときは、追加登録できません。

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、アドレス帳に登録できません。

受信メール（☞ P.4-8）やノートパッドメモリ（☞P.2-15）からも追加登録できます。

アドレス帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1

1「1メモリ確認」を選び、◉を押す。

アドレス帳に登録されている件数が表示されます。

- 詳しい登録状況の確認：「1アドレス帳」選択➡◉
- 確認終了：

アドレス帳登録時のオプション設定

オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール（☞P.5-7）、メールフォルダ、自動応答メール（☞ⓞP.6-2）の設定ができます。

● 1件のアドレス帳に複数の電話番号／E-mailアドレスが登録されているときは、オプション設定の一括設定／個別設定が行えます。

一括設定	1件のアドレス帳内の複数の電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を一括で設定します。すでに個別設定が行われているときは、あとで設定した一括設定が優先されます。
個別設定	1件のアドレス帳内のそれぞれの電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を個別に設定します。すでに一括設定が行われているときは、あとで設定した個別設定が優先されます。

オプション設定の基本操作

1 アドレス帳入力画面（☞P.5-4）で「オプション設定」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面が表示されます。

2 項目を選び、◉を押す。

オプション設定の画面

3 ***一括設定する***

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡ⓞ（完了）

各設定を解除する

1「3OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

■ 設定終了：ⓞ（完了）

4 各オプションの操作を行う。（☞P.5-10～P.5-11）

設定完了後、アドレス帳入力画面（☞P.5-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコール、メールフォルダ、自動応答メールを設定しても、設定は無効となります。ボーダフォン携帯電話以外の相手先にメールコール、メールフォルダ、自動応答メールを設定するときは、E-mailアドレスに対して行ってください。

オプションを設定する

オプション設定の各操作は、オプション設定の画面（☞P.5-9）から行います。

指定着信音／メールコール 登録した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたときの着信パターンなどを設定します。

着信パターンを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「1着信パターン」選択➡◉➡着信パターン選択（☞P.8-3操作1～3）➡◎（完了）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

バイブレータを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「2バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」／「3SMAF連動」選択➡◉➡◎（完了）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

バイブパターンを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「3バイブパターン」選択➡◉➡バイブパターン選択➡◉➡◎（完了）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

ランプを設定する

「1指定着信音」／「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「4ランプ設定」選択➡◉➡ランプ設定（☞P.8-5操作1～3）➡◎（完了）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

着信呼出時間を設定する（メールコールだけ）

「2メールコール」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡「5着信呼出時間」選択➡◉➡呼出時間入力（01～99秒）➡◉➡◎（完了）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

- 着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているとき、以下の操作を行うと、着信パターンは「**パターン1**」（指定着信音）／「**効果音 メール**」（メールコール）に変更されます。
  ■ファイルの消去　■ファイル名の変更　■ファイルの移動
- シークレットデータの場合、シークレットモードに設定していないときは、指定着信音／メールコールは動作しません。

メールフォルダ 登録した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。

「4メールフォルダ」選択➡◉➡「1受信メール自動振分け」／「2送信メール自動振分け」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作3）➡メールフォルダ選択➡◉➡◎（完了）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

自動応答メール	設定した相手からメールが届いたとき、自動的にメールを返信できます。

■あらかじめ「**メール設定**」で自動応答メールを「ON」にしてください。（☞ P.6-2）

「5自動応答メール設定」選択➡◉➡一括設定／個別設定選択（☞P.5-9操作３）➡◎（完了）➡［個別設定時：◎（完了）］

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

お買い上げ時の状態でのアドレス帳の利用方法（メモリNo検索）を説明します。

●シークレットデータを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.14-6）

●他の検索方法を利用することもできます。（☞P.5-12）

1 ◎（TEL）を押す。

■ メモリカード内のアドレス帳の呼び出し：◎（**切替**）➡メモリカードのメモリ番号選択➡◉

■ メモリカードのアドレス帳は、メモリ番号500件ごとに分類されています。

2 ◎（検索）を押すか、メモリ番号を入力する。

●◎（**検索**）を押したときは、メモリ番号の若い順にアドレス帳のリストが表示されます。

●メモリ番号を入力したときは、入力したメモリ番号を含むアドレス帳のリストが表示されます。

■ 他のアドレス帳の利用：◎（アドレス帳選択）

3 ◉を押す。

アドレス帳の内容が表示されます。

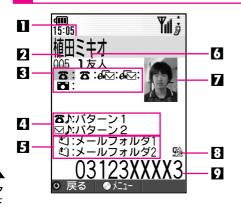
■ 複数の電話番号登録時：◎（電話番号選択）

4 ◎を押す。

発信されます。

メモリ使用禁止（☞P.14-3）を「ON」にしているときは、アドレス帳は利用できません。

5 アドレス帳

ディスプレイ

1 相手の名前
2 メモリ番号
3 登録データ
 ■電話番号（:電話／:自宅／:携帯電話／:会社）
 ■E-mailアドレス（:インターネット／:携帯電話）
 ■パーソナルデータ（:）
 ■フォト設定（:）
4 着信音またはメールコールに設定している着信音色
 :指定着信音／:メールコール
5 自動振り分けに設定しているメールフォルダ名
 :受信メールフォルダ／
 :送信メールフォルダ
6 グループ名
7 フォト設定に登録済の画像
8 自動応答メールの設定
9 電話番号またはE-mailアドレス

- 登録データをで選択すると、登録内容が表示されます。（電話番号／E-mailアドレスは9に、パーソナルデータ、フォトは別画面に表示されます。）
- 「:」（パーソナルデータ）または「:」（フォト設定）を選んだときは、（戻る）を押すと、アドレス帳リストに戻ります

アドレス帳の検索方法を切り替える

アドレス帳の検索方法

メモリNo検索	指定したメモリ番号のアドレス帳を表示します。
アカサタナ検索	指定した「ヨミ」の行のアドレス帳を表示します。
グループ検索	指定したグループ内のアドレス帳を表示します。
読み検索	入力した「ヨミ」ではじまるアドレス帳を表示します。

- お買い上げ時には、「**メモリNo検索**」に設定されています。

検索方法を切り替える

1 ◎（TEL）を押す。

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 ◎（メニュー）を押す。

3 検索方法を選び、◉を押す。

選んだ検索方法の画面が表示されます。

- このあと各検索方法でアドレス帳を呼び出すことができます。（☞下記）

各検索方法を利用する

- 下記の操作は待受画面からの操作です。検索方法を切り替えた直後（上記操作3のあと）に操作するときは、◎（TEL）を押す必要はありません。

メモリNo検索	メモリ番号を入力してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**メモリNo検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡3ケタのメモリ番号（000～499）入力➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

アカサタナ検索	「ヨミ」の行を指定してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**アカサタナ検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡ヨミの行指定➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

- 読みの行の指定方法

ア行	1 @ あ	カ行	2 ABC か	サ行	3 DEF さ	タ行	4 GHI た
ナ行	5 JKL な	ハ行	6 MNO は	マ行	7 PQRS ま	ヤ行	8 TUV や
ラ行	9 WXYZ ら	ワ行	0 わをん	その他	# 記号		

■英字、数字、記号または「**ヨミ**」が入力されていないアドレス帳のときは、「**その他**」になります。

グループ検索	グループを選択してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**グループ検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡グループ選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

読み検索	「▭:」に登録した「**ヨミ**」を入力してアドレス帳を表示します。

■あらかじめ検索方法を「**読み検索**」にしてください。（☞P.5-12）

◎（TEL）➡ヨミ（最大半角18文字まで）入力➡◉➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

スピードダイヤルで電話をかける

V501SHのメモリ番号000～099に登録したアドレス帳は、簡単な操作で発信できます。

●シークレットデータを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.14-6）
通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

1 *メモリ番号000～009に登録した相手にかける*

1 アドレス帳のメモリ番号の下１ケタの数字（０～９）を押す。

メモリ番号010～099に登録した相手にかける

1 アドレス帳のメモリ番号の下２ケタの数字（10～99）を押す。

2 **⌒を押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、発信されます。

●メモリ番号000～099のアドレス帳に登録されていないときは、電話番号未登録の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

●複数の電話番号が登録されているときは、１番目に登録されている電話番号が発信されます。

メモリ使用禁止（☞P.14-3）を「ON」にしているときは、スピードダイヤルは使用できません。

アドレス帳リストに画像を表示する

アドレス帳のフォト設定に登録されている画像を、アドレス帳リストの画面に表示します。

アドレス帳リスト表示
（メモリNo検索時）

フォト付アドレス帳リスト
表示（メモリNo検索時）

1 **◎（TEL）◎（検索）の順に押す。**

2 **◎（メニュー）を押す。**

3 **「フォト付表示」を選び、◉を押す。**

フォト設定に登録されている画像が表示されます。

■ リスト表示に設定：フォト付表示時に◎（**メニュー**）➡「**リスト表示**」選択➡◉

アドレス帳の編集

アドレス帳を修正する

1 ◎（TEL）を押したあと、修正するアドレス帳を呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「修正」を選び、◉を押す。

4 修正する項目を選び、◉を押す。

選んだ項目が修正できるようになります。

- このあと、アドレス帳の登録時と同様の操作で修正を行います。（☞P.5-4）
- 名前を修正したとき、「ヨミ」は自動的に修正されません。「ヨミ」も修正してください。

5 修正が終われば、◉を押す。

アドレス帳入力画面が表示されます。

- 続けて他の項目を修正するときは、操作4～5をくり返します。

■ 操作の中止：◎（取消）➡「1YES」選択➡◉

6 ◎（登録）を押す。

7 ◉を押す。

8 「1YES」を選び、◉を押す。

変更した内容が元のメモリ番号に登録されます。

■ 別のメモリ番号で登録：「2NO」選択➡◉➡メモリ番号入力／[＊]

アドレス帳を消去する

1 ◎（TEL）を押したあと、消去するアドレス帳を呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「消去」を選び、◉を押す。

4 「1YES」を選び、◉を押す。

アドレス帳が消去されたあと、次のアドレス帳が表示されます。次のアドレス帳がないときは、待受画面に戻ります。

指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登録されているアドレス帳を消去しても、データフォルダ内のメロディやオリジナル着信音、着うた®、ボイスファイル、画像は消去されません。

グループ設定

アドレス帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音（通常着信／メール着信）などを設定できます。

●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-10）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ グループ設定 ➡ グループ名変更

1 **グループ名を選び、◉を押す。**

2 **グループ名を入力する。**

●最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。

3 **◉を押す。**

●別のグループ名を変更するときは、操作１～３をくり返します。

4 **操作を終わるときは、PWRを押す。**

グループ着信音を設定する

●お買い上げ時には、すべてのグループが「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ グループ設定 ➡ グループ着信

1 **グループ名を選び、◉を押す。**

2 **「1通常着信」または「2メール着信」を選び、◉を押す。**

3 **「1着信設定」を選び、◉を押す。**

4 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡◉

5 **「2着信パターン」～「6着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。**

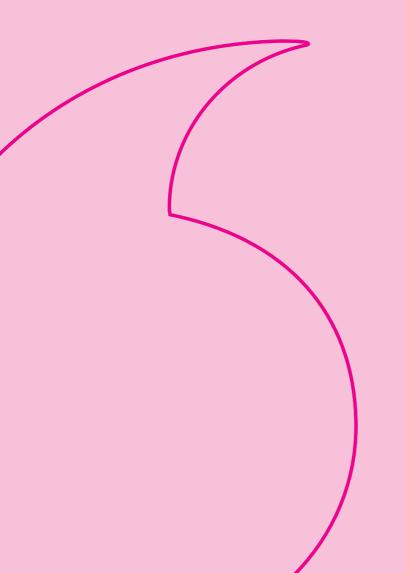
●「6着信呼出時間」は、メール着信のときだけ設定できます。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.8-3

■ バイブレータ／ランプの設定方法や注意点：☞P.8-4～P.8-5

■ 着信呼出時間の設定方法：☞P.8-5

6 **設定を終わるときは、PWRを押す。**

グループ着信音を「OFF」にしているときは、通常着信音の設定に従います。

カメラ機能

カメラについて

V501SHは有効画素数130万画素のCCDモバイルカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。
詳しくは、下記のページなどを参照してください。

- 静止画（☞P.6-8）　●動画（☞P.6-18）
- カメラ機能で使用するボタン（☞P.6-5）
- 各種撮影方法（☞P.6-23）

※ カメラ機能はオープンポジション、ビューアポジションで利用できるため、操作方法は以下のように併記して説明しています。
　例：Sまたは◉、C／◉

カメラをご利用になる前に

各カメラモードでの、静止画や動画の保存形式／登録場所は、次のとおりです。

モード	保存形式	登録場所
写メールモード	JPEG（.jpg）	V501SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー：☞P.12-3）
デジタルカメラモード	JPEG（.jpg）	V501SHまたはメモリカードのデジタルカメラフォルダ（☞P.12-3）
ムービー写メールモード	MPEG-4（.3gp）	V501SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ムービー：☞P.12-3）
モーションカメラ（MPEG）モード	MPEG-4（.3gp）	V501SHまたはメモリカードのモーションカメラフォルダ（☞P.12-3）
ビデオカメラモード	MPEG-4（.ASF）	V501SHまたはメモリカードのビデオカメラフォルダ（☞P.12-3）

V501SHまたはメモリカードのどちらに保存するかは、あらかじめ設定できます。（☞P.6-26）
写メールモード、デジタルカメラモード、ムービー写メールモードでは、V501SHまたはメモリカードのどちらに保存するかを、画像登録時に変更することもできます。

カメラ利用時のご注意

- 撮影前に、レンズカバー（☞P.1-7）が汚れていないかご確認ください。レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V501SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-13）で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- V501SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登録したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音

■ カメラ撮影時には、一定の音量でシャッター音が鳴ります。
- マナーモードの設定にかかわらず、撮影時の音（シャッター音やセルフタイマー音）は鳴ります。音量も変更できません。
- 静止画撮影時のシャッター音のパターンは、変更できます。

自動終了

■ モバイルカメラ起動中、画像を撮影する前に約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

静止画撮影直後／動画撮影中に着信があると

■ 撮影した静止画／動画は保護されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。◉を押すと、登録できます。

■ メールの着信があったときは、お知らせ表示されます。

デジタルカメラモード／ビデオカメラモード撮影時のご注意

■ オープンポジション（縦向き）で、デジタルカメラモードで撮影した静止画／ビデオカメラモードで撮影した動画は、パソコンなど他の機器で確認したとき、90度回転した横長の画像となります。デジタルカメラモード／ビデオカメラモードで撮影するときは、ビューアポジション（横向き）にすることをおすすめします。

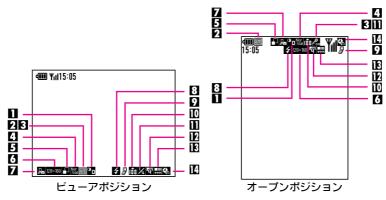
外部出力

■ L型ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなど他の機器を接続し、他の機器にV501SHの画面を表示することができます。（☞P.15-45）

ビューアポジションにしていても、フレームや装飾を付けて撮影するときの種類選択画面や、撮影後の画像をメール添付したあとのメール作成画面などは、オープンポジション同様縦に表示されます。

ディスプレイ

静止画や動画の撮影時には、撮影内容を表すアイコンが画面に表示されます。

● ここでは、カメラモードにかかわらず、静止画や動画の撮影時に表示されるすべてのアイコンを説明しています。詳しくは、各表示のページを参照してください。

1 明るさ表示（☞P.6-24）

暗い ◀標準▶ 明るい

2 シーン別撮影表示（☞P.6-25）

：オート／：夜景／：スポーツ／：文字

3 マイク表示（☞P.6-25）

：マイクON［モーションカメラ（MPEG）モードでは：マイクON（ノーマル）／：マイクON（ファイン）］／：マイクOFF

4 画質表示（☞P.6-25）

：ノーマル／：ファイン／：ハイクオリティ（デジタルカメラモード）

5 画像表示（☞P.6-23）

：等倍／：２倍（写メールモード）

：等倍／：拡大［ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード］

6 撮影サイズ表示（☞P.6-25）

7 撮影モード表示（☞P.6-26）

：写メールモード／：デジタルカメラモード／

：ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモード

8 モバイルライトON表示（☞P.6-24）

：通常／：オート／：接写

9 登録先表示（☞P.6-26）

：本体（V501SH）／：メモリカード

10 登録可能件数表示（☞P.6-9、P.6-19）

写メールモード、デジタルカメラモード、ムービー写メールモードでの撮影（登録）可能件数が表示されます。

● 100件以上撮影（登録）可能なときは、「」が表示されます。

● ５件以下になると、背景が赤く表示されます。

11 枚数表示※

1/4～4/4：「**撮影済または表示中の枚数**」／「**連写枚数**」を表します。

⊞：分割画像（オーバーラップ連写は合成画像）を確認中に表示されます。

12 連写モード表示※

4：4枚連写ON／9：9枚連写ON／25：25枚高速連写ON

B：ブラケット連写ON／O：オーバーラップ連写ON

13 連写スピード表示※

（◀赤）：速い／（◀黄）：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／

：マニュアル［ブラケット連写、オーバーラップ連写は（◀赤）：高速／：通常］

14 セルフタイマー ON表示（☞P.6-13**）**

※ 11～13は連写撮影時に表示されます。（写メールモード／デジタルカメラモード）

接写切替確認表示について

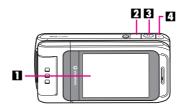
■ モバイルカメラを起動すると、接写スイッチの確認画面が表示されます。この確認画面は、次の操作を行うと、表示しないようにできます。

◉➡「**モバイルカメラ**」選択➡◉➡「**接写切替確認表示**」選択➡◉➡「**2OFF**」選択➡◉

■ 接写切替確認は、各カメラモード共通の表示です。いずれかで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

●バーコード読み取り／文字読み取りも、共通です。（表示されるメッセージは異なります。）

カメラ機能で使用するボタン

ビューアポジションで使用するボタン

1 ファインダー

横向きの画面が表示されます。

2 シャッター／カメラ起動

待受画面で長く（1秒以上）押すと、前回使用していた撮影モードでカメラが起動します。（お買い上げ時「**写メールモード**」）

このほか、メニュー項目を選んだあとの決定などにも使います。

3 ズーム

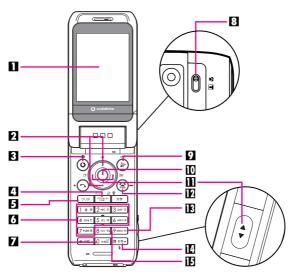
▷（ズームアップ）、◁（ズームダウン）

●メニュー項目を選ぶときにも使います。

4 メニュー表示／撮影のやり直し／カメラ終了

●撮影画面で長く（1秒以上）押すと、カメラが終了します。

オープンポジション／セルフショットポジションで使用するボタン

●利用できるボタン操作は、画面に表示できます。（☞P.6-27）

1 ファインダー

縦向きの画面が表示されます。

2 明るさ調整（☞P.6-24）

（明るくなる）／（暗くなる）

3 カメラ起動

待受画面で長く（1秒以上）押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時「**写メールモード**」）

4 表示切替（☞P.6-23）、マーク表示ON／OFF（☞P.6-23）

押すたびに、次のように切り替わります。

●写メールモード（撮影サイズ「240×320」を除く）

「**2倍（アイコンあり）**」→「**2倍（アイコンなし）**」→「**等倍（アイコンあり）**」

●ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード

「**拡大（アイコンあり）**」→「**拡大（アイコンなし）**」→「**等倍（アイコンあり）**」

●写メールモード（撮影サイズ「240×320」）、デジタルカメラモード、ビデオカメラモード

「**アイコンなし**」⇔「**アイコンあり**」

5 撮影のやり直し

6 カメラモード切替（☞P.6-26）
カメラモード起動後に押すと、次のモードに切り替わります。

キー	モード	キー	モード
1	写メールモード（☞P.6-8）	5	ビデオカメラモード（☞P.6-18）
2	デジタルカメラモード（☞P.6-8）	6	バーコード読み取り（☞P.15-11）
3	ムービー写メールモード（☞P.6-18）	7	文字読み取り（☞P.15-39）
4	モーションカメラ（MPEG）モード（☞P.6-18）		

7 撮影サイズ切替（☞P.6-25）
撮影前、押すたびに次のように切り替わります。
●写メールモード：「120×128」→「240×320」→「120×160」
●デジタルカメラモード：「768×1024」→「960×1280」→「480×640」
●ムービー写メールモード：「80×60」⇔「128×96」
●モーションカメラ（MPEG）モード：「176×144」⇔「128×96」

8 接写スイッチ
スライドさせて切り替えます。（「**通常**」⇔「**接写**」）
●被写体との距離は、接写モードでは10cm程度、通常モードでは約40cm以上を目安にしてください。

9 メニュー表示

10 シャッター

11 ズーム
◀／◉（ズームダウン）、▶／◉（ズームアップ）

12 カメラ終了

13 瞬間ズーム（最大）
写メールモードは、9を押したあと◉を押すと、最大ズームに切り替わります。

14 モバイルライト（☞P.6-24）
押すたびに、通常点灯（「⚡」表示）→オート点灯（「⚡AUTO」表示）→接写点灯（「⚡」表示）→「OFF」（消灯）の順に切り替わります。
●動画の撮影では、「**オート**」は利用できません。

15 瞬間ズーム（等倍）

静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登録が可能
連写、装飾なども可能
V501SHの画面に合った
サイズなどで撮影可能

こんなときに → メール添付や壁紙登録など、V501SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき

カメラ機能

デジタルカメラモード
最大横1280×縦960ドットの
大きな静止画が撮影可能
メモリカード経由で
パソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V501SHで
プリントアウトの指定が可能

こんなときに → パソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

補足

- V501SHのデジタルカメラモードで撮影した静止画は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
  ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントする画像や枚数などの設定情報をメモリカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。

パソコンなど他の機器での静止画編集

■ デジタルカメラモードの静止画をパソコンで加工／編集するときは、メモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーしたファイルを操作することをおすすめします。
■ V501SHで撮影した静止画をパソコンで加工／編集して上書き保存すると、自動的にDCF規格（☞上記）以外のファイルとなってしまい、V501SHで再表示できなくなることがあります。

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横1280×縦960ドット（SXGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V501SHまたはメモリカードの データフォルダ（ピクチャー）	V501SHまたはメモリカードの デジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
デジタルズーム	横240×縦320ドット：1～4倍 横120×縦160ドット：1～8倍 横120×縦128ドット：1～8倍	横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：1～1.25倍 横640×縦480ドット：1～2倍
スーパーメール添付	可能	可能※2
保存形式	JPEG（.jpg）	
登録可能数（目安）	1570ファイル※3	260ファイル※3

※1　デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。
※2　サムネイルまたは横240×縦320ドットの縮小画像が添付できます。また、データフォルダに登録した画像も添付できます。
※3　お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、V501SHに登録したときの画像数です。

- V501SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-30を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2005年07月15日午後12時34分に撮影→「05-07-15_12-34.jpg」）※
デジタルカメラモード	「VFSH0001.JPG」、「VFSH0002.JPG」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登録先に同じ名前のファイルがあるとき、登録したファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

- 写メールモードのファイル名は、変更できます。（☞P.12-44）

デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V501SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V501SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

ビューアポジションで撮影する

1 ビューアポジション（☞P.1-12）で、Sを長く（１秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 c（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、Sを押す。

3 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、Sを押す。

4 画像を画面に表示する。

- ビューアポジションで使用するボタン：☞P.6-5
- 各種撮影方法：☞P.6-23

5 Sを押す。

シャッター音が鳴ったあと、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：c➡「1YES」選択➡S
- 画像編集：c（１秒以上）➡「**画像編集**」選択➡S
  ➡P.12-22～P.12-29（写メールモード撮影時だけ）
- メモリカードへの登録：c（１秒以上）➡「**登録先**」選択➡S➡「**2メモリカード**」選択➡S
  （登録先を再度変更するまで、メモリカードに登録されます。）
- メール添付：S（１秒以上）➡P.3-3操作２以降

撮影後自動的に静止画を登録するように設定できます。（自動保存設定：☞P.6-26）
このとき、操作６は必要ありません。

6 静止画を登録するときは、Sを押す。

撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、cを長く（１秒以上）押す。

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ

1 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、◉を押す。

- カメラモードの説明を読む：カメラモード選択時に◎（**ガイド**）

2 画像を画面に表示する。

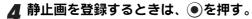
- オープンポジション／セルフショットポジションで使用するボタン：☞P.6-6
- 各種撮影方法：☞P.6-23

3 ◉を押す。

シャッター音が鳴ったあと、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：クリア ➡「1YES」選択 ➡ ◉
- 画像編集：（**機能**）➡「**画像編集**」選択 ➡ ◉ ➡ P.12-22～P.12-29（写メールモード撮影時だけ）
- メモリカードへの登録：（**機能**）➡「**登録先**」選択 ➡ ◉ ➡「2**メモリカード**」選択 ➡ ◉
（登録先を再度変更するまで、メモリカードに登録されます。）
- メール添付：◎（**写メール**）➡ P.3-3操作２以降

補足
撮影後自動的に静止画を登録するように設定できます。（自動保存設定：☞P.6-26）
このとき、操作４は必要ありません。

4 静止画を登録するときは、◉を押す。

撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

セルフショットポジションで撮影するとき

撮影前の画面には、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後の画面には反転していない画像が表示されます。

登録していない画像があるとき

終了の確認画面が表示されます。

- 「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登録せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
- 「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

- 自動保存設定（☞P.6-26）を「ON」にしているときは、操作できません。静止画の撮影前に、自動保存設定を「OFF」にしておいてください。
- 以下の操作は、静止画撮影直後（P.6-10操作５、P.6-11操作３）の状態で行います。

アドレス帳登録	写メールモードで撮影した静止画をアドレス帳に登録します。

c（１秒以上）／✉（機能）➡「5アドレス帳登録」選択➡S／●➡P.5-8操作４

サムネイル登録	デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）だけを、データフォルダのピクチャーフォルダに登録します。

c（１秒以上）／✉（機能）➡「1サムネイル登録」選択➡S／●

サムネイル90度回転	デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）を回転し、画像の向きを変えて登録できます。

c（１秒以上）／✉（機能）➡「2サムネイル90度回転」選択➡S／●

- さらに回転するときは、c（１秒以上）または✉（回転）を押します。
  ■ 回転後のサムネイル登録：S／●

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にcまたは✉（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

	項目	説明
画質設定		画質を設定します。（☞P.6-25）
撮影サイズ設定		撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-25）
モバイルライト		モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／カラーを設定します。（☞P.6-24）
シーン別撮影		撮影環境に合わせて設定を変更します。（☞P.6-25）
表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-13）
	連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-16）
	フレーム設定※	画像にフレームを付けます。（☞P.6-14）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-23）
	登録先	静止画の登録先（V501SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-26）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-26）
	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-27）
データ消去		V501SHまたはメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-30）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面表示します。（☞P.6-27）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-24）
カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.6-26）

※ 写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

静止画の撮影直後（登録前）にⓒを長く（１秒以上）押すか、Ⓟ（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
2画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.12-22〜P.12-29）
3登録先	静止画の登録先（V501SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-26）
4メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-36）
5アドレス帳登録	撮影した静止画をアドレス帳に登録します。（☞P.6-12）
6データ消去	V501SHまたはメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-30）

■デジタルカメラモード

1サムネイル登録	サムネイルだけを登録します。（☞P.6-12）
2サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.6-12）
3メール添付	サムネイルまたは縮小した画像をメールに添付します。（☞P.6-38）
4登録先	静止画の登録先（V501SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-26）
5データ消去	V501SHまたはメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-30）
6表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）

セルフタイマーで撮影する

静止画や動画の撮影に、セルフタイマーを利用できます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

●以下の操作は、静止画撮影前（P.6-10操作４、P.6-11操作２）または動画撮影前（P.6-20操作４）の状態で行います。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **ⓒまたはⓅ（機能）を押す。**
●動画の撮影時は、このあと操作３へ進みます。

2 **「特殊撮影設定」を選び、Sまたは◉を押す。**

3 **「タイマー設定」を選び、Sまたは◉を押す。**
■ タイマー動作までの時間変更：「**2時間設定**」選択➡S／◉➡時間選択➡S／◉

4 **「1タイマー ON」を選び、Sまたは◉を押す。**
「⏲」が表示され、タイマーが設定されます。
■ セルフタイマーの解除：「**2タイマー OFF**」選択➡S／◉

5 **画像を画面に表示し、Sまたは◉を押す。**

タイマー音が鳴り、タイマーが動作します。

- 設定した時間後（お買い上げ時「10秒」）、静止画を撮影したときは撮影後の画像が表示され、動画を撮影したときは録画が始まります。
- タイマー動作中Sまたは◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

■ 撮影のやり直し：タイマー動作中にⓒ／◎（**取消**）／クリア

▪ タイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。

6 ***静止画を登録する***

1 静止画を登録するときは、Sまたは◉を押す。

タイマーは解除され、通常の静止画撮影画面に戻ります。

動画を登録する

1 撮影を終了するときは、Sまたは◉を押す。

■ 登録先をメモリカードに設定時：S／◉（操作完了）

2 動画を登録するときは、「1完了」または「1登録」を選び、Sまたは◉を押す。

タイマーは解除され、通常の静止画撮影画面に戻ります。

7 **カメラを終了するときは、ⓒを長く（１秒以上）押すか、PWRを押す。**

- 着信やアラーム動作があると、タイマーは解除されないまま、撮影は中止されます。
  - ▪ モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードで撮影中は、カメラを終了すると、アラームが動作します。
- タイマー動作中は、次の操作はできません。
  - ▪ 明るさの調整、モバイルライトの点灯、撮影モードの変更

静止画にフレームを付けて撮影する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

- ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も、フレームとして利用できます。
- 以下の操作は、静止画撮影前（P.6-10操作４、P.6-11操作２）の状態で行います。

1 **ⓒまたは✉（機能）を押す。**

2 **「6特殊撮影設定」を選び、Sまたは◉を押す。**

3 **「3フレーム設定」を選び、Sまたは◉を押す。**

4 あらかじめ登録されているフレームを利用する

1「1固定フレーム」を選び、SまたはⒸを押す。

2 フレームを選び、SまたはⒸを押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：◁またはⓄ（前へ）／▷またはⓄ（次へ）

3 SまたはⒸを押す。

オリジナルフレームを利用する

1「2オリジナル」を選び、SまたはⒸを押す。

●フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレームを選び、SまたはⒸを押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：C／Ⓞ（戻る）➡画像選択➡S／Ⓒ

3 SまたはⒸを押す。

●撮影サイズ「240×320」のときに、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

カスタムスクリーンを利用する

1「3カスタムスクリーン」を選び、SまたはⒸを押す。

2 カスタムスクリーンを選び、SまたはⒸを押す。

フレームを解除する

1「4OFF」を選び、SまたはⒸを押す。

5 静止画を撮影する。

■ ビューアポジションの撮影方法：☞P.6-10操作5以降

■ オープンポジション／セルフショットポジションの撮影方法：☞P.6-11操作3以降

連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

静止画を連続して撮影する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。

- 連写モードでは、１枚目のシャッター（Sまたは◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
- 連写モードの種類と利用できる撮影モードは、次のとおりです。

連写モード	概　　要	写メールモード	デジタルカメラモード
４枚連写	４枚の静止画を連続して撮影し、４枚の静止画と分割画像を作成します。	○	※1
９枚連写	９枚の静止画を連続して撮影し、９枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×
25枚高速連写	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。	※2	×
ブラケット連写	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて９枚の静止画を撮影し、９枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×
オーバーラップ連写	連続して５枚の静止画を撮影し、５枚の静止画と合成画像を作成します。	○	×

※1　撮影サイズ「480×640」で利用できます。
※2　撮影サイズ「240×320」では利用できません。

- ４枚連写／９枚連写では、設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。
- 以下の操作は、静止画撮影前（P.6-10操作４、P.6-11操作２）の状態で行います。

1 **Cまたは✉（機能）を押す。**

2 **「6特殊撮影設定」を選び、Sまたは◉を押す。**

3 **「2連写設定」を選び、Sまたは◉を押す。**

4 ***写メールモードで設定する***

1「1４枚連写ON」～「5オーバーラップ連写ON」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。

「25枚高速連写」を選んだときは、連写モードが表示されたあと（☞P.6-5）、撮影画面に戻ります。（スピードは変更できません。）

■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡S／◉（操作完了）

デジタルカメラモードで設定する

1「1４枚連写ON」を選び、Sまたは◉を押す。

■ 連写モードの解除：「2OFF」選択➡S／◉（操作完了）

5 **連写スピードを選び、Sまたは◉を押す。**

連写モードが表示され（☞P.6-5）、撮影画面に戻ります。

- お買い上げ時、連写スピードは「**普通**」または「**通常**」に設定されています。

6 画像を画面に表示し、Sまたは◉を押す。

設定したスピードで連写撮影されます。

- 手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）は、残りの回数分操作6をくり返してください。

■ 連写の中止：c／(停止)

■ 中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録：上記操作のあとS／◉

■ 連写の取消(マニュアル時)：c(1秒以上)／◎(取消)➡「1YES」選択➡S／◉
（途中まで撮影した画像は消去されます。）

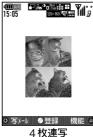
7 連写が終われば、連写画像が表示される。

4枚連写

デジタルカメラモードは、1枚目に撮影した静止画が表示されます。

■ 連写画像内の静止画の確認：◀▶／◎

■ 連写画像内の静止画を1枚ずつ登録：◀▶／◎（画像選択：分割画像も可能）➡c（1秒以上）／（**機能**）➡「**1表示画像登録**」選択➡S／◉

■ 連写画像内の静止画のメール送信：◀▶／◎➡c（1秒以上）／（**機能**）➡「**2表示画像添付**」選択➡S／◉
（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

8 連写画像を登録するときは、Sまたは◉を押す。

連写モードのままで、元のカメラモードに戻ります。

- 写メールモードは、分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登録されます。（登録場所：データフォルダ内の連写フォルダ）
- デジタルカメラモードは、1枚ずつ個別に登録されます。（登録場所：デジタルカメラフォルダ）

9 カメラを終了するときは、cを長く（1秒以上）押すか、PWRを押す。

- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

■撮影直後に利用できる機能

画像登録前にcを長く（1秒以上）押すか、（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

1表示画像登録	撮影した静止画を選んで登録します。
2表示画像添付	撮影した静止画をメールに添付します。
3登録先	連写画像の登録先（V501SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-26）
4データ消去	V501SHまたはメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-30）
5表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）

動画の撮影

動画撮影モード

ムービー写メールモード

最大横128×縦96ドットで、
5秒間または10秒間の動画が撮影可能
MPEG-4 形式に対応
メール添付も可能

こんなときに → ムービー写メール用の画像やちょっとした記録用として、手軽に動画を撮影するとき

カメラ機能

モーションカメラ（MPEG）モード

1回の撮影で、最長30分の
動画撮影が可能
メール添付用の切り出しや
簡単な編集が可能

こんなときに → 簡易ビデオカメラとして、長めの動画を撮影するとき

ビデオカメラモード

横320×縦240ドットの大画面で
動画が撮影可能
簡単な編集が可能

こんなときに → より高品位な動画を撮影するとき

●動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

補足 動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、明るい状態で撮影することをおすすめします。

動画撮影モードの機能比較

	ムービー写メールモード	モーションカメラ（MPEG）モード	ビデオカメラモード
撮影サイズ	横128×縦96ドット（SubQCIF） 横80×縦60ドット	横176×縦144ドット（QCIF） 横128×縦96ドット（SubQCIF）	横320×縦240ドット（QVGA）
動画の登録先	V501SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ムービー）※1	V501SHまたはメモリカードのモーションカメラフォルダ	V501SHまたはメモリカードのビデオカメラフォルダ
最長録画時間（1回あたり）	5秒（横128×縦96ドット） 10秒（横80×縦60ドット）	約3分45秒（登録先：V501SH） 最長30分（登録先：メモリカード）	約28秒（登録先：V501SH） カード容量により変動（登録先：メモリカード）
画質	―	ノーマル／ファイン	―
デジタルズーム	1～8倍		1～4倍
スーパーメール添付	可能	切り出した部分だけ可能	不可
保存形式	MPEG-4（.3gp）		MPEG-4（.ASF）
登録可能数（目安）	315ファイル※2	約25分※3	約165秒※3

※1 登録時にフォルダを選択できます。
※2 お買い上げ時の状態で撮影したときの画像数です。
※3 お買い上げ時の撮影サイズ、マイク設定、画質設定［モーションカメラ（MPEG）モード］で、V501SHに登録したときの録画時間です。

- V501SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる動画数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-30を参照してください。

動画のファイル名

ムービー写メールモード／モーションカメラ（MPEG）モード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2005年7月15日午後12時34分に撮影→「05-07-15_12-34.3gp」）※
ビデオカメラモード	「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登録先に同じ名前のファイルがあるとき、登録したファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

- ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードのファイル名は変更できます。（☞P.12-44）

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量をご確認ください。モーションカメラ（MPEG）モードやビデオカメラモードは、電池レベル表示が「▭」のときは撮影できません。また、撮影中に電池レベル表示が「▭」になると、撮影が中止されます。

1 **ビューアポジション（☞P.1-12）で、Sを長く（1秒以上）押す。**

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

■ オープンポジションの操作：◉➡「モバイルカメラ」選択➡◉➡操作3へ

2 **Ⓒ（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、Sを押す。**

3 **「3ムービー写メールモード」、「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。**

■「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」選択時：「1YES」／「2NO」選択➡S／◉

▪通常は着信しない（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

4 **画像を画面に表示する。**

■ カメラ機能で使用するボタン：☞P.6-5

■ 各種撮影方法：☞P.6-23

ムービー写メールモード

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影可能残り時間

- 「-000」のときは、1分未満であることを示しています。
- モーションカメラ（MPEG）モードの1回あたりの撮影可能時間は、可能残り時間の表示にかかわらず、最長30分です。（メモリカードに登録時）
  1回の撮影で30分が経過すると自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。
- 撮影する画像によっては、表示される撮影可能残り時間まで撮影できないことや、撮影可能残り時間より長く撮影できることがあります。あくまで目安としてご利用ください。

撮影時間
撮影可能残り時間（分）

モーションカメラ（MPEG）モード

5 Sまたは◉を押す。

撮影開始音が鳴ったあと、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることがあります。）

- マイク設定を「**マイクON**」にしているときは、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に録音してください。

撮影前にメモリが不足しているとき

空き容量不足の確認メッセージが表示され、撮影前の状態に戻ります。不要な画像を消去（☞P.6-30）すると、撮影できます。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影中にメモリが一杯になると

自動的に撮影が終了し、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。このあと「**1完了**」を選び、Sまたは◉を押すと、途中まで撮影した動画が登録されます。

6 *ムービー写メールモードで撮影する*

1 撮影を終了するときは、Sまたは◉を押す。

撮影終了音が鳴ったあと、動画の撮影が終了します。

- 撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 撮影した動画の再生：「**2画像確認**」選択➡S／◉

■ 撮影のやり直し：「**3取消**」選択➡S／◉➡「**1YES**」選択➡S／◉

■ テロップ編集：「**6テロップ編集**」選択➡S／◉➡P.6-34操作４以降

2「1登録」を選び、Sまたは◉を押す。

撮影した動画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

メモリが一杯のとき

- P.6-30の操作で他の画像を消去したあとに、登録できます。
- メモリカードを取り付けているときは、撮影後の画面で「**4登録先**」を選び、Sまたは◉を押すと、登録先を変更できます。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードで撮影する

1 撮影を終了するときは、Sまたは◉を押す。

撮影終了音が鳴ったあと、完了確認画面が表示されます。

■ 登録先をメモリカードに設定時：S／◉（操作完了）

■ 撮影のやり直し（登録先「V501SH」）：「**2取消**」選択➡S／◉➡「**1YES**」選択➡S／◉

2「1完了」を選び、Sまたは◉を押す。

撮影した動画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、Cを長く（１秒以上）押すか、PWRを押す。

P.6-20操作３で「**2NO**」を選び、オフラインモードを設定していたときは、自動的にオフラインモードは解除されます。

6 カメラ機能

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓒまたは㊇（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

項目	説明
画質設定※1	画質を設定します。（☞P.6-25）
撮影サイズ設定※2	撮影する動画のサイズを設定します。（☞P.6-25）
モバイルライト	モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／カラーを設定します。（☞P.6-24）
タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-13）
表示切替※2	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
マーク表示ON／OFF※3	撮影時のアイコンを表示するかどうかを切り替えます。（☞P.6-23）
マイク設定	音声録音を設定します。（☞P.6-25）
オプション設定 登録先	動画の登録先（V501SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-26）
オプション設定 オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-27）
データ消去	V501SHまたはメモリカード内の動画を消去します。（☞P.6-30）
キー操作ガイド	現在の撮影モードで利用できるボタン操作を画面に表示します。（☞P.6-27）
明るさ設定	明るさを調整します。（☞P.6-24）
カメラモード選択	モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.6-26）

※1　モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※2　ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※3　ビデオカメラモードで利用できます。

撮影直後（動画登録前）

ムービー写メールモードでの動画の撮影直後（登録前）には、メニュー画面が自動的に表示され次の機能が利用できます。

項目	説明
1登録	撮影した動画を登録します。（☞P.6-21）
2画像確認	撮影した動画を再生します。（☞P.6-21）
3取消	撮影をやり直します。（☞P.6-21）
4登録先	動画の登録先（V501SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-26）
5メール添付	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.6-38）
6テロップ編集	動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示できます。（☞P.6-33）

各種撮影方法

撮影時の状態に合わせて撮影方法を変更できます。

●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。

●以下の操作は、静止画撮影前（P.6-10操作４、P.6-11操作２）または動画撮影前（P.6-20操作４）の状態で行います。設定が完了すると、撮影できる状態へ自動的に戻りますので、P.6-10操作５／P.6-11操作３、P.6-21操作５以降を行ってください。

表示切替

撮影時の画面表示を大きくしたり、アイコンの表示を消します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 等倍

c／（機能）➡「表示切替」選択➡S／●

●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

マーク表示ON／OFF

撮影時にアイコンを表示するかどうかを設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 マーク表示ON

c／（機能）➡「マーク表示ON」／「マーク表示OFF」選択➡S／●

●アイコンを表示しているときは「**マーク表示OFF**」、アイコンを消しているときは「**マーク表示ON**」を選んで押すと切り替わります。

●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

シャッター音設定

撮影時に鳴るシャッター音を設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 パターン１

c／（機能）➡「オプション設定」選択➡S／●➡「1シャッター音設定」選択➡S／●➡パターン選択➡S／●

●シャッター音設定は、写メールモード／デジタルカメラモード共通の設定です。どちらかのモードで設定を変更すると、両方に反映されます。

■ シャッター音確認：パターン選択時にS（１秒以上）／◎（**再生**）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中にS（１秒以上）／◎（**停止**）

●シャッター音の音量は変更できません。

●連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

6 カメラ機能

モバイルライト	モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	※
モーションカメラ（MPEG）モード	※	ビデオカメラモード	※		

※動画の撮影では、「**オート**」は利用できません。

お買い上げ時 OFF／１分／ライチフルーツ（白色系統）

モバイルライトの点灯（方法）を設定する

[C]／[✉]（機能）➡「モバイルライト」選択➡[S]／◉➡「通常」～「OFF」選択➡[S]／◉

- 点灯するときは次のモードから選びます。

通常	モバイルライトが点灯します。静止画撮影時には、さらに強い光で発光します。
オート（静止画限定）	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。シャッターを押したときには、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時も同じ光量のまま、モバイルライトが点灯します。

継続点灯時間を設定する

[C]／[✉]（機能）➡「モバイルライト」選択➡[S]／◉➡「点灯設定」選択➡[S]／◉➡「1継続点灯時間」選択➡[S]／◉➡点灯時間選択➡[S]／◉

- モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

点灯カラーを設定する

[C]／[✉]（機能）➡「モバイルライト」選択➡[S]／◉➡「点灯設定」選択➡[S]／◉➡「2点灯カラー」選択➡[S]／◉➡カラー選択➡[S]／◉

モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- 以下の操作は、静止画撮影前（P.6-10操作４、P.6-11操作２）または動画撮影前（P.6-20操作４）の状態で行います。設定が完了すると、撮影できる状態へ自動的に戻りますので、P.6-10操作５／P.6-11操作３、P.6-21操作５以降を行ってください。

明るさ設定	静止画や動画の明るさを調整します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 0（標準）

[C]／[✉]（機能）➡「明るさ設定」選択➡[S]／◉➡明るさ選択➡[S]／◉

- モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ設定

静止画や動画の撮影サイズを変更します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 写メールモード：120×160、デジタルカメラモード：480×640、ムービー写メールモード／モーションカメラ（MPEG）モード：128×96

c／（機能）➡「撮影サイズ設定」選択➡S／●➡サイズ選択➡S／●

画質設定

撮影前に画質を設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 ノーマル（写メールモード「240×320」：ファイン）

c／（機能）➡「画質設定」選択➡S／●➡画質選択➡S／●

- デジタルカメラモードでは、「**ハイクオリティ**」も利用できます。

■ フィルター（画像補正）の解除（デジタルカメラモード限定）：画質設定画面でc（1秒以上）／（**フィルター**）➡「**2OFF**」選択➡S／●

「**ノーマル**」→「**ファイン**」→「**ハイクオリティ**」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登録可能画像数や録画可能時間は減ります。

シーン別撮影

光の少ない場所にいるときや動きのあるものなどを静止画で撮影するときに、環境に合わせて設定を変更できます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 オート

c／（機能）➡「シーン別撮影」選択➡S／●➡環境選択➡S／●

- 設定できる撮影環境は、次のとおりです。

1オート	周りの環境に応じて自動的に調整します。
2夜景	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
3スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
4文字	白と黒などコントラストがはっきりした被写体の撮影に適しています。

マイク設定

動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 マイクON

c／（機能）➡「マイク設定」選択➡S／●➡内容選択➡S／●

- 「**マイクON**」と「**マイクOFF**」では、画質が若干異なります。

モーションカメラ（MPEG）モードでは、音質［「**ノーマル**」（お買い上げ時）、「**ファイン**」］も選べます。ただし、「**ファイン**」に設定するとファイル容量が大きくなるため、登録できる録音時間は減ります。

その他の設定

画像の登録先を変更するなど、撮影方法や画像に関する設定以外にも、いろいろな機能が利用できます。

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- 以下の操作は、静止画撮影前（P.6-10操作４、P.6-11操作２）または動画撮影前（P.6-20操作４）の状態で行います。設定が完了すると、撮影できる状態へ自動的に戻りますので、P.6-10操作５／P.6-11操作３、P.6-21操作５以降を行ってください。

カメラモード選択

モバイルカメラの撮影モードを切り替えます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

C／（機能）➡「カメラモード選択」選択➡S／●➡カメラモード選択➡S／●

- カメラモードを変更すると、以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動するようになります。

登録先設定

画像の登録先を「**本体**」（V501SH）または「**メモリカード**」に設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 本体

C／（機能）➡「オプション設定」選択➡S／●➡「登録先」選択➡S／●➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡S／●

自動保存設定

撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 OFF

C／（機能）➡「オプション設定」選択➡S／●➡「3自動保存設定」選択➡S／●➡「1ON」／「2OFF」選択➡S／●

オートリセット設定	モバイルカメラを終了したときに、撮影方法／画像に関する設定などをお買い上げ時の状態に戻すかどうかを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

OFF（リセットしない）

C／✉（機能）➡「オプション設定」選択➡S／●➡「オートリセット設定」選択➡S／●➡「1ON」／「2OFF」選択➡S／●

- オートリセットは、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

注意 「自動保存設定」は、お買い上げ時の状態には戻りません。

キー操作ガイド	現在の撮影モード利用中に、オープンポジションでできるボタン操作を画面に表示します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

C／✉（機能）➡「キー操作ガイド」選択➡S／●

- ▶／💡を押すと、隠れている操作内容を表示できます。
  - 撮影画面に戻る：C／◎（**戻る**）➡C／◎（**戻る**）

撮影した画像の確認

静止画の確認

写メールモード／デジタルカメラモードで撮影した静止画、デジタルカメラモードで撮影した連写画像を確認します。

- 写メールモードで撮影した連写画像は、「**データフォルダ内のファイルを確認する**」（☞P.12-8）を参照してください。
- テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。（☞P.15-45）

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認

1 「1写メールデータ」または「2デジタルカメラデータ」を選び、Sまたは●を押す。

- デジタルカメラデータ選択時：フォルダ選択➡S／●
- メモリカード内の画像の確認：C（1秒以上）／✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡S／●

写メールデータ

2 静止画を選び、Sまたは●を押す。

静止画が表示されます。

- 別の静止画の確認：D／クリア

補足 静止画表示中にCを長く（1秒以上）押すか、✉（**メニュー**）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。以降の操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.12-20〜P.12-33）

デジタルカメラデータの静止画

■ 画面のサイズに合わせて、縮小されたサイズで表示されます。原寸で表示することもできます。（☞下記）
- ●を押すと、上下左右にスクロールできます。
- [S]または◉を押すと、90度ずつ静止画が回転します。

サムネイル／原寸で確認する

デジタルカメラデータをサムネイルで表示したり、原寸で確認します。

- サムネイルとは、デジタルカメラモードで撮影したとき、指定したサイズの静止画と同時に保存される、横120×縦160ドットの静止画のことです。
- 以下の操作は、P.6-27操作２でデジタルカメラデータを表示中に行います。

1 **[C]を長く（１秒以上）押すか、✉（メニュー）を押す。**

2 **「サムネイル表示」または「実画像表示」を選び、[S]または◉を押す。**

サムネイルまたは実画像（原寸画像）が表示されます。

■ 元の画像サイズに戻す：[C]（１秒以上）／✉（**メニュー**）➡「**通常表示**」選択➡[S]／◉

壁紙登録／データフォルダに保存する

デジタルカメラモードで撮影した静止画を壁紙として登録したり、データフォルダに保存します。データフォルダに保存した静止画は、写メールモードで撮影した静止画と同様にメール添付などに利用できます。

- 以下の操作は、P.6-27操作２でデジタルカメラデータを表示中に行います。

1 **[C]を長く（１秒以上）押すか、✉（メニュー）を押す。**

2 **「壁紙登録」または「データフォルダに保存」を選び、[S]または◉を押す。**

■ 壁紙登録時：[S]／◉

■ データフォルダに保存時：フォルダ選択➡[S]／◉

- 静止画を壁紙に登録したり、データフォルダに保存したときは、画質が変わることがあります。
- 通常表示状態からデータフォルダに保存したときは、画面サイズに縮小された画像が登録されます。
- サムネイル表示状態からデータフォルダに保存したときは、横120×縦160ドットの画像（サムネイル）が登録されます。
- 実画像表示状態からデータフォルダに保存したときは、画面に表示されている画像（横240×縦320ドット）部分が登録されます。

動画の確認

●データフォルダの操作で確認することもできます。(☞P.12-8)
●テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。(☞P.15-45)

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認

1 「3ムービー写メールデータ」、「4モーションカメラ(MPEG)データ」、「5ビデオカメラデータ」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。

ムービー写メールデータ

■ ビデオカメラデータ選択時：フォルダ選択➡S／◉
■ メモリカード内の動画の確認：C(1秒以上)／✉(メニュー)➡「**メモリカードへ切替**」選択➡S／◉

2 動画を選び、Sまたは◉を押す。

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。
●メモリカード内のビデオカメラデータは、前回再生した続きから再生されます。
●ムービー写メールデータを再生しているときは、#を押すと次のファイル、*を押すと前のファイルが再生できます。

■ 動画を回転：C(1秒以上)／✉(**メニュー**)➡「**回転表示**」選択➡S／◉➡角度／回転無し選択➡S／◉
■ 先頭から再生(ビデオカメラデータだけ)：C(1秒以上)／✉(**メニュー**)➡「**先頭から再生**」選択➡S／◉
■ ムービー写メールデータのテロップ編集：C(1秒以上)／✉(**メニュー**)➡「**その他編集機能**」選択➡S／◉➡P.6-34操作3以降
■ 別の動画の確認：C／◎(**戻る**)

注意

V501SHで再生できるムービー写メール／モーションカメラデータは、「MPEG-4形式」だけです。
Nancy形式のムービー写メール／モーションカメラデータは再生できません。

再生中にできること

早送りする※1	◎を押します。早送り中に◉を押すと、一時停止します。
早戻しする※1	◎を押します。早戻し中に◉を押すと、一時停止します。
停止する	◉を押します。一時停止します。
音量を変える	◎(音量大)または◎(音量小)を押します。(マイク設定「ON」時) 音量は「0」〜「5」の6段階で調節できます。
表示を変える※2	スケジュール/メモを押すたびに、「**拡大**」→「**拡大(アイコンなし)**」→「**等倍**」…の順に切り替わります。 (表示サイズを「**拡大**」にすると、表示画像の一部が切れることがあります。)

※1 ムービー写メールデータでは、利用できません。
※2 ビデオカメラデータでは、「**アイコンなし**」⇔「**アイコンあり**」に切り替わります。

補足

再生中または停止中に文字を長く(1秒以上)押すと、マナーモードの「ON」⇔「OFF」を切り替えることができます。

6 カメラ機能

メモリ使用状況を確認する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ メモリ確認

1「3ファイルBOX」を選び、Sまたは◉を押す。

各メモリの使用状況（％）が表示されます。

■ メモリカードの使用状況の確認：「3ファイルBOX」選択➡C（１秒以上）／（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡S／◉

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後の登録時に、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、Cまたはを押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画を登録できます。

1 Cを長く（１秒以上）押すか、（機能）を押す。

2「データ消去」を選び、Sまたは◉を押す。

3 データの種類を選び、Sまたは◉を押す。

■ メモリカード内の画像の選択：C（１秒以上）／（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡S／◉

4 消去する画像を選び、Sまたは◉を押す。

5「1YES」を選び、Sまたは◉を押す。

撮影した動画の編集

撮影モードによって、次の編集が行えます。

切り出し※1	指定したコマから切り出し可能秒数までを別の動画として登録します。
静止画キャプチャー※1	動画の１場面を静止画として保存します。
２点間切り出し※2	指定した２点間の動画を別の動画として登録します。
前部分消去 後部分消去※2	指定したコマより前または後の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登録します。
全消去※2	再生中の動画を消去します。
テロップ編集※3	画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

※1　モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※2　モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモードで利用できます。
※3　ムービー写メールモードで利用できます。

- 動画のデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- V501SH以外でフォーマットしたメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。

「切り出し」を行うと、新しいMPEG-4ファイル（.3gp）として、データフォルダのムービーフォルダに登録されます。この動画を利用すると、スーパーメール送信用の動画を作成したり、テロップ編集できるようになります。

動画を切り出す

切り出し後の画像サイズを設定したり、切り出しモード（縮小／切り抜き）を設定できます。

●マイク設定を「**マイクON（ファイン）**」にして撮影した動画を切り出すと、「**マイクOFF**」で切り出されます。

●切り出し時の画像サイズ（☞下記操作４）で「80×60」を選んでいるときは最長10秒まで、「128×96」を選んでいるときは最長５秒まで切り出せます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ モーションカメラ（MPEG）データ

1 **動画を選び、◉を押す。**

動画が再生されます。

2 **再生中に、切り出すコマの付近で、◉を押す。**

一時停止状態になります。

3 **（編集）を押す。**

4 **「1切り出し」を選び、◉を押す。**

■ 切り出しモードの設定：「**2切り出し設定**」選択➡◉➡「**1モード設定**」選択➡◉➡「**1切り抜き**」／「**2縮小**」選択➡◉

■ 切り出し時の画像サイズ設定：「**2切り出し設定**」選択➡◉➡「**2画像サイズ設定**」選択➡◉➡「**1**80×60」／「**2**128×96」選択➡◉

5 **「1YES」を選び、◉を押す。**

6 **で切り出す最初のコマを表示する。**

■ 切り出しの中止：◎（**戻る**）

7 **◉を押す。**

選んだコマから切り出し可能秒数までの動画が切り出されます。切り出し可能秒数以内に切り出しを終わるときは、このあと◉を押します。

■ 切り出した動画の確認：「**2画像確認**」選択➡◉

■ 切り出しのやり直し：「**3取消**」選択➡◉

■ 切り出した動画の登録先を変更：「**4登録先**」選択➡◉➡登録先選択➡◉

■ 切り出した動画の送信：「**5メール添付**」選択➡◉➡ P.3-3操作２以降

■ テロップ入力：「**6テロップ編集**」選択➡◉➡P.6-34操作４以降

8 **動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。**

画像サイズ設定のサイズに切り出され、データフォルダのムービーフォルダに登録されます。

動画の１場面を静止画として保存する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ モーションカメラ（MPEG）データ

1 動画を選び、◉を押す。
動画が再生されます。

2 再生中に、保存するコマで、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと⊙を押すと、コマを変更することができます。

3 ⊘（編集）を押す。

4「3静止画キャプチャー」を選び、◉を押す。

5 ◉を押す。
静止画として保存され、一時停止中の画面に戻ります。

6 カメラ機能

指定した２点間の動画を切り出す

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認

1「4モーションカメラ（MPEG）データ」または「5ビデオカメラデータ」を選び、◉を押す。
■ ビデオカメラデータ選択時：フォルダ選択➡◉

2 動画を選び、◉を押す。
動画が再生されます。

3 再生中に、切り出す最初のコマで、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと⊙を押すと、コマを変更することができます。

4 ⊘（編集）を押す。

5「２点間切り出し」を選び、◉を押す。

6「1YES」を選び、◉を押す。
●このあと⊙を押すと、コマを変更することができます。

7 ◉を押す。
切り出しの開始点が指定され、再生が再開されます。

8 切り出す最後のコマで、◉を押す。
●このあと⊙を押すと、コマを変更することができます。

9 ⊘（完了）を押す。
切り出した動画が保存され、一時停止中の画面に戻ります。

動画の一部を消去する

指定したコマから前または後ろの部分を消去して、残った部分を新しい動画として保存します。

メニュー▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認

1 **「4 モーションカメラ（MPEG）データ」または「5 ビデオカメラデータ」を選び、◉を押す。**

■ ビデオカメラデータ選択時：フォルダ選択➡◉

2 **動画を選び、◉を押す。**

動画が再生されます。

3 **再生中に、消去の開始位置で、◉を押す。**

一時停止状態になります。

●このあと⊙を押すと、コマを変更することができます。

4 **（編集）を押す。**

5 **「前部分消去」または「後部分消去」を選び、◉を押す。**

■ 一時停止中の動画の消去：「全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉（操作完了）

注意　動画の最初と最後のコマは、消去の開始位置として指定できないため、「**前部分消去**」／「**後部分消去**」が選択できません。

6 **「1YES」を選び、◉を押す。**

7 **⊙で消去の開始位置となるコマを表示する。**

●前部分消去は、ここで表示したコマから前の動画がすべて消去されます。また、後部分消去は、ここで表示したコマから後の動画がすべて消去されます。

■ 消去の中止：◎（戻る）

8 **◉を押す。**

9 **「1YES」を選び、◉を押す。**

新しい動画として登録されます。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示します。

●表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。

●テロップ表示、編集はムービー写メールモードの動画だけ可能です。

●ビューアポジションでは、テロップは表示されません。

テロップ編集中に着信があると

■ 編集中のデータは保護されています。通話などを終わると、続きから編集できます。

テロップを入力する

テロップは最大10件まで入力できます。また、1件あたり最大全角24文字（半角48文字）、3行まで登録できます。

- テロップを入力したあとは、動画のどの位置に表示するか（表示時間）を指定してください。
- ムービー写メールモードの撮影直後からテロップ編集できます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ ムービー写メールデータ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2「その他編集機能」を選び、◉を押す。

3「テロップ編集」を選び、◉を押す。

4 番号を選び、◉を押す。

- 登録済のテロップの編集：✉（**メニュー**）➡「**2変更**」選択➡◉
- 登録済のテロップの消去：✉（**メニュー**）➡「**3消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉（操作完了）
- 登録済のテロップの全消去：✉（**メニュー**）➡「**4一括消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉（操作完了）

5「1テロップ文字列」を選び、◉を押す。

6 テロップを入力し、◉を押す。

7「2表示時間」を選び、◉を押す。

動画の再生画面が表示されます。

8 ⊙でテロップを流す最初の位置を表示し、✉（開始）を押す。

- ◉を押すたびに、再生／停止します。⊙でコマを変更したり、◉を押すなどして、テロップの位置を指定してください。

すでにテロップが設定されている位置は指定できません。[✉（**開始**）が表示されません。]

9 テロップを流す最後の位置で、✉（終了）を押す。

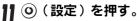
テロップの編集画面が表示されます。

- このあと、テロップの文字を装飾せずに、テロップの入力を終わるときは、操作11へ進みます。

テロップの編集画面

10 テロップを装飾する。

- 文字の装飾：「**3文字装飾**」選択➡◉➡P.6-35
- 文字装飾の解除：「**3文字装飾**」選択➡◉➡「**7装飾取消**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

11 ◎（設定）を押す。

1件のテロップが入力されます。

- 他のテロップを入力するときは、操作4～11をくり返します。
- テロップ入力の終了：◎（**完了**）
- テロップ編集の中止：☎／クリア➡「**1YES**」選択➡◉

テロップを装飾する

入力したテロップは、文字色や背景色を変えたり、文字を点滅させたり、テロップが流れる方向を変えたりすることで、いろいろな装飾効果を楽しめます。

- 1件のテロップに複数の装飾を組み合わせて設定できます。
- 文字色の「**文字指定**」、「**ハイライト**」、「**点滅文字**」の組み合わせは、2種類まで利用できます。
- 「**ハイライト**」と「**スクロール**」は、同時には設定できません。
- 以下の操作は、P.6-34操作10で行います。設定後、操作11を行い、テロップの作成を完了してください。

文字装飾　テロップ入力した文字を装飾します。

文字全体の色を変更する

「1文字色」選択➡◉➡「1全体」選択➡◉➡色選択➡◉

一部の文字色を変更する

「1文字色」選択➡◉➡「2文字指定」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

背景色を変更する

「2テロップ背景色」選択➡◉➡色選択➡◉

文字を強調する

「4ハイライト」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

文字を点滅させる

「5点滅文字」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉

文字サイズを変更する

「6文字サイズ」選択➡◉➡「1中」／「2小」選択➡◉

表示方法設定　テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

表示方向を設定する

「3スクロール」選択➡◉➡「1方向」選択➡◉➡「1左から右」／「2右から左」選択➡◉

効果を設定する

「3スクロール」選択➡◉➡「2効果」選択➡◉➡効果選択➡◉

スクロールイン	画面の外から中へテロップが流れます。
スクロールアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
スクロールイン＆スクロールアウト	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

静止画／動画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接スーパーメールに添付して送信します。
●連写画像を添付するときは、分割画像を含め、で添付する静止画を選んでから操作してください。
●撮影した静止画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.12-9）

1 写メールモードで静止画を撮影する。

■ ビューアポジションの撮影方法：☞P.6-10操作１～5
■ オープンポジション／セルフショットポジションの撮影方法：☞P.6-11操作１～3

6 カメラ機能

2 撮影直後（登録前）の状態で、（写メール）を押す。

静止画が登録されたあと、スーパーメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）
●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞P.6-7）

簡単メール宛先が登録されているとき
●登録されている相手先の一覧が表示されます。送信する相手を選び、を押すと、スーパーメールの作成画面が表示されます。（☞P.3-3）
●簡単メール宛先の登録方法：☞P.3-15
簡単メール宛先に登録されていない相手に送信するとき
「<宛先入力>」を選び、を押します。

3 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞P.3-3操作２以降）

送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

QVGAサイズの静止画を添付する

撮影サイズ「240×320」で撮影した静止画を、そのままのサイズ（実画像）で送信したり、横120×縦160ドットに縮小して送信します。
●相手機種によっては、実画像を受信できないことがあります。

1 写メールモードで静止画を撮影する。

■ ビューアポジションの撮影方法：☞P.6-10操作１～5
■ オープンポジション／セルフショットポジションの撮影方法：☞P.6-11操作１～3

2 （機能）を押す。

3「4メール添付」を選び、◉を押す。

4「1実画像添付」または「3 1/4サイズで添付」を選び、◉を押す。

静止画が登録されたあと、スーパーメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-7）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-36

5 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3操作２以降）

画像を４分割して添付する

撮影サイズ「240×320」で撮影した静止画を、４分割してメール送信します。

●画像分割メールを送信すると、４通分のスーパーメール料金がかかります。

1 写メールモードで静止画を撮影する。

■ ビューアポジションの撮影方法：☞P.6-10操作１～５

■ オープンポジション／セルフショットポジションの撮影方法：☞P.6-11操作１～３

2 ⓟ（機能）を押す。

3「4メール添付」を選び、◉を押す。

4「2画像分割メール添付」を選び、◉を押す。

静止画が登録されたあと、メールの宛先選択画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-7）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-36

5 宛先を選択または入力する。（☞ P.3-4操作３～４）

分割された画像を添付した４通のメールが、送信トレイに保存されます。

送信トレイに保存された４通のメールには、それぞれ「件名」に「画像分割メール左上」「画像分割メール右上」「画像分割メール左下」「画像分割メール右下」が自動的に入力されています。

6 *送信トレイに保存したスーパーメールを送信する*

1「1YES」を選び、◉を押す。

●このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞ P.4-21）

送信トレイへの保存だけを行う

1「2NO」を選び、◉を押す。

デジタルカメラモードで撮影した静止画を添付する

サムネイルを送信したり、横240×縦320ドットに縮小して送信します。

●相手機種がロングメール対応機やスーパーメール対応機であっても、横240×縦320ドットの静止画を受信できないことがあります。

1 デジタルカメラモードで静止画を撮影する。

■ ビューアポジションの撮影方法：☞P.6-10操作1～5

■ オープンポジション／セルフショットポジションの撮影方法：☞P.6-11操作1～3

2 （機能）を押す。

3 「3メール添付」を選び、●を押す。

4 「1サムネイル添付」または「2240×320サイズで添付」を選び、●を押す。

静止画が登録されたあと、スーパーメールの作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●デジタルカメラフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-7）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-36

5 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3操作2以降）

補足　送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。
相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

撮影した動画を添付する

ムービー写メールモードで撮影した動画を、直接メールに添付して送信します。

●撮影した動画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.12-9）

●相手機種がスーパーメール対応機であっても、動画を受信できないことがあります。

1 ムービー写メールモードで動画を撮影する。

■ 動画の撮影方法：☞P.6-20操作1～P.6-21操作6 1

2 撮影直後（登録前）の状態で、（写メール）を押す。

動画がデータフォルダに登録されたあと、スーパーメールの作成画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-7）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.6-36

3 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3操作2以降）

●スーパーメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
●ムービー写メールで撮影した動画は、MPEG-4 対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

●モーションカメラ（MPEG）モードで撮影した動画は、切り出し（☞P.6-31）を行うと、スーパーメールに添付して送信できます。（MPEG-4対応機限定）
●相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V501SHのデジタルカメラモードで撮影したメモリカード内の静止画の中から、プリントする静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

●ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
●操作中にメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除したあとやり直してください。
●プリント時の操作など、詳しくはプリントする機器の操作説明書を参照してください。

プリントする静止画と枚数を指定する

●メモリカード内のすべての静止画（DCF 形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.6-40）

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

1 フォルダを選び、◉を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 ◈で静止画を選び、✉（枚数）を押す。

3 プリント枚数（01〜99枚）を入力し、◉を押す。

●最大99枚まで指定できます。

■ 指定の解除：「00」入力➡◉

4 操作２〜３をくり返し、静止画と枚数を指定する。

5 ◎（完了）を押す。

プリントが指定されます。

6 プリント指定が終われば、◎（完了）を押す。

- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は、V501SHでは変更できません。
- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定(DPOF)がある場合に、V501SHで新しくプリント指定を行ったときは、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコンなどでメモリカード内の画像を削除したり名前を変更すると、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞下記）を行ったあとプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

枚数一括指定

デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定できます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF） ➡ DCIM

「1枚数一括指定」選択➡◉➡プリント枚数（01〜99枚）入力➡◉

- 最大99枚まで指定できます。

■ 枚数一括指定の解除：「2枚数一括解除」選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

日付付加指定

デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF（付けない）

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF） ➡ DCIM ➡ 日付付加指定

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

インデックスプリント指定

静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが、必要かどうかを設定します。

お買い上げ時OFF（不要）

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF） ➡ DCIM ➡ インデックスプリント指定

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

指定状況確認

印刷画像数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF） ➡ DCIM

「5指定状況確認」選択➡◉

ポストカード／カレンダー作成

デジタルカメラモードで撮影した静止画に、文字やカレンダースタンプを貼り付けて、オリジナルのポストカードやカレンダーを作成します。

- 作成したポストカード／カレンダーは、新しい画像として、デジタルカメラフォルダに登録されます。（登録後の操作は、デジタルカメラモードで撮影した静止画と同様です。）
- ポストカードメーカーで作成した画像は、再圧縮されるため、画質が変わることがあります。

ポストカードを作成する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ デジタルカメラデータ ➡ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。

- 静止画を選び、✉（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作3へ進みます。

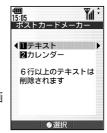
■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

4 「1テキスト」を選び、◉を押す。

5 文字を入力し、◉を押す。

- 最大全角100文字（全角20文字×５行）まで、入力できます。
- 動く絵文字を利用しても、ポストカードメーカーで作成した画像では動きません。

6 文字色の種類を選び、◉を押す。

■ 文字を縁取らない：「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

7 文字サイズを選び、◉を押す。

テキスト貼付位置が枠で表示されます。

8 ◎で貼付位置を選び、◉を押す。

画像確認画面が表示されます。

9 ◉を押す。

10 「1本体」または「2メモリカード」を選び、◉を押す。

ポストカードを登録すると、サムネイル（☞P.6-9）も同時に登録されます。

6 カメラ機能

カレンダーを作成する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ デジタルカメラデータ ➡ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。

●静止画を選び、（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作3へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 （メニュー）を押す。

3「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

4「2カレンダー」を選び、◉を押す。

5「1 1ヶ月（小）」または「2 2ヶ月」を選び、◉を押す。

現在月が表示されます。

6 カレンダーの表示月を入力し、◉を押す。

カレンダー表示位置が枠で表示されます。

7 で貼付位置を選び、◉を押す。

画像確認画面が表示されます。

8 ◉を押す。

9「1 本体」または「2 メモリカード」を選び、◉を押す。

6 カメラ機能

補足

●カレンダーの曜日色は、カレンダー表示形式の「曜日色設定」（☞P.7-4）の内容が反映されます。

●カレンダーを登録すると、サムネイル（☞P.6-9）も同時に登録されます。

ディスプレイ設定

壁紙設定

あらかじめ登録されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用します。

- 「オリジナル」を選ぶと、最大4枚まで壁紙を設定できます。複数の壁紙を設定すると、２時間ごとに表示が切り替わります。（表示が切り替わる間隔も変更できます。）
- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できないことがあります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ 壁紙設定

1 *内蔵画像を利用する*

1「1内蔵画像」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

オリジナル画像を利用する

1「2オリジナル」を選び、◉を押す。

■ 複数の壁紙設定時の表示時間の変更：✉（メニュー）▶「3切替時間設定」選択▶◉▶切替時間（01〜24時間ごと）入力▶◉

2「1」を選び、◉を押す。

■ 登録済の画像の消去：番号選択▶✉（メニュー）▶「2消去」選択▶◉▶「1YES」選択▶◉
（「2」〜「4」に壁紙が設定されているときは、「1」の画像は消去できません。）

3 データフォルダ（☞P.12-8）から画像を選び、◉を押す。

表示方法の選択画面が表示されます。利用する画像のサイズによっては、選んだ画像が表示されます。このときは、操作5へ進みます。

4 表示方法を選び、◉を押す。

センタリング表示	そのままのサイズで画面中央に表示
並べて表示	そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示
全画面表示	画面サイズいっぱいに拡大表示
拡大表示	縦横どちらかが、画面サイズになるまで拡大表示

5 ◉を押す。

すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ボーダフォンライブ！などから直接壁紙に設定していたときは、画像は消去されます。）

- 複数の壁紙を設定するときは、操作2〜5をくり返します。
  - ■操作2では、「2」〜「4」の番号を選んでください。

6 設定を終わるときは、◎（完了）を押す。

壁紙を解除する

1「4OFF」を選び、◉を押す。

カスタムスクリーン設定時に壁紙を設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
壁紙をカスタムスクリーンに戻すときは、P.7-2操作１で次の操作を行います。
「3カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

- ボーダフォンライブ！やデータフォルダから、画像を壁紙に設定することもできます。
- Vアプリ待受を設定しているときは、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を設定すると、「OFF」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
- カレンダー（☞P.7-4）を「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」にすると、壁紙は表示されません。
- アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。また、カレンダー（☞P.7-4）を「**1ヶ月表示（大）**」～「**6ヶ月表示**」にしているときのアニメーションは「**時計小1**」で表示されます。

時計／カレンダー表示設定

待受画面に表示される時計／カレンダーの表示形式を設定します。

時計の表示形式を設定する

- お買い上げ時には、「**時計大1**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 時計表示設定

1 「1時計大1」～「4時計小2」のいずれかを選び、◉を押す。

時計の非表示：「6OFF」選択➡◉

「6OFF」を選ぶと、カレンダー（☞P.7-4）も表示されなくなります。

カレンダーの表示形式を設定する

1ヶ月表示（「**スタンプ表示（大）**」、「**スタンプ+スケジュール表示**」、「**大**」、「**小**」）2ヶ月／4ヶ月／6ヶ月表示の7種類から選べます。

- 「**スタンプ表示（大）**」を選ぶと、1ヶ月表示（大）のカレンダーに、スケジュールで登録したスタンプを表示できます。また、「**スタンプ＋スケジュール表示**」を選ぶと、スケジュール内容もあわせて表示できます。
- 「**1ヶ月表示（小）**」、「**2ヶ月表示**」は、表示位置を変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 時計表示設定

1 「5カレンダー」を選び、◉を押す。

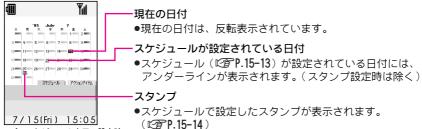
■ カレンダーの非表示：「6OFF」選択➡◉

「6OFF」を選ぶと、時計（☞P.7-3）も表示されなくなります。

2 「1スタンプ表示（大）」～「7 6ヶ月表示」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 「4 1ヶ月表示（小）」、「5 2ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡◉

■ カレンダー曜日色の設定：「8曜日色設定」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉

カレンダーの見かた

「スタンプ+スケジュール表示」設定時

- ⓢを押すと前の月のカレンダーが、ⓖを押すと次の月のカレンダーが表示されます。ⓢⓖを押し続けると、表示される月が連続して変わります。
  （「**2ヶ月表示**」はひと月ずつ順に、「**4ヶ月表示**」、「**6ヶ月表示**」はふた月ずつ順に送られます。）クリアを押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
- カレンダー表示中にPWRを押し一時的にカレンダー表示を消すと、ⓢ（ユーザーショートカット）やⓖ（着信履歴の確認）を行うことができます。
  このあとカレンダー表示に戻るときは、再度PWRを押します。

- 壁紙を設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ＋スケジュール表示**」に設定しているときは壁紙は、表示されません。
- 壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
- Vアプリ待受を設定しているときは、カレンダーが表示されないことがあります。

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中に、モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを表示します。
●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ マイキャラクタ

1 **表示場面を選び、◉を押す。**

2 **「1キャラクタ１」、「2キャラクタ２」、「3オリジナル」のいずれかを選び、◉を押す。**

●「1キャラクタ１」または「2キャラクタ２」を選んだときは、このあと操作５へ進みます。
■ マイキャラクタ設定の解除：「5OFF」選択➡◉（操作完了）
■ オリジナル選択時の画像の変更：✉（変更）

3 **データフォルダ（☞P.12-8）から画像を選び、◉を押す。**

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。

パワー ON	横240×縦260ドット	着信	横240×縦80ドット
パワー OFF	横240×縦260ドット	アラーム	横240×縦100ドット

●利用できない画像は表示されません。また、「3着信」または「4アラーム」のときは、E-アニメータ／MNGファイルの画像は利用できません。

4 **✣で画像の表示範囲を指定する。**

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。
■ 画像の変更：クリア➡操作３からやり直す

5 **◉を押す。**

マイキャラクタが設定されます。
●すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ボーダフォンライブ！などから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。）

カスタムスクリーン設定時にマイキャラクタを設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
マイキャラクタをカスタムスクリーンに戻すときは、操作２で次の操作を行います。
「4カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

●マイキャラクタの「3着信」を「3オリジナル」に設定している場合に、アドレス帳のピクチャーコール／メールを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効になります。
●着信パターンをアニメ付着信音に設定しているときは、マイキャラクタの設定は無効になります。

インデックスメニュー設定

インデックスメニューやオススメメニューの表示方法（3D／2D）を設定します。

- モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像を背景にしたり、アイコンの形状や表示／非表示を設定して、オリジナルメニューを作成することもできます。
- お買い上げ時には、「3Dパターン１」に設定されています。

内蔵メニューを利用する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ インデックスメニュー設定

1 「1 3Dパターン１」、「2 3Dパターン２」、「3 2Dパターン」のいずれかを選び、◉を押す。

オリジナルメニューを作成する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ インデックスメニュー設定

1 「4 オリジナル」を選び、◉を押す。

2 「1 インデックス」または「2 オススメ」を選び、◉を押す。

3 「1 背景」、「2 アイコン」、「3 アイコン名」のいずれかを選び、◉を押す。

- 設定できる内容は次のとおりです。

背景	メニューの背景画像や表示／非表示を設定します。
アイコン	アイコンの形状や表示／非表示を設定します。
アイコン名	アイコン名の表示／非表示を設定します。

4 *背景画像を設定する*

1 「1 固定背景」または「2 データフォルダ」を選び、◉を押す。
- 「1 固定背景」を選んだときは、このあと操作５へ進みます。
- ■ 背景画像を表示しない：「3 OFF」選択➡◉➡操作５へ

2 データフォルダ（☞P.12-8）から画像を選び、◉を押す。
- ■ 画像の変更：✉（変更）➡画像選択➡◉

3 ◉を押す。

アイコンを設定する

1 「1 アイコン１」または「2 アイコン２」を選び、◉を押す。
- ■ アイコンを表示しない：「3 OFF」選択➡◉➡操作５へ

アイコン名の表示／非表示を設定する

1 「1 ON」または「2 OFF」を選び、◉を押す。

5 ◉を押す。

- 他の項目を設定するときは、操作３～５をくり返します。

6 ◎（完了）を押す。

カスタムスクリーン設定時にインデックスメニューの内容を設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
インデックスメニューをカスタムスクリーンに戻すときは、P.7-6操作１で次の操作を行います。
「5カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

文字サイズ（フォント）変更

画面に表示される文字の大きさ、太さ、書体を変更します。
- 文字の大きさは、メニュー／リスト表示や文字入力時、メール、ウェブ、それぞれ別に指定できます。（太さや書体は、共通です。）
- 書体の変更は、漢字以外の文字（ひらがな、カタカナ、英字など）に対して有効です。
- お買い上げ時には、大きさは「**中**」、太さは「**ふつう**」、書体は「**通常**」に、設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ 文字表示設定

1 ***大きさを設定する***

1「1文字サイズ設定」を選び、◉を押す。
2「1メニュー／リスト表示中」～「4ウェブ閲覧中」のいずれかを選び、◉を押す。
3 文字サイズを選び、◉を押す。

太さを設定する

1「2文字太さ設定」を選び、◉を押す。
2「1極細」～「4太い」のいずれかを選び、◉を押す。

書体を設定する

1「3書体設定」を選び、◉を押す。
2「1通常」または「2ポップ」を選び、◉を押す。

ワンタッチで文字を大きくする（でか文字モード）

■ 待受中に、次の操作を行います。
（１秒以上）
- でか文字モードが設定され、以降各画面での文字サイズが次のようになります。（文字の太さや書体は変わりません。）

メニュー表示中	大	メール本文表示中	極大
文字入力中	大	ウェブ閲覧中	極大

- でか文字モードを解除するときは、待受画面でを長く（１秒以上）押します。
  - ■ でか文字モードを設定する前の文字サイズに戻ります。ただし、でか文字モード設定中に文字サイズを一部変更していたときは、変更後のサイズで表示されます。
  - ■ でか文字モード設定中に文字サイズをすべて変更したときは、その時点ででか文字モードは解除されます。（変更後のサイズで表示されます。）

7 ディスプレイ設定

文字入力中に文字サイズを変更する

■ 文字入力中に、次の操作を行います。

(メニュー)➡「**文字サイズ設定**」選択➡◉➡「**1小**」／「**2中**」／「**3大**」選択➡◉

●文字入力を終了しても、次回文字入力時には、変更した文字サイズで表示されます。

●Vアプリ、E-アニメータ、SMAFファイルなど、あらかじめ各ファイルに設定されている文字の大きさ、太さ、書体は変更できません。
●電子ブックの書体は変更できません。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

カスタムスクリーン設定

カスタムスクリーンについて

V501SHの各画面表示や着信音を、キャラクターなどの統一イメージに一括して変更することができます。

●設定に必要なデータ（カスタムスクリーン）は、パソコンを使ってインターネットからダウンロードしたり、V501SHのVアプリ「**カスタムスクリーンギャラリー**」を起動してダウンロードします。
また、同梱のメモリカードには、カスタムスクリーン（有料のものと無料のものがあります）が数種類保存されています。
●カスタムスクリーンには、有料のものがあります。有料のときは、カスタムスクリーンキーをダウンロードすることで、カスタムスクリーンが利用できるようになります。（☞P.7-9）
カスタムスクリーンキーには、有効期限が設定されているものもあります。
●設定までの流れは次のとおりです。

カスタムスクリーンをダウンロードし、メモリカードに保存する（☞P.7-9）
●パソコンでダウンロードしたときは、保存したメモリカードをV501SHに取り付けます。（☞P.11-3）

V501SHでカスタムスクリーンキーを購入する（有料データだけ：☞P.7-9）

V501SHでカスタムスクリーンを設定する（☞P.7-10）

ご利用にあたっては、カスタムスクリーンの提供サイトの情報（カスタムスクリーンの料金や有効期限などの詳細）を必ずご確認ください。

内蔵のカスタムスクリーン（Disney Retro Summer）は、V501SHでカスタムスクリーンを設定するだけで利用できます。

カスタムスクリーンを入手する

カスタムスクリーンは、パソコンを使ってインターネットからダウンロードしたり、V501SHのVアプリ「**カスタムスクリーンギャラリー**」を起動してダウンロードします。

●同梱またはV501SHでフォーマットしたメモリカードが必要です。

1 カスタムスクリーンの提供サイトから、カスタムスクリーンをダウンロードする。

●必ず、提供サイトの情報をご確認ください。

2 ダウンロードしたカスタムスクリーンを、メモリカードに保存する。

●パソコンでダウンロードしたときは、次のフォルダに保存してください。また、ファイル名などは変更しないでください。

■PRIVATE/SDJPHONE/SH_ﾌｫﾙﾀﾞ/ｶｽﾀﾑｽｸﾘｰﾝ

カスタムスクリーンキーを購入する

カスタムスクリーンが保存されているメモリカードをV501SHに取り付けた状態で（☞P.11-3）、次の操作を行いカスタムスクリーンキー（有料）をダウンロードしてください。

●ダウンロード中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください。

●カスタムスクリーンキーのダウンロードはウェブを利用します。電波の届く場所で操作してください。

●カスタムスクリーンキーの料金や有効期限などについては、カスタムスクリーンの提供サイトでご確認ください。

メニュー ▶ オススメ（◎）

1 「カスタムスクリーン」を選び、●を押す。

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。

●カスタムスクリーンの種類とアイコンの意味は次のとおりです。

種類	アイコン
有料カスタムスクリーン	カスタムスクリーンキーダウンロード済：
	カスタムスクリーンキー未ダウンロード：
無料カスタムスクリーン	

●V501SHに取り付けられているメモリカード内にカスタムスクリーンがあるときは「」、ないときは「」が、上記の種類を示すアイコンと並んで表示されます。

■ カスタムスクリーンの情報確認：カスタムスクリーン選択➡⊘（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡●

2 **カスタムスクリーンキーをダウンロードするカスタムスクリーンを選び、◉を押す。**

●「🔒」のアイコンがついているカスタムスクリーンを選んでください。

15:05
キーダウンロード（1/3）
このコンテンツを
ご利用いただくため
には有料のカスタムスクリーン
キーが必要です。
キー代金のほかに別途
通信料がかかります。
▼次のページへ

3 **⊙を２回押し､「カスタムスクリーンキーダウンロード（3/3）」の画面を表示する。**

4 **◎（YES）を押す。**

ウェブに接続され、カスタムスクリーンキーダウンロードの画面が表示されます。

●カスタムスクリーンキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。

- ■カスタムスクリーンキーの料金
- ■お支払方法
- ■利用規約
- ■カスタムスクリーンキーに関するお問い合わせ先

■ 操作の中止：✉（NO）

5 **利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、カスタムスクリーンキーをダウンロードする。**

6 **ダウンロード完了後、「1YES」を選び、◉を押す。**

カスタムスクリーンが設定されたあと、待受画面に戻ります。

カスタムスクリーンを設定する

無料またはカスタムスクリーンキーダウンロード済のカスタムスクリーンを設定します。

●カスタムスクリーン設定中（操作３のあと待受画面に戻るまで）は、絶対に☎を押さないでください。設定が途中で中断し、カスタムスクリーンの一部だけが設定された状態になります。

●カスタムスクリーンが保存されているメモリカードを､V501SHに取り付けておいてください。（☞P.11-3）
内蔵のカスタムスクリーン（Disney）を利用するときは、メモリカードを取り付ける必要はありません。

メニュー ▶ **オススメ（◎）**

1 **「カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。**

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。（☞P.7-9）

■ カスタムスクリーンの解除：設定中のカスタムスクリーン選択 ➡✉（**メニュー**）➡「**カスタムスクリーン解除**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ カスタムスクリーンの確認：カスタムスクリーン選択➡✉（**メニュー**）➡「**プレビュー表示**」選択➡◉

- ■確認の終了：上記操作のあと◎（**戻る**）
- ■カスタムスクリーンに設定：上記操作のあと◉➡操作３へ

2 **カスタムスクリーンを選び、◉を押す。**

●「🔓」または「FREE」のアイコンがついているカスタムスクリーンを選んでください。

3 **「1YES」を選び、◉を押す。**

カスタムスクリーンが設定されたあと、待受画面に戻ります。

設定中のカスタムスクリーンの有効期限が切れると

■ 待受画面またはインフォメーションメニューに有効期限切れのメッセージが表示され、カスタムスクリーンが自動的に解除されます。

補足 カスタムスクリーンを設定したあと、メモリカードを取り外したり、他のメモリカードを取り付けても、カスタムスクリーンは解除されません。

カスタムスクリーンの消去 カスタムスクリーンやカスタムスクリーンキーを消去します。

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡●➡「カスタムスクリーン」／「カスタムスクリーンキー」／「両方」選択➡●➡「1YES」選択➡●

●「両方」を選んだときは、カスタムスクリーンとカスタムスクリーンキーの両方を消去します。

WEBアクセス カスタムスクリーン提供先のサイトに接続します。

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択➡（メニュー）➡「WEBアクセス」選択➡●

画面パターン設定

メニューやリスト画面の背景パターン、電池レベル／電波状態表示のアイコンを変更したり、フレームやウィンドウの形状を変えるなど、画面表示をアレンジできます。

●変更できる内容とお買い上げ時の設定は次のとおりです。

設定項目	内容	お買い上げ時の設定
マーク待受け表示	壁紙設定時の待受画面にアイコンを表示するかどうかを設定します。	ON
電池レベル	画面上部の電池レベル表示を設定します。	アイコン1
電波状態	画面上部の電波状態表示を設定します。	アイコン1
背景パターン	メニュー画面やリスト画面などの背景パターンを設定します。	背景1
フレーム	メニュー項目などの枠を設定します。	フレーム1
ボタンマーク	メニュー項目の行頭に表示されるアイコンを設定します。	ボタンマーク1
カーソル	メニュー項目選択時の色帯を設定します。	カーソル1
ガイドボタン	画面下部のソフトキーを設定します。	ガイドボタン1
タイトル&ステータス色	メニュー画面やリスト画面のタイトル行の色を設定します。	パターン1
フロートウインドウ	エラーメッセージなどの表示ウインドウの色を設定します。	パターン1
プルアップメニュー	各操作画面で表示されるメニュー画面の色を設定します。	パターン1

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面パターン設定

1 設定項目を選び、◉を押す。

2 選択項目を選び、◉を押す。

●他の項目を設定するときは、操作１～２をくり返します。

カスタムスクリーン設定時に各項目の内容を設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
各設定項目をカスタムスクリーンに戻すときは、操作２で次の操作を行います。
「カスタムスクリーン」選択➡◉
■「タイトル&ステータス色」、「フロートウインドウ」、「プルアップメニュー」、「フレーム」、「ガイドボタン」では、この操作でカスタムスクリーンに戻すことはできません。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

画面やボタンの照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。

●１日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
このときは、あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-28）

●お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ 照明設定

1 ***画面の照明を設定する***

1「1パネル照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

ボタンの照明を設定する

1「2キー照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

2 ***点灯時間を変更する***

1「1ON」を選び、◉を押す。

2 点灯時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。

点灯時間が設定されます。

点灯しないようにする

1「2OFF」を選び、◉を押す。

●「OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定する

1「3点灯時間帯」を選び、◉を押す。

2 開始時刻と終了時刻（各４ケタ）を入力し、◉を押す。

開始時刻から終了時刻までの間、パネル照明とキー照明が点灯します。

3 点灯時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。

●時刻を設定していないときは、点灯時間帯の設定は反映されません。
●ビューアポジションでは、キー照明は点灯しません。
●パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネル明るさ調整 画面の照明の明るさを調整します。（４段階）

お買い上げ時 明るさ4

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 照明設定 ➡ パネル明るさ調整

◎（明るくする）／◎（暗くする）➡◉

車載時設定 シガーライター充電器で充電するとき、画面やボタンの照明を点灯するようにします。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 照明設定 ➡ 車載時設定

「1ON」選択➡◉

■ 車載時設定の解除：「2OFF」選択➡◉

サブディスプレイ設定

サブディスプレイのON／OFF サブディスプレイのON（表示する）／OFF（表示しない）を設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サブディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイON/OFF

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

照明設定 サブディスプレイ照明の点灯時間や点灯する時間帯を設定します。

■「サブディスプレイON／OFF」を「ON」にしているときに設定できます。

お買い上げ時 点灯時間：15秒、点灯時間帯：17:00～6:00

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サブディスプレイ設定 ➡ 照明設定

点灯時間を設定する

「1ON」選択➡◉➡点灯時間（01～99秒）入力➡◉

■ 点灯しないようにするとき：「2OFF」選択➡◉

- 他のポジションからクローズポジションにしたときのサブディスプレイ照明の点灯時間は、設定した時間（秒）にかかわらず最長で３秒間です。「１秒」または「２秒」にしたときは、設定した秒数だけ点灯します。

点灯時間帯を設定する

「3点灯時間帯」選択➡◉➡開始時刻（４ケタ）入力➡終了時刻（４ケタ）入力➡◉➡点灯時間（01～99秒）入力➡◉

- 開始時刻と終了時刻までの間、サブディスプレイ照明が点灯します。

液晶濃度調整	サブディスプレイの液晶濃度を、調整します。（９段階）

■「サブディスプレイON／OFF」を「ON」にしているときに設定できます。

お買い上げ時 濃度５

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サブディスプレイ設定 ➡ 濃度調整

（濃くする）／（淡くする）➡◉

相手表示設定	着信時に相手の電話番号（名前）を表示するかどうかを設定します。

■「サブディスプレイON／OFF」を「ON」にしているときに設定できます。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サブディスプレイ設定 ➡ 相手先表示設定

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

その他のディスプレイ関連機能

日本語／英語切替（Language）	画面の表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 日本語

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ Language

「1日本語」／「2English」選択➡◉

ウェイクアップ	電源を入れたときに、画面にメッセージを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ ウェイクアップ

「1ON」選択➡◉➡内容入力➡◉

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

■ ウェイクアップの解除：「2OFF」選択➡◉

ビューア時表示方向

ビューアポジションでの縦方向の画面表示を、180度回転させたり、V501SHを持つ方向によって自動的に切り替わるようにできます。

■お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。

お買い上げ時 表示方向１

メニュー ▶ **ファンクション** ➡ **表示／設定２** ➡ **画面表示設定** ➡ **ビューア時表示方向**

「1表示方向１」／「2表示方向２」／「3自動切替」選択➡◉

● 各設定内容は次のとおりです。

表示方向１	オープンポジションと同じ向きにします。
表示方向２	オープンポジションから180度回転した向きにします。
自動切替	V501SHを持つ方向によって、画面の表示方向が上向きになるように、自動的に切り替えます。

● オープンポジションでも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。

●「**自動切替**」にしているとき、以下のような環境では、正常に動作しないことがあります。
- ■電車や地下鉄、自動車などへの乗車中
- ■金属製品（金属製の机や棚など）の近く
- ■鉄などで遮断された屋内
- ■エレベーター内およびエレベーターの近く
- ■磁気の強いもの（☞P.1-14）の近く

●次のときは、「**2表示方向２**」／「**3自動切替**」にしても、切り替わりません。
- ■モバイルカメラ撮影時 ■動画再生中 ■着信中 ■通話中 ■発信中
- ■通話終了後、通話関連画面表示中

●「**自動切替**」にすると、「**ビューア時設定**」（☞P.15-23）はお買い上げ時の状態に戻ります。

ダイヤル表示設定

電話番号入力中などに、電話番号をアニメーションで表示するように設定します。

お買い上げ時 2D

メニュー ▶ **ファンクション** ➡ **表示／設定２** ➡ **画面表示設定** ➡ **ダイヤル表示設定**

「1３D」／「2２D」選択➡◉

背景アニメ設定

インデックスメニューの９つの項目のいずれかを選んだときに、アニメーションを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ **ファンクション** ➡ **表示／設定２** ➡ **アニメーション設定** ➡ **背景アニメ**

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

● メモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、背景アニメが表示されないことがあります。

スクリーンアニメ設定

操作しない状態（クローズポジション除く）で一定時間（スクリーンアニメ起動時間）以上経過したとき、アニメーションを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ アニメーション設定 ▶ スクリーンアニメ

内蔵アニメーションを利用する

「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「1ラバーダンス」／「2Box Man」選択➡◉➡◉

ボーダフォンライブ！などで入手したアニメーションを利用する

「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「3オリジナル」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

スクリーンアニメ起動時間を設定する

「1ON」選択➡◉➡「2起動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

スクリーンアニメを解除する

「2OFF」選択➡◉

- スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）だけです。
- スクリーンアニメ表示中に何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。
- 待受画面やモバイルカメラ起動中など V501SH の動作状態や操作内容によっては、スクリーンアニメが表示されないことがあります。

スクリーンアニメを「ON」にすると、「OFF」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

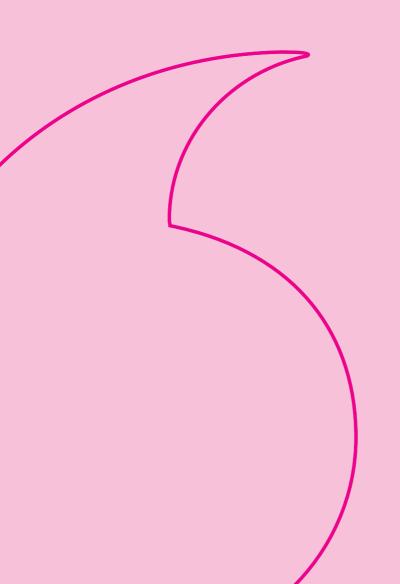
ボーダフォンライブ！アニメ設定

メール送受信時や情報受信時にアニメーションを表示するかどうかを、表示場面ごとに設定します。

お買い上げ時 すべてON

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ アニメーション設定 ▶ ボーダフォンライブ！アニメ

「1メール送信」〜「5ステーション受信」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

- カスタムスクリーン設定時には、カスタムスクリーンのアニメーションが表示されます。（内蔵のアニメーションを表示することはできません。）

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、ランプの色や点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。着信の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	パターン5	効果音 レポート
着信音量	音量5	音量5	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定	OFF					
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト				
モバイルライトカラーパターン	マスカット（緑色系統）	—				
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1					
着信呼出時間	—	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

●「**受信完了通知**」とは、次のようなときの動作です。
- ■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
- ■メールサーバーのメッセージを消去したとき
- ■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき

●「**配信確認**」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。
●設定した内容は、電源を切っても保持されます。
●マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。

着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 着信設定 ▶ 着信の種類を選ぶ ▶ 着信音量

1 ◎で音量を選ぶ。

●「**音量5**」が最大です。「**ステップ**」にすると、約3秒ごとに、「**音量1**」～「**音量5**」の順に段々と音が大きくなります。

■ 音量の確認：◎（♪**再生**）
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

2 ◉を押す。

通常着信を「**ステップ**」にすると「▣」が、「**サイレント**」にすると「▣」が待受画面に表示されます。

着信パターンを設定する

あらかじめ登録されているパターンやメロディの他に、オリジナル着信音、着うた®、ボイスファイルなどから選べます。

●あらかじめ登録されているメロディは、V501SHの画面表示でご確認ください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ 着信パターン

1 *あらかじめ登録されているパターンやメロディを利用する*

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、●を押す。

データフォルダに登録したメロディを利用する

1「3データフォルダ（メロディ）」を選び、●を押す。

●V501SHには、あらかじめ「**涙そうそう**」が登録されています。

許諾番号：T-0560014 JASRAC

データフォルダに登録した着うた®を利用する

1「4データフォルダ（オーディオ）」を選び、●を押す。

ボイスフォルダに登録したボイスファイルを利用する

1「5ボイスフォルダ」を選び、●を押す。

●メモリカード内のサウンドは、着信パターンに設定できません。
●着うた®、ボイスファイルは、「**受信完了通知**」には利用できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるファイルは、着信パターンに設定できません。
●メロディやサウンドなどのデータ内容によっては、着信音として利用できないことがあります。

2 メロディやサウンドなどを選ぶ。

■ 固定パターン／固定メロディの確認：◎（♪**再生**）
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

■ データフォルダ／ボイスフォルダ内のファイルの再生：◎（**メニュー**）➡「**再生**」選択➡●
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）
- ■マナーモード設定中や、着信音量を「**サイレント**」または「**ステップ**」に設定してるときでも、「**音量1**」で再生されます。

バイブ設定（☞P.8-4）を「**SMAF連動**」にしているときにメロディを再生すると、メロディ内のバイブレータが動作することがあります。

3 ●を押す。

カスタムスクリーン設定時に着信パターンを設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
着信パターンをカスタムスクリーンに戻すときは、操作1で次の操作を行います。
「6カスタムスクリーン」選択➡●

着信パターンに設定したデータフォルダ内のファイルを消去したり、ファイル名を変更すると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

着信をバイブレータでお知らせする

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ バイブ設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。

- バイブレータの解除：「2OFF」選択➡◉
- SMAF連動の設定：「3SMAF連動」選択➡◉

- 通常着信のバイブ設定を「ON」にすると「V」（緑色）が、「SMAF連動」にすると「V」（黄色）が待受時に表示されます。
- 「3SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
  バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

- バイブ設定を「ON」にしている場合、V501SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「OFF」にすることをおすすめします。
- マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。

バイブパターンを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ バイブパターン

1 バイブパターンを選び、◉を押す。

バイブパターン	動作
バイブ1	「0.75秒振動→0.75秒停止」のくり返し
バイブ2	「0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止」のくり返し
バイブ3	「1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ4	「1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ5	「0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止」のくり返し

モバイルライト／スモールライトを設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 着信設定 ▶ 着信の種類を選ぶ ▶ ランプ設定

1 *モバイルライトを設定する*

1「1モバイルライト」を選び、◉を押す。

2カラーパターンを選び、◉を押す。

スモールライトを設定する

1「2スモールライト」を選び、◉を押す。

●スモールライトは、固定色（緑色）です。

点滅しないようにする

1「3OFF」を選び、◉を押す。

●各着信設定画面に戻ります。（操作完了）

2 点滅パターンを選ぶ。

■ 点滅パターンの確認：◎（点灯）

■点滅の停止：上記操作のあと、点滅中に◎（停止）

点滅パターン	動作
パターン1	「0.75秒点灯→0.75秒消灯」のくり返し
パターン2	「0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯」のくり返し
パターン3	「1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン4	「1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン5	「0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯」のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動（モバイルライトで設定可能）

「6SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。

3 ◉を押す。

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 着信設定

1 着信の種類（「1通常着信」以外）を選び、◉を押す。

2「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。

3 呼出し時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。

効果音設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定	ショートカット認識音
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト	ON
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1			―
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5			音量中
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒			―

●「**パワー ON**」は電源を入れたとき、「**パワー OFF**」は電源を切ったときを意味します。
●「**サウンド再生音量**」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
●「**サウンドランプ設定**」はサウンドを再生したときのランプの点灯方法を意味します。ただし、着うた®などのオーディオファイルはランプ表示されません。
●「**ショートカット認識音**」は、モーションコントロールショートカット（☞P.15-29）を利用中、モーションパターンのそれぞれの動作が正しく認識されたときの音を意味します。
●設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

効果音のパターンを設定する

●操作音は鳴らないようにすることができます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 効果音設定

1「1ボタン確認音」、「2エラー音」、「3パワー ON」、「4パワー OFF」、「7ショートカット認識音」のいずれかを選び、◉を押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。
■ 効果音なし：「2OFF」選択➡◉（操作完了）
■ ショートカット認識音選択時：◎（音量選択）➡◉（操作完了）

3「1サウンド選択」を選び、◉を押す。

4 *あらかじめ登録されているパターンやメロディを利用する*
1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したメロディを利用する
1「3データフォルダ（メロディ）」を選び、◉を押す。

●メモリカード内のサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるファイルは、操作音のパターンに設定できません。
●メロディやサウンドなどのデータ内容によっては、操作音として利用できないことがあります。

「ピッ」という音にする（ボタン確認音）
1「4プッシュトーン」を選び、◉を押す。
操作音のパターンが設定されます。（操作完了）

5 メロディやサウンドなどを選ぶ。

- 固定パターン／固定メロディの確認：◎（♪再生）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）
- データフォルダ内のファイルの再生：◎（メニュー）➡「再生」選択➡◉
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

6 ◉を押す。

- 効果音の音量設定：「2サウンド音量」選択➡◉➡◎（音量選択）➡◉
- 効果音の時間設定：「3サウンド時間」選択➡◉➡時間選択（ボタン確認音／エラー音選択時）／時間入力（01〜10秒：パワーON／パワーOFF選択時）➡◉

カスタムスクリーン設定時に効果音を設定すると

■ 設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
効果音をカスタムスクリーンに戻すときは、P.8-6操作4で次の操作を行います。
「4カスタムスクリーン」選択➡◉

操作音に設定したデータフォルダ内のファイルを消去したり、ファイル名を変更すると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

サウンド再生音量／サウンドランプを設定する

サウンド再生音量設定／サウンドランプ設定 サウンド再生時の音量やランプの点灯方法を設定します。

お買い上げ時 ☞P.8-6

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 効果音設定

サウンド再生音量を設定する

「5サウンド再生音量」選択➡◉➡◎（音量選択）➡◉

サウンドランプを設定する

「6サウンドランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡◉（操作完了）

- モバイルライト選択時：上記操作のあと、カラーパターン選択➡◉

「**サウンドランプ設定**」の点滅パターンは固定です。変更することはできません。（モバイルライト選択時：「**SMAF連動**」、スモールライト選択時：「**パターン1**」）

着信用ボイス録音

V501SHで録音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。
●録音できる時間は、最長30秒です。
●録音中に着信があると録音は中止されます。（このとき、途中までの録音内容は消去されます。）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ 着信用ボイス録音

1 タイトルを入力し、◉を押す。
●最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
●入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。

2 ◉を押す。
録音が始まります。

3 録音を終わるときは、◉を押す。
V501SHのボイスフォルダのフォルダ１に登録されます。
●録音可能時間が経過したときは、自動的に録音が終了し、V501SH のボイスフォルダのフォルダ１に登録されます。

録音内容を確認する

■ 操作３のあと、次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡◉
■再生の停止：上記操作のあと、再生中に ◎（**戻る**）

ボイスファイルを着信音に設定する

■ 操作３のあと、次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡✉（**メニュー**）➡「**着信音設定**」**選択**➡◉➡**着信の種類選択**➡◉
●「**受信完了通知**」には、利用できません。

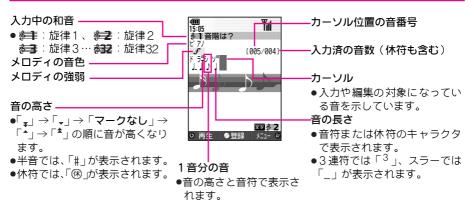
オリジナル着信音

オリジナル着信音について

V501SHでメロディを作り、着信音として利用したり、スーパーメールに添付して送信できます。

- 1曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×８和音のいずれかまで入力できます。
- オリジナル着信音は、データフォルダのメロディフォルダ（☞P.12-3）に登録されます。

- オリジナル着信音はSJM形式で保存されます。オリジナル着信音をシャープ製ボーダフォン ライブ！パケット対応機以外の相手機種に送信するときは、メロディ形式またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。（☞P.3-8）
- 受信側の相手機種によっては、変換したファイルを再生できないことがあります。

ディスプレイ

入力できる音の高さ

約４オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

8

音の設定

入力できる音符／休符

音符	休符	長　さ	音符	休符	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）			全音３連符（休符）
𝅘𝅥𝅮	𝄾	８分音符（休符）			16分３連符（休符）
𝅘𝅥𝅮.	𝄾.	付点８分音符（休符）			８分３連符（休符）
𝅘𝅥	𝄽	４分音符（休符）			４分３連符（休符）
𝅘𝅥.	𝄽.	付点４分音符（休符）			２分３連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）			

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。

- お客様が作成したオリジナル音色を、音色ごとに８種類登録できます。
- それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：☞P.8-22）

作成の流れ

1 オリジナル着信音のタイトルを入力する

- ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 曲のテンポを指定する

- 「**速い**」、「**普通**」、「**やや遅い**」、「**遅い**」のいずれかを選びます。
- テンポの目安は、次のとおりです。（「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

1速い	♩=150	3やや遅い	♩=107
2普通	♩=125	4遅い	♩=94

3 和音数を指定する

- 「**８和音**」、「**16和音**」、「**32和音**」のいずれかを選びます。

4 メロディ（旋律１）を１音ずつ入力する

- 音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。半音や３連符の入力も可能です。（☞P.8-11～P.8-12）
- 入力中に◎（**再生**）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。
  また[スケジュール/メモ]を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（☞P.8-7）と連動します。
  マナーモード設定中でも、◎（**再生**）や[スケジュール/メモ]を押すとメロディが流れます。（マナー設定変更の設定にかかわらず、「**音量１**」で流れます。）
- 入力中に◎（**メニュー**）を押すと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２、旋律３…旋律32）を入力する

- [文字]を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
- 入力方法は、旋律１と同様です。

6 メロディの音色を設定する

- お買い上げ時には、すべての旋律が「**ピアノ**」に設定されています。
- あらかじめ登録されている音色やオリジナル音色（☞P.8-17）から選びます。
- 旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色となります。

7 メロディの強弱を設定する

- お買い上げ時には、すべての旋律が「**強い**」に設定されています。
- 旋律ごとに「**強い**」、「**普通**」、「**弱い**」のいずれかを選びます。

8 入力したメロディを登録する

- すべて入力できれば、登録します。
- 着信パターン（☞P.8-3）で、データフォルダに登録したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

メロディの入力方法

１音ごとに次の手順で入力します。

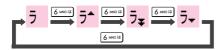
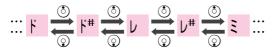
- 旋律１～旋律32とも、同様の操作で入力します。

1 音の高さや休符を指定する

下表のボタンを使用します。

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1 @ あ	2 ABC か	3 DEF さ	4 GHI た	5 JKL な	6 MNO は	7 PQRS ま	0 わをん

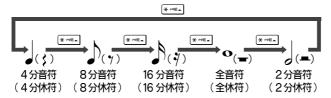
<音の高さの指定>

- 上記のボタンを１回押すと、４分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で１オクターブ上または下の音が順番に選択できます。

- 音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さが変わります。

<休符の入力>

- 0 わをん を押します。「㊡」が表示され、４分休符が入力されます。

8 音の設定

2 音符や休符の種類を指定する

[＊ ﾟ 絵]または[＃ 記号]をくり返し押します。[＃ 記号]を押すと、逆の順に切り替わります。

＜付点付きの音符や3連符の指定＞

●音符を選んだあと、[9 WXYZ]を押します。
付点が利用できるのは、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）です。

●3連符は3つ続けて入力してください。

例）

注意

3つ続いていない3連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、スーパーメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う3連符が入力されているメロディも、スーパーメールに添付できないことがあります。

＜スラーの指定＞

●音符を選んだあと、[8 TUV]を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

■これで、1つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、◎でカーソルを1つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、◎を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。
●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は鳴りません。

8 音の設定

オリジナル着信音を作成する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、オリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.12-45）してから作成してください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ 新規作成

1 タイトルを入力し、◉を押す。

●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。

●入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。

2 テンポ（☞P.8-10）を選び、◉を押す。

3 和音数を選び、◉を押す。

4 音の高さや休符を指定する。（☞P.8-11）

5 音符や休符の種類を指定する。（☞P.8-12）

6 １つの音が入力できれば、◎を押す。

カーソルが１つ右に移動し、次の音が入力できます。

7 操作４～６をくり返し、音を順に入力する。

●このあと◎（**メニュー**）を押すと、操作９「**音色設定**」と操作14「**強弱設定**」をここで行うこともできます。

■ すべての旋律のメロディの再生：◎（**再生**）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

■ 表示中の旋律のメロディを再生（カーソル位置まで）：スケジュール/メモ

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

■ 他の旋律のメロディ入力：文字（押すたびに旋律切替）

8 すべての音が入力できれば、◉を押す。

●音色や強弱を設定しないときは、このあとP.8-14操作19へ進み、作成したオリジナル着信音を登録してください。

■ 入力済のメロディ修正：「**2修正**」選択➡◉➡P.8-15操作４

9 「音色設定」を選び、◉を押す。

10 旋律を選び、◉を押す。

11 ◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

●オリジナル音色を選ぶときは、「**オリジナル（FM）**」または「**オリジナル（WT）**」を選んでください。

■ 音色の確認：◎（**確認**）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

12 ◉を押す。

●他の旋律を設定するときは、操作10～12をくり返します。

■ 作成したメロディ再生：◎（**再生**）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

13 ⓟ（戻る）を押す。

●強弱を設定しないときは、このあと操作19へ進みます。

14「強弱設定」を選び、◉を押す。

15 旋律を選び、◉を押す。

16「1強い」～「3弱い」のいずれかを選ぶ。

メロディの強弱の確認：⊚（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に⊚（停止）

17 ◉を押す。

●他の旋律を設定するときは、操作15～17をくり返します。

設定したメロディの確認：⊚（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に⊚（停止）

18 ⓟ（戻る）を押す。

19「1登録」を選び、◉を押す。

20 ◉を押す。

V501SHのデータフォルダのメロディフォルダに登録されます。

●別のフォルダを選んで登録したり、メモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のオリジナル着信音があるとき、ファイル名には自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

オリジナル着信音作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、オリジナル着信音の画面に戻ります。

スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によっては、聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

多くの旋律に16分音符のような短い音符や３連符を多く入力すると、⊚（再生）を押しても再生できないことがあります。また、◉（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、登録できないことがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、３連符を普通の音符に変更するとエラーを解消できます。

オリジナル着信音を修正する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、修正したオリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.12-45）してから修正してください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ データフォルダ

1 オリジナル着信音を選び、Ⓜ（メニュー）を押す。

●オリジナル着信音には「♫」が表示されています。

■ メモリカード内のオリジナル着信音の修正：Ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2「その他編集機能」を選び、◉を押す。

3「データ編集」を選び、◉を押す。

■ 音色の修正：☞P.8-13操作９～P.8-14操作13（操作完了）

■ 強弱の修正：☞P.8-14操作14～18（操作完了）

4 タイトルを修正し、◉を押す。

5 テンポを選び、◉を押す。

6 和音数を選び、◉を押す。

■ 他の旋律の修正：文字

7 修正する音に、カーソルを移動する。

和音数を変更すると

■ 和音数を変更するときに、データの一部が失われる旨の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行うと、和音数が変更されます。（下記表参照）

「1YES」選択➡◉

■ 変更の中止：「2NO」選択➡◉

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９～16
32和音	８和音	旋律９～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

8 **音を変更する**

1 ◎で音の高さを、＃／＊／8／9の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。（☞P.8-12）

- 1～7で音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加する

1 追加する音を入力する。

カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。

- 入力できる音数（☞P.8-9）を超えると、追加できません。

音を消去する

1 クリアを押す。

カーソル位置の1音が消去されます。

- すべての音を消去するときは、クリアを1秒以上押します。

■ カーソル後／前の連続したメロディの消去：◎（メニュー）➡「6 カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡◉➡◉

コピー／切り取りを行う

1 ◎（メニュー）を押す。

2「3コピー」または「4カット」を選び、◉を押す。

3 コピー／切り取るメロディの最初の音を指定し、◉を押す。

4 コピー／切り取るメロディの最後の音を指定し、◉を押す。

切り取ると、指定したメロディが元の画面から消去されます。

5 貼り付け先を表示する。

- 他のメロディに貼り付けするときは、コピー／貼り付け元の編集を中止するか登録したあと、貼り付け先を表示させてください。

6 ◎（メニュー）を押す。

7「5ペースト」を選び、◉を押す。

8 コピー／貼り付けする位置で、◉を押す。

9 **修正が終われば、◉を押す。**

■ 音色や強弱の修正：☞P.8-13操作9～P.8-14操作18

10 **「1登録」を選び、◉を押す。**

11 **「2上書登録」を選び、◉を押す。**

修正したオリジナル着信音が登録されます。

「1新規登録」を選び◉を押すと、登録先選択画面が表示されます。このあと、登録先（フォルダ）を選び◉を押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登録できます。［ファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。］

オリジナル着信音を消去する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ オリジナル着信音 ➡ データフォルダ

1 オリジナル着信音を選び、Ⓟ（メニュー）を押す。

■ メモリカード内のオリジナル着信音の消去：Ⓟ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2「消去」を選び、◉を押す。

3「1YES」を選び、◉を押す。

オリジナル音色

オリジナル音色について

新しく音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

●８和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれ、８種類まで登録できます。

作成の流れ

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「**アルゴリズム**」、「**オペレータ**」、「**エフェクト周波数**」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。

●あらかじめ登録されている音色、または新しく作成したオリジナル音色を利用します。

●実際に音色を再生しながら、オリジナル音色を作成してください。

●WT音源の音色も作成できます。

1 和音の種類を選ぶ

●「８,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

2 オリジナル音色の登録先を選ぶ

3 オリジナル音色の名前を入力する

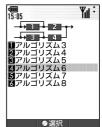
●ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。

●最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 ベースになる音色を選ぶ

●あらかじめ登録されている音色から選びます。

5 アルゴリズムを選ぶ

- 8,16和音は6種類、32和音は2種類のアルゴリズムから選びます。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する

- 8,16和音は4種類、32和音は2種類のオペレータから選びます。
- 選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
- ◎で設定するパラメータを選び、◎で内容を変更できます。
- 設定中に◎（**再生**）を押すと、音色が流れます。

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する

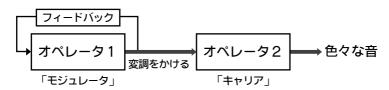
8 音色を登録する

- 設定が完了すれば、登録します。
- 登録したオリジナル音色は、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

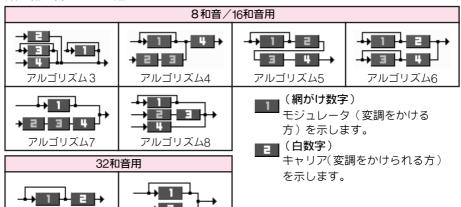
WT音源について

■ 楽器などの音色の波形データを記録したものを読み出して利用する形式の音源です。原音に近い音色を着信音として利用できます。

FM音源

「**オペレータ**」と呼ばれる1つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成します。
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。
オペレータはこのアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

- 各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。
- 特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。8和音／16和音用は6種類、32和音用は2種類の組み合わせから選びます。

●選んだアルゴリズムにより、機能するオペレータが変化します。
●WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。
●和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル （13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータで、キャリアの値が大きいと高い音になります。モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン （ON／OFF）	1音符の発音長（1つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系などで余韻を残す音を作りたいときは、「ON」にしてください。
キースケールレート （2段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「2」にすると、より強調されます。
キースケールレベル （4段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレベルをかけないものを含めて、4段階から選択します。
トータルレベル （64段階）	**（1）キャリア** この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値にし、それ以外は最大「64」にすることをおすすめします。 **（2）モジュレータ** この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として「40」～「64」の範囲にすると、音色の変化を楽しめます。

パラメータ	意　味
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 時間を長くすると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅くするようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になったあと、サスティーンレベル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレベルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレベルを持続する時間が長くなります。また、「16」にすると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長くしてください。
KEYOFF無視（ON／OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を選択します。
ビブラート（4段階／OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。
AM変調（4段階／OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。
フィードバック（8段階）	フィードバックされるオペレータを選択します。

リリースレートが大きい持続音は、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

その他の設定

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（4段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（4段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（31段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON／OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（4段階／OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「**基本オクターブ**」、「**サスティーン**」、「**ビブラート倍率**」の設定はありません。

オリジナル音色を作成する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル音色

1 「❶8,16和音用」、「❷32和音用」、「❸WT音源」のいずれかを選び、◉を押す。

すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

2 登録先を選び、◉を２回押す。

●名前を変更しないときは、◉を１回押したあと、操作４へ進みます。

3 名前を入力し、◉を押す。

●最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 「ベース音色設定」を選び、◉を押す。

5 ◎でベースとなる音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

■ 選んだ音色の確認：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

6 ◉を押す。

7 「音色設定」を選び、◉を押す。

●アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作10へ進みます。

8 「アルゴリズム」を選び、◉を押す。

設定できるアルゴリズムが表示されます。

9 利用するアルゴリズムを選び、◉を押す。

●オペレータを変更しないときは、このあと操作14へ進みます。

10 OP1などのオペレータ（☞P.8-18）を選び、◉を押す。

ベース音色のパラメータが、あらかじめ設定されています。

11 ◎でパラメータを選び、◎で内容を変更する。

■ パラメータの内容：☞P.8-19～P.8-20

12 操作11をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。

■ 変更後の音色の確認：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

13 ◉または◎（完了）を押す。

14 「エフェクト周波数」を選び、◉を押す。

15 ビブラート／トレモロの周期を選び、◉を押す。

エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

16 「基本オクターブ」を選び、◉を押す。

17 音色の音程を選び、◉を押す。

18「パンポット」を選び、◎で値を選ぶ。

19「サスティーン」を選び、◎で「ON」または「OFF」を選ぶ。

20「ビブラート倍率」を選び、◎で倍率を選ぶ。

21 ✉（完了）を押す。

22 すべての設定が終われば、✉（完了）を押す。

- 続けて別のオリジナル音色を作成するときは、P.8-21操作２～P.8-22操作22をくり返します。

その他の音関連機能

スピーカーホン／スピーカー受話設定

スピーカーを利用した通話時の動作を設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ スピーカー設定

「1スピーカーホン」／「2スピーカー受話」選択➡●

■ 通常の着信に戻す：「3OFF」選択➡●

- 「2スピーカー受話」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話はできません。

スピーカーを利用して通話する

■ ダイヤル前や発信後／着信中／通話中に、⌒を長く（１秒以上）押します。
- 「1 スピーカーホン」にしているときは「⇔」が、「2 スピーカー受話」にしているときは「◁」が表示されます。
- 「3OFF」にしているときは、通常の通話となります。
- 通話中にスピーカーを利用した通話を解除するときは、⌒を長く（１秒以上）押します。

■ 通話を終了すると、スピーカーを利用した通話も解除されます。

- マイク付液晶オーディオリモコンなどの利用中は、スピーカーを利用した通話はできません。
- 「スピーカーホン」にして電話をかけると、呼出音がスピーカーから聞こえないことがあります。また、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。

音色オクターブ設定

音色の音程（オクターブ）を、音色ごとに設定します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 音色オクターブ設定

◎でジャンル、◎で音色選択➡●➡音程選択➡●

■ 音色や音程の確認：◎（再生）

▪ 再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

- オリジナル音色の音程は、「基本オクターブ」（☞P.8-21操作16～17）で変更してください。

8 音の設定

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーをご利用になる前に

ミュージックプレイヤーについて

V501SHとオーディオ機器を接続して、V501SHに取り付けたメモリカードにCDなどの音楽を録音できます。また、この録音した音楽を、V501SHのミュージックプレイヤーで再生します。

- パソコンなどでメモリカードに保存した音楽データ（SD-Audio規格で保存されたセキュアMP3データ）を、V501SHで再生できます。ただし、音楽データの形式やメモリカードの状態、保存方法などにより、再生できないこともあります。
- V501SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記録する際にメモリカードとの間でデータの暗号化／認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータは再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータは録音できません。

ミュージックプレイヤーをご利用になるために必要なもの

- ボーダフォンライブ！のご契約
- ミュージックキー（有料）のダウンロード

オーディオ機器から録音するために必要なもの

デジタル入力録音	オプション品の光デジタル変換ケーブル、市販の光接続ケーブルのご購入
アナログ入力録音	オプション品のアナログ変換ケーブル、市販の接続ケーブルのご購入

- MPEG Layer-3オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム（地上波、衛星放送、ケーブルおよび／もしくはその他の配信チャネル）、ストリーミングアプリケーション（インターネット、イントラネット、および／もしくはその他のネットワーク経由で）、その他のコンテンツ配信システム（ペイオーディオまたはオーディオオンデマンドアプリケーションなど）、または物理的媒体（コンパクトディスク、デジタル汎用ディスク、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードなど）で、本製品で創作されたコンテンツを配信するライセンスを与えるものではありませんし、同コンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。
  詳細に関しては、http://mp3licensing.comにアクセスしてください。

はじめてお使いになるとき（ミュージックキーのご購入とミュージックプレイヤーの起動）

次の手順でミュージックキーをダウンロード（有料）してください。

- ミュージックキーのダウンロードはウェブを利用します。電波の届く場所で操作してください。
- 一度ミュージックキーをダウンロードいただくと、以降は通常の機能と同様にご利用いただけます。

メニュー ▶ オススメ（◎）

1 「ミュージックプレイヤー」を選び、◉を押す。

ミュージックプレイヤーのご利用に関する画面が表示されます。

- すでにミュージックキーをダウンロードされているときは、ミュージックプレイヤーの画面が表示されます。

15:05
ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｲﾔｰ(1/4)
ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｲﾔｰをご利用いただくためには有料のﾐｭｰｼﾞｯｸｷｰが必要です。ﾐｭｰｼﾞｯｸｷｰ代金のほかに別途通信料がかかります。
次のページへ

2 ◎を3回押し、「ミュージックプレイヤー（4／4）」の画面を表示する。

- 各画面に表示される注意文を、よくお読みください。

3 ◎（YES）を押す。

ウェブに接続され、ミュージックキーダウンロードの画面が表示されます。

- ミュージックキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - ■ミュージックキーの料金
  - ■お支払方法
  - ■利用規約
  - ■ミュージックキーに関するお問い合わせ先

■ 操作の中止：◎（NO）

4 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、ミュージックキーをダウンロードする。

5 ダウンロード完了後、「1YES」を選び、◉を押す。

ミュージックプレイヤーが起動します。

- ダウンロード完了後「2NO」を選んだときは、メニュー画面に戻ります。

ミュージックプレイヤー（選択画面）

■ ミュージックプレイヤーの終了：◎

補足 ミュージックプレイヤー（選択画面）で約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

9 ミュージックプレイヤー

音楽の録音

音楽録音について

録音時のご注意

充電しながら録音してください。

- 録音中に電池が切れることを防ぐため、必ず急速充電器を使用して、充電しながら録音してください。
- 電池レベル表示が「」のときは録音できません。また、録音中に電池レベル表示が「」になると、録音が中止されます。

音楽データは、メモリカードに保存されます。

- あらかじめ、V501SHでフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.11-3、P.11-6）

録音中は、オフラインモードに設定することをおすすめします。（☞P.9-8）

- 録音中に電話の着信やメールの受信があると、オーディオ機器の出力端子を傷める恐れがあります。また、録音が正常に行えないことがあります。
（オフラインモードにすると、電話やメールの発着信はできなくなります。）

録音中は、絶対にメモリカードを取り出さないでください。

- 録音データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。

- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 録音したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録音（コピー）することはできません。

録音時間

データが何も保存されていないメモリカードの録音時間の目安は、次のとおりです。

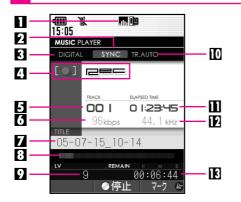
メモリカード容量	ビットレート	録音時間
64Mバイト	96kbps	約80分
	128kbps	約60分

- 録音できる時間は、メモリカードの容量やビットレートの設定によって異なります。
- ビットレートとは、音楽データを記録する際の１秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

デジタル入力録音とアナログ入力録音

接続するオーディオ機器の出力端子に応じて、録音方法を選びます。

デジタル入力録音	光出力端子の付いたオーディオ機器と接続して録音が行えます。CDなどのデジタル信号を直接圧縮するため、高音質の音楽をメモリカードに保存できます。
アナログ入力録音	ライン出力端子やヘッドホン端子の付いたオーディオ機器と接続して録音が行えます。アナログ信号をデジタル信号に変換するため、デジタル録音に比べて音質は劣ります。

ディスプレイ

1 録音中表示
録音中に固定表示されます。

2 シンクロ録音表示（☞P.9-9）
シンクロ録音を「ON」にしているときに表示されます。

3 録音入力識別表示
DIGITAL：デジタル入力録音／
ANALOG：アナログ入力録音

4 動作状態表示
［●］ rec ：録音中／
［■］ stop ：停止中

5 トラック番号

6 ビットレート設定表示（☞P.9-10）

7 タイトル

8 録音レベルメーター（☞P.9-8）

9 録音レベル（☞P.9-8）

10 トラックマーク表示（☞P.9-6）

11 現在の録音経過時間

12 サンプリング周波数表示（☞下記）

13 録音可能な残り時間
１トラックごとに変化します。

サンプリング周波数

サンプリング周波数とは、１秒間に何回データ量（音の強さ）を記録するかを示すものです。ビットレートと同様に録音時の音質を左右し、数字が大きいほど記録回数が増え、音の再現性がよくなります。V501SHでは、録音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が設定されます。

録音方法	サンプリング周波数
デジタル入力録音	再生側の機器に従い、32kHz／44.1kHz／48kHzのいずれかに自動的に設定されます。 （DVDプレーヤー出力では、DTSを「**OFF**」にしてください。）
アナログ入力録音	44.1kHz固定になります。

デジタル入力録音では、信号形式の内容によっては、うまく録音できないことがあります。

9 ミュージックプレイヤー

トラックマーク

トラックマークとは、プレイリスト内のトラック（曲）にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。録音開始後、下表の状態を検知すると、トラックマークが自動的に付きます。

デジタル入力録音	曲間の無音データを検知したとき（CDやMDなどのトラック情報を含むデータは、録音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。）
アナログ入力録音	曲間の無音状態を検知したとき

- 曲間の無音状態が正しく検知できないときは、1つのトラックとして扱われます。
- シンクロ録音を「ON」にしているときは、上記の状態が検知されると、録音一時停止状態になります。次のデータ（または音）を検知すると録音を再開します。
  - ■シンクロ録音を「ON」にしているときは、録音一時停止状態が約15秒間続くと、録音を終了します。
- トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。
- 接続した機器によっては、トラックマークが自動的に付かないことがあります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。（☞P.9-9）

無音（または音量レベルの低い音）が続く曲を録音すると、無音（または音量レベルの低い音）だけのトラックが作られることがあります。

オーディオ機器と接続する

接続時のご注意

オプション品の光デジタル変換ケーブル／アナログ変換ケーブルは、市販の光接続ケーブルまたは接続ケーブルを取り付けたあと、V501SHへゆっくりと確実に差し込んでください。

また、抜くときは、光デジタル変換ケーブル／アナログ変換ケーブルとV501SHを持って、まっすぐに引き抜いてください。

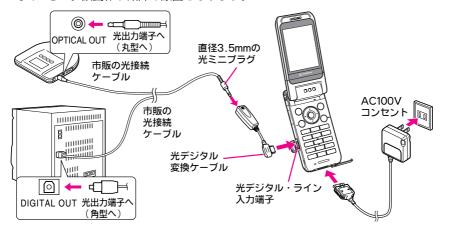
- ケーブルを強くひっぱったり、無理な力を加えると、V501SHの光デジタル・ライン入力端子が破損する恐れがあります。

光デジタル変換ケーブル／アナログ変換ケーブルは、指定されたオプション品以外は使用しないでください。

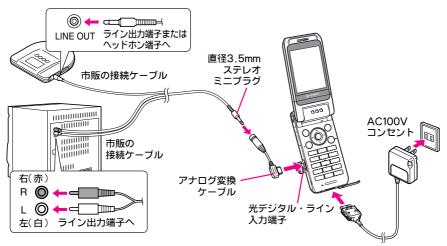
- 指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V501SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。

デジタル入力録音

光接続ケーブルと光デジタル変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」とV501SHの「**光デジタル・ライン入力端子**」を接続します。

- 光デジタル変換ケーブルは、音楽を録音するとき以外は接続しないでください。
- 光デジタル変換ケーブルは、V501SHや指定のボーダフォン携帯電話以外には接続しないでください。誤動作や故障の原因となります。

アナログ入力録音

接続ケーブルとアナログ変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**ライン出力端子**」または「**ヘッドホン端子**」と、V501SHの「**光デジタル・ライン入力端子**」を接続します。

- V501SHとオーディオ機器との接続は、P.9-8操作１～２でオフラインモードにしてから行います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用できません。（市販の接続ケーブルは抵抗が入っているものがあります。）

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、V501SHで録音します。

●シンクロ録音（☞P.9-9）を「ON」にしているとき（お買い上げ時の状態）を中心に説明します。

●録音の前に、録音時のご注意（☞P.9-4）をご確認ください。

●録音中の音を聞きながら録音することができます。（録音モニター）
このときの録音モニター音量は、録音前に設定します。（☞P.9-9）

●再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する曲の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ミュージックプレイヤー

1 「2録音モード」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

●通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。（☞P.9-4）

●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」にしているときは、操作3へ進みます。

2 「2NO」を選び、◉を押す。

録音画面が表示されます。

●録音前に、「**音楽録音に関する設定**」（☞P.9-9）で録音状態を設定できます。

■ オフラインモードにせずに録音する：「1YES」選択➡◉

録音レベルメーター　赤いバー

3 オーディオ機器と接続したあと、オーディオ機器で音楽を再生し、録音レベルを確認／調節する。

●デジタル入力録音の録音レベルは、自動的に調節されます。

●アナログ入力録音の録音レベルは、オーディオ機器で音楽を再生しながら、録音開始前に◎で調節してください。（録音中は調節できません。）
■最も大きいときでも、録音レベルメーターの赤いバーが表示しないように調節してください。

●録音停止中に約20分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

4 ◉を押す。

シンクロ録音の待機状態になります。

■ シンクロ録音「OFF」時：上記操作のあと◉➡オーディオ機器で音楽再生

5 接続したオーディオ機器で、音楽を再生する。

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に録音が始まります。

●アナログ入力録音は、接続した機器によっては、オーディオ機器が一時停止中でも録音を開始することがあります。

●録音中は、録音が終了するまで、絶対にメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。録音データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。

●録音中は、接続ケーブルや変換プラグに触れないでください。雑音や音とびの原因となります。

録音中にトラックマーク（☞P.9-6）を手動で付けるとき

録音中に、トラックマークを付けたいところで、Ⓟ（**マーク**）を押します。

6 録音を終了するときは、◉を押す。

■ シンクロ録音「ON」時：オーディオ機器で再生終了➡録音一時停止➡約15秒後に録音終了

■P.9-8操作２で「2NO」を選びオフラインモードを設定していたときは、録音終了後自動的に、オフラインモードは解除されます。

●パソコンやサウンドボード、BS／CSデジタルチューナーで再生すると、録音レベルが低くなることがあります。

●録音未チェック曲が入ってるメモリカードを、V501SH に取り付けてミュージックプレイヤーを利用すると、録音未チェック曲は削除されます。
（録音未チェック曲は、J-SH51またはJ-SH52で録音時、チェックせずに録音モードを終了したときに作成されます。）

●録音中にアラームなどの設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、録音モード終了後、待受画面に戻るとアラームが動作します。

●V501SHで録音（保存）した音楽データには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。（☞P.9-16）

音楽録音に関する設定

●下記の操作（「**録音モニター音量設定**」～「**無音検出レベル設定**」）の操作は、P.9-8操作２のあとの録音画面で行います。

録音モニター音量設定	録音中の音を聞きながら録音するときの音量を設定します。

お買い上げ時 音量３

Ⓟ（**メニュー**）➡「**録音モニター音量設定**」**選択**➡◉➡Ⓢ（**音量選択**）➡◉

シンクロ録音設定	オーディオ機器の再生と同時に録音を開始するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

Ⓟ（**メニュー**）➡「**シンクロ録音**」**選択**➡◉➡「1**ON**」／「2**OFF**」**選択**➡◉

ビットレート設定	録音時のビットレート（☞P.9-4）を設定します。

お買い上げ時96kbps

Ⓟ（メニュー）➡「ビットレート設定」選択➡◉➡「1 96kbps」／「2 128kbps」選択➡◉

- 数字が大きいほど音質はよくなりますが、データ量が多くなるため、録音可能時間は短くなります。

無音検出レベル設定	自動的にトラックマークを付けるとき、無音部分として判別するレベルを設定します。

お買い上げ時-41dB

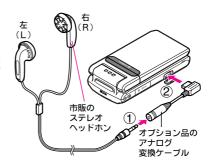
Ⓟ（メニュー）➡「無音検出レベル設定」選択➡◉➡「1 -41dB」／「2 -59dB」選択➡◉

- 音量レベルの低い状態が続く曲で「-59dB」にすると、トラックマークを付きにくくできます。

音楽の再生

音楽再生について

メモリカードに録音（保存）した音楽を再生します。

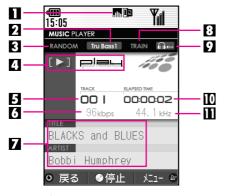
- 再生音は、市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルの組み合わせ、またはオプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用して聞くことができます。右の図を参考に差し込んでください。
- V501SHのスピーカーから聞くこともできます。

補足　マイク付液晶オーディオリモコンを利用すると、音楽の再生中に音量を調節できます。

再生時のご注意

- ステレオヘッドホンを取り付けたり、取り外すときは、アナログ変換ケーブルを持って行ってください。また、このときアナログ変換ケーブルに無理な力を加えないでください。V501SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- アナログ変換ケーブルやマイク付液晶オーディオリモコンなど、指定されたオプション品以外は、使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V501SHのイヤホンマイク端子が破損する恐れがあります。
- 電池レベル表示が「　」のときは再生できません。また、再生中に電池レベル表示が「　」になると、ミュージックプレイヤーは終了します。

- ステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを使って再生している場合に電話がかかってきたときは、ステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを取り外して通話してください。
  また、マイク付液晶オーディオリモコンを取り付けて再生している場合に電話がかかってきたときは、マイク付液晶オーディオリモコンのスイッチを長く（1秒以上）押すと通話できます。
- スピーカーでの再生時、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

ディスプレイ

1 再生中表示

2 音質表示（☞P.9-14）

Tru Bass1：BASS1（低音強調小）／
Tru Bass2：BASS2（低音強調大）／
SRS：サラウンド／
WOW：サラウンドバス

- 何も表示されないときは、「ノーマル」です。

3 再生モード表示（☞P.9-14）

1：1曲リピート再生／
ALL：全曲リピート再生／
RANDOM：ランダム再生

- 何も表示されないときは、「リピート再生OFF」です。

4 動作状態表示

[▶] play：再生中／
[■] stop：停止中／
[▶▶] FF：早送り中／
[◀◀] rew：早戻し中

5 トラック番号

6 ビットレート表示（☞P.9-10）

7 タイトル／アーティスト名

8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.9-14）

TRAIN：再生音量制限「ON」

- 何も表示されないときは、「OFF」です。

9 着信優先設定（☞P.9-15）

　：着信優先／　：着信通知

10 現在の再生経過時間

11 サンプリング周波数表示（☞P.9-5）

再生する

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー

1 「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

- 他のトラック（曲）の再生：(メニュー)（**メニュー**）➡「**プレイリスト**」選択➡◉➡トラック（曲）選択➡◉
- 音楽ファイルの管理／編集：☞P.9-15

2 ◉を押す。

1曲目から再生が始まります。（途中で再生を停止していたときは、続きから再生が始まります。）

●最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に停止します。（「**リピート再生OFF**」時：☞P.9-14）

- 再生の停止：◉
- 音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）
  - ■TRAIN（再生音量制限：☞P.9-14）を「ON」にしているときは、「**音量13**」より大きくはなりません。
- 音楽再生に関する設定：☞P.9-14

音楽を再生しない状態の再生画面で、約5分間操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

再生中に電話やメールの着信などがあると

■ 再生中に電話やメール、ウェブ、ステーション（緊急情報を除く）の着信があると、再生は継続したまま、専用の着信音でお知らせします。（再生画面上部にメールの着信通知、「（アイコン）」や「（アイコン）」などが点滅します。）

●自動的に再生を停止するように設定しておくこともできます。（☞P.9-15）

■ 再生中に次のような動作があると、再生が自動的に停止します。続きを再生するときは、上記「**再生する**」操作2を行ってください。

●アラームやスケジュール、自動電源ONなどのアラームが鳴ったとき
●ステーションの緊急情報を受信したとき
●簡易留守録設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
●指定着信拒否の非通知拒否、公衆電話拒否設定時に、拒否先から電話がかかり、おことわりのメッセージが流れたとき

再生中または停止中に（文字）を長く（1秒以上）押すと、マナーモードの「ON」⇔「OFF」を切り替えることができます。

9 ミュージックプレイヤー

再生中にできること

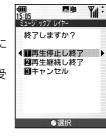
再生中の曲をはじめから再生する	くり返し押すと、前の曲を再生します。※1
次の曲を再生する	くり返し押すと、次の曲を再生します。※2
早送りする	（押し続ける） ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	（押し続ける） ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	※3 もう一度を押すと、再生が再開します。

※1　ランダム再生中は、をくり返し押しても再生中の曲をはじめから再生できます。
※2　リピート再生OFF再生中は、最後の曲の再生中に押しても無効となります。
※3　一時停止中は、早送り（早戻し）や、次（前）曲再生はできません。

再生中の操作

■終了操作

再生中にを押すと、右の画面が表示されます。

- 「1再生停止し終了」を選びを押すと、再生が停止し、待受画面に戻ります。
- 「2再生継続し終了」を選びを押すと、再生を継続したまま、待受画面に戻ります。
- 「3キャンセル」を選びを押すと、再生画面に戻ります。

■他の機能の操作

再生中でもアドレス帳入力やメール作成など、他の機能の操作ができます。ただし、次の操作を行うと、再生を中止するかどうかの確認画面が表示されます。

電話の発信／カメラの利用／メモリカードの利用／スーパーメールの送信／メロディ再生／データフォルダの利用／Vアプリの起動　など

- 「1YES」を選びを押すと、再生を中止し各機能が利用できるようになります。（スーパーメールは、メール送信完了後、自動的に再生が再開されます。）
- 「2NO」を選びを押すと、各機能の動作を中止し、再生を継続します。

再生中の待受画面でを押しても、同様の確認画面が表示されます。

音楽再生に関する設定

●下記の操作（「**再生設定**」～「**着信優先設定**」）の操作は、P.9-12操作１のあとの再生画面で行います。

再生設定	トラック（曲）を再生するときの再生モードを設定します。

■１曲リピート再生に設定するときは、そのトラック（曲）の表示中（再生中または停止中）に操作してください。

お買い上げ時 リピート再生OFF

（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「❶再生設定」選択➡◉➡再生モード選択➡◉

音質設定	ヘッドホン利用時にサラウンドで再生したり、低音を強調し迫力のある音にします。

お買い上げ時 ノーマル

（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「❷音質設定」選択➡◉➡音質選択➡◉

●音質の種類は、次のとおりです。

ノーマル	保存データをそのまま再生
BASS1	低音強調小
BASS2	低音強調大
サラウンド	SRS（サラウンド効果が得られます）
サラウンドバス	サラウンド＋BASSの効果

ここでの設定は、スピーカーでの再生時には、無効となります。
また、モノラル音楽では、「**サラウンド**」は無効となります。

●「**BASS1**」は「**音量14**」以上にしたとき、「**BASS2**」は「**音量12**」以上にしたときに音のひずみを少なくするため、強調レベルが自動的に調節されます。
●SRS、TruBass、WOWと(●)®記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。SRS、TruBass、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

再生音量制限（TRAIN）	再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「**音量13**」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「❸TRAIN」選択➡◉➡「❶ON」選択➡◉

「**音量14**」以上にしている状態で、TRAINを「**ON**」にすると、自動的に「**音量13**」に切り替わります。このときは、TRAINを「**OFF**」にしても、「**音量14**」以上の元の状態には戻りません。

着信優先設定 音楽再生中に電話がかかってきたときの動作を設定します。

お買い上げ時 着信通知

ⓜ（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「4着信優先設定」選択➡◉➡「1着信優先」／「2着信通知」選択➡◉

●設定できる動作は、次のとおりです。

着信優先	設定されている着信音が鳴り、再生は停止します。
着信通知	専用の着信音が鳴り、再生は継続します。

音楽ファイルの管理

プレイリストについて

「**プレイリスト**」とは、録音（保存）時にメモリカードに作成される、トラック（曲）の管理リストです。
曲の再生順やタイトルを変更したり、曲を消去するなど、音楽ファイルの管理／編集は、このプレイリストから行います。

音楽ファイルを管理／編集する

●電池残量をご確認ください。プレイリストの編集や消去中に電池レベル表示が「▯」になると、ミュージックプレイヤーは終了します。
●プレイリストの編集や消去中に、メモリカードを取り出したり、電池パックを取り外さないでください。データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。
●再生中には、プレイリストの編集はできません。

情報確認 プレイリストやトラック（曲）の情報を表示します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト

プレイリスト名／タイトル選択➡ⓜ（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

9 ミュージックプレイヤー

タイトル変更

プレイリスト名、タイトル（曲名）、アーティスト名を変更できます。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト

タイトル名を変更する

タイトル選択➡◎（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡●➡「1タイトル」選択➡●➡タイトル入力➡●

アーティスト名を変更する

タイトル選択➡◎（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡●➡「2アーティスト」選択➡●➡アーティスト名入力➡●

プレイリスト名を変更する

「♪」の行選択➡◎（メニュー）➡「リストタイトル編集」選択➡●➡リストタイトル入力➡●

曲移動

プレイリストに表示されるトラック（曲）の順番を入れ替えることで、再生順を変更できます。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト ➡ メニュー（◎） ➡ 移動

タイトル選択➡●➡移動先選択➡●➡◎（完了）

曲消去

1曲ずつまたはプレイリスト内のすべてのトラック（曲）を消去します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト

1曲ずつ消去する

タイトル選択➡◎（メニュー）➡「消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

プレイリスト内のすべての曲を消去する

「♪」の行選択➡◎（メニュー）➡「リスト内全消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

ボイスレコーダー

音声の録音

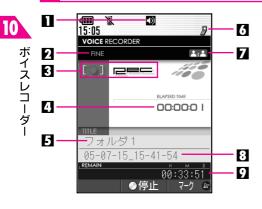
音声録音について

V501SHの内蔵マイクを利用して、V501SHやメモリカードに音声を録音し、V501SHで再生できます。

- 1フォルダあたり最大100ファイルまで登録できます。
- お買い上げ時の状態でV501SHに録音できるのは、録音モード「**ロング**」で最長約150分、録音モード「**ファイン**」で最長約35分です。（最長録音時間8分／1回あたり）

録音時のご注意

- ご利用の前に、電池残量をご確認ください。（電池レベル表示が「▯」のときは録音できません。また、録音中に電池レベル表示が「▯」になると、録音が中止されます。）
- 通話中の音声の録音はできません。
- 外部マイクとして利用できないプラグなどをイヤホンマイク端子に接続すると、録音が正しくできないことがあります。

ディスプレイ

1 録音中表示（赤色）
2 録音モード表示（☞P.10-4）
LONG：ロング／FINE：ファイン
3 動作状態表示
［●］ rec ：録音中／
［■］ stop ：停止中
4 現在の録音経過時間
5 登録フォルダ名
6 登録先表示
：本体（V501SH）／ ：メモリカード
7 マイク感度表示（☞P.10-4）
：会議用／ ：口述用
8 タイトル
9 録音可能な残り時間
録音を終了する（録音した音声を登録する）か、録音中に（**マーク**）を押すと変化します。

10
ボイスレコーダー

録音する

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ボイスレコーダー

1 「2録音モード」を選び、●を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

- 録音中に着信があると録音は停止します。通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
- すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」にしているときは、操作３へ進みます。

はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき

- ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、録音した音声を登録するフォルダを選び、●を押します。
- フォルダを作成するときは、次の操作を行います。

  ✉（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡●➡フォルダ名入力➡●

  ■ このあと、作成したフォルダを選び●を押すと、録音した音声の登録先として指定されます。

2 「2NO」を選び、●を押す。

録音画面が表示されます。

- 登録先の変更：✉（メニュー）➡「フォルダ選択」選択➡●➡フォルダ選択➡●
- 新しいフォルダの作成：✉（メニュー）➡「フォルダ選択」選択 ➡●➡✉（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡●➡フォルダ名入力➡●
- 登録先の切替（V501SH⇔メモリカード間）：✉（メニュー）➡「フォルダ選択」選択➡●➡✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」／「本体へ切替」選択➡●
- オフラインモードにせずに録音する：「1YES」選択➡●

3 ●を押す。

録音が始まります。（録音中はスモールライトが確認点灯します。）

- 録音中に✉（マーク）を押すと、以降の音声を別ファイルに分割できます。

- 録音中は、V501SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- メモリカードに音声が大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

4 録音を終了するときは、●を押す。

録音した音声が登録されます。

- もう一度●を押すと、録音を再開できます。このときは、別のファイルとして同じフォルダに登録されます。
- 操作２で「2NO」を選びオフラインモードにしていたときは、録音モードを終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

- V501SHで録音した音声には、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。
- クローズポジションで音声を録音することもできます。（☞P.15-3）
- オフラインモードが設定されていない状態で録音中に着信があると、録音は自動的に終了します。設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。（途中までの録音内容は保護されています。）
- 録音中にアラーム時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、録音終了後Ⓟを押すとアラームが動作します。

音声録音に関する設定

- 以下の操作は、P.10-3操作２のあとの録音画面で行います。

マイク感度設定	広い場所に適した「**会議用**」または対面打合せなどに適した「**口述用**」に設定できます。

お買い上げ時 会議用

Ⓜ（メニュー）➡「マイク感度設定」選択➡◉➡「1会議用」／「2口述用」選択➡◉

- ご使用の目安は、「**会議用**」でV501SHのマイクから２ｍ前後、「**口述用**」で20～30cmです。（いずれも、一度試しに録音することをおすすめします。）

録音モード設定	録音モードを「**ロング**」または「**ファイン**」に設定します。

お買い上げ時 ファイン

Ⓜ（メニュー）➡「録音モード設定」選択➡◉➡「1ロング」／「2ファイン」選択➡◉

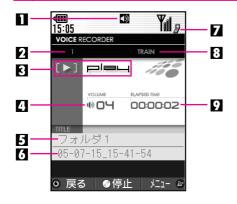
- 「**ファイン**」に設定すると音質は良くなりますが、ファイル容量が大きくなるため、録音可能時間は短くなります。
- ボイス着信音用の音声を録音するときは、「**ファイン**」にしてください。

ファイル消去	録音した音声を１件ずつ消去します。

Ⓜ（メニュー）➡「データ消去」選択➡◉➡音声選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

音声の再生

音声再生について

ディスプレイ

1 再生中表示（緑色）
2 再生モード表示（☞P.10-7）
　1：1件再生／ALL：全件再生
3 動作状態表示
　[▶] play：再生中／
　[■] stop：停止中／
　[▶▶] FF：早送り中／
　[◀◀] rew：早戻し中
4 再生音量表示（☞P.10-6）
5 登録フォルダ名
6 タイトル
7 登録先表示
　：本体（V501SH）／：メモリカード
8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.10-7）
　TRAIN：再生音量制限「ON」
　●何も表示されないときは、「OFF」です。
9 現在の再生経過時間

再生する

●再生音は、V501SHのスピーカーから聞こえます。
●市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルの組み合わせ、またはオプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用して再生することができます。（☞P.9-11）

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ボイスレコーダー

1 「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

■ 別フォルダの音声の再生：（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡◉➡◉➡フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

■ メモリカード内の音声の再生：（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡◉➡（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

はじめて再生するときや前回再生したフォルダが消去されているとき
ボイスフォルダ画面が表示されますので、次の操作を行い、再生する音声を指定します。
　フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

2 ◉を押す。

再生が始まります。

■ 音量の調節：Ⓢ（上げる）／Ⓢ（下げる）

■TRAIN（再生音量制限：☞P.10-7）を「ON」にしているときは、「**音量4**」より大きくはなりません。

再生中に電話やメールの着信などがあると

■ 再生中に電話がかかってくると、再生は停止します。設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。

■ 再生中にメール、ウェブ、ステーション（緊急情報を除く）の着信があると、再生は継続したまま、着信をお知らせします。（再生画面上部にメールの着信通知、「」や「」などが点滅します。）

補足

再生中または停止中に[文字]を長く（1秒以上）押すと、マナーモードの「ON」⇔「OFF」を切り替えることができます。

再生中にできること

再生中の音声を最初から再生する	◎ くり返し押すと、前の音声を再生します。
次の音声を再生する	◎ くり返し押すと、次の音声を再生します。
早送りする	◎（押し続ける）※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	◎（押し続ける）※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉ もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1　一時停止中は操作できません。また、1件再生にしているときは、ファイルをまたいでの早送り、早戻しはできません。

ボイスフォルダ画面での操作

再生画面で次の操作を行うと、ボイスフォルダ画面が表示されます。

Ⓜ（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡◉

ボイスフォルダでは、次の操作が行えます。

フォルダの作成	◎➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
名前の変更	音声選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**名前の変更**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉
ファイルの消去	音声選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉
ファイルのコピー／移動（V501SH⇔メモリカード間）	音声選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**コピー**」／「**移動**」選択➡◉➡「**1本体**」／「**2メモリカード**」選択➡◉➡移動先フォルダ選択➡◉➡◉

音声再生に関する設定

●下記（「**再生設定**」〜「**ファイル分割**」）の操作は、P.10-5操作１のあとの再生画面（再生停止中）で行います。

再生設定	指定した音声だけを再生するか、同じフォルダ内の音声を連続再生するかを設定します。

お買い上げ時 １件再生

（メニュー）➡「**各種設定**」選択➡◉➡「**1再生設定**」選択➡◉➡「**1１件再生**」／「**2全件再生**」選択➡◉

再生音量制限（TRAIN）	再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「**音量４**」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

（メニュー）➡「**各種設定**」選択➡◉➡「**2TRAIN**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉

「**音量５**」にしている状態で、TRAINを「**ON**」にすると、自動的に「**音量４**」に切り替わります。このときは、TRAINを「**OFF**」にしても、「**音量５**」には戻りません。

ファイル分割	再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを２つに分割します。

■ファイルを分割する音声の再生中または一時停止中に操作してください。

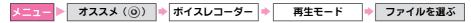
（メニュー）➡「**データ分割**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

- 音声の先頭および末尾から約20秒の間は、データ分割はできません。
- V501SHまたはメモリカードの空き容量によっては、分割できないことがあります。
- V501SH以外でフォーマットしたメモリカードを使用すると、分割したファイルが正しく再生されないことがあります。

音声の着信音登録

ボイスレコーダーで録音した音声の一部を切り出し、ボイス着信音に利用できるボイスファイルを作成します。

●ボイス着信音に利用できるのは、録音モード「**ファイン**」のV501SHのボイスフォルダ（フォルダ１）に登録したファイルです。
●切り出しは、再生中に指定した位置、または一時停止している位置から行います。（最長約30秒）

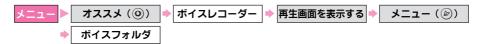
着信ボイスを作成する

1 **再生中または一時停止中に、切り出しを始める位置で、（メニュー）を押す。**

2 **「切り出し」を選び、◉を押す。**

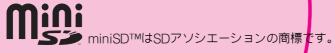
3 **◉を押す。**
再生が再開されます。

4 **切り出しを終わる位置で、◉を押す。**
●切り出し可能時間が経過したときは、自動的に終了します。
■ ボイスファイルの確認：「**2再生確認**」選択➡◉
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◉
■ 切り出しのやり直し：「**3取消**」選択➡◉

5 **「1登録」を選び、◉を押す。**
切り出したボイスファイルが、新しいファイルとしてV501SHのボイスフォルダ（フォルダ１）に登録されます。

着信音に設定する

1 **ボイスファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「着信音設定」を選び、◉を押す。**
●「着信音設定」が選択できないボイスファイルは、利用できません。

3 **着信の種類を選び、◉を押す。**

10 ボイスレコーダー

メモリカード

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

Verance

メモリカードをご利用になる前に

撮影した画像や音楽の保存、V501SH内のデータフォルダやアドレス帳などのデータの保存に、miniSD™メモリカードを利用できます。

- 市販のminiSD™メモリカードを使用するときは、V501SHでフォーマットしてください。（☞P.11-6）
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- miniSD™メモリカードアダプタを使うと、miniSD™メモリカードをSDメモリカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。（☞P.11-4）

V501SHで推奨するのは、32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256MバイトのminiSD™メモリカードです。

メモリカードの取り扱いについて

miniSD™メモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- miniSD™メモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。
- V501SHの電源を入れた状態でメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。（miniSD™メモリカードアダプタも同様です。）
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。メモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- メモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- miniSD™メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

●必ず、V501SHの電源を切ってから行ってください。

1 **メモリカードスロットのカバーを開く。**

2 **メモリカードの端子面を下に向けて、「カチッ」と音がするまで、ゆっくり奥まで入れる。**

端子面を下に

3 **カバーを閉じる。**

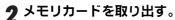
●他の機器で使用していたメモリカードをお使いになるときは、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.11-12）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたメモリカードは、データが正しく表示されないことがあります。

●miniSD™メモリカード以外のものを挿入しないでください。メモリカードやV501SHが破損する恐れがあります。

取り外す

●必ず、V501SHの電源を切ってから行ってください。

1 **メモリカードスロットのカバーを開き、メモリカードを軽く押し込む。**

●メモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 **メモリカードを取り出す。**

●ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。メモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

注意 データの読み出し中や書き込み中は、絶対にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたはV501SHが破損する恐れがあります。

補足 V501SHにメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、メモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。(メモリカードの容量や書き込まれているデータ量により、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。)
また、Vアプリライブラリ手動シンクロの確認メッセージが表示されることがあります。(☞ P.10-7)

miniSD™メモリカードアダプタの使いかた

■取り付けるとき

miniSD™メモリカードアダプタとminiSD™メモリカードの印刷面を合わせて、矢印の方向に押し込みます。

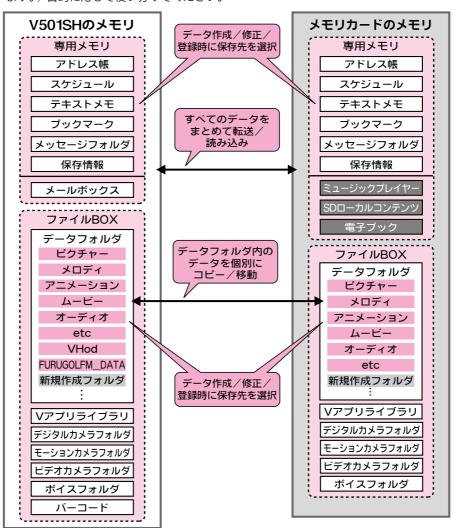
■取り外すとき

miniSD™メモリカードアダプタの切欠き部を利用して、miniSD™メモリカードをつまんで挿入方向と反対の方向へ引き出します。

注意
●miniSD™メモリカードアダプタにminiSD™メモリカードを装着していない状態で、パソコンなどに装着しないでください。機器やアダプタを破損する恐れがあります。また、パソコンなどの機器にminiSD™メモリカードアダプタを装着したままの状態でminiSD™メモリカードだけを抜かないでください。機器が誤動作する恐れがあります。
●装着する機器によっては、miniSD™メモリカードアダプタに装着したminiSD™メモリカードを利用できないことがあります。

メモリカードのメモリ管理方法について

メモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV501SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。それぞれのメモリには、下図の方法でV501SHからデータを保存します。

- V501SHとメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなどは、同じデータを保存できないことがあります。）目的に応じて使い分けてください。

メモリカードの利用

メモリカードをフォーマット（初期化）する

市販のminiSD™メモリカードなど、フォーマット（初期化）されていないメモリカードを使用するときは、必ずV501SHでフォーマットしてください。

- メモリカードをフォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V501SHでは正常に使用できないことがあります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）
- フォーマット中は、絶対にメモリカードや電池パックを抜かないでください。メモリカードまたはV501SHが破損する恐れがあります。

メニュー ▶ メモリカード ➡ メモリカード設定 ➡ メモリカードフォーマット

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

メモリカードのメモリ使用状況を確認する

■ メモリカード内のメモリの使用状況を確認するときは、次の操作を行います。
◉➡「**メモリカード**」選択➡◉➡「**0メモリカードメモリ確認**」選択➡◉

- メモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と、著作権保護などで自動的に使用される部分があります。（64Mバイトのメモリカードのユーザー領域は、約60.6Mバイトです。）

保存されているデータを確認する

各機能から確認する

「**メモリカードへ切替**」のメニューが表示される機能では、直接メモリカード内のデータを利用できます。

1 各機能の画面で、✉（メニュー）を押す。

- ブックマークの画面は、◉（**メニュー**）を押します。

■ メモリカード内のアドレス帳の確認：アドレス帳の検索画面またはリスト画面で◎（**切替**）

2 「メモリカードへ切替」を選び、◉を押す。

■ V501SHに登録されているデータの利用：「**本体へ切替**」選択➡◉
■ アドレス帳選択時：「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉

データフォルダから確認する

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 **(メニュー)◎( )の順に押す。**

メモリカード内のデータフォルダ画面が表示されます。
(画面2行目の右端に「 」が表示されます。)

2 **フォルダを選び、◉を押す。**

3 **ファイルを選び、◉を押す。**

選んだファイルの種類に応じて、再生/表示されます。

メモリカード内のフォルダやファイルも、V501SH内のデータフォルダと同様に、いろいろな管理や設定(☞P.12-44～P.12-46)が行えます。

メモリカード内の専用フォルダから確認する

下記の専用フォルダに保存されている静止画や動画を確認します。

デジタルカメラフォルダ	デジタルカメラモードで撮影した静止画が登録されています。
モーションカメラフォルダ	モーションカメラ(MPEG)モードで撮影した動画が登録されています。
ビデオカメラフォルダ	ビデオカメラモードで撮影した動画が登録されています。

メニュー ▶ メモリカード ▶ メモリカードデータ確認

1 **「3デジタルカメラフォルダ」、「4モーションカメラフォルダ」、「5ビデオカメラフォルダ」のいずれかを選び、◉を押す。**

●「4モーションカメラフォルダ」を選んだときは、操作3へ進みます。

2 **フォルダを選び、◉を押す。**

3 **静止画や動画を選び、◉を押す。**

選んだファイルの種類に応じて、再生/表示されます。

フォルダやファイル表示状態で(**メニュー**)を押すと、そのフォルダやファイルに対して行える機能が表示されます。操作方法は、基本的にデータフォルダと同様です。

データの転送

V501SHとメモリカードの間でデータを転送することができます。

●データ転送は、個人データのバックアップや同機種間（miniSD™メモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用になることをおすすめします。

●転送方法には次のものもあります。

転送方法	詳　細	転送できるデータ
コピー／移動	1件ずつコピー／移動します。	アドレス帳、スケジュール、テキストメモ、データフォルダ※1、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、ボイスデータ、ウェブのメッセージフォルダ※2、ウェブのブックマーク、Vアプリライブラリ※2、ステーションの保存情報
一括転送	機能内のすべてのデータを転送し、バックアップファイルとして1つのファイルにまとめて保存します。（転送日のファイル名が付きます。） ●メモリカードへの保存後は、V501SHから確認できません。	アドレス帳、スケジュール、テキストメモ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）、ウェブのブックマーク
	機能内のすべてのデータを転送し、個別のファイルとして保存します。 ●メモリカードに保存後も、V501SHから確認できます。	データフォルダ※1、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、ボイスデータ、Vアプリライブラリ、ウェブのメッセージフォルダ、ステーションの保存情報

※1　ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etc、ユーザー作成フォルダです。

※2　ウェブのメッセージフォルダ、Vアプリライブラリのコピーはできません。

データ転送時のご注意

■ 電池残量が少ないときは、一括転送できません。

■ 著作権で保護されているデータはコピーできません。
- ●著作権で保護されている（コピー不可）データをV501SHからメモリカードに一括転送すると、V501SHからは削除されます。また同様に、メモリカードからV501SHへ一括転送したときも、メモリカードからは削除されます。
- ●第三者（お客様以外の電話番号）のボーダフォン携帯電話に転用することはできません。
- ●メモリカードに一括転送した著作権で保護されている（コピー不可）データを再度読み込むことができるのは、お客様のボーダフォン携帯電話だけです。

■ V501SH またはメモリカードの空き容量が少ないときは、データの登録（移動／コピー／一括転送）が正常に行えないことがあります。

■ データの内容によっては、V501SHからメモリカードに転送できないことがあります。また、V501SHから一括転送されたデータによっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

指定したデータをコピー／移動する

●データフォルダ内のファイルを別のフォルダへコピー／移動するときは、P.12-46を参照してください。

1 アドレス帳のデータをコピー／移動する

1 アドレス帳を選び、（メニュー）を押す。

2「登録先変更（コピー）」または「登録先変更（移動）」を選び、を押す。

3 （）を押したあと、メモリ番号を入力する。

■ 登録先の変更：（押すたびに「」⇔「」切替）

アドレス帳以外のデータをコピーする

1 データを選び、（メニュー）を押す。

■ ブックマーク転送時：

2「登録先変更（コピー）」、「本体へコピー」、「メモリカードへコピー」のいずれかを選び、を押す。

アドレス帳以外のデータを移動する

1 データを選び、（メニュー）を押す。

■ ブックマーク転送時：

2「登録先変更（移動）」、「本体へ移動」、「メモリカードへ移動」のいずれかを選び、を押す。

データをまとめて転送する

●ご利用の前に、データ転送時のご注意（☞P.11-8）をご確認ください。

メモリカードに一括転送する

メニュー ▶ メモリカード ➡ データ一括転送

1 「1メモリカードへ保存」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

●通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」にしているときは、操作3へ進みます。

2 「2NO」を選び、◉を押す。

■ オフラインモードにせずにデータを一括転送する：「1YES」選択➡◉

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

4 データの種類を選び、◉を押す。

■「全て」、「アドレス帳」選択時：「1YES」／「2NO」選択➡◉

5 「1YES」を選び、◉を押す。

メモリカードへの一括転送が完了すると、データ一括転送の画面に戻ります。

●他の種類のデータを一括転送するときは、操作1～5をくり返します。

■ 一括転送の取消：◎（**キャンセル**）

注意

●すでに同じファイル名のデータがあるときは、転送できないことやファイル名が変わることがあります。

●暗号化（☞P.11-11）を設定してメモリカードに一括転送したアドレス帳、メール、スケジュールは、お客様のV501SHだけで利用できます。

メモリカードから読み込む

●メモリカードからデータを読み込むと、V501SH内のデータは消去されます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ データ一括転送

1 「2カードから読込み」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

●通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」にしているときは、操作３へ進みます。

2 「2NO」を選び、◉を押す。

■ オフラインモードにせずにデータを読み込む：「1YES」選択➡◉

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 データの種類を選び、◉を押す。

●選択できないデータの種類は、転送できません。

●アドレス帳、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマーク以外のデータを選択したときは、このあと操作６へ進みます。

5 ファイルを選び、◉を押す。

●ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例：2005年７月15日に一括転送したときのファイル名

「050715XX」（XXは２ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）

■ メモリカードに一括転送したファイルの消去：ファイル選択➡ⓐ（消去）➡「1YES」選択➡◉

6 「1YES」を選び、◉を押す。

7 「1実行」を選び、◉を押す。

読み込みが始まります。読み込みが完了すると、データ一括転送の画面に戻ります。

●他の種類のデータを読み込むときは、操作１〜７をくり返します。

■ 読み込みの取消：◎（キャンセル）

暗号化を設定する

V501SH内のデータをメモリカードにまとめて転送するときに、暗号化して保存するかどうかを設定します。暗号化してメモリカードに保存されたデータが正しく表示できるのは、お客様のV501SHだけです。

●暗号化は、アドレス帳、メール、スケジュール、それぞれ個別に設定できます。

●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ メモリカード ➡ データ一括転送 ➡ 暗号化設定

1 データの種類を選び、◉を押す。

2 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 暗号化しない：「2OFF」選択➡◉

●他のデータを暗号化するときは、操作１〜２をくり返します。

その他のメモリカード関連機能

SDローカルコンテンツ

HTMLファイルを表示して、メモリカード内のファイルやインターネットにアクセスします。

■メモリカードにHTMLファイルがないときは、利用できません。
■あらかじめウェブを「ON」にしておいてください。（☞ P.1-6）

メニュー ▶ メモリカード ▶ SDローカルコンテンツ

タイトル選択 ▶ ◉

- パソコンでメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは「PRIVATE/SDJPHONE/SDコンテンツ」フォルダに保存されています。
- auto runファイルを削除したときは、「**SDローカルコンテンツ**」を利用してHTMLファイルを表示します。

カード手動シンクロ

他の機器で利用したメモリカードをV501SHで利用するため、メモリカード内の情報を更新します。

メニュー ▶ メモリカード ▶ メモリカード設定 ▶ カード手動シンクロ

データ選択 ▶ ◉ ▶「1実行」選択 ▶ ◉

■ メモリカードの情報更新中の中止：◎（**キャンセル**）▶「1YES」選択 ▶ ◉

- 他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集など）したメモリカードをV501SHで使用するときは、必ず「**カード手動シンクロ**」を行い、情報を更新してください。

- メモリカードに空き容量がないときは、カード手動シンクロができないことがあります。
- メモリカード内のファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまでに時間がかかることがあります。

オートラン

auto runファイルで指定されたローカルコンテンツ対応のHTMLファイルを、自動的に表示するようにします。

■メモリカードにauto runファイルがないときは、利用できません。

メニュー ▶ メモリカード ▶ オートラン

「1手動オートラン」選択 ▶ ◉

■ auto runファイルの削除：「2**オートラン削除**」選択 ▶ ◉ ▶ 操作用暗証番号（4ケタ）入力 ▶「1実行」選択 ▶ ◉

▪auto runファイルを削除しても、ローカルコンテンツ対応のHTMLファイルは削除されません。

削除したauto runファイルは、元には戻せません。また、「**オートラン**」機能は利用できなくなります。

データ管理（データフォルダ）

V501SHのメモリ管理方法

V501SHのメモリには、アドレス帳やメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

- V501SHでデータを作成または入手すると、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。
- V501SHのファイルBOXには、最大約10Mバイトまで登録できます。

各機能で作成／入手したデータが保存される専用メモリです。機能ごとに登録できる容量（件数など）が決められています。

各機能で作成／入手したデータの形式によって自動的に振り分けて保存されるメモリです。ファイルBOX全体の容量が決められています。

ファイルBOXのメモリ使用状況を確認する

■ ファイルBOXのメモリ使用状況を確認するときは、次の操作を行います。

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「3表示／設定１」選択➡◉➡「1メモリ確認」選択➡◉➡「3ファイルBOX」選択➡◉

ファイルBOXを初期化する

■ ファイルBOXを初期化するときは、次の操作を行います。

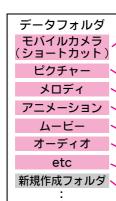
◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「3表示／設定１」選択➡◉➡「1メモリ確認」選択➡◉➡「3ファイルBOX」選択➡✉（メニュー）➡「初期化」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

- ファイルBOXを初期化すると、ファイルBOX内に新しく登録したデータは、すべて消去されます。消去してもよいかどうかあらかじめご確認のうえ、操作してください。
- あらかじめ登録されているデータは、消去されません。すでに消去していたときは、お買い上げ時の状態に戻ります。

専用メモリ内のデータには、「**vファイル**」として、ファイルBOXのデータフォルダに登録できるものがあります。（☞P.12-36）

データフォルダについて

データフォルダの構成

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

モバイルカメラデータへのショートカット
- 写メールモードのファイル
- デジタルカメラモードのファイル
- ムービー写メールモードのファイル
- モーションカメラ（MPEG）モードのファイル
- ビデオカメラモードのファイル

V501SHで撮影した静止画などの画像（ピクチャー）ファイル

V501SHで作成したオリジナル着信音などのメロディファイル

V501SHで作成したアニメーションなどのアニメファイル

V501SHで撮影した動画などのムービーファイル

ダウンロードした着うた®ファイル

上記ファイルのほか、vファイル、HTMLファイル、MMLファイル、EMLファイル、SVGファイル、辞書ファイルなど

お客様が作成されたフォルダ（ファイル形式はetcフォルダと同様）

- 連写画像を撮影／登録すると、連写フォルダが自動的に作成されます。
- 上記以外にVアプリ用のフォルダ（「**VHod**」など）も登録されており、各Vアプリで使用するファイルが保存されています。

メモリカード

V501SHでは、V501SHで録音した音楽や撮影した画像や動画などの保存場所としてメモリカードを利用できます。また、V501SH内のデータを一括保存したり、作成したデータをメモリカード内に直接登録したり、V501SHとメモリカード間でデータをコピー／移動することもできます。

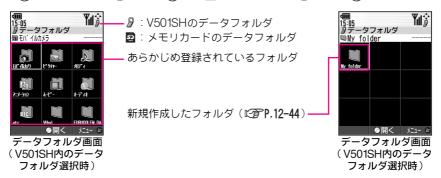
- メモリカードについて詳しくは、P.11-2を参照してください。

ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受画面で次の操作を行うと表示されます。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉

データフォルダ画面（V501SH内のデータフォルダ選択時）

データフォルダ画面（V501SH内のデータフォルダ選択時）

ファイル表示画面

データフォルダ画面でフォルダを選ぶと、ファイル表示画面が表示されます。

- 下記はV501SH内のピクチャーフォルダを選んだときの例です。
- ファイル表示画面のファイル表示方法は変更できます。（☞P.12-8）

■画像一覧のファイル表示画面

選択されている画像の形式、ファイル名、ファイル容量

登録されているファイル

- 画像以外のファイルや、V501SHで表示できない画像はアイコンで表示されます。
- フォルダは「■」が表示されます。

■ファイル名一覧のファイル表示画面

フォルダ名

登録されているファイル（画像の形式、ファイル名）

各種アイコンについて

静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
※1	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画像
※1	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画像
	連写画像（分割画像＋4枚、9枚、25枚のJPEGファイル）（.SRG）	連写モードで撮影した画像
	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）
	アニメファイル（JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG／JPEGアニメ）※2	アニメーション
	MNGファイル（.mng）	JPEGファイルやPNGファイルを組み合わせた簡易アニメーション

※1　文字が青色のアイコンは［転送可］、文字が赤色のアイコンは［転送不可］です。
※2　JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG／JPEGアニメは、拡張子は表示されません。

動画ファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	MPEG-4ファイル（.3gp）	MPEG-4形式のムービー画像
	MPEG-4ファイル（.ASF）	MPEG-4形式のムービー画像

サウンドファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
※1	SMAFファイル（.mmf）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ（画像付きもあり）
※1	メロディファイル（.smd）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ
	オリジナル着信音ファイル（.sjm）	自作メロディ
／	ボイスファイル※2	お客様が録音した音声［転送可］
※1	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®［転送不可］

※1　青色のアイコンは［転送可］、赤色のアイコンは［転送不可］です。
※2　ボイスファイルは、拡張子は表示されません。

データフォルダの基本操作

フォルダを選択する

データフォルダ画面で、目的のフォルダを選び、◉を押します。

- 選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示されます。（第２階層）
  さらにフォルダを選び、◉を押すと、下の階層のファイルが表示されます。
- フォルダ内のファイルを選び、◉を押すと、選んだファイルの形式に応じて、表示または再生などが行われます。

データフォルダ画面
（第１階層）

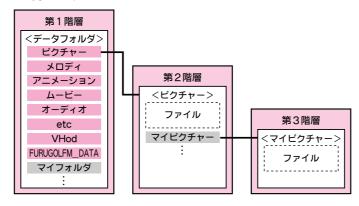
フォルダを選ぶ

選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示（第２階層）

フォルダを選ぶ

選んだフォルダ内の
ファイルが表示（第３階層）

- 前の画面（１つ上の階層）に戻るときは、クリアを押します。
- データフォルダでは、新しくフォルダを作ることにより、３階層までの構造でファイルを管理することができます。（下の図は、「**マイフォルダ**」、「**マイピクチャー**」を新規作成したときの例です。）

12 データ管理（データフォルダ）

メモリカードのデータフォルダを利用する

V501SHのデータフォルダとメモリカード内のデータフォルダは、メニュー操作で切り替えます。

●現在利用しているデータフォルダの種類は、画面右上のアイコンで確認できます。（「」：V501SHのデータフォルダ、「」：メモリカードのデータフォルダ）

V501SHのデータフォルダを利用中

「メモリカードへ切替」を選ぶ

メモリカードのデータフォルダが利用可能

●V501SHのデータフォルダに戻すときは、「**本体へ切替**」を選びます。

データを登録する

V501SHで作成したオリジナル着信音やアニメーション、ボーダフォンライブ！で入手したデータやvファイルなどは、データフォルダへの登録時に、登録先を選べます。

●データの登録前に、タイトル（ファイル名）入力画面が表示されることがあります。

●データの登録時には、それぞれのファイル形式に応じたフォルダが最初に表示されることもあります。（下の図は、JPEGファイルを登録するときの例です。）

●登録先に利用できないフォルダは、選択できません。

登録するフォルダを選ぶ

選んだフォルダ内が表示

フォルダ内に同じ名前のファイルがあるとき、登録するファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加されます。

データフォルダの表示方法を設定する

画像一覧／ファイル名一覧を切り替える

ファイル表示画面（☞P.12-4）を画像一覧表示またはファイル名一覧表示に切り替えます。

- ここでの設定は、すべてのフォルダで有効になります。
- お買い上げ時には、「**画像一覧表示**」に設定されています。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メニュー（Ⓟ）➡ 便利機能

1 「画像一覧表示」または「ファイル名一覧表示」を選び、◉を押す。

- これ以降、選んだ方法で表示されます。

ファイルを日付順／名前順に並べ替える

- ここでの設定は、すべてのフォルダで有効になります。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メニュー（Ⓟ）➡ 便利機能 ➡ 並べ替え

1 並べ替え方法を選び、◉を押す。

フォルダ内のファイル数が181以上あると、並べ替えはできません。また、フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えを行うと、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データ確認

1 「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

■ メモリカード内のデータの確認：Ⓟ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 フォルダを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル表示画面：☞P.12-4）

- フォルダ内のファイルは、日時順や名前順に並べ替えて表示することもできます。（☞上記）

■ フォルダの選びかた：☞P.12-6

3 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生／表示されます。

●オーディオフォルダやピクチャーフォルダ内のファイルを再生／表示しているときは、[＊]を押すと前のファイル、[＃]を押すと次のファイルが再生／表示できます。

連写画像を選んだとき
分割画像が表示されます。◎を押すと、連写画像内の静止画を1枚ずつ確認できます。
横240×縦320ドットより大きい画像（JPEGファイル）を選んだとき
画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズで表示するときは、✉（メニュー）を押したあと、「**実画像表示**」を選び、◉を押します。

4 データフォルダ画面に戻るときは、[クリア]を押す。

●赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でデータフォルダ内のファイルのやりとりができます。（☞P.13-2）
●モーションコントロールカーソル（☞P.1-14）でも、フォルダやファイルを選択できます。

ファイルをメールに添付する

データフォルダ画面から、各種ファイルを直接スーパーメールに添付して送信します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2「メール添付」を選び、◉を押す。

■ JPEG画像選択時：「1実画像添付」／「3 1／4サイズで添付」選択➡◉
■ オリジナル着信音選択時：変換形式（☞[O]P.3-9）選択➡◉

3 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞[O]P.3-3操作2以降）

連写画像内の1枚の画像をスーパーメールに添付する

■ 次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡連写フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◎で画像選択➡✉（メニュー）➡「表示画像のみ添付」選択➡◉➡[O]P.3-3操作2以降

画像を分割してスーパーメールに添付する

■ 240×320ドットの静止画を4分割して、スーパーメールに添付するときは、次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡✉（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉➡「2画像分割メール添付」選択➡◉➡宛先選択／宛先入力➡「1YES」選択➡◉（☞[O]P.4-22操作3以降）
■ 画像分割メールを送信すると、4通分のメール料金がかかります。

フォルダやファイルの情報を確認する

メニュー ▶ データ確認

1 **データフォルダ画面またはファイル表示画面で、フォルダまたはファイルを選ぶ。**

2 **(メニュー)を押す。**

3 **「プロパティ」を選び、◉を押す。**

フォルダやファイルの情報が表示されます。

- ◎を押すと、情報の隠れている項目を表示できます。
- 各項目の内容は、次のとおりです。

ファイル名	ファイル名
タイトル※1	タイトル
ファイル数※2	ファイル数
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
データサイズ	データサイズ(単位:バイト)※3
保存サイズ	V501SHまたはメモリカード内で実際に使用しているデータサイズ
作成日時	作成された年日時
コピー転送	メール添付やデータ加工、データフォルダ内でのコピー可/不可※4
保存	データフォルダへの保存可/不可※4
外部転送	メモリカードへのコピーや移動の可/不可※4
設定※5	壁紙登録やマイキャラクタ登録の可/不可
フォルダ保護※6	あり/なし
データフォルダ保護	あり/なし
着信音設定※1	あり/なし※4
効果音設定※1	あり/なし※4
グループ着信設定※1	あり/なし※4
デジタルカメラ登録※5	デジタルカメラフォルダへのコピー可/不可
幅※7	画像の横幅(ドット)
高さ※7	画像の縦幅(ドット)

※1 メロディファイルで表示されます。
※2 ファイルがチェックされているとき(☞P.12-45)に表示されます。
※3 複数選択されているとき(☞P.12-45)は、合計のデータサイズが表示されます。
※4 複数選択されているファイルの内、1つでも該当するときは「**不可**」または「**あり**」と表示されます。
※5 JPEG画像で表示されます。
※6 フォルダで表示されます。
※7 JPEG/PNG/MTN/MNG/EVA画像で表示されます。
サイズが40Kバイトを超えるファイルは、空欄となります。

アニメーションの作成／確認

簡単アニメを作成する

最大４枚までの画像と表示するスピードを設定することで、簡単なアニメーションとして楽しめます。

- モバイルカメラで撮影した画像、ボーダフォンライブで入手した画像など、PNG形式とJPEG形式のファイルが利用できます。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.12-45）してから、作成してください。
- 指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

簡単アニメを新規作成する

1 タイトルを入力し、◉を押す。

- 全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。
- 入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。ファイル名は変更できます。（☞P.12-44）

2 速さを選び、◉を押す。

ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

3 指定先の番号を選び、◉を押す。

4 データフォルダから画像を選び、◉を押す。

- データフォルダの操作：☞P.12-8
- ４枚連写画像の利用：クリア➡連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡「**1 ４枚をアニメ**」選択➡◉
- 連写画像内の１枚の画像の利用：クリア➡連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡「**2 １枚を選択**」選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◎で画像選択➡操作６へ

■画像の変更：✉（**変更**）

■表示順の変更：◎（**戻る**）➡操作３からやり直す

12 データ管理（データフォルダ）

5 画質／画像サイズを選び、◉を押す。

- 横120×縦160ドット以下の画像は、「240×320」には設定できません。

■ 画像の変更：✉（変更）➡操作４からやり直す

6 ◉を押す。

画像が指定されます。

■ 簡単アニメの再生：✉（メニュー）➡「1再生」選択➡◉
　■簡単アニメ作成に戻る：上記操作のあと◎（戻る）

■ 画像の変更：画像選択➡✉（メニュー）➡「2画像変更」選択➡◉➡操作４からやり直す

■ 画像の圧縮／縮小：画像選択➡✉（メニュー）➡「3圧縮・縮小処理」選択➡◉➡「1圧縮」／「2縮小」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
　■画像によっては、圧縮／縮小できないことがあります。

■ 画像の消去：画像選択➡✉（メニュー）➡「4消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

7 操作３～６をくり返し、画像を指定する。

- 最大４枚まで指定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、４枚まで設定できないことがあります。）

8 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

■ タイトル、速さ、画像の修正：「2修正」選択➡◉➡下記操作２以降

9 「1登録」を選び、◉を押す。

10 ◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

- 別のフォルダを選んで登録したり、メモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき、ファイル名には自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

簡単アニメを編集する

- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.12-45）してから編集してください。

1 ファイルを選び、◉を押す。

2 タイトルを修正し、◉を押す。

3 速さを選び、◉を押す。

■ 画像の追加：番号選択➡◉➡画像選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◉

■ 画像の変更：番号選択➡✉（メニュー）➡「2画像変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◉

■ 画像の消去：番号選択➡✉（メニュー）➡「4消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 編集が終われば、◎（完了）を押す。

5 「1登録」を選び、◉を押す。

登録先の選択画面が表示されます。このあと、操作7へ進みます。

●タイトルを修正していないときは、新規登録するか上書登録するかの確認画面が表示されます。

6 「1新規登録」を選び、◉を押す。

■ 上書き登録する：「2上書登録」選択➡◉（操作完了）

7 ◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

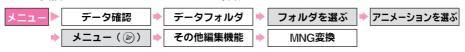
●別のフォルダを選んで登録したり、メモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき、ファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

アニメーションの保存形式を変換する

JPEGアニメ、PNGアニメをパソコンなどへ送信するとき、「**MNGファイル**」に変換します。

●MNGファイルに変換すると、画質が変わることがあります。

●MNG変換できないアニメーションでは、操作できません。

1 ◉を押す。

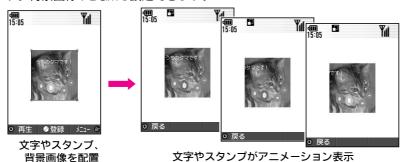
新しいアニメーションとして登録されます。

●JPEGアニメをMNGファイルに変換したファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では展開できません。シャープ製以外のボーダフォンライブ！パケット対応機に添付送信するときは、PNGアニメからMNG変換したものをご使用ください。

●アニメーションサイズや内容によっては、MNG変換できないことがあります。

E-アニメータを作成する

内蔵のアニメーション用図形（スタンプ）や文字を組み合わせてアニメーションを作成します。背景画像やBGMも設定できます。

文字やスタンプ、背景画像を配置　　文字やスタンプがアニメーション表示

●E-アニメータは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登録されます。

E-アニメータ形式（.nva）のファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では、展開できません。（J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機でも展開できますが、正しく表示／鳴動しないことがあります。）

E-アニメータの文字／スタンプ入力方法

実際にE-アニメータを作成する前に、E-アニメータの文字の入力方法、スタンプの入力方法を覚えておきましょう。

■文字またはスタンプの選択方法

「**スタンプ・文字設定画面**」で、「**1文字入力**」または「**2スタンプ選択**」を選びます。

●文字／スタンプは、それぞれ最大３個または最大29Kバイトまで入力できます。

１つのE-アニメータに入力可能な文字数およびスタンプ数は、アニメーションの複雑さによって異なります。非常に複雑なアニメーションには、スタンプが１つしか入力できないこともあります。

■文字の入力方法

1 文字を入力する

文字を入力し、◉を押します。

●入力した文字と、文字の四隅に、選択されていることを示す「□」が表示されます。

●１回あたり最大全角75文字（半角150文字）まで入力できます。

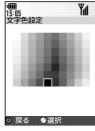
複数の文字やスタンプが入力されているときは、文字を押すたびに四隅の「□」が移動し、移動や消去などを行う対象を選ぶことができます。

2 文字の位置を移動する

◎で文字の位置を指定し、◉を押します。

- ボタンを押したときの移動幅の設定：✉（**メニュー**）➡「**✱ 移動幅設定**」選択➡◉➡移動幅（01〜20ポイント）入力➡◉
  - ■移動幅はスタンプ／文字で連動するため、どちらかで移動幅を変更すると、スタンプ／文字両方に設定が反映されます。
- 文字の消去：✉（**メニュー**）➡「**2消去**」選択➡◉➡「**1**YES」選択➡◉

3文字の色を設定する

✉（**メニュー**）を押したあと、「**4文字色設定**」を選び、◉を押します。

●◎で色を選び、◉を押します。

4文字の動作を設定する

✉（**メニュー**）を押したあと、「**5文字動作設定**」を選び、◉を押します。

●動作を選び、◉を押します。

5文字を確定する

◉を押して、文字の位置や色、動作設定を登録します。

●続けて、他の文字やスタンプを入力することができます。

- 文字／スタンプの順番変更：文字／スタンプ選択➡✉（**メニュー**）➡「**3移動**」選択➡◉➡◎で文字／スタンプ移動➡◉
- 入力済の文字変更：文字選択➡✉（**メニュー**）➡「**4 変更**」選択➡◉➡文字入力（修正）➡◉➡◉

■スタンプの入力方法

1スタンプの分類を選ぶ

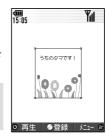
「**1 固定パターン**」（あらかじめ登録されているスタンプ）または「**2データフォルダ**」（ボーダフォンライブ！などで入手したスタンプ）を選び、◉を押します。

●「**2 データフォルダ**」を選んだときは、V501SH のデータフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

2 スタンプを選ぶ

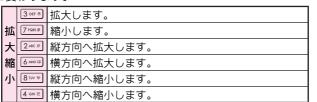
入力するスタンプを選び、◉を押します。

- 選んだスタンプが画面中央に表示されます。
- スタンプの四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。

複数のスタンプや文字が入力されているときは、[文字]を押すたびに四隅の「□」が移動し、変形や消去などを行う対象を選ぶことができます。

3 スタンプを変形する

下記のボタンで拡大／縮小を選んだあと◉を押し、スタンプを変形します。

- 拡大／縮小できる状態になると、スタンプの四隅の「□」が赤色に変わります。

拡大縮小	3 DEF さ	拡大します。
	7 PQRS ま	縮小します。
	2 ABC か	縦方向へ拡大します。
	6 MNO は	横方向へ拡大します。
	8 TUV や	縦方向へ縮小します。
	4 GHI た	横方向へ縮小します。

- 上記の各操作は、✉（**メニュー**）を押して、メニュー画面から選ぶこともできます。
  - スタンプの反転：スタンプ選択➡✉（**メニュー**）➡「**7上下反転**」／「**8左右反転**」選択➡◉
  - スタンプの消去：✉（**メニュー**）➡「**2消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

スタンプによっては、変形などができなかったり、操作に制限があることがあります。

4 スタンプの位置を移動する

✥でスタンプの位置を指定し、◉を押します。

- 文字と同様に、ボタンを押したときの移動幅も設定できます。（☞P.12-15）

5 スタンプを確定する

◉を押して、スタンプの位置や形を登録します。

- スタンプ／文字の順番変更：スタンプ／文字選択➡✉（**メニュー**）➡「**3移動**」選択➡◉➡✥でスタンプ／文字移動➡◉
- 入力済のスタンプ変更：スタンプ選択➡✉（**メニュー**）➡「**4変更**」選択➡◉➡スタンプ選択➡◉

E-アニメータを新規作成する

●データフォルダのメモリが一杯のときは、E- アニメータを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.12-45）してから、作成してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ アニメ作成ツール

1 **「2E-アニメータ」を選び、◉を押す。**

一時保存（☞P.12-18）しているE-アニメータがあるときは、「1YES」を選び、◉を押すと、一時保存しているE-アニメータのタイトル修正画面が表示されます。

2 **タイトルを入力し、◉を押す。**

●全角12文字（半角24文字）以内で、必ず入力してください。

3 **ステージサイズ（アニメーションの大きさ）を選び、◉を押す。**

4 ***背景に画像を表示する***

1「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

画像によっては、背景に設定できないことや、文字やスタンプが入力できないことがあります。

背景に画像を表示しない

1「2背景なし」を選び、◉を押す。

5 **番号を選び、◉を押す。**

●ここで指定した番号順に、文字やスタンプが重なって表示されます。

6 ***文字を入力する***

1「1文字入力」を選び、◉を押す。

2 文字を入力する。

■ 文字の入力方法：☞P.12-14

スタンプを入力する

1「2スタンプ選択」を選び、◉を押す。

2 スタンプを入力する。

■ スタンプの入力方法：☞P.12-15

スタンプの内容によっては、他のスタンプや文字、背景が表示されないことがあります。このときは、スタンプを変形、移動したり、文字の順番を変更（☞P.12-15）すると、表示されるようになります。

7 **操作５～６をくり返し、文字やスタンプを入力する。**

■ E-アニメータの再生：Ⓜ（メニュー）➡「1一括再生」選択➡◉
  ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎
■ 背景の設定：Ⓜ（メニュー）➡「9背景設定」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
■ BGMの設定：Ⓜ（メニュー）➡「0BGM設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉
  ➡メロディ選択➡◉

8 **文字やスタンプの入力が終われば、◎（完了）を押す。**

●このあと「3修正」を選び、◉を押すと、内容の修正ができます。（☞P.12-19操作３以降）

E-アニメータは登録すると、あとで編集できなくなります。作成中に一旦保存したあとで編集するときは、「**一時保存**」しておくと便利です。一時保存できるのは１件です。

9 **「1登録」または「2一時保存」を選び、◉を押す。**

■「2一時保存」選択時：◉（操作完了）

10 **「1YES」を選び、◉を押す。**

■ 取消：「2NO」選択➡◉➡操作９からやり直す

11 **◉を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

●別のフォルダを選んで登録したり、メモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき、ファイル名には自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

一時保存したE-アニメータを編集する

●一時保存データがないときは、新規作成してください。（☞P.12-17）
●データフォルダのメモリが一杯のときは、E-アニメータを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.12-45）してから、編集してください。
●登録したE-アニメータは、編集できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ アニメ作成ツール

1 **「2E-アニメータ」を選び、◉を押す。**

一時保存データを編集するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1YES」を選び、◉を押す。**

一時保存データを利用しないときは、「2NO」を選び、◉を押します。このあと、新規作成のタイトル入力画面が表示されます。（以降の操作：☞P.12-17操作２以降）

3 **タイトルを修正し、◉を押す。**

4 **背景を設定し、◉を押す。**

5 **文字やスタンプを選んだあと、◉を押し、内容を修正する。**

■ 文字／スタンプの入力方法：☞P.12-14～P.12-16

■ 背景の変更：✉（**メニュー**）➡「9背景設定」選択➡◉➡✉（**変更**）➡画像選択➡◉➡◉

■ BGMの設定：✉（**メニュー**）➡「0BGM設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡メロディ選択➡◉

6 **編集が終われば、◎（完了）を押す。**

■ タイトル、背景設定、文字やスタンプ設定の修正：「3修正」選択➡◉➡操作３からやり直す

7 **「1登録」または「2一時保存」を選び、◉を押す。**

■「2一時保存」選択時：◉（操作完了）

8 **「1YES」を選び、◉を押す。**

9 **◉を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

●別のフォルダを選んで登録したり、メモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき、ファイル名には自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

アニメーションを確認する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 **アニメーションを登録しているフォルダを選び、◉を押す。**

■ メモリカード内のアニメーションの確認：✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

2 **アニメーションを選び、◉を押す。**

選んだアニメーションが再生されます。

■ 再生の停止：再生中に◎（**戻る**）

■ アニメーションファイルの利用：☞P.12-20

画像／アニメーションの利用

●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像の表示サイズを切り替える

1 画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルを表示中に[スケジュール/メモ]を押す。

画像の表示サイズ（「**等倍（アイコンあり）**」、「**等倍（アイコンなし）**」、「**拡大（アイコンあり）**」、「**拡大（アイコンなし）**」）が切り替わります。

●ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えられないことや、切り替えられる種類が異なることがあります。また、表示を「**拡大**」にしたとき、画像のすべてを表示できないことがあります。

●等倍時には「◪」、拡大時には「◪」が画面上部に表示されます。

メニュー画面からアイコンの表示／非表示を切り替える

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「❶データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡◉➡(メニュー)（メニュー）➡「マーク表示ON」／「マーク表示OFF」選択➡◉

●「**マーク表示ON**」または「**マーク表示OFF**」のメニューが表示されるファイルで、操作できます。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

●「**壁紙登録**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（(メニュー)）

1 「壁紙登録」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.7-2「**オリジナル画像を利用する**」操作4〜5

■選んだ画像のサイズによっては、表示方法は選択できません。このときは、操作5を行ってください。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

●「**マイキャラクタ登録**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（(メニュー)）

1 「マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

2 表示場面を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.7-5操作４以降

連写画像を個別の画像として登録する

写メールモードで撮影した連写画像（複数の画像＋分割画像）を、個別の画像として登録します。また連写画像（「[連写]」表示）内の指定した画像だけを、個別の画像として登録できます。

●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）としてデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ 連写 ➡ 連写画像を選ぶ

1 *連写画像内のすべての画像を登録する*

1 [メール]（メニュー）を押す。

2「全画像個別登録」を選び、●を押す。

連写画像内の1枚の画像を登録する

1 [方向キー]で画像を選び、[メール]（メニュー）を押す。

●分割画像も登録できます。

2「表示画像のみ登録」を選び、●を押す。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダ内の画像を連続表示します。

●連続表示のスピード時間を変更したり、次の画像へ切り替わるときに、上下左右のいずれかから徐々に表示（ワイプ）するように設定することもできます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **連続表示を始める画像を選び、[メール]（メニュー）を押す。**

2 **「連続表示設定」を選び、●を押す。**

3 **「連続表示」を選び、●を押す。**

選択している画像から、連続表示が始まります。

■ 連続表示の停止：●

▪ 連続表示の再開：上記操作のあと●

■ 次の画像へ早送り：連続表示中に[メール]（次へ）

連続表示のスピードを設定する

■ お買い上げ時には、「普通」に設定されています。次の操作で変更できます。

上記操作２のあと「スピード設定」選択➡●➡速さ選択➡●

連続表示のワイプ（次の画像への移行方法）を設定する

■ お買い上げ時には、「OFF」（しない）に設定されています。次の操作で変更できます。

上記操作２のあと「ワイプ設定」選択➡●➡「2ワイプ↓」～「6ミックスワイプ」選択➡●

12

データ管理（データフォルダ）

画像の編集

データフォルダの画像（静止画）に対して、画像編集を行えます。画像編集の各操作は、編集する画像を表示し（☞P.12-8操作１～P.12-9操作３）、次の操作を行ったあとの画面（画像編集のメニュー画面）から操作します。

（**メニュー**）➡「**画像編集**」選択➡◉

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

メニュー画面　　画像編集のメニュー画面

●メニュー項目はダイヤルボタンでも指定できます。
●P.12-22～P.12-29では、編集完了までの操作を説明しています。編集した画像の保存方法については、下記を参照してください。

編集後に画像を保存する

■ 画像編集の各項目で、◉または（**決定**）を押すと、画像編集のメニュー画面に戻ります。このとき、編集した画像はまだ保存されていません。編集した画像を保存するときは、次の操作を行います。

（**保存**）➡**タイトル入力（最大全角12文字、半角24文字まで）**➡◉➡◉

- ■登録中止：（**取消**）
- ■登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
- ■メモリカードへ保存：（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

画像サイズを変更する

データフォルダに登録されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

●固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。（画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。）
●画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
●「**サイズ修正**」が選択できない画像は、利用できません。

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ ▶ ファイルを選ぶ ▶ メニュー（✉） ▶ 画像編集 ▶ サイズ修正

1 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、●を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワーON／OFF用	横240×縦260ドット
着信時表示用	横240×縦80ドット
アラーム時表示用	横240×縦100ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア

2 *画像の表示範囲を指定する*

1 ◎で表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小する

1 ◎（リサイズ）を押す。

画面下部左に「移動」が表示されます。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）でサイズを変更し、●を押す。

■ 画像をなめらかにする：✉（soft）

3 ●を押す。

4 ✉（保存）を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-22）

■ 編集のやり直し：0わをん（元に戻す）

サイズを自由に変更する

1 ◎で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、●を押す。

2 ◎で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 指定のやり直し：◎（戻る）➡操作1からやり直す

3 ✉（完了）を押す。

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア

■ 以降の操作：☞上記「固定サイズに変更する」操作2以降

画像と文字を組み合わせる

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎） ➡ 画像編集

1 「テキスト貼付」を選び、◉を押す。

●「テキスト貼付」が選択できない画像は、利用できません。

■ 文字色の設定：◎（文字色）➡文字色選択➡◉

■ 文字を縁取らない：◎（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

2 「1フリーワード」を選び、◉を押す。

■ 日付の入力：「2日付」選択➡◉➡操作４へ

3 文字を入力し、◉を押す。

●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

●バーコードの読み取りを利用して、文字を入力することはできません。

■ 文字入力のやり直し：◎（戻る）➡操作２からやり直す

4 ◈で文字や日付の位置を指定し、◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-22）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像に画像スタンプを追加する

画像に画像スタンプを追加して加工することができます。

●あらかじめ登録されている画像スタンプ以外や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、画像スタンプとして利用することもできます。

●画像スタンプに利用できる画像は、PNG形式です。データ内容によっては、利用できない画像があります。

●「スタンプ」が選択できない画像は、利用できません。

あらかじめ登録されている画像スタンプを利用する

1 「0マーカースタンプ」～「7足跡」のいずれかを選び、◉を押す。

■ カスタムスクリーンの画像スタンプを利用：「9カスタムスクリーン」選択➡◉

▪カスタムスクリーン設定時にだけ、選択できます。

■ 画像スタンプの変更：◎（戻る）➡種類選択➡◉

2 ◈で画像スタンプを付ける位置を指定し、◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-22）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

オリジナルの画像スタンプを利用する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎） ➡ 画像編集 ➡ スタンプ

1 **「8オリジナル」を選び、◉を押す。**

2 **データフォルダ（☞P.12-8）から画像を選び、◉を押す。**

■ 画像スタンプの変更：◎（戻る）➡操作１からやり直す

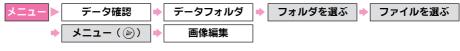
3 **◈で画像スタンプを付ける位置を指定し、◉を押す。**

このあと編集した画像を保存します。（☞P.12-22）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も装飾できます。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）
- 「エフェクト」が選択できない画像は、利用できません。

1 **「エフェクト」を選び、◉を押す。**

写メールモードで撮影した連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像だけを装飾するときは、◈で個別の画像を表示してから操作してください。

2 **装飾の種類を選び、◉を押す。**

- 次の装飾が行えます。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。(☞P.12-22)

■ 編集のやり直し:[0 わをん](元に戻す)

注意 画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登録できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。(フェイスアレンジ)

- フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。
- フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ(輪郭、目、口)の位置や大きさを元に加工します。正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。また、次のときは、うまく加工できないことがあります。
  - ■ピントが合っていない/首を傾けている/暗い/目が髪で隠れている/画面の中央に写っていない/口が開いている/メガネをかけている/ヒゲを生やしている　など
- 画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを調整できます。(☞P.12-27)
- 「**フェイスアレンジ**」が選択できない画像は、利用できません。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー(◎) ➡ 画像編集 ➡ フェイスアレンジ

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ 顔パーツの位置や大きさの確認:◎(**顔抽出**)
- ■アレンジ画像に戻る:上記操作のあと◎(**戻る**)
- ■顔パーツの位置/大きさの調整:上記操作のあと、P.12-27操作1以降

■ アレンジのやり直し:◎(**戻る**)

◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。(☞P.12-22)

■ 編集のやり直し:[0 わをん](**元に戻す**)

注意 フェイスアレンジを行った画像をスーパーメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（☞P.12-26操作１）を行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 **◎（顔抽出）を押す。**

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 **✉（修正）を押す。**

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 **顔の輪郭を指定する。**

◈で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　◈で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：◎（戻る）

4 **右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。**

●画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

右目の位置を指定　左目の位置を指定　口の位置を指定

5 **指定が終われば、✉（完了）を押す。**

確認メッセージが表示されたあと、指定した顔パーツがすべて表示されます。

●顔パーツの指定をやり直すときは、操作２からやり直します。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：◎（リセット）

6 **◉を押す。**

7 「■1YES」を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

- このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

- 「**フレーム**」、「**ムービングフォトフレーム**」、「**回転**」、「**保存形式**」のメニューが表示されるファイルで利用できます。

フレーム

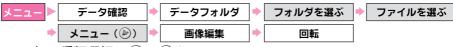
JPEG形式やPNG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎） ➡ 画像編集 ➡ フレーム

フレーム選択➡◉➡◉

- ■ オリジナル画像のフレームを利用：「**オリジナル**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡◉➡◉
- ■ カスタムスクリーンの画像スタンプを利用：「**カスタムスクリーン**」選択➡◉➡◉
  - ■カスタムスクリーン設定時にだけ、選択できます
- ■ フレームの確認：フレーム選択➡◎（**表示**）
  - ■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと◎（**戻る**）
- ■ 編集後の画像の保存：☞P.12-22
- ■ 編集のやり直し：［0 わをん］（**元に戻す**）

画像回転

画像の向きを回転させることができます。

回転の種類選択➡◉➡◉※

※◎（**回転**）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

- ■ 編集後の画像の保存：☞P.12-22
- ■ 編集のやり直し：［0 わをん］（**元に戻す**）

保存形式／保存サイズの変更

画像の形式をJPEG形式（「JPEG」表示）やPNG形式（「PNG」表示）に変更したり、画像のファイルサイズを変更します。

保存形式の変更

「■1形式」選択➡◉➡ファイル形式選択➡◉➡◎（完了）

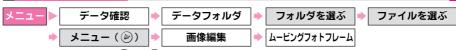
- ■ 編集後の画像の保存：☞P.12-22

保存サイズの変更

「■2サイズ」選択➡◉➡ファイルサイズ選択➡◉➡◎（完了）

- ■ 編集後の画像の保存：☞P.12-22

- 保存形式やファイルサイズを変更すると、画質が変わることがあります。

ムービングフォトフレーム JPEG形式やPNG形式の画像に、動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

フレーム選択➡●➡●

- ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡◎（**再生**）
  - ■ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと◎（**戻る**）
- 編集後の画像の保存：☞P.12-22
- 編集のやり直し：0（**元に戻す**）

●作成したアニメーションは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登録されます。

ムービングフォトフレームを付けたファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では展開できません。（J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機でも展開はできますが、正しく表示されないことがあります。）

ムービングフォトフレームのサイズには、横120×縦130ドットと横240×縦260ドットの2種類があります。元の画像サイズによって、次のサイズのムービングフォトフレームが自動的に付きます。

■**横120×縦130ドット以下のとき**
横120×縦130ドットのムービングフォトフレームが付きます。

■**横120×縦130ドットより大きいとき**
横240×縦260ドットのムービングフォトフレームが付きます。

■**横240×縦260ドットより大きいとき**
画像の中心に、横240×縦260ドットのムービングフォトフレームが付きます。

うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してご利用ください。（☞P.12-23）

画像の合成

画像合成編集の各操作は、合成する画像を表示し（☞P.12-8操作1～P.12-9操作3）、次の操作を行ったあとの画面（画像合成のメニュー画面）から操作します。

（**メニュー**）➡「**画像合成**」選択➡●

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、 表示されるメニューが異なることがあります。

メニュー画面　　画像合成のメニュー画面

分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。

- 分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
- 指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 **左上に配置する画像ファイルを選び、◉を押す。**

2 **（メニュー）を押す。**

3 **「画像合成」を選び、◉を押す。**

4 **「４分割画像 240×320」または「４分割画像 120×160」を選び、◉を押す。**

5 **番号を選び、◉を押す。**

V501SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

6 **画像ファイルを選び、◉を押す。**

- 選択できない画像は利用できません。
- 画像の変更：（変更）
- 指定する番号から選び直す：◎（戻る）

7 **◉を押す。**

分割画像用の画像として指定されます。

8 **操作５～７をくり返し、画像を指定する。**

- 画像の変更：画像選択 ➡◉（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作６からやり直す
- 画像の消去：画像選択 ➡◉（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

9 **画像の指定が終われば、（完了）を押す。**

登録日時のファイル名が自動的に表示されます。

- 登録中止：◎（取消）

12 データ管理（データフォルダ）

10 **タイトルを入力し、◉を押す。**

●タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。

■ 登録先変更：［クリア］➡フォルダ選択➡◉

■ メモリカードへの登録：Ⓜ（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

11 **◉を押す。**

新しい画像として登録されます。

連写画像内の１枚の画像を利用する

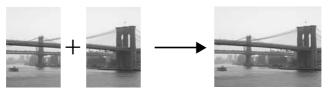
■ P.12-30操作６で、［クリア］（画像一覧表示のとき）または◎（ファイル名一覧表示のとき）を押したあと、次の操作を行います。

連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡◎で画像選択➡◉➡**P.12-30操作８へ**

●ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。

■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にします。

２枚の画像を選択　　パノラマ合成

画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像の合成に適しています。

●パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。

●２枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。

●色味が異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **１枚目の画像ファイルを選び、◉を押す。**

2 **Ⓜ（メニュー）を押す。**

3 **「画像合成」を選び、◉を押す。**

4 「パノラマ合成」を選び、◉を押す。

選んだ画像は左側の画面に表示されます。

●「**パノラマ合成**」が選択できない画像は、利用できません。

5 「2」を選び、◉を押す。

V501SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

6 もう1枚の画像ファイルを選び、◉を押す。

7 ◉を押す。

選んだ画像が2枚目の画像として右側の画面に表示されます。

●画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

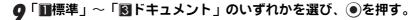
■ 画像の確認：画像選択➡◉➡「**1選択画像表示**」選択➡◉

■パノラマ合成に戻る：上記操作のあと◎（**戻る**）➡◌

■ 画像の変更：画像選択➡◉➡「**2変更**」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

■ 画像の左右入れ替え：◎（**入替**）

8 「効果」を選び、◉を押す。

9 「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

10 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

合成された画像が表示されます。

●◈を押すと画像が移動し、隠れている部分が表示されます。

11 ◉を押す。

登録日時のファイル名が自動的に表示されます。

12 タイトルを入力し、◉を押す。

●タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。

■ 登録中止：◎（**取消**）

■ 登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉

■ メモリカードへの登録：◎（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

13 ◉を押す。

新しい画像として登録されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の1つを指定することで、4枚の画像を自動的に結合できます。

- 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。
- 画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

1 **◉を押す。**

登録日時のファイル名が自動的に表示されます。

2 **タイトルを入力し、◉を押す。**

- タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。

■ 登録中止：◎（**取消**）

■ 登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉

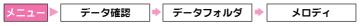
■ メモリカードへの登録：（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

3 **◉を押す。**

新しい画像として登録されます。

メロディファイルの利用

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

再生音量を設定する

1 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。**

3 **で音量を選び、◉を押す。**

着信パターン／効果音に設定する

●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ メロディ

1 ファイルを選び、(メニュー）を押す。

2「着信音設定」または「効果音設定」を選び、◉を押す。

●各項目が選択できないサウンドは、利用できません。

3 着信の種類または効果音の種類を選び、◉を押す。

メロディの編集／音色設定／強弱設定

■ 次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡(メニュー)➡「その他の編集機能」選択➡◉

■ メロディ編集の以降の操作：「データ編集」選択➡◉➡P.8-15操作4以降

■ 音色設定の以降の操作：「音色設定」選択➡◉➡P.8-13操作10～P.8-14操作13

■ 強弱設定の以降の操作：「強弱設定」選択➡◉➡P.8-14操作15～18

●メロディファイル（.smd）で、「データ編集」、「音色設定」、「強弱設定」を行うと、オリジナル着信音（.sjm）形式で保存されます。

着うた®の利用

着うた®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

再生する

データフォルダのオーディオフォルダ内に保存されている「着うた®」を再生します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ オーディオ

1 着うた®を選び、◉を押す。

- 着うた®を着信音に設定する：P.12-35
- 再生の停止：◉（押すたびに「停止」⇔「再生」）
- 音量調節：(上げる）／(下げる）
- 前／次曲再生：[＊]（前曲再生）／[＃]（次曲再生）
- 再生に関する設定：P.12-35

スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

12 データ管理（データフォルダ）

再生中にできること

再生中の曲をはじめから再生する	◎ くり返し押すと、前の曲を再生します。
次の曲を再生する	◎※1 くり返し押すと、次の曲を再生します。
早送りする	◎（押し続ける） ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	◎（押し続ける） ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉※2 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1　再生できない曲は、スキップ再生されます。
※2　一時停止中は、早送り（早戻し）や、次（前）曲再生できません。

再生方法を設定する

再生設定　曲を再生するときの再生方法を設定します。

■1 曲リピートにするときは、その曲の表示中（再生中または停止中）に操作してください。
お買い上げ時 1 曲リピート

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ オーディオ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎） ➡ 再生設定

再生モード選択➡◉

着信音に設定する

着信音設定　オーディオフォルダ内に保存されている着うた®を着信音に設定します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ オーディオ

着うた®選択➡◎（メニュー）➡「着信音設定」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉

vファイルの利用

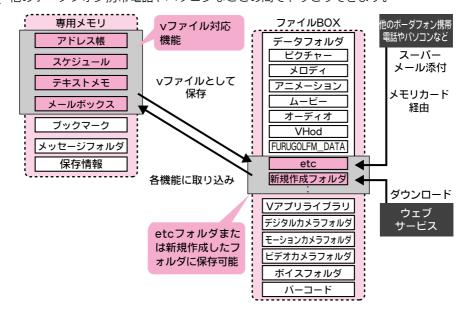
vファイルについて

「**vファイル**」とは、V501SHのアドレス帳やスケジュールなどのデータを、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル形式の総称のことです。
vファイルを利用すると、他のボーダフォン携帯電話やパソコンで作成したアドレス帳やスケジュールなどのデータをV501SHに取り込んだり、V501SHのアドレス帳をパソコンで管理することなどが可能になります。
vファイル対応機能と各ファイル形式は、次のとおりです。

機能	アイコン	ファイル形式	機能	アイコン	ファイル形式
アドレス帳（オーナー情報）	（.vcf）	vCard形式	テキストメモ※1	（.vnt）	vNote形式、Text形式
			メッセージ	（.vmg）	vMessage形式
スケジュール	（.vcs）	vCalendar形式	ブックマーク※2	（.vbm）	vBookmark形式

※1　メモ形式では、「」（.txt）が表示されます。
※2　拡張子「.url」もあります。

vファイルの作成と他の機器とのやりとり

vファイルは、V501SHの専用メモリのデータをデータフォルダに保存すると自動的に作成されます。（V501SHでは、ブックマークのvファイルは作成できません。）
作成されたvファイルは、メールやウェブを利用したり、メモリカードを経由して、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりできます。

ボーダフォン携帯電話とのやりとり

■ vNote 形式のテキストメモは、赤外線通信対応のボーダフォン携帯電話で送受信できます。（☞P.13-2）

ボーダフォン携帯電話以外の機器とのやりとり

■ パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応したソフトウェアが必要です。データの内容によっては、V501SHに取り込めないことや、パソコンなどで利用できないことがあります。
■ パソコンやメモリカードドライブの種類によっては、V501SH でフォーマットしたメモリカードや、保存したvファイルが読み込めないことがあります。
■ パソコンなどでフォーマットしたメモリカードや保存したvファイルは、V501SHで読み込めないことがあります。

メールを利用してやりとりするとき

メールを利用するときのvファイルの送信／受信について、簡単に説明します。
操作の詳細については、操作文中の各ページを参照してください。

■メールを利用してvファイルを送信するとき

1 各機能から、vファイルを作成する。（☞P.12-38）

2 データフォルダから添付して、メールを送信する。（☞ⓞP.3-8）

●メールに対応していないボーダフォン携帯電話へは、vファイルは送信できません。

■メールやウェブを利用してvファイルを受信したとき

1 受信したvファイルを、データフォルダに保存する。（☞ⓞP.4-23）

2 データフォルダのvファイルを、各機能へ取り込む。（☞P.12-39）

メモリカードを利用してやりとりするとき

メモリカード内のデータフォルダにvファイルを保存します。このメモリカードを他の機器へ直接取り付けると、vファイルが利用できます。また、他の機器でvファイルを保存したメモリカードを、V501SHに取り付けて利用することもできます。

メモリカードに保存したブックマークは、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどでは利用できません。また、メモリカードに保存したvファイルは、内容によって、他の機器では利用できないことがあります。

vファイルを作成（保存）する

vファイルは、アドレス帳などvファイル対応機能のデータを、データフォルダに保存することにより作成します。

1 ***アドレス帳から作成する***

1 アドレス帳を呼び出す。（☞P.5-13）

●オーナー情報から作成するときは、オーナー情報画面を表示します。（☞P.2-22）

2 ◉を押す。

注意　アドレス帳に指定着信音、メールコール、メールフォルダが登録されているときは、削除して保存されます。また、ピクチャーコール／メールが登録されているアドレス帳は、画像のサイズによっては、削除して保存されます。

スケジュールから作成する

1 スケジュールの一覧画面を表示する。（☞P.15-19）

2 スケジュールを選び、（メニュー）を押す。

テキストメモから作成する

1 テキストメモの一覧画面を表示する。（☞P.4-18）

2 テキストメモを選び、（メニュー）を押す。

メールから作成する

1 メールのリスト画面を表示する。（☞P.4-2操作１～２）

2 メールを選び、（メニュー）を押す。

●スカイメロディのvファイルは、作成できません。

2 「データフォルダに保存」を選び、◉を押す。

3 タイトルを入力し、◉を押す。

V501SHのetcフォルダのファイル表示画面が表示されます。

●新規作成したフォルダにも登録できます。

■ メモリカード内のデータフォルダへの保存：（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉➡**P.12-46**操作４以降

4 ◉を押す。

vファイルをV501SHの各機能に取り込む

受信したvファイルは、データフォルダに保存（☞ P.4-23）したあと、各機能に取り込むことで利用できるようになります。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 **vファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 ***アドレス帳を取り込む***

1「アドレス帳へ登録」を選び、◉を押す。

2 メモリ番号を入力して登録する。（☞ P.5-5）

スケジュールを取り込む

1「スケジュールへ登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。

テキストメモを取り込む

1「テキストメモへ登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。

メールを取り込む

1「メールボックスへ登録」を選び、◉を押す。

- V501SHの受信メールボックス、送信メールボックス、送信トレイのいずれかに、自動的に登録されます。

ブックマークを取り込む

1「ブックマークへ登録」を選び、◉を押す。

2「1本体」または「2メモリカード」を選び、◉を押す。

SVGファイルの利用

V501SHでは、ベクトルグラフィックスフォーマット「**SVG-T**」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイルに対応しています。それにより、SVGファイルの表やグラフ、地図などの画像が閲覧できます。

- 「SVG-T」の詳細な情報については「http://www.sharp.co.jp/j/」でご案内しています。
- SVGファイルの表示中に（**ガイド**）を押すと、利用できるボタン操作が表示されます。

上下左右スクロール	✥
ページスクロール	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	3（拡大）／#（やや拡大）／1（縮小）／*（やや縮小）／0（元に戻る）／5（キーアクションモード）

12 データ管理（データフォルダ）

電子ブックの利用

メモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。

- 電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞P.8-2）でご案内しています。
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V501SHではご利用になれないことがあります。
- メモリカードの取り扱いについては、P.11-2を参照してください。

書籍データを読む

- 一時停止中のVアプリがあるときや音楽再生中は、書籍データは読めません。

メニュー ▶ メモリカード

1 「8電子ブック」を選び、◉を押す。

電子ブックフォルダの書籍データのリスト画面が表示されます。

- 前回PWRを押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。

■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
（次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）

2 書籍データを選び、◉を押す。

- 画面上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ タイトルや著者などの情報表示：（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉
■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力➡◉➡閲覧画面へ

3 閲覧を終わるときは、クリアまたはPWRを押す。

- クリアを押すと、書籍データのリスト画面に戻ります。
- 画面下部左に「**リスト**」が表示されているときは、◎（**リスト**）を押しても書籍データのリストが表示されます。
- 次回閲覧時に続きから読むときは、PWRを押します。

補足　書籍データはユーザーショートカットに登録できます。（☞P.15-29）

閲覧画面での基本操作

■ 横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
◎(上)	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
◎(下)	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
◎(左)	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
◎(右)	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■ データの先頭や最後に移動するときは、次の操作を行います。

閲覧画面で◎（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡◉

■ 先頭からおおよその位置を％で指定して移動するときは、次の操作を行います。

閲覧画面で◎(メニュー)➡「%指定移動」選択➡◉➡位置(00～99%)入力➡◉

■ 目次を利用し、読む章を表示（目次に対応した書籍データで有効）するときは、次の操作を行います。

閲覧画面で◎（メニュー）➡「目次」選択➡◉➡章選択➡◉

■ しおりの利用：☞P.12-42

■ 閲覧画面の表示方法を変更するときは、次の操作を行います。

閲覧画面で◎（メニュー）➡「表示設定」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容選択➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「**小**」、「**やや小**」、「**中**」、「**やや大**」、「**大**」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	OFF

●書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）

情報選択➡◉➡「1OK」選択➡◉

●操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-31）は、利用できません。

●データの内容によっては、利用できないことがあります。

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所にコピーできます。

閲覧画面で◎（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡P.4-17「コピー（複写）／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作３以降

マスク情報／ジャンプ情報について

■ 書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

●マスク情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、文字列や画像のマスクが反転します。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。

●ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで◎（**戻る**）を押すと、元のページに戻ります。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

● しおりは１書籍につき最大２個（最大５書籍）まで登録できます。

メニュー ▶ メモリカード ▶ 電子ブック ▶ 書籍データを閲覧する

1 **しおりを登録するページで、（メニュー）を押す。**

2 **「しおりをはさむ」を選び、◉を押す。**

3 **「1しおり１」または「2しおり２」を選び、◉を押す。**

指定したページにしおりが登録されます。

自動しおりについて

■ 書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり１）

次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり１に登録され、前回の自動しおり１は自動しおり２に登録されます。

● 自動しおりは１書籍につき最大２個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページを表示する

■ 閲覧画面で、次の操作を行います。

（メニュー）➡「しおりへ移動」選択➡◉➡「しおり１」／「しおり２」／「自動しおり１」／「自動しおり２」選択➡◉

書籍データ内の画像を利用する

画像の壁紙設定　書籍データ内の画像を壁紙に設定します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する ➡ 画像を選ぶ

「壁紙登録」選択➡◉

■ 以降の操作：☞P.7-2「オリジナル画像を利用する」操作4以降
■ 壁紙登録の中止：クリア

● 種類やデータ内容によっては、壁紙に設定できない画像があります。

画像内情報の利用　画像に埋め込まれた情報を利用します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する ➡ 画像を選ぶ

「リンクへ移動」／「マスクの切替」／「動画の実行」選択➡◉

リンクへ移動	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。 （情報の利用／文字列のコピー：☞P.12-41）
マスクの切替	隠された特定の文字列または画像を表示します。
動画の実行	指定のパラパラアニメが動きます。

■ 中止：クリア

辞書データを利用する

文字列の検索　辞書データを利用して言葉の意味などを検索し、検索結果を表示できます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック ➡ 辞書を選ぶ

検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

● 検索結果画面から情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。
● 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.12-41）を参考にしてください。

辞書データ／書籍データの情報の確認　辞書データや書籍データの情報を確認します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ 電子ブック

データ選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

■ 情報の続きの確認：上記操作のあと◎（◎：前の行に戻る）
■ 書籍データのリスト画面に戻る：上記操作のあと◎（戻る）

フォルダ／ファイルの編集

新しいフォルダを作成する

作成したフォルダは、あらかじめ登録されているetcフォルダと同様に、すべての形式のファイルを保存できます。（☞P.12-3）

- フォルダは第１階層から第２階層までに作成できます。（☞P.12-6）
- あらかじめ登録されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etcなど）内にも新しいフォルダを作成できます。
（同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。）

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 **⊘（メニュー）を押す。**
- あらかじめ登録されているフォルダ内にフォルダを作成するときは、フォルダを選び、◉を押したあと、⊘（**メニュー**）を押します。

2 **「フォルダ作成」を選び、◉を押す。**

3 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**
- 続けてフォルダを作成するときは、操作１～３をくり返します。

フォルダ名／ファイル名を変更する

- あらかじめ登録されているフォルダの名前は変更できません。
- ファイルの拡張子は変更できません。
- 同じ階層に、同じフォルダ名やファイル名は使えません。
- フォルダ保護されているフォルダの名前を変更するときは、あらかじめ保護設定を解除しておいてください。（☞P.12-45）

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 **フォルダやファイルを選び、⊘（メニュー）を押す。**

2 **「名前の変更」を選び、◉を押す。**
■ 着信音設定／効果音設定／グループ設定登録済のファイル名変更：「1YES」選択➡◉

3 **名前を変更し、◉を押す。**
- 半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「*」／「"」および絵文字は、使用できません。

フォルダ／ファイルを消去する

- フォルダを消去すると、フォルダ内のファイルもすべて消去されます。
- あらかじめ登録されているフォルダは消去できません。
- 保護されているフォルダを消去するときは、あらかじめ保護設定を解除しておいてください。（☞下記）
- Vアプリ用のフォルダ（「VHod」など）や、フォルダ内のファイルは、名前を変更したり消去しないでください。Vアプリが正常に動作しないことがあります。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 フォルダやファイルを選び、Ⓟ（メニュー）を押す。

■ 複数ファイルの選択：☞下記

2「消去」を選び、◉を押す。

3「1YES」を選び、◉を押す。

複数のファイルを選択する

■ データフォルダ内のファイルを複数選択するときは、データフォルダ画面で次の操作を行います。

ファイル選択➡◎（チェック）（ファイル選択➡◎をくり返す）

- 選択を解除するときは、「☑」が表示されているファイルを選んで、◎（**チェック**）を押してください。（最大50件まで選択できます。）
- Vアプリで使用中のファイルは、選択できません。

■ 選択をすべて解除するときは、次の操作を行います。

Ⓟ（メニュー）➡「チェックリセット」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

フォルダを保護する

データフォルダ内のデータを、操作用暗証番号を入力しないと操作できないようにします。

- 最大10個まで、フォルダ単位で設定できます。
- あらかじめ登録されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etcなど）のほか、新規作成したフォルダに対しても保護設定できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 フォルダを選び、Ⓟ（メニュー）を押す。

2「便利機能」を選び、◉を押す。

3「フォルダ保護」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

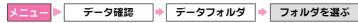
「1ON」を選び、◉を押す。

■ フォルダ保護の解除：「2OFF」選択➡◉

注意
- 次のフォルダは保護設定できません。
  - ■メモリカード内のフォルダ
  - ■モバイルカメラ（ショートカット）フォルダ
- メモリカードからV501SHにデータを一括転送すると、データ保護設定は解除されます。
- 保護を設定したフォルダには、Vアプリからアクセスできなくなるため、Vアプリのダウンロードが正常に行えないことがあります。

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。

- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- あらかじめ登録されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイル（☞P.12-3）だけコピー／移動できます。
- ファイルの種類やデータ内容によっては、コピー／移動できないことがあります。
- 連写画像はコピー／移動できません。

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

■ 複数ファイルの選択：☞P.12-45

2「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

3「1本体」を選び、◉を押す。

■ メモリカードへのコピー／移動：「2メモリカード」選択➡◉

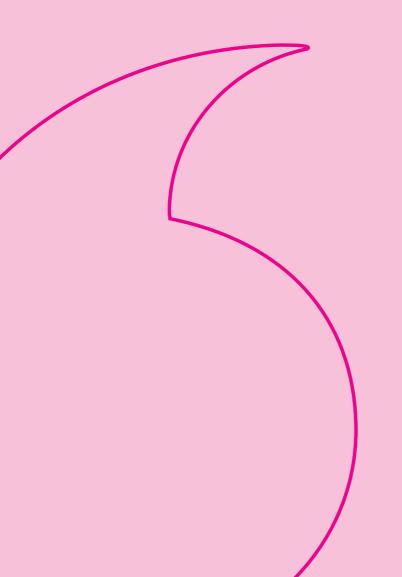
■ 着信音設定／効果音設定／グループ設定登録済のファイル移動：「1YES」選択➡◉

- ■移動の中止：「2NO」選択➡◉
- ■ファイルを移動すると、そのファイルに設定されている各設定は無効になります。

4 コピー先／移動先のフォルダを選び、◉を押す。

5 ◉を押す。

メモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、コピー／移動したファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などと、次のようにデータを送受信できます。

1件データ送信	アドレス帳やメールなどの画面で選んだデータを、1件ずつ送信します。
1件データ受信	送信側の操作によりデータを1件ずつ受信します。受信したデータは自動的に識別され、該当する機能のデータとして追加されます。
フォルダ単位送信	データフォルダ全体または、データフォルダ画面で選んだフォルダ、およびフォルダ内のすべてのデータを送信します。
フォルダ単位受信	送信側の操作によりデータフォルダ全体または指定したフォルダ、およびフォルダ内のすべてのデータを受信します。
全件データ送信	選んだ機能ごとに、すべてのデータを送信します。
全件データ受信	送信側の操作により指定した機能のすべてのデータを受信します。

- V501SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。
  ただし機能によっては、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
- 通信中やボーダフォンライブ！の利用中（メールや情報の送受信中）は、赤外線通信はできません。
- 赤外線通信機能を利用中は、自動的にオフラインモード（☞P.3-6）に設定されます。
  そのため、着信、通話、ボーダフォンライブ！、ミュージックプレイヤー、カード手動シンクロ、メールやデータの編集中などには利用できません。
  赤外線通信が終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

送受信できるデータ

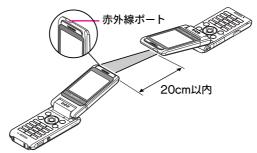
機能	1件	全件	備考
アドレス帳	○	○	1件データ送受信では、グループ指定、シークレット設定、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。全件送信すると、オーナー情報（電話番号を除く）も転送されます。
スケジュール	○	○	1件データ送受信では、シークレット設定は送受信できません。
テキストメモ	○	○	ノート形式だけ送受信できます。
メール	○	○	
データフォルダ※	○	○	全件送受信は、データフォルダ全体またはフォルダ単位で行えます。また、著作権で保護されているファイルは送受信できません。
デジタルカメラデータ	○	×	900KバイトまでのDCF形式のファイルの送受信ができます。

※ 着うた®ファイル（.mp4）、Nancyファイル（.noa）を受信したときは、etcフォルダに不明ファイルとして保存されます。

- ブックマークデータも受信できます。

- メモリカード内のデータは全件送信できません。また、メモリカード内のアドレス帳、スケジュール、テキストメモのデータは1件送信できません。
- 100Kバイトを超えるファイルは送受信できません。（デジタルカメラデータを除く）

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。上記の注意を確認したあと、再接続してください。(「1YES」を選び、●を押します。)

認証パスワード設定

「**認証パスワード**」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信では、受信側/送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。
この認証パスワードは、はじめて赤外線受信するときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、次の操作で変更できます。

- 一度設定した認証パスワードを変更することもできます。

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 認証パスワード設定

1 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

2 認証パスワード(4ケタ)を入力する。

認証パスワードが設定され、赤外線通信の画面に戻ります。

はじめて赤外線受信する前にこの操作を行うと、あらかじめ認証パスワードを設定しておくことができます。このときは、次に赤外線受信しても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

赤外線通信の利用

データを1件ずつ送受信する

データを1件ずつ送信する

1件データ送信は、各機能（☞P.13-2）の画面から行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを表示する。

●アドレス帳、スケジュール、テキストメモは、各詳細画面からでも操作できます。

アドレス帳リスト画面

2 ⓢ（メニュー）を押す。

■ データフォルダ内のデータの送信：「赤外線通信」選択➡◉

3「赤外線1件送信」を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになり、タイトルの入力画面が表示されます。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、各機能のリスト画面に戻ります。

4 タイトルを修正し、◉を押す。

●タイトルを変更しないときはそのまま◉を押し、操作5へ進みます。タイトルを修正しても、元のデータ名は変更されません。

●デジタルカメラデータのタイトルは変更できません。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、各機能のリスト画面に戻ります。

データを1件ずつ受信する

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、登録の確認画面が表示されます。

■ 受信中止：◎

■ 受信強制終了：Ⓟ

認証パスワードの入力画面が表示されたとき

●認証パスワード（お好みの4ケタの数字）を入力してください。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV501SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（☞P.13-3）

●認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

2「1YES」を選び、◉を押す。

データ登録完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

■ 登録しない：「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

データを全件送受信する

●全件データの送受信には、「**暗証番号**」と「**認証パスワード**」の入力が必要です。
■「**暗証番号**」は、V501SHに設定した４ケタの操作用暗証番号（☞P.1-36）です。
■「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。受信側の認証パスワードを設定しておくこともできます。（☞P.13-3）
●データフォルダの全件送受信については、P.13-6を参照してください。

データを全件送信する

 ▶ ツール ➡ 赤外線通信

1 「1赤外線一括送信」を選び、◉を押す。
自動的にオフラインモードになります。
●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、赤外線通信の画面に戻ります。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 送信するデータを選び、◉を押す。

4 受信側を待機状態にする。

5 認証パスワード（４ケタ）を入力する。
■ アドレス帳選択時：「1YES」／「2NO」選択➡◉

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。
送信を開始します。送信が完了すると、機能の選択画面に戻ります。
●認証パスワードを間違えたときも、機能の選択画面に戻ります。

データを全件受信する

 ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、登録の確認画面が表示されます。
■ 受信中止：◎
■ 受信強制終了：PWR
■ 認証パスワードの入力画面表示時：☞P.13-4

2 *追加登録する*

1「1追加登録」を選び、◉を押す。
データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録する

1「2全消去して登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。
データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

アドレス帳を全件受信するときにすべてのデータを消して登録すると、お客様の電話番号以外のオーナー情報は、消去されます。

フォルダ単位でデータを送受信する

フォルダ単位で送信する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 送信するフォルダを選び、(メニュー)を押す。

- データフォルダ全体を送信するときは、そのまま(**メニュー**)を押してください。(フォルダを選ぶ必要はありません。)

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「赤外線フォルダ送信」または「赤外線データフォルダ送信」(データフォルダ全体の送信)を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになります。

- 自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、データフォルダの画面に戻ります。
- データフォルダ全体を送信するときは、このあと操作5へ進みます。

4 フォルダ名を修正し、◉を押す。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、データフォルダの画面に戻ります。

フォルダ単位で受信する

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、赤外線通信の画面に戻ります。

すでに同じ名前のフォルダがあるとき

同じフォルダ内に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「1YES」を選び◉を押すと、データを受信し、同じフォルダ内に追加保存します。
- 「2NO」を選び◉を押すと、通信を終了し、赤外線通信の画面に戻ります。

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
●交換機用暗証番号は、変更できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 暗証番号変更

1 現在の操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-36
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 もう一度、新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

無断利用の防止

V501SHの操作を禁止する（ダイヤル操作禁止）

操作用暗証番号を入力しないと、V501SHを操作できないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ ダイヤル操作禁止

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■ 待受中
●PWR長押し（電源のON／OFF）、●長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）
●緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■ 通話中
●PWR（終話）、⌒（開始／オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■ 着信中
●⌒やエニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る、●PWR（着信中の着信手動転送）、PWR（応答保留）、●（メニュー）＋（「1通話」／「2応答保留」／「3着信拒否」／「文字簡易留守録」／「⊖留守電センター転送」）

ダイヤル操作禁止を解除する

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
●通話中でも同様の操作で解除できます。
●電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する（簡易ロック）

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 簡易ロック

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

●このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止を解除したあと（☞P.14-2）、次の操作を行います。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 簡易ロック

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「2OFF」を選び、◉を押す。**

アドレス帳の使用を禁止する（メモリ使用禁止）

アドレス帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ メモリ使用禁止

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

メモリ使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。

- ■アドレス帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.5-14）も含む］
- ■アドレス帳やオーナー情報を使ったバーコードの作成（☞P.15-37）

ダイヤルボタンでの発信を禁止する（ダイヤル禁止）

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ ダイヤル禁止

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

ダイヤル禁止設定中にできること

■ 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話を受けられないようにします。

指定着信許可	登録した電話番号からの着信に限りつながります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登録した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

- 着信拒否した電話は、インフォメーションメニュー（☞P.2-18）で「**不在着信：○件**」と表示され、着信履歴には「**着信拒否**」として記憶されます。
- 電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
- 非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。（☞P.14-5）
- 指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

着信許可／拒否の電話番号を登録する

- 電話番号を登録したあと「**指定着信許可**」または「**指定着信拒否**」を「ON」にすると、それぞれの機能が有効になります。
- 着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登録できます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 *着信許可の相手先を登録する*

1「5指定着信許可」を選び、●を押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

着信拒否の相手先を登録する

1「6指定着信拒否」を選び、●を押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3「1電話番号指定」を選び、●を押す。

2「3リスト登録」を選び、●を押す。

登録済の相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。

■ 相手先の消去：番号選択➡✉（消去）➡「1YES」選択➡●

3 登録先番号を選び、●を押す。

- 新規に登録するときは、「------------------」が表示されている番号を選んでください。

4 電話番号を入力する。

■ アドレス帳の利用：☞P.5-13

5 ●を押す。

直接電話番号を入力した時は電話番号が、アドレス帳から選んだときは名前が表示されます。（アドレス帳に登録している電話番号と同じ番号を入力しても、登録している名前は表示されません。）

- 続けて他の相手先を登録するときは、操作３～５をくり返します。

指定した電話番号の着信を許可する

●あらかじめ、着信許可リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.14-4）
●指定着信拒否を「ON」にしているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信許可

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ 指定着信許可の解除：「2OFF」選択➡◉

指定した電話番号の着信を拒否する

●あらかじめ、着信拒否リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.14-4）
●指定着信許可を「ON」にしているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信拒否

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「1電話番号指定」を選び、◉を押す。**

3 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ 指定着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信拒否

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

2 **「2非通知拒否」または「3公衆電話拒否」を選び、◉を押す。**

3 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ 着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

シークレットデータの確認

シークレットデータとして登録したアドレス帳やスケジュールは、シークレットモードでだけ確認や編集が行えます。

シークレットモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能

1 「2シークレットモード」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

「⚷」が表示され、シークレットモードが設定されます。

電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードを解除する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能

1 「2シークレットモード」を選び、◉を押す。

「⚷」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットデータを呼び出す

シークレットモードに設定し、通常のアドレス帳やスケジュールと同様に呼び出します。

- 通常のアドレス帳やスケジュールは「⚷」が点灯し、シークレットデータは「⚷」が点滅します。
- シークレットデータの修正／削除なども、通常のアドレス帳やスケジュールと同様に行えます。

登録内容のリセット／消去

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

お客様が設定されていた項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。
- アドレス帳などの登録内容は消去されません。
- お買い上げ時の状態に戻る項目は、P.18-2～P.18-5を参照してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 設定リセット

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2 「1実行」を選び、◉を押す。

■ 設定リセットの取消：「2キャンセル」選択➡◉

アドレス帳などの登録内容を消去する（オールリセット）

操作用暗証番号以外の登録内容（アドレス帳やオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）をすべて消去して、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ オールリセット

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2 「1実行」を選び、◉を押す。

■ オールリセットの取消：「2キャンセル」選択➡◉

一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

その他の機能

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする（通話品質アラーム）

電波状況などにより、通話が途中で切れてしまう恐れがあるときは、アラーム音でお知らせします。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ 通話品質アラーム

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 通話品質アラームの解除：「2OFF」選択➡◉

「ON」にしていても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

通話中にV501SHからプッシュトーンを送ることができます。V501SHからポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作するこができます。

アドレス帳に登録した番号を一括して送る

よく送るポケットベルのメッセージなどを登録しておくと便利です。

●あらかじめアドレス帳にプッシュトーンを登録しておいてください。（☞P.5-4）

●この方法で送るときは、アドレス帳の「☎：」には送りたいプッシュトーンだけを登録してください。電話番号を登録すると正しく送信できません。

1 相手とつながったあと、◎（TEL）を押し、プッシュトーンを登録したアドレス帳を呼び出す。（☞P.5-13）

2 ◉を押す。

3 「PB一括送信」を選び、◉を押す。

プッシュトーンに「,」（ポーズ）を入力すると、「,」（ポーズ）までのプッシュトーンを一区切りとして送信します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあと、ダイヤルボタンを押してプッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。

●アナウンスやアラーム音などに従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。

●送ることのできるプッシュトーンは「0」～「9」、「*」、「#」です。

2 ◎（PB送信）を押す。

サイドキー設定

着信時のサイドボタンの動作を設定する

着信中にサイドボタンを長く（1秒以上）押したときの操作を設定します。
設定できる動作は次の通りです。

応答保留	かかってきた電話を受け、保留にします。
クイックサイレント	着信音を一時的に「**サイレント**」にします。
着信拒否	かかってきた電話を受けずに、切ります。
簡易留守録	簡易留守録で応答します。
留守電センター転送	留守番電話センターに転送します。

●複数またはすべてのサイドボタンに、同じ動作を設定することもできます。
●お買い上げ時には、ⓒに「**簡易留守録**」が設定されています。
（他のボタンには何も設定されていません。）

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サイドキー設定 ➡ 着信時

1 「1Ⓜ」～「5ⓒ」のいずれかを選び、◉を押す。

2 動作を選び、◉を押す。

待受時のⓒボタンの動作を設定する

待受中にⓒを長く（1秒以上）押したとき、ボイスレコーダーを起動するかどうかを設定します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ サイドキー設定 ➡ 待受時ⓒ

1 「1ボイスレコーダー（着信有）」または「2ボイスレコーダー（着信無）」を選び、◉を押す。

●「**2ボイスレコーダー（着信無）**」に設定したときは、オフラインモードでボイスレコーダーが起動します。

■ 動作の解除：「3OFF」選択➡◉

補足

待受時にⓂを押したときの動作を設定することもできます。（☞P.15-22）

簡易留守録

簡易留守録を設定する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを録音します。

●簡易留守録は電源が切れているときやオフラインモードのとき、「圏外」が表示されているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。(☞P.16-4)

●簡易留守録で録音できるのは、音声メモ(☞P.15-6)やマイボイスメモ(☞P.15-6)と合わせて20件まで、または最長約90秒までです。

メニュー ▶ 電話 ▶ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

録音可能秒数が表示され、簡易留守録が設定されます。
(設定完了後、「ON」が表示されます。)

- 応答文再生:「**3応答文再生**」選択➡◉
- 留守録応答/録音中の受話音量の変更:「**4音量設定**」選択➡◉➡「**1受話音量連動**」/「**2サイレント**」選択➡◉

簡易留守録が設定できない状態

■ マナーモード設定中は、簡易留守録の設定/解除はできません。マナーモードを解除してください。

■ 録音できる時間が7秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを消去してください。(☞P.15-6)

応答時間を変更する

■ 電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、0~59秒の間で設定します。(お買い上げ時:9秒)

◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「6応答時間」選択➡◉➡設定時間入力(00~59秒)➡◉

- 着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答:設定時間「00」入力➡◉

■ 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になるときは、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続すると(車載簡易留守)

■ シガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守録に設定されます。車載簡易留守の設定を解除するときは、次の操作を行います。

◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「5車載簡易留守」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

簡易留守録を設定すると

■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。
- 録音中にV501SHをクローズポジションにしても、録音は止まりません。
- 録音中に電話に出るときは⌒を押します。（録音内容は残りません。）

■ 録音が終わると、「🖭」が表示されます。
■ 録音後、簡易留守録が設定できない状態（☞P.15-4）になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「🖭」表示が消えます。（「🖭」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録を設定していないときの操作

■ 着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「OFF」のままです。）

◉➡「文字簡易留守録」選択➡◉

- ■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「4簡易留守録」にしているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、応答文が流れたあと録音が始まります。（クローズポジション時だけ）
- 簡易留守録が設定できない状態（☞P.15-4）のときは、不要なメッセージを消去してください。（☞P.15-6）

簡易留守録を解除する

メニュー ▶ 電話 ➡ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

簡易留守録の設定が解除され、「🖭」表示が消えます。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ 電話 ➡ 簡易留守

1 「2録音再生」を選び、◉を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ 再生途中の停止：再生中に☎

補足 再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に停止します。電話に出るときは、⌒を押してください。

■再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中に◎を押す。 3件目 2件目 1件目 再生→ 再生→	**再生中に◎を押す。** 3件目 2件目 1件目 再生→ 再生→	**再生中に◎を２回押す。** 3件目 2件目 1件目 再生→ 再生→

用件を消去する

■ 再生中に、次の操作を行います。

　[クリア]➡「1YES」選択➡◉

●次の用件が録音されているときは、続けて再生されます。用件をすべて消去すると、「📼」が消えます。

通話内容やお客様の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中のお客様の声（マイボイスメモ）を録音します。

●音声メモでは、お客様の声は録音されません。

●録音できる時間は、簡易留守録（☞P.15-4）と合わせて約90秒までです。
ただし、録音できる時間が３秒以下になったときや、用件やメモが20件録音されると、それ以上録音できなくなります。

●待受中に、長時間の音声を録音することもできます。（ボイスレコーダー：☞P.10-3）

1 ***音声メモを録音する***

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

マイボイスメモを録音する

1 待受中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

2「1マイボイスメモ」を選び、◉を押す。

2 録音が開始される。

●マイボイスメモのときは、送話口に向かってお話しください。送話口からの距離の目安は、５～10cm位です。

3 録音を終わるときは、◉または[スケジュール/メモ]を押す。

●クローズ終話設定（☞P.2-3）を「ON」にしているとき、音声メモ録音中にV501SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、録音も終わります。（このときは、残りの録音可能時間は表示されません。）

●マイボイスメモを録音中に電話がかかってくると、録音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンで電話に出ることができます。（途中までの録音は保存されています。）

●電源を切っても録音内容は保存されています。

●マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守録と同様です。（☞P.15-5、上記）

アラーム

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせせします。
毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。

- 最大5件まで登録できます。
- アラーム時刻に、メッセージや電話番号を表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定なども変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ リピートアラーム設定

1 番号を選び、◉を押す。

- 新規に登録するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

2 「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 アラームの時刻を入力し、◉を押す。

- 時刻は必ず24時間制で入力してください。
- このあと、アラーム時刻の動作（アラーム音選択、バイブ設定、スヌーズ設定など）を設定することもできます。（☞P.15-9）

アラーム登録の画面

4 「3リピート設定」を選び、◉を押す。

5 ***毎日アラームを鳴らす***

1「1デイリー」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「2曜日指定」を選び、◉を押す。

2 曜日を選び、◉を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。

- すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、◎（完了）を押す。

1日だけアラームを鳴らす（リピートOFF）

1「3OFF」を選び、◉を押す。

6 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。

アラームが設定されます。

- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作1～5をくり返します。

7 設定を終わるときは、PWRを押す。

待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。予告アラーム（☞P.15-9）を設定したときは、リピートアラーム設定画面に「🔔」（青）が表示されます。

アラーム時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータが動作します。

● マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を止める

■ アラーム音が鳴っているときに、次の操作を行います。
　PWR／C

● エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても停止します。

スヌーズ設定時の動作

■ 設定したスヌーズ間隔で、アラーム音がくり返し鳴ります。

● PWRを押してアラーム音を止めても、スヌーズは解除されません。（スヌーズ待機状態）

● 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後PWRを押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。

■ スヌーズを解除するときは、スヌーズ待機状態で次の操作を行います。
　エニーキーアンサーの各ボタン➡「1YES」選択➡●

● スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

電話番号表示設定時の動作

■ 電話番号または相手の名前が表示されます。アラーム音停止後に次の操作を行うと、表示された相手先へ電話をかけられます。
　電話番号表示➡発信キー（発信）

● スヌーズを設定しているときは、スヌーズを解除したあと操作してください。

■ 電話番号表示を消すときは、発信キーを押す前にPWRを押します。

メール予約設定時の動作

■ メールアドレスまたは相手の名前が表示されます。アラーム音停止後に次の操作を行うと、表示された相手先へメールを送信できます。
　宛先表示➡メールキー（メニュー）➡「2メール送信」選択➡●➡メールキー（送信）

● スヌーズを設定しているときは、スヌーズを解除したあと操作してください。

● あらかじめ登録していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。

● 通話中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後アラームが動作します。

サブディスプレイにアラームの画面が表示されているときに、Cを押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。このあとCを長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

アラーム時刻の動作を設定する

●下記の各操作（「**メッセージ**」～「**メール予約**」）は、P.15-7操作３のアラーム登録の画面で行います。
●操作後は、アラーム登録の画面に戻ります。他の設定を行い、アラーム設定を完了してください。
●マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。

メッセージ		アラーム時刻に、メッセージを表示します。
		「**4メッセージ**」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉
アラーム音選択		アラーム動作時のアラーム音の種類を設定します。
		「**5サウンド設定**」選択➡◉➡「**1アラーム音選択**」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡◎（**戻る**） ●アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節		アラーム音の音量を調節します。
		「**5サウンド設定**」選択➡◉➡「**2アラーム音量調節**」選択➡◉➡◎（音量調節）➡◉➡◎（**戻る**）
鳴動時間		アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
		「**5サウンド設定**」選択➡◉➡「**3鳴動時間**」選択➡◉➡時間入力（02～99秒）➡◉➡◎（**戻る**）
バイブ設定		バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
		「**6オプション**」選択➡◉➡「**1バイブ設定**」選択➡◉➡「**1ON**」／「**2OFF**」選択➡◉➡◎（**戻る**） ●バイブパターンは通常着信の設定と同じです。
ランプ設定		ランプの種類や点灯方法を設定します。
	モバイルライト点灯	「**6オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**1モバイルライト**」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡◎（**戻る**）
	スモールライト点灯	「**6オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**2スモールライト**」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡◎（**戻る**）
	ランプ点灯なし	「**6オプション**」選択➡◉➡「**2ランプ設定**」選択➡◉➡「**3OFF**」選択➡◉➡◎（**戻る**）
スヌーズ設定		アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。
		「**6オプション**」選択➡◉➡「**3スヌーズ設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02～20分）➡◉➡◎（**戻る**） ●スヌーズ設定を解除する：「**6オプション**」選択➡◉➡「**3スヌーズ設定**」選択➡◉➡「**2OFF**」選択➡◉➡◎（**戻る**）
予告アラーム設定		アラーム時刻前にアラームが鳴るように設定します。
		「**6オプション**」選択➡◉➡「**4予告アラーム設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡予告時間入力（02～99分前）➡◉➡◎（**戻る**） ●予告アラーム設定を解除する：「**6オプション**」選択➡◉➡「**4予告アラーム設定**」選択➡◉➡「**2OFF**」選択➡◉➡◎（**戻る**）

電話番号	アラーム時刻に、電話番号を表示します。
	「6オプション」選択➡◉➡「5電話番号」選択➡◉➡電話番号入力➡◉➡◎（戻る） ●アラーム停止後、電話をかけることができます。 ●「メール予約」を設定しているときは、利用できません。 ●電話番号入力時に◎（TEL）を押すと、アドレス帳を利用することができます。
メール予約	アラーム時刻に、送信トレイに保存したメールを送信します。
	「6オプション」選択➡◉➡「6メール予約」選択➡◉➡送信メール選択➡◉➡◎（戻る） ●メール予約の取消：送信メール選択後◎（取消）➡◎（戻る） ●「電話番号」を設定しているときは、利用できません。

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除

設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 解除する番号を選ぶ

「2解除」選択➡◉

●アラームが解除され、「🔔」や「🔔」が消えます。
●解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを利用するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム消去

設定したアラームを消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 消去する番号を選ぶ

「3消去」選択➡◉

アラーム再設定

解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定することもできます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定

アラームを再設定する

再設定する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡◎（完了）

アラーム内容を変更する

変更する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡P.15-7操作2以降

自動電源ON／OFF

指定時刻に自動的に電源を入れる（自動電源ON）

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV501SHの電源が入ります。

●自動電源ONを「ON」にすると、「OFF」にするまで、毎日同じ時刻に動作します。
●自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ 自動電源ON

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源ONの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 自動電源ONの時刻を入力し、◉を押す。

●時刻は24時間制で入力します。
●このあと、アラームを設定することもできます。（☞P.15-12）

4 ◎（完了）を押す。

自動電源ON設定の画面

自動電源ONの設定時刻になると

■電源が切れていたとき

自動的に電源が入ります。「**アラーム設定**」を「ON」にしているときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプが動作します。

●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

■電源が入っていたとき

「**アラーム設定**」を「ON」にしていたときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプが動作します。

通話中に自動電源ONの設定時刻になった場合、「**アラーム設定**」を「ON」にしていても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後㊐を押すとアラームが動作します。

アラーム音を止めるときは、㊐／Ⓒ／エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押します。

アラームを設定する

- 下記の各操作（「**アラーム設定**」～「**鳴動時間**」）は、P.15-11操作３の自動電源ON設定の画面で行います。
- 操作後は、自動電源ON設定の画面に戻ります。他の設定を行い、自動電源ONの設定を完了してください。
- 「**アラーム設定**」以外の操作は、「**アラーム設定**」を「ON」にしたあとで行います。
- マナーモード設定中は、マナー設定変更（☞P.3-4）の設定が優先されます。

項目	内容
アラーム設定	自動電源ON設定時刻にアラームを動作させるかどうかを設定します。
	「3**アラーム設定**」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
アラーム音選択	アラーム音の種類を設定します。
	「4**アラーム音選択**」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉ ●アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）
アラーム音量調節	アラーム音の音量を調節します。
	「5**アラーム音量調節**」選択➡◉➡◎（音量調節）➡◉
バイブ設定	バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
	「6**バイブ設定**」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉ ●バイブパターンは通常着信の設定と同じです。
ランプ設定	ランプの種類や点灯方法を設定します。
モバイルライト点灯	「7**ランプ設定**」選択➡◉➡「1**モバイルライト**」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉
スモールライト点灯	「7**ランプ設定**」選択➡◉➡「2**スモールライト**」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉
ランプ点灯なし	「7**ランプ設定**」選択➡◉➡「3OFF」選択➡◉
鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。
	「8**鳴動時間**」選択➡◉➡時間入力（02～99秒）➡◉

指定した時刻に電源を切る（自動電源OFF）

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV501SHの電源を切ります。

- 自動電源OFFを「ON」にすると、「OFF」にするまで、毎日同じ時刻に動作します。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 自動電源OFF

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源OFFの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 自動電源OFFの時刻を入力し、◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。

自動電源OFFの設定時刻になると

自動的に電源が切れます。
- 通話中やシェイクカウンター起動中は終了後、メール作成中やカメラ撮影中などはすぐに電源OFFの確認画面が表示されます。
  - ■約１分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます。）
  - ■操作を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。
- 送信予約メールを設定していても、電源OFFの確認画面は表示されずに電源が切れます。

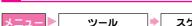
スケジュール

日時の決まった予定（スケジュール）と、期限の決まった用件（アクションアイテム）の２種類の予定が登録できます。
- V501SH／メモリカードともに、スケジュールとアクションアイテムを合わせて400件まで登録できます。
- アクションアイテムは、用件が終わったあと、完了操作を行ってください。（P.15-16）

赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でスケジュール／アクションアイテムのやりとりができます。（P.13-4）

スケジュールを登録する

スケジュールの登録

1 [スケジュール/メモ]（新規スケジュール作成）を押す。
- 再度[スケジュール/メモ]を押すと、カレンダー画面から月日が選べます。

2 開始／終了日時を入力する。
- 開始日時と終了日時を、西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
- 開始日時は必ず入力してください。

スケジュール画面

3 1回だけの予定を登録する

❶◉を押す。

くり返しの予定を登録する

❶◎（周期）を押す。

❷「❷毎日○○：○○」～「❺毎年○○／○○」のいずれかを選び、◉を押す。

- 日時を29～31日にして、「❹毎月」を選んだとき、29～31日が存在しない月では、スケジュールは設定されません。

❸くり返す回数（00～99回）を入力し、◉を押す。

- 「❺毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。

■ くり返す回数変更：◎（回数）

❹◉を押す。

4 「件名」を選び、◉を押す。

5 件名を入力し、◉を押す。

- 最大全角８文字（半角16文字）以内で、必ず入力してください。

6 「スタンプ」を選び、◉を押す。

7 スタンプを選び、◉を押す。

8 「内容」を選び、◉を押す。

9 内容を入力し、◉を押す。

- 最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。
- このあと、アラームを設定したり（☞P.15-16）、オプション機能を設定する（☞P.15-18）こともできます。

スケジュール設定の画面

10 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。

登録の確認画面が表示されます。

■ メモリカードへ登録：◎（）

- 登録先の変更：上記操作のあと◎（）

11 「❶YES」を選び、◉を押す。

スケジュールを登録した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

登録したスケジュール当日の表示

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「」（アラームONのとき）または「」（アラームOFFのとき）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アクションアイテムの登録

 ▶ ツール ▶ スケジュール

1 文字（新規アクションアイテム作成）を押す。

2 件名を入力して、◉を押す。
- 最大全角８文字（半角16文字）以内で、必ず入力してください。

3 「期限」を選び、◉を押す。
- 期限日時と完了日時は西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
- 期限日時は必ず入力してください。

4 期限／日時を入力する。

5 *１回だけの予定*

1. ◉を押す。

くり返しの予定

1. ◎（周期）を押す。
2. 「2毎日○○：○○」～「5毎年○○／○○」を選び、◉を押す。
   - 日時を29～31日にして、「4毎月」を選んだとき、29～31日が存在しない月では、アクションアイテムは設定されません。
3. くり返す回数（00～99回）を入力し、◉を押す。
   - 「5毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。
   - ■ くり返す回数変更：✉（回数）
4. ◉を押す。

6 「スタンプ」を選び、◉を押す。

7 スタンプを選び、◉を押す。

8 「内容」を選び、◉を押す。

9 内容を入力し、◉を押す。
- 最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。
- このあと、アラームを設定したり（☞P.15-16）、オプション機能を設定する（☞P.15-18）こともできます。

アクションアイテム設定の画面

10 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。
登録の確認画面が表示されます。
- ■ メモリカードへ登録：◎（SD）
  - ■ 登録先の変更：上記操作のあと◎（📱）

11 「1YES」を選び、◉を押す。

15 その他の機能

アクションアイテムを完了済にする

■ 完了したアクションアイテムは、次の操作で完了済にしてください。

◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡ (メニュー)➡「表示切替」選択➡◉➡「6全件一覧表示」選択➡◉➡完了したアクションアイテム選択➡◉➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 完了済のアクションアイテムには、自動的に完了日時が入力されます。編集することもできます。(☞P.15-20)
- 完了済のアクションアイテムは、スケジュール画面には表示されません。

■ 完了済のアクションアイテムを自動消去するときは、P.15-21を参照してください。

アラームを設定する

アラーム設定 スケジュールの開始日時やアクションアイテムの期限日時にアラームを鳴らします。

スケジュールにアラームを設定する

スケジュール設定の画面(☞P.15-14操作9の画面)で「アラーム」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

- アラーム設定の画面が表示されます。このあと、アラーム時刻やアラームの動作が設定できます。(☞P.15-16)
- アラーム設定の画面で◉(**完了**)を押すと、スケジュール設定の画面に戻ります。
- 他の設定を行い、スケジュールの設定を完了してください。

アクションアイテムにアラームを設定する

アクションアイテム設定の画面(☞P.15-15操作9の画面)で「オプション」選択➡◉➡「アラーム」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

- アラーム設定の画面が表示されます。このあと、アラーム時刻やアラーム動作が設定できます。(☞P.15-16)
- アラーム設定の画面で◉を2回押すと、アクションアイテム設定の画面に戻ります。
- 他の設定を行い、アクションアイテムの設定を完了してください。

アラームの動作を設定する

- 下記の各操作(「**アラーム時刻**」~「**予告アラーム設定**」)は、スケジュール/アクションアイテムのアラーム設定の画面から行います。
- 操作後は、アラーム設定の画面に戻ります。
- マナーモード設定中は、マナー設定変更(☞P.3-4)の設定が優先されます。

項目	説明・操作
アラーム時刻	アラームが動作する時刻を設定します。
	「1**アラーム時刻**」選択➡◉➡日時入力➡◉
メッセージ	アラーム時刻にメッセージを表示します。
	「2**メッセージ**」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉
アラーム音選択	アラーム音の種類を設定します。
	「3**サウンド設定**」選択➡◉➡「1**アラーム音選択**」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉➡◉(**戻る**) ● アラーム音の選択方法は、着信パターンと同様です。(☞P.8-3)

15 その他の機能

項目	内容
アラーム音量調節	アラーム音の音量を調節します。 「❸**サウンド設定**」選択→◉→「❷**アラーム音量調節**」選択→◉→⇕（音量調節）→◉→Ⓞ（**戻る**）
鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。 「❸**サウンド設定**」選択→◉→「❸**鳴動時間**」選択→◉→時間入力（02～99秒）→◉→Ⓞ（**戻る**）
バイブ設定	バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。 「❹**オプション**」選択→◉→「❶**バイブ設定**」選択→◉→「❶ON」選択→◉→Ⓞ（**戻る**） ● バイブパターンは通常着信の設定と同じです。
ランプ設定	ランプの種類や点灯方法を設定します。
モバイルライト点灯	「❹**オプション**」選択→◉→「❷**ランプ設定**」選択→◉→「❶**モバイルライト**」選択→◉→カラーパターン選択→◉→点滅パターン選択→◉→Ⓞ（**戻る**）
スモールライト点灯	「❹**オプション**」選択→◉→「❷**ランプ設定**」選択→◉→「❷**スモールライト**」選択→◉→点滅パターン選択→◉→Ⓞ（**戻る**）
ランプ点灯なし	「❹**オプション**」選択→◉→「❷**ランプ設定**」選択→◉→「❸OFF」選択→◉→Ⓞ（**戻る**）
スヌーズ設定	アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。 「❹**オプション**」選択→◉→「❸**スヌーズ設定**」選択→◉→「❶ON」選択→◉→くり返す間隔入力（02～20分）→◉→Ⓞ（**戻る**） ● スヌーズ設定を解除する：「❹**オプション**」選択→◉→「❸**スヌーズ設定**」選択→◉→「❷OFF」選択→◉→Ⓞ（**戻る**）
予告アラーム設定	設定時刻前にアラームが鳴るように設定します。 「❹**オプション**」選択→◉→「❹**予告アラーム設定**」選択→◉→「❷**分単位設定**」～「❻**月単位設定**」選択→◉→予告設定（5分前や1週間前など）→◉→Ⓞ（**戻る**） ● 予告アラーム設定を解除する：「❹**オプション**」選択→◉→「❹**予告アラーム設定**」選択→◉→「❷OFF」選択→◉→Ⓞ（**戻る**）

アラーム時刻になると

「**アラーム設定**」を「ON」にしているときは、設定内容に従って、アラーム音やバイブレータが動作します。

- メモリカード内のスケジュールは、アラーム時刻になってもアラームは動作しません。
- 「**アラーム設定**」を「OFF」にしているときは、何も動作を行いません。
- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
- アラーム音の停止方法や、電話番号表示／メール予約／スヌーズ設定時の操作については、P.15-8を参照してください。

通話中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話終了後（PWR）を押すとアラームが動作します。

サブディスプレイに予定の画面が表示されているときに、ⓒを押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。もう一度ⓒを長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

オプション機能を設定する

●下記の各操作（「**シークレット設定**」～「**状態**」）は、P.15-14操作９のスケジュール設定の画面、またはP.15-15操作９のアクションアイテム設定の画面から行います。
●操作後は、スケジュール設定の画面またはアクションアイテム設定の画面に戻ります。他の設定を行い、スケジュール／アクションアイテムの設定を完了してください。

シークレット設定	シークレットデータに設定します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**シークレット設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡◎（**戻る**） ●シークレットデータは、シークレットモード（☞P.14-6）を設定しないと確認できません。 ●シークレット設定を解除するときは、シークレットモードを設定したあと、スケジュールの編集（☞P.15-20）を行います。（上記操作の「**1ON**」のかわりに「**2OFF**」を選びます。）
ピクチャーメモ （**スケジュールだけ**）	画像を設定し、開始日時に表示します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**ピクチャーメモ**」選択➡◉➡「**2データフォルダ**」選択➡◉➡「**1ピクチャー**」～「**3ムービー**」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◎（**戻る**） ●ピクチャーメモの解除：「**オプション**」選択➡◉➡「**ピクチャーメモ**」選択➡◉➡「**3設定解除**」選択➡◉➡◎（**戻る**） ●「**2データフォルダ**」のかわりに「**1モバイルカメラ**」を選ぶと、静止画や動画を撮影して設定できます。
電話	開始日時／期限日時に、電話番号を表示します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**電話**」選択➡◉➡電話番号入力➡◉➡◎（**戻る**） ●アラーム停止後、電話をかけることができます。 ●「**メール予約**」を設定しているときは、利用できません。 ●電話番号入力時に◎（TEL）を押すと、アドレス帳を利用することができます。
メール予約	開始日時／期限日時に、送信トレイに保存したメールを送信します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**メール予約**」選択➡◉➡送信メール選択➡◉➡◎（**戻る**） ●メール予約の取消：送信メール選択後◎（**取消**）➡◎（**戻る**） ●「**電話**」を設定しているときは、利用できません。
日付色	登録日のカレンダーに表示される色を設定します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**日付色**」選択➡◉➡カラー選択➡◉➡◎（**戻る**） ●日付色を設定していても、「**表示切替**」が「**１週間詳細表示**」（☞P.15-19）のときは、表示されません。
自動消去保護	自動的に消去されないよう、保護するかどうかを設定します。
	「**オプション**」選択➡◉➡「**自動消去保護**」選択➡◉➡「**1ON**」（保護する）／「**2OFF**」（保護しない）選択➡◉➡◎（**戻る**） ●「**自動消去設定**」を「**OFF**」にしているときは、この設定にかかわらず自動消去されません。

15 その他の機能

待受表示設定	登録した内容を待受画面に表示するかどうかを設定します。
	「オプション」選択➡◉➡「待受表示設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉➡◎（戻る） ●「時計表示形式」を「カレンダー」（☞P.7-4）に設定しているときに有効です。
優先度	優先度を設定します。
スケジュール	「オプション」選択➡◉➡「優先度」選択➡◉➡「1未設定」～「3低」選択➡◉➡◎（戻る）
アクションアイテム	「優先度」選択➡◉➡「1未設定」～「3低」選択➡◉
状態	「予定」または「完了」を設定します。
	「オプション」選択➡◉➡「状態」選択➡◉➡「1予定」／「2完了」選択➡◉➡◎（戻る）

スケジュールを確認する

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール ▶ 確認する日を選ぶ

1 確認するスケジュールを選び、◉を押す。

■ データフォルダ登録：✎（メニュー）➡「データフォルダに保存」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登録先選択➡◉

●優先度／状態マークの表示は、以下のとおりです。

マーク	優先度	状態	マーク	優先度	状態
□（緑）	未設定	予定	☑（緑）	未設定	完了
□（黄）	低	予定	☑（黄）	低	完了
□（赤）	高	予定	☑（赤）	高	完了

優先度／状態マーク

2 確認を終了するときは、◎（戻る）を押す。

スケジュールの表示内容を切り替える

■ 表示内容を切り替えるときは、次の操作を行います。

◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡◎（切替）

●◎（切替）を押すたびに、「アクションアイテム表示」→「1週間詳細表示」→「1ヶ月スタンプ表示」→「スケジュール表示」→「全件一覧表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。

■ 表示される内容は次の操作で設定（制限）できます。

◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡✎（メニュー）➡「表示切替」選択➡◉➡「7切替表示設定」選択➡◉➡表示方法選択（※）➡◎（チェック）➡（表示方法選択➡◎をくり返す）➡◉

※ 表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

15 その他の機能

スケジュールの作成者／管理番号を確認する

■ 登録済のスケジュールの作成者／管理番号を確認するときは、次の操作を行います。

◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡スケジュールを確認する日選択➡◉➡スケジュール選択➡✉（メニュー）➡「詳細」選択➡◉

- スケジュールの新規登録時に自動的に設定された管理番号が表示されます。作成者はオーナー情報（☞P.2-22）の名前が表示されます。
- 表示内容を「**スタンプ＋詳細表示**」、「**1週間詳細表示**」、「**1ヶ月スタンプ表示**」のいずれかに設定しているときは、詳細メニューは表示されません。

待受画面にスケジュールを表示する

■ スケジュールを待受画面に表示するときは、「**時計表示形式**」を「**カレンダー**」の「**2スタンプ＋スケジュール表示**」にしてください。（☞P.7-4）

■ 次の操作を行うと、スケジュールを待受画面に表示するとき、詳細を表示するかどうかを設定できます。

◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡✉（メニュー）➡「待受表示内容」選択➡◉➡表示内容選択➡◉

スケジュールを編集する

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ 編集する日を選ぶ

1 編集するスケジュールを選び、◉を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「編集」を選び、◉を押す。

4 項目を選び、◉を押す。

- 編集方法は、スケジュール／アクションアイテムの登録時と同様です。

5 編集が終われば、◎（完了）を押す。

6「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。

スケジュールを消去する

1件消去 スケジュール／アクションアイテムを1件ずつ消去します。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ 消去する日を選ぶ ➡ 消去するスケジュールを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 1件消去

「1YES」選択➡◉

1日消去 スケジュール／アクションアイテムを1日単位で消去します。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ 消去する日を選ぶ ➡ メニュー（◎） ➡ 全消去

「2 1日スケジュール全消去」／「6 1日アイテム全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

過去／全件消去 過去またはすべてのスケジュール／アクションアイテムを消去します。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ 消去する日を選ぶ ➡ メニュー（◎） ➡ 全消去

「1過去スケジュール全消去」／「3スケジュール全消去」／「4完了アイテム全消去」／「5予定アイテム全消去」／「7アクションアイテム全消去」／「8全データ消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

その他のスケジュール関連機能

自動消去設定 最大登録件数を超えた、スケジュール／アクションアイテム（完了分）を古い順から消去するかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ メニュー（◎） ➡ 自動消去設定

「1スケジュール」／「2アクションアイテム」選択➡◉➡「1自動消去ON」／「2自動消去OFF」選択➡◉

カレンダー曜日色設定 曜日ごとに色を設定できます。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ メニュー（◎） ➡ カレンダー曜日色設定

曜日選択➡◉➡色選択➡◉

表示設定 スケジュール／アクションアイテムの表示方法を設定します。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ メニュー（◎） ➡ 表示切替

「1スタンプ＋詳細表示」～「6全件一覧表示」選択➡◉

件数確認 スケジュール／アクションアイテムの登録件数を確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ スケジュール ➡ メニュー（◎）

「件数確認」選択➡◉

モーションコントロール設定

モーションコントロールセンサーを調整する

モーションコントロールの各機能（☞P.1-14）を初めてお使いになるときは、お使いの場所や環境に応じて最適な状態でお使いになれるよう、モーションコントロール補正を行ってください。

- モーションコントロールの各機能が正常に動作しなくなったときも、モーションコントロール補正を行ってください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ モーションコントロール設定

1 「4モーションコントロール補正」を選び、◉を押す。

- 以降は、画面の指示に従って、操作してください。

補足

モーションコントロール補正中に着信などがあると、モーションコントロール補正は中断されます。このときは、もう一度はじめからやり直してください。

注意

- 次のような場所では、モーションコントロール補正を行わないでください。
  - ■磁石を利用した電気製品（映像／音響製品のスピーカー、冷蔵庫や家具の扉）、アクセサリー（磁気ネックレスやブレスレット、ハンドバッグ）、磁気治療器などの近く
  - ■電車や地下鉄、自動車内など ■金属製品（金属製の机や棚など）の近く ■鉄で遮断された屋内など
- モーションコントロール補正を行ったときの温度と、モーションコントロールセンサーを使用する温度が大きく異なるときは、動作の精度に影響がでることがあります。

モーションコントロール関連の動作を設定する

Mボタン設定

Ⓜを押したときにできる動作を設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ モーションコントロール設定 ▶ Mボタン設定

「1モーションコントロールカーソル」／「2⊖ボタン代用」／「3OFF」選択▶◉

モーションコントロールカーソル	Ⓜを押すと、モーションコントロールカーソル（☞P.1-33）が利用できるようになります。
⊖ボタン代用	Ⓜを押すと、PWRを押したときと同じ操作が行えるようになります。（電話を切ることはできません。）

◉ボタン設定

◉を押している間、モーションコントロールカーソルが利用できるように設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ モーションコントロール設定 ▶ ◉ボタン設定

「1ON」／「2OFF」選択▶◉

15 その他の機能

ビューア時設定 ビューアポジションでV501SHを振ると、(PWR)の短押しと同じ操作ができるように設定します。

お買い上げ時 モーションコントロールOFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ モーションコントロール設定 ▶ ビューア時設定

「1モーションコントロールON」／「2モーションコントロールOFF」選択▶◉

- 「ビューア時表示方向」（☞P.7-15）を「自動切替」にしているときは、「モーションコントロールON」にすると、自動切替が解除されます。
- 着信中は「モーションコントロールON」にしても、設定は無効になります。

簡易方位計

画面に方位計を表示して、現在の向きを確認できます。

- お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。
- 方位計は北を指して表示されます。V501SHを動かしても方位計は自動的に北を指します。
- 方位計には、「2D」と「3D」の２種類があります。
- お買い上げ時には、「3D」に設定されています。

メニュー ▶ オススメ（◎）

1 「簡易方位計」を選び、◉を押す。

- (メール)を押すたびに、方位計の表示が切り替わります。（「3D」⇔「2D」）

- V501SHは地磁気を検知するセンサーや移動などの加速度を検知するモーションコントロールセンサーを内蔵しており、簡易方位計はこれらのセンサーを利用しています。衛星を使った位置決定システム（GPS）には対応していません。そのため、実際とは違う方位が表示されることがあります。簡易方位計が指す方位はあくまで目安としてご利用ください。
- 以下のような環境では、実際とは違う方位が表示されることがあります。
  - ■電車や地下鉄、自動車などへの乗車中
  - ■鉄などで遮断された屋内
  - ■磁気の強いもの（☞P.1-14）の近く
  - ■金属製品（金属製の机や棚など）の近く
  - ■エレベーター内およびエレベーターの近く
- 方位計が２D表示のときは、できるだけV501SHの画面を水平にした状態で、また、３D表示のときはある程度以上傾けない状態でご利用ください。

簡易方位計を起動しているときに◎（**補正**）を押すと、モーションコントロール補正を行えます。方位に誤差が生じたときはモーションコントロール補正を行ってください。（☞P.15-22）

シェイクカウンター

V501SHを振った回数を自動的にカウントできます。

- お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。
- シェイクカウンターはビューアポジションやクローズポジションでも利用できます。
- 終了するまでカウントする方法（カウントアップ）と、あらかじめ設定した回数になると終了する方法（カウントダウン）があります。
- カウント認識できる強さを設定できます。（カウントレベル設定）
- 最大99999回までカウントできます。
- カウント結果は、V501SHまたはメモリカードのテキストメモに登録できます。

メニュー ▶ ツール ➡ シェイクカウンター

1 *カウントアップする*

1「1カウントアップ」を選び、◉を押す。

カウントダウンする

1「2カウントダウン」を選び、◉を押す。

2 セットする回数（1～99999回）を入力し、◉を押す。

2 ◉を押す。

- 画面には「**カウント停止**」と表示されますが、この状態でV501SHを振るとカウントされます。

3 V501SHを振る。

カウントされます。

- カウントダウン中に設定回数になったときや、カウントアップ中に最大回数（99999回）になったときは、アラームとランプでお知らせします。［アラーム音：パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF］
  - ■アラームを止めるときは、◉を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
  - ■マナーモード設定中は、バイブレータでお知らせします。（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナー設定変更の設定に連動）
  - ■アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。
- カウント中に音を鳴らすことはできません。

4 止めるときは、もう一度◉を押す。

- 数えた回数をテキストメモに登録する：（**メニュー**）➡「**テキストメモ登録**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
  - ■登録済の回数は、テキストメモの操作で確認できます。（☞P.4-18）
- 再スタート：◉
- カウントの消去：◎（**リセット**）

5 終わるときは、 または クリア を押す。

- カウント動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

15 その他の機能

カウントを認識できる強さを設定する（カウントレベル設定）

■ P.15-24操作１のあと、次の操作を行います。

（メニュー）➡「カウントレベル設定」選択➡●➡「1レベル１」～「5レベル５」選択➡●

●「1レベル１」～「5レベル５」の順にカウント認識が弱くなります。

●V501SHを強く振りすぎないでください。誤ってV501SHを投げてしまったり、手首を傷めたりする原因になります。

●V501SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。

●シェイクカウンターが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.15-22）を行ってください。

●シェイクカウンター動作中にアラーム時刻（☞P.15-7）になっても、アラームは動作しません。このときは、シェイクカウンター終了後にアラームが動作します。

●次のときは、カウント動作は継続します。

■V501SHをクローズポジションにしたとき　■パネルセーブが動作したとき

シェイクサウンダー

V501SHを振り、スピーカーからいろいろな効果音を出すことができます。

●お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。

●データフォルダのファイルを効果音に設定できます。ただしメモリカード内のデータやファイルによっては、効果音に設定できないことがあります。

▶ ツール ➡ シェイクサウンダー

1 音量を調節する

1（上げる）または（下げる）で音量を調節する。

●音量は、押すたびに次のように変わります。

（上げる）	（下げる）
1→2→3→4→5→Shake※1	Shake※1→5→4→3→2→1

※1「Shake」を選んだときは、振る強さによって音量が変わります。

マナーモード設定中は、マナー設定変更の「**サウンド再生音量**」で設定されている音量で鳴ります。（☞P.3-5）

効果音を設定する

1 (メニュー)を押す。

2「1ホイッスル」～「9オリジナル」のいずれかを選び、●を押す。

- 「1ホイッスル」～「8シャッフル」のいずれかを選んだときは、このあと操作2へ進みます。
- 「9オリジナル」を選んだときは、スケジュール/メモを押すたびに、「**リスタートモード**」と「**コンティニュモード**」が切り替わります。

リスタートモード	V501SHを連続して振ると、振るたびに鳴っている効果音が停止して、最初から再生されます。
コンティニュモード	V501SHを連続して振ると、振っている間、効果音の最初から最後までがくり返し再生されます。

- 「8**シャッフル**」を選んだときは、振る方向とV501SHの傾きによって音色が変わります。
- 「7**拍手**」または「9**オリジナル**」にしているときは、●を押すと停止します。

3 メロディなどを選び、●を押す。

2 V501SHを振る。

効果音が鳴ります。

効果音が鳴っているときのランプ動作は、「**サウンドランプ設定**」の設定内容に従います。(☞P.8-6)

3 終わるときは、PWR、クリア、(戻る)のいずれかを押す。

- V501SHを強く振りすぎないでください。誤ってV501SHを投げてしまったり、手首を傷めたりする原因になります。
- V501SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- シェイクサウンダーが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正(☞P.15-22)を行ってください。
- パネルセーブ動作中は、V501SHを振っても効果音は鳴りません。

簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能やデータなどを簡単な操作で呼び出して利用できます。（ユーザーショートカット）

●ユーザーショートカットの呼び出し方は、ダイヤルボタンを長く（１秒以上）押して呼び出す方法（☞下記）と、V501SHを「上」、「左」、「右」のうち２つの方向に振る動作の組み合わせ（モーションパターン）で呼び出す方法（モーションコントロールショートカット）の２種類があります。

■例：「右」＋「上」のモーションパターン

「」が表示されているときに

「右」に振って元の位置に戻す
（１番目のモーション）

「上」（手前）に振って元の位置に戻す
（２番目のモーション）

●お買い上げ時に登録されているユーザーショートカットとそれぞれの呼び出し方は次のとおりです。変更もできます。（☞P.15-29）

ユーザーショートカット	ダイヤルボタンでの呼び出し	モーションコントロールショートカットでの呼び出し（モーションパターン）
アドレス帳検索	1（長押し）	－
自動応答メール設定	2（長押し）	－
簡易電卓	3（長押し）	－
リピートアラーム設定	4（長押し）	－
着信設定	5（長押し）	－
画面表示設定	6（長押し）	－
受信メール	7（長押し）	上・上（）
簡単メール宛先（スカイメール）	8（長押し）	左・左（）
Vアプリライブラリ	◎（長押し）	－

●9、0、#も利用できます。（☞P.15-29）

ユーザーショートカットを利用する

ダイヤルボタンでユーザーショートカットを呼び出す

1 1～9、*、0、#、◎**のいずれかを長く（１秒以上）押す。**

登録している画面が表示されます。

●データが登録されているときは、登録されているデータが表示／再生されます。

15

その他の機能

●Ⓢを押したあと、表示する画面のダイヤルボタンを押しても利用できます。

ユーザーショートカットが利用できないとき

次のときは、その機能内へのユーザーショートカットは利用できません。

- ■メール機能、ウェブ機能、ステーション機能、Vアプリ機能を機能停止（OFF）にしているとき
- ■メモリカードが取り付けられていないとき

ユーザーショートカットに登録しているデータを消去していたとき

ユーザーショートカットでデータを表示しようとすると、確認画面が表示されます。「1YES」を選び◉を押すと、ユーザーショートカットが消去され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

モーションコントロールショートカットでユーザーショートカットを呼び出す

●お使いの前に、必ず「**モーションコントロールをお使いになる前に**」（☞P.1-14）を参照してください。

●ビューアポジションでもユーザーショートカットを呼び出せます。

●クローズポジションでは利用できません。

●「」が表示されないときは利用できません。このときは、Ⓜを押して「」を表示させてください。

●V501SHをオープンポジションにしたときや、パネルセーブが解除されたとき、Ⓜを押さなくてもモーションコントロールショートカットを利用できるように設定することもできます。（クイックショートカット：☞P.15-30）

1 ⓂまたはⓈを押す。

ユーザーショートカットの画面が表示されます。

2 モーションパターンの動作を行う。

●10秒以内［タイムアウトする時間（☞P.15-30）］に1番目と2番目の動作が認識されると、それぞれの動作の認識音が鳴り、登録しているユーザーショートカットが表示されます。認識音の音量は設定できます。（☞P.8-6）

●10秒以内［タイムアウトする時間（☞P.15-30）］に動作を行っても認識されなかったときや、動作を行わなかったときは、エラー音が鳴り、ユーザーショートカットの画面に戻ります。操作1からやり直してください。

●モーションパターンの動作は、1番目の動作の認識音を確認したあと、2番目の動作を行うと認識されやすくなります。

●「」が表示されているときにⓂを押すと、「」が消え、モーションコントロールショートカットは動作しなくなります。

●V501SHを強く振りすぎないでください。誤ってV501SHを投げてしまったり、手首を痛めたりする原因になります。

●V501SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。

●モーションコントロールショートカットは振り方の個人差により、正しく認識しないことがあります。認識しやすいモーションパターンを登録してご使用ください。

●モーションコントロールショートカットが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.15-22）を行ってください。

ユーザーショートカットに登録する

ダイヤルボタンのユーザーショートカットを設定する

●ユーザーショートカットに登録できる画面では、「 」が表示されます。

1 **機能一覧またはファイル一覧で、登録する機能名やファイル名を選ぶ。**

2 **［スケジュール/メモ］を長く（1秒以上）押す。**

3 **登録先を選び、◉を押す。**

■ 上書き登録時：「1YES」選択➡◉

●ユーザーショートカットに登録すると、自動的に登録名が付きます。登録名は変更することもできます。（☞P.15-30）
●Vアプリを⓪（長押し）に登録することもできます。
（ダイレクトキー登録：☞ P.12-4）
●上書き登録した内容を消去すると、お買い上げ時の登録内容に戻ります。

モーションコントロールショートカットを設定する

ユーザーショートカットを呼び出すときのモーションパターンの登録や変更を行います。
●モーションパターンの動作の認識が終わる（タイムアウト）までの時間も設定できます。
●クイックショートカット（☞P.15-30）を設定することもできます。

1 **⓪を押す。**

2 **ユーザーショートカット項目を選び、（メニュー）を押す。**

3 **「モーションコントロール」を選び、◉を押す。**

4 ***モーションパターンを登録／変更する***

1「1モーションコントロールON／OFF」を選び、◉を押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

■ 登録済のモーションパターンを削除する：「2OFF」選択➡◉

3「1上（1往復）」～「3左（1往復）」のいずれかを選び、◉を押す。（1番目のモーション）

●◎（ガイド）を押すと、モーションを説明するグラフィックが表示できます。

4「1上（1往復）」～「3左（1往復）」のいずれかを選び、◉を押す。（2番目のモーション）

設定したモーションパターンが表示されます。（ 、 、 ）
このとき◎（練習）を押すと、設定したモーションパターンの練習ができます。
●すでに登録されているモーションパターンは登録できません。エラーが表示され、4の画面に戻ります。他のモーションパターンを設定してください。

タイムアウトする時間を設定する

1「2タイムアウト設定」を選び、◉を押す。

2 タイムアウトする時間（01〜60秒）を入力し、◉を押す。

●お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

クイックショートカットを設定する

1「3クイックショートカット」を選び、◉を押す。

2「1ON」または「2OFF」を選び、◉を押す。

●お買い上げ時には、「2OFF」に設定されています。

その他のユーザーショートカット関連機能

名前変更	ユーザーショートカットの名前を変更します。

◎➡項目選択➡✉（メニュー）➡「名前変更」選択➡◉➡名前修正➡◉

●絵文字は入力できません。

消去	ユーザーショートカットを消去します。

◎➡項目選択➡✉（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

●計測したタイムは、最新の５件までのラップタイムと合わせて、V501SHまたはメモリカードのテキストメモに登録できます。

●電池残量が少なくなると、ストップウォッチは止まります。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能 ▶ ストップウォッチ

1 ◉を押す。

タイムの計測が始まります。

■ ラップタイムの記録：✉（LAP）

■ビューアポジション操作時：C（１秒以上）／◀

2 止めるときは、もう一度◉を押す。

途中でラップタイムを記録すると、最新の５件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

■ テキストメモ登録：✉（メニュー）➡「テキストメモ登録」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ 登録済のタイムの確認：✉（メニュー）➡「テキストメモ参照」選択➡◉➡ファイル選択➡◉

■ 再スタート：◉

■ 計測タイムの消去：◎（リセット）

■ビューアポジション操作時：S（１秒以上）

ストップウォッチを終わるときは、Ⓟまたは[クリア]を押す。
■ ストップウォッチ動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

補足
- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存するときは、計測終了後テキストメモに登録してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。Ⓟで通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- ストップウォッチ動作中にアラーム時刻（☞P.15-7）になっても、アラームは動作しません。このときは、ストップウォッチ終了後にアラームが動作します。
- 計測中にクローズポジションにしても、ストップウォッチの動作は継続します。（サブディスプレイに「TIMER」が点滅します。）

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームでお知らせします。
- 最長60分まで、１秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ キッチンタイマー

1 設定する時間（00分01秒～60分00秒）を入力する。
- 入力を間違えたときは、◎でカーソルを移動し、入力し直します。

2 ◉を押す。
- 60分（60：00）以上の数字を入力したときは、起動時間の入力画面に戻ります。

■ 時間の変更：Ⓜ（**編集**）➡時間入力➡◉

3 ◉を押す。
タイマーのカウントダウンが始まります。

4 止めるときは、もう一度◉を押す。
■ 再スタート：◉
■ 設定時間へ戻る：◎（**リセット**）

5 キッチンタイマーを終わるときは、Ⓟまたは[クリア]を押す。
■ キッチンタイマー動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

設定時間になったときの動作

■ メッセージが表示され、アラームとランプが動作します。［アラーム音：パターン１（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF］
- アラームを止めるときは、◉を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
- マナーモード設定中は、バイブレータでお知らせします。（バイブパターン：バイブ１、音量／ランプ：マナー設定変更の設定に連動）
- アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。

■ 着信中や通話中に設定時間が経過したときは、通話終了後Ⓟを押すと、アラームが動作します。

- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。㊦で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- 操作中に［文字］を長く（1秒以上）押すと、マナーモードの「ON」⇔「OFF」を切り替えることができます。
- キッチンタイマー動作中にアラーム時刻（☞P.15-7）になっても、アラームは動作しません。このときは、キッチンタイマー終了後にアラームが動作します。
- キッチンタイマー動作中にクローズポジションにしても、キッチンタイマーの動作は継続します。（サブディスプレイに「TIMER」が点滅します。）

バーコード読み取り

印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。
バーコードの読み取り方法には、次の2種類があります。

通常モード	1つのバーコード（JANコード）またはQRコードを読み取ります。（複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取ることもできます。）
連続モード	複数のバーコード（JANコード）またはQRコードを連続して読み取ります。

- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
- 連続モードで読み取れる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回、QRコードが最大16回までです。ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。
- モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V501SHを縦向き（レシーバーを上）にしてお使いください。

- V501SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。
- 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-31）は、バーコード読み取りはできません。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部やV501SHの影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用することをおすすめします。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取る

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれているときは、アドレス帳やメールに文字を入力したり、インターネットに接続できます。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード

1 「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

モバイルカメラが起動します。

- V501SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、バーコード読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。
- 通常サイズのバーコードを読み取るときは、通常モード⇔接写モードを切り替えてください。（☞P.6-7）

■ モード切替：スケジュール/メモ（「**通常モード**」⇔「**連続モード**」）
■ モバイルライトの利用：# 記号（「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）
■ 明るさの調整：⊙（明るくなる）／⊙（暗くなる）

2 読み取るバーコードを画面中央に表示させる。

3 ◉を押す。

バーコードの読み取りが開始されます。

■ 読み取りの中止：◎（**中止**）➡操作2へ

4 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.15-34
■ 読み取りのやり直し：◎（**戻る**）➡「1YES」選択➡◉➡操作2へ

連続モードでの読み取り後の操作

■ 読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

- 連続して読み取るとき
  「1YES」選択➡◉➡次のバーコードを画面中央に表示する➡◉
- 読み取りを終了するとき
  「2NO」選択➡◉

分割されているバーコード読み取り後の操作

■ 読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

- 読み取るとき
  「1YES」選択➡◉➡次のバーコードを画面中央に表示する➡◉
- 読み取りを中止するとき
  「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。
■ 読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。（例：「1/4」…4分割の1個目）

読み取り結果の表示サイズを変更する

■ 読み取り結果表示中に、次の操作を行います。

Ⓟ（**メニュー**）➡「**表示サイズ設定**」選択➡◉➡「**1文字サイズ設定**」／「**2画像サイズ設定**」選択➡◉➡**サイズ選択**➡◉

●お買い上げ時には、文字サイズは「**中**」、画像サイズは「**等倍**」に設定されています。

■ 読み取り結果表示中に［スケジュール/メモ］を押しても、表示サイズを切り替えることができます。（画像等倍時には「◪」、画像２倍時には「◫」が画面に表示されます。）

■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メールやウェブの設定には反映されません。

■読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡「**電話**」選択➡◉➡☎
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**メール送信**」選択➡◉➡「**1スーパーメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉（以降の操作：☞ⓄP.3-3）
メール本文に利用してメール送信する	Ⓟ（**メニュー**）➡「**メール送信**」選択➡◉➡「**1スーパーメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉➡読み取り結果確認➡◉ ■読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面でⓅ（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（以降の操作：☞ⓄP.3-3）
アドレス帳に登録する※1、※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**アドレス帳登録**」選択➡◉（以降の操作：☞P.5-8操作４以降）
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」の付いているURLを選択➡◉➡「**ウェブアクセス**」選択➡◉➡ⓄP.4-9「**URLを利用する**」2
データフォルダに登録する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡◉➡「**データフォルダに保存**」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登録先選択➡◉
登録	Ⓟ（**メニュー**）➡「**読取データの登録**」選択➡◉➡タイトル入力➡◉ ●登録できるのは最大10件です。（登録した読取データの確認：☞P.15-36）
コピーする	Ⓟ（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉ 選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2「０」から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列も同様です。
※3　含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4　含まれている文字が「http://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字１文字以上を示します。

先頭に「TEL:」の付いている電話番号（０から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがないとき、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれていると

■ P.15-33操作4の画面で右のように、アドレス帳（「MEMORY:」のとき）やメール（「MAILTO:」のとき）用の項目と内容が表示されます。このあと◉を押すと、表示されている内容をアドレス帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

文字入力中の読み取り 文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で（メニュー）➡（読取）➡「1バーコード読み取り」選択➡◉➡バーコードを画面中央に表示➡◉➡◉

次のときは、文字入力中のバーコード読み取りはできません。

- ■バーコード読み取り結果を保存するときのタイトル入力中
- ■テキスト貼付の文字入力中
- ■通話をしているときの文字入力中
- ■赤外線通信時のタイトル入力中
- ■通話中のアドレス帳作成時
- ■画像編集して保存するときのタイトル入力中
- ■Vアプリ起動中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」を選び、◉を押す。

■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡◉

2 読み取るバーコードファイルを選び、◉を押す。

バーコードの画像が表示されます。

3 （メニュー）を押す。

4 「バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.15-34

15 その他の機能

分割されているバーコードを読み取ると

■ 分割された次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

- 自動的に読み取るときは、次の操作を行います。

  「**2自動選択**」選択➡◉

  ■ 自動読み取り失敗時：「**1個別選択**」選択➡◉➡ファイル指定➡◉

- 読み取りを中止するときは、次の操作を行います。

  「**3キャンセル**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

- サイズを変更したバーコードは読み取りできないことがあります。
- バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読取データを確認する

登録した読み取り結果（読取データ）を確認します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ バーコード

1 **「3読取データ確認」を選び、◉を押す。**

- このあと読取データを選び✉（**メニュー**）を押すと、読取データの情報確認（プロパティ）や名前の変更、消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.12-10、P.12-44、P.12-45）

2 **読取データを選び、◉を押す。**

読み取り結果が表示されます。

- 表示した読み取り結果を再び登録することはできません。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.15-34

■ 読取データ確認画面に戻る：◎（**戻る**）

バーコード作成

V501SHのオーナー情報、アドレス帳、メール、テキストやデータフォルダのメロディ、画像（ピクチャー）を利用して、バーコードファイルを作成します。作成したバーコードファイルはデータフォルダに登録したり、スーパーメールに添付して送信できます。

●操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-31）は、バーコード作成はできません。

バーコード専用モードを利用する

1回の操作につき、1つの情報（オーナー情報、アドレス帳、メール、テキスト、メロディ、画像）を選び、バーコードとして作成します。

●すでにV501SHに登録されている情報から選んで作成したり、新たにアドレス帳やメールの内容などを入力して作成することもできます。

●1つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。

●情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。［一度に最大3416バイト（16分割）まで］

●作成したバーコードは、V501SHのピクチャーフォルダに登録されます。

入力した情報量（バイト）
可能情報量
15:05
バーコード作成
アドレス帳
0/3416(0/16)
:
:
:<未登録>
:<未登録>
:<未登録>
取消 選択 参照
現在の分割数
最大分割数

バーコード作成画面（アドレス帳）

オーナー情報からバーコード作成

名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■オーナー情報の郵便番号はバーコード化されません。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ バーコード ➡ バーコード作成 ➡ オーナー情報

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡✉（作成）➡◉

アドレス帳からバーコード作成

名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■グループ名／オプション設定はバーコード化されません。

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ バーコード ➡ バーコード作成 ➡ アドレス帳

✉（参照）➡アドレス帳を呼び出す（☞P.5-13）➡アドレス帳選択➡◉➡◉➡✉（作成）➡◉

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：項目選択➡◉➡内容入力➡◉

メールからバーコード作成　メールの宛先／件名／本文／添付の情報からバーコードを作成します。

メニュー▶オススメ（◎）▶バーコード▶バーコード作成▶メール

✉（参照）➡「1受信メール」～「3送信トレイ」選択➡●➡メール選択➡●➡✉（作成）➡●

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：項目選択➡●➡内容入力➡●（メール作成：☞ P.3-3）

テキスト（文字）からバーコード作成　入力したテキスト文、電話番号の情報からバーコードを作成します。

メニュー▶オススメ（◎）▶バーコード▶バーコード作成▶テキスト

「テキスト文」／「電話番号」選択➡●➡テキスト入力／電話番号入力➡●➡✉（作成）➡●

メロディ／画像からバーコード作成　データフォルダ内のメロディや画像からバーコードを作成します。

メニュー▶オススメ（◎）▶バーコード▶バーコード作成

「5メロディ」／「6ピクチャー」選択➡●➡メロディ／画像選択➡●➡「1YES」選択➡●➡●

■ オリジナル着信音選択時：変換形式選択➡●➡「1YES」選択➡●

登録先を変更する

■ バーコードを登録する（●を押す）前に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「1登録先」選択➡●➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡●

スーパーメールに添付して送信する

■ バーコードを登録する（●を押す）前に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「2メール添付」選択➡●➡ P.3-3操作２以降

作成したバーコードデータを消去する

■ バーコードを登録する（●を押す）前に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「3データ消去」選択➡●➡消去するデータ選択➡●➡「1YES」選択➡●

バーコード作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、バーコード作成画面に戻ります。

各情報の画面からバーコードを作成する

V501SHに登録しているオーナー情報、アドレス帳、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像から、バーコードを作成します。

1 各情報の画面で、◉（メニュー）または✉（メニュー）を押す。

●メールのときは、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

■ データフォルダ内のデータのバーコード作成：データ選択➡✉（**メニュー**）➡「**便利機能**」選択➡◉➡「**バーコード作成**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉➡◉（操作完了）

2 「バーコード作成」を選び、◉を押す。

操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

3 ✉（作成）を押す。

■ 登録先の変更：☞P.15-38
■ スーパーメールに添付して送信：☞P.15-38
■ 作成したバーコードデータの消去：☞P.15-38

4 ◉を押す。

文字読み取り

URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などをモバイルカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

●一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字まで、行数は３行です。
●次のときは、文字読み取りは起動できません。
 ■ミュージックプレイヤー再生中
 ■メモリカード手動シンクロ中
 ■Vアプリ起動中
●モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V501SHを縦向きにしてお使いください。
●ズームは利用できません。
●一部記号などで読み取れないことがあります。

メニュー ▶ **モバイルカメラ**

1 「7文字読み取り」を選び、◉を押す。

モバイルカメラが起動します。

●V501SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。
●通常サイズの文字を読み取るときは、通常モード⇔接写モードを切り替えてください。（☞P.6-7）

■ ミュージックプレイヤー再生中、メモリカード手動シンクロ中：「**1YES**」選択➡◉
■ モバイルライトの利用：#（「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）
■ 明るさの調整：◎

2 読み取る文字を、画面中央に表示する。

ピント調整バー
（色が濃くなるほど
ピントが合います）

- 画面内の〔 〕枠中央に入るように調整してください。
〔 〕の端の文字は読み取りにくいことがあります。
- 文字読み取り起動時には、反転モード「**自動**」に設定されています。白抜きの文字など、反転モード「**自動**」でうまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。

■ 反転モード切替：[スケジュール/メモ]（押すたびに「**通常文字**」（「A」表示）→「**反転文字**」（「A」表示）→「**自動**」切替）

3 ◉を押す。

文字の読み取りが開始されます。
複数の行を撮影したときは、このあと◎で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは1行単位で行います。）

■ 読み取りの中止：[クリア]➡操作2へ

4 ◉を押す。

文字の読み取りを開始します。

5 読み取りが成功すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などとして表示します。種類が異なっているときは種類を変更し、再認識することができます。

■ 読み取りの種類変更：「**3モード切替**」選択➡◉➡種類選択➡◉
（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）

■ 読み取り結果修正：「**2候補選択（編集）**」選択➡◉➡◎で修正する文字にカーソル移動➡◎で候補選択／文字入力➡◉

■ 読み取りのやり直し：◎（**再読**）➡「**1YES**」選択➡◉➡操作2へ

読み取り可能文字数を超過したとき
文字数カットの確認メッセージが表示され、カット後の読み取りデータが表示されます。

6 「1OK」を選び、◉を押す。

- このあと、下表のとおり利用することができます。

URL	ウェブアクセス、コピー
E-mailアドレス	メール送信、アドレス帳登録、コピー
電話番号	電話をかける、アドレス帳登録、コピー

■ 読み取り結果を利用した各種操作：☞P.15-34
■ 読み取り結果の表示サイズ変更：☞P.15-34

- 続けて読み取るときは、次の操作を行います。
  ◎（**メニュー**）➡「**続き読み取り**」／「**追加読み取り**」選択➡◉
  ■続き読み取り…改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。）
  ■追加読み取り…改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。
- すでに256バイト読み取り済のときは、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」は行えません。

読み取り可能な文字数であっても、35文字を越えると読み取りにくいことがあります。

文字入力中の読み取り 文字入力中に文字を読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で（メニュー）➡（読取）➡「2文字読み取り」選択➡◉➡P.15-40操作２以降

省電力設定

電池パックの消費を抑える（バッテリーセーブ）

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。

- 「ON」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 省電力設定 ➡ バッテリーセーブ

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ バッテリーセーブの解除：「2OFF」選択➡◉

ディスプレイの電力消費を抑える（パネルセーブ）

V501SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。

このパネルセーブが動作するまでの時間を２分～20分の間（１分単位）で変更したり、動作しないようにすることができます。

- 通話中やボーダフォンライブ！利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが動作しないことがあります。

パネルセーブを設定する

- お買い上げ時には、「ON」（５分）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 省電力設定 ➡ パネルセーブ ➡ ON／OFF設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ パネルセーブの解除：「2OFF（微点灯あり）」／「3OFF（微点灯なし）」選択➡◉（操作完了）

2 パネルセーブが動作するまでの時間（02～20分）を入力し、◉を押す。

パネルセーブの動作について

■ 一定時間操作しないでおくと、自動的に画面表示が消えます。
- ●パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。
（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてだけ動作します。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブを解除してから行ってください。）
- ●パネルセーブ動作中にV501SHをクローズポジションにすると、効果音設定の「3パワー ON」（☞P.8-6）で設定されている音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV501SHをオープンポジションにすると、パネルセーブは解除されます。

パネルセーブが動作するまでの時間を短くすると､電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時にスモールライト（オレンジ色点滅）を表示する

●お買い上げ時には、「**ランプ表示なし**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ 省電力設定 ▶ パネルセーブ ▶ ランプ表示設定

1 「1ランプ表示あり」を選び、◉を押す。

■ ランプ点灯なし：「2ランプ表示なし」選択➡◉

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算、税込みの計算に便利です。

●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）		RM（メモリ呼出）	文字
－（引く）		M+（メモリ加算）	
×（掛ける）		.（小数点）	
÷（割る）		+/－（符号反転）	
＝（イコール）	◉	%（パーセント）	
C・CE（クリア）	クリア	tax（税計算）	
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

●お買い上げ時の税率は、「５％」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2

1 「9簡易電卓」を選び、◉を押す。

- ●ダイヤルボタンで数字を入力し、上記のボタンを使って計算を行います。
- ●待受中に金額を入力し◉を押しても、簡易電卓が表示されます。

■ 税率（％）の変更：税率（１～99）入力➡（１秒以上）

2 簡易電卓を終わるときは、PWRを押す。

15 その他の機能

計算結果を利用する

■ 簡易電卓で行った最後の計算結果やメモリ計算で記憶した数値は、文字入力画面に貼り付けることができます。

文字入力画面で（メニュー）➡「各種情報入力」選択➡➡「4簡易電卓」選択➡➡計算結果選択➡➡P.4-17操作7

- 計算中に着信があったとき、入力した数値や計算結果、メモリに記憶された数値は消去されません。
- メモリ計算ではを押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
- メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

明細名を付けた金額を順次入力して、合計金額を計算することができます。出張時の経費の計算などに便利です。

- 最大31件まで金額が入力できます。（合計金額は最大30,999,969円まで、1回の入力は最大999,999円まで）
- 通話中にマネー積算メモは入力できません。

マネー積算メモ入力

金額を入力し、明細名を付けて登録します。

金額を入力➡➡明細名選択➡

- 自動的に入力した日時で登録されます。
- 時刻設定（P.1-28）がされていないときは、日時には「--/-- --:--」が登録されます。

確認

入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ マネー積算メモ

「1メモ確認」選択➡

- 他の金額を確認：
- 明細名／金額の変更：明細選択➡（**メニュー**）➡「**1明細変更**」／「**2金額変更**」選択➡➡変更内容入力➡

消去

明細を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ マネー積算メモ ▶ メモ確認

消去する明細選択➡（メニュー）➡「3 1件消去」／「4全消去」➡➡「1YES」選択➡

明細名変更	あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マネー積算メモ ➡ 明細変更

明細選択➡◉➡明細名変更➡◉

- 最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。
- あらかじめ登録されていた明細名に戻すときは、変更した明細名を消去し、◉を押します。

スポットライト

V501SHを懐中電灯のように利用できます。

点灯	スポットライトを点灯します。

待受中にⓂを連続して２回押す

■ 消灯：C／PWR／クリア／S／◀／▶

点灯設定	スポットライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定します。

お買い上げ時 継続点灯時間：１分、色：ライチフルーツ（白色系統）

メニュー ▶ ツール ➡ スポットライト ➡ スポットライト設定

継続点灯時間を設定する

「1継続点灯時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

点灯カラーを設定する

「2点灯カラー」選択➡◉➡カラー選択➡◉

■ 点灯カラーの確認：カラー選択時に◎（**点灯**）

注意

- スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。
- 次のときは、スポットライトが点灯しません。
  - ■モバイルカメラ起動中 ■誤動作防止中 ■ダイヤル操作禁止中 ■通話中
  - ■メール受信中 ■ボイスレコーダー録音中 ■SMAF動作中 ■発信中
  - ■ストップウォッチ動作中 ■キッチンタイマー動作中 ■メロディファイル再生中

補足

- スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、画面のパネル照明が点灯します。
- 次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、画面のパネル照明が点灯します。
  - ■Vアプリ起動中［Vアプリの「**パネル照明**」（☞ ◎P.12-3）を「**常時ON**」にしているとき］
- クローズポジションにしてスポットライトを点灯しているときは、V501SHを開くと（オープンポジションにすると）自動的にスポットライトは消えます。
- スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

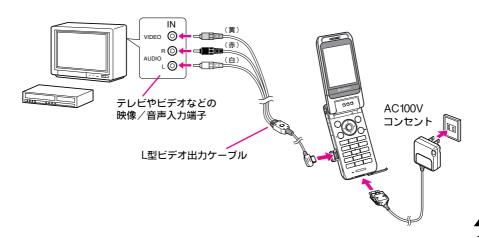
外部出力

テレビやビデオなど他の機器とV501SHを接続し、他の機器にV501SHの画面を出力して見ることができます。

- V501SHと他の機器は、L型ビデオ出力ケーブルで接続します。
- 指定するL型ビデオ出力ケーブル以外のビデオ出力ケーブルはご利用にならないでください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- 画像や音声によっては、外部出力できないものがあります。
- ビデオカメラモードのファイルやVアプリなどを外部出力しているときは、V501SHの画面では表示されません。
- V501SHに取り付けたメモリカード内のデータも見ることができます。
- 外部出力に対応したVアプリ（☞ P.11-4）やモーションコントロールセンサーを使用した機能（☞P.1-14）もテレビやビデオなどの他の機器で表示することができます。
- クローズポジションのときは、外部出力できません。

テレビなどの接続方法

15

その他の機能

外部出力の設定

あらかじめ、V501SHと他の機器を接続しておいてください。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定

1 「6外部出力設定」を選び、◉を押す。

■ 表示サイズの切替：「3表示サイズ切替」選択➡◉➡「1等倍」／「2拡大」選択➡◉
■ 静止画や動画を回転：「4画像回転表示設定」選択➡◉➡「1回転無し」〜「4270°」選択➡◉

2 「1ON」を選び、◉を押す。

●V501SHの画面にも映ります。
■ 他の機器への出力をしない：「2OFF」選択➡◉

●テレビなどと接続するときやプラグを抜くときは、次の点にご注意ください。
　■接続するときやプラグを抜くときは、接続する機器側の電源を一旦「切」にしてください。
　■L型ビデオ出力ケーブルはテレビ側のビデオ入力に接続してください。誤ってビデオ出力端子など他の端子に接続すると、故障することがあります。また、L型ビデオ出力ケーブルはV501SH以外へは接続しないでください。
　■L型ビデオ出力ケーブルのプラグは、ゆっくりと確実に差し込んでください。また、抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
　■L型ビデオ出力ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。V501SHのVIDEO OUT端子やL型ビデオ出力ケーブルが破損する恐れがあります。
●音量調節は、V501SHと接続したテレビなどの機器で行ってください。また、V501SHを抜く前にはテレビなどの音量が大きくなりすぎていないことをご確認のうえ、テレビなどの電源を切ってください。
●お使いのテレビなどによっては、画面にノイズが出たり乱れることがあります。また、表示サイズ切替を「2拡大」にしているときは、画像の一部（上下）が表示されないことがあります。
●外部出力を「ON」にしているときに、光デジタル・ライン入力端子にマイク付液晶オーディオリモコンや光デジタル変換ケーブルなどを接続すると、設定は解除（「OFF」）されます。
●撮影中の静止画や動画は、外部出力できません。
●ウェブは表示できません。

●外部出力を「ON」にすると、「OFF」にしているときに比べて、電池の利用時間が短くなります。
●ビデオカメラモードのファイルを外部出力しているとき、再生中に↶を押すと、他の機器への出力を中止し、V501SHの画面で最初から再生されます。
●表示できない画像が１つでも含まれているとき、アドレス帳画面、アドレス帳リスト表示、データフォルダ画像一覧表示、メールリスト表示は外部出力できません。

連続表示について

外部出力を「ON」にしているとき、静止画を連続して表示（☞P.12-21）すると、接続している他の機器側でも連続して表示されます。ただし、連続表示ワイプ設定（☞P.12-21）は、他の機器では表示されません。

マイク付液晶オーディオリモコンの利用

ワンタッチで電話をかける

メモリ番号000に登録したアドレス帳（☞P.5-5）には、マイク付液晶オーディオリモコンのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、マイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

- 相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。PWRを押しても、電話を切ることができます。

- V501SHをクローズポジションにしても、電話は切れません。

- メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.14-6）
- ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止設定中は、電話をかけられません。（☞P.14-2、P.14-3）
- マイク付液晶オーディオリモコンのコードを、V501SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、マイク付液晶オーディオリモコンのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、マイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。

着信音出力切替（☞P.15-48）の設定に従って、イヤホンからだけ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手とお話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。PWRを押しても、電話を切ることができます。

- V501SHをクローズポジションにしても、電話は切れません。

イヤホンからのみ着信音を出す

イヤホンマイク端子にマイク付液晶オーディオリモコンを差し込んでいるときは、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。
これをイヤホンからのみ鳴るように設定します。
●お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

メニュー ▶ **ファンクション** ➡ **音関連機能** ➡ **着信音出力切替**

1 **「1イヤホンのみ」を選び、◉を押す。**
■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「2**イヤホン＋スピーカー**」選択➡◉

補足 イヤホンマイク端子にマイク付液晶オーディオリモコンなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」にしていても、スピーカーから着信音が鳴ります。

外部機器を利用したデータ通信

FAX通信 データ／FAX通信カードなどを介して､FAX通信を行います。

データ／FAX通信カードを接続する

●G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

パソコン通信 データ／FAX通信カードなどを介して、パソコン通信を行います。

データ／FAX通信カードを接続する

●パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

注意 FAX通信やパソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。

補足
●パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ／FAX通信カードによって変わります。
●ボーダフォン携帯電話は、9600bps高速データ通信対応です。
●データ／FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信やパソコン通信の方法については、データ／FAX通信カードなどの取扱説明書を参照してください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V501SHからの操作は行えません。一般電話から操作してください。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**サービスガイドブック**」を参照してください。

転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.16-3）
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.16-4）
割込通話サービス	通話中の相手を保留にし、かかってきた別の電話を受けられます。（☞P.16-6）
三者通話サービス	２人での通話中にもう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。（☞P.16-7）
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、相手の電話番号を表示できます。

転送電話サービス

●転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
●すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送先電話番号登録

転送先の電話番号を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送先登録

転送電話番号入力➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、登録した転送先電話番号が表示されます。
● 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

転送先として登録できない電話番号
●「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
●「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
●「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送開始

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
●「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書停止

「1YES」選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1YES」選択➡◉

設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に〔通話〕を押すと、そのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**サービスガイドブック**」を参照してください。
- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始

留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 留守番サービス

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択 ▶ ◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 「**2なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

- ■ 着信音が鳴っている間に⌒を押すと、そのまま通話できます。
  - 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）
- ■ 相手が伝言メッセージを入れると、V501SHに「1416」が表示されます。

留守番電話サービス停止中に着信があると（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

- ■ 着信中に◉PWRの順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
- ■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。
- ■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「5 **留守電センター転送**」にしているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、留守電センター転送が行えます。（クローズポジション時だけ）

留守番電話サービス停止

留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書停止

「1YES」選択 ▶ ◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス設定確認

留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書確認

「1YES」選択 ▶ ◉

設定状況が表示されます。

伝言メッセージ再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 留守録再生

「1YES」選択➡◉➡◎

- 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って、操作してください。
  - メッセージの確認を終了する：PWR
  - 留守番電話センター番号を変更して確認：「1YES」選択➡◉➡➡センター番号入力➡◉➡◎
    - ■ お買い上げ時のセンター番号は「1416」です。

「1416」はV501SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V501SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V501SHの着信音が鳴る時間）を５～30秒（５秒単位）の間で設定できます。

- 電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
- 着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。
（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出し時間設定 転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 呼出時間設定

呼出し時間選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV501SHの簡易留守録（☞P.15-4）と併せてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：各サービスの呼出し時間…10秒
簡易留守録の呼出し時間…９秒

上記のように設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス

割込通話サービス設定／解除

割込通話サービスを設定／解除します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込設定

「1ON」／「2OFF」選択 ➡ ◉

ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認

割込通話サービスの設定状況を確認します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、確認できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込確認

「1YES」選択 ➡ ◉

ネットワーク接続後、設定状況に応じて、確認メッセージが表示されます。

割込通話着信

通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら

- 保留中の相手との通話： （**切替**）
- 通話する相手の切替： （**切替**）

割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**着信音なし**」で開始しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に を押すと

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
 または を押すと、保留中の相手と通話できます。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
 または を押すと、保留中の相手と通話できます。

三者通話サービス

通話中発信　通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号入力➡
それまで通話していた相手は、保留になります。
- アドレス帳、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

切替通話　相手を切り替えながら通話します。

通話中に
それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。
- （**切替**）を押すたびに、通話する相手を切り替えられます。

切替通話中に、を押すと

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
またはを押すと、保留中の相手と通話できます。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。
またはを押すと、保留中の相手と通話できます。

通話中転送　切替通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

切替通話中に➡「6通話中転送」選択➡➡「1YES」選択➡
転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手と通話できます。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）
- を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話　３人で同時に通話できます。

切替通話中に➡「5三者通話」選択➡
- 三者通話中に「**切替通話**」（☞上記）に切り替えることはできません。

三者通話中転送

三者通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

三者通話中に◉➡「4通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人だけの通話になります。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）

●PWRを押すと、待受画面に戻ります。

三者通話中に、PWRを押すと

■ ２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切ると

■ 残された相手との通話になります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ **Battery (SHBAC1)***
(Type 1 lithium-ion battery)

■ **Rapid Charger (SHCQ01)***

■ **Video Cable (SHPU01)***

■ **Texture Panel x 2***

■ **miniSD™ Memory Card (32 MB)★**

■ **miniSD™ Memory Card Adapter★**

*May also be purchased separately.
★Complimentary sample

For accessory-related information, please contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.17-39).

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ **Symbols**

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

⊘ ⊘ ⊘ ⊘ ⊘	Prohibited Actions
❗	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, Charger or Holder.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.
Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from necklaces, hairpins, etc. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:
- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠ WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not place metal or flammable objects in handset, Charger or Holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset, Charger and Holder away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, Charger or Holder away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset.
- Do not open housing of handset, Charger or Holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks.
Subjecting handset, Charger or Holder to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter is inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug Charger and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

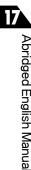
Handset

Preventing accidents
- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective November 1, 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at road/rail crossings to avoid accidents.

Do not swing handset by handstrap.
May result in injury or breakage.

Keep miniSD™ Memory Card and miniSD™ Memory Card Adapter out of the reach of children.
If swallowed, consult a doctor immediately.

Turn handset power off before boarding aircraft.
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjusting vibration and Ring Tone settings:
Users with a heart condition/pacemaker/defibrillator should adjust handset settings accordingly.

During thunderstorms, turn power off; find cover.
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Charger: 100 VAC
- In-Car Charger:12/24 VDC

Do not use In-Car Charger inside vehicles with a positive earth.
Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Charger Care
Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger terminals.
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder inside vehicles.
Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

If Rapid/In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug Charger to avoid damage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children.
Electric shock or injury may occur.

Battery

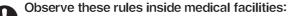
- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire or burst.

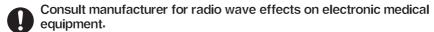
If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/defibrillators should keep handset more than 22 cm away.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:
- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠ CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care
- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage environment
- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).
Handset may heat up and lead to burns.

Headphones & Video Cable
- Do not unplug by pulling the cord. May cause damage to the cord.
- Keep plug clean to avoid noise and malfunction.

Volume settings:
Keep handset volume moderate.
Excessive volume may cause damage to your hearing.

Inside vehicles:
Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor.
See below for handset materials. Some materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger
- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use.
May cause burns.

Use only the specified fuse.
1A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area.
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off.
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Long periods of disuse
Be sure to unplug Rapid/In-Car Charger after use.

Handset Maintenance
When cleaning, disconnect Rapid/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles. Overheating/ fire may occur; may reduce performance. Performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Center, Customer Assistance.
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every 6 months.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or miniSD™ Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of eavesdropping.
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. May cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified products to Headphone Connector. Malfunction or damage may result.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Features

■ Manner Mode

Press Manner Key to automatically mute all Ring Tones and activate Vibration mode for incoming calls/mail.

■ Vibration Mode

Activate Vibration mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Decrease or mute Ring Tone Volume for incoming calls/mail/information as well as tones for Web or V-Applications when carrying handset in public places.

■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use handset in public places.

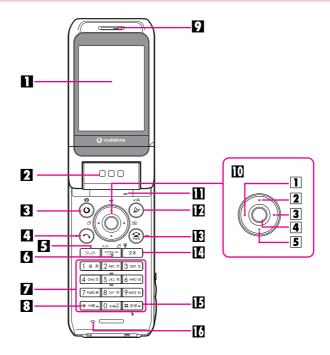
■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display
2 Speaker
3 Vodafone live! & Mobile Camera Key
Open Web menu or execute left Soft Key functions. Press for 1+ seconds to activate mobile camera.
4 Start Key
Initiate or answer calls.
5 Clear Key
Delete entries or return to previous window.
6 Schedule/Memo & A/a Key
Save/check Schedule or record/play Voice Memos. In text entry windows, toggle upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana. Change image display sizes.
7 Keypad
8 ✱ Key
While an image or message appears, press to open previous one.
In alphanumeric entry, open web/mail address prefixes & suffixes, and in kanji (hiragana) entry, toggle Symbol/Pictograph Lists.

9 Earpiece

10 Multi Selector

Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:

1 Redial & Notepad Memory Key

Select dialed numbers or return to the previous window. Press for 1+ seconds to open Notepad Memory.

2 Shortcut Key

In Standby, open Shortcuts menu. Press for 1+ seconds to open V-Appli Library (default).

3 Phone Book Key

Open entries to make calls, send messages or open selected menu items. Press for 1+ seconds to save new entries.

4 Function & Key Guard Key

Access Functions Menu. Press for 1+ seconds to toggle Key Guard.

5 Call History Key

Open received call records. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.

11 Microphone (in Viewer position)

12 Mail Key

Open Mail menu or execute right Soft Key functions. Press for 1+ seconds to enlarge characters.

13 Power On/Off & End Key

End calls, place callers on hold or cancel operations. Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.

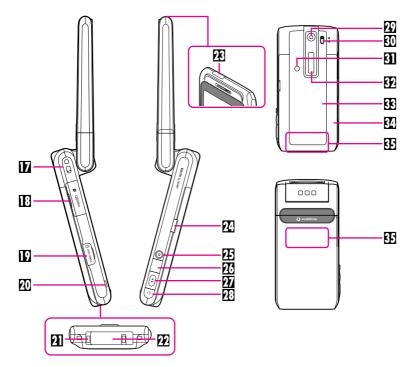
14 Text & Manner Key ()

Toggle between entry modes or create Phone Book entries. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.

15 # Key

When handset is open and mobile camera is active, toggle Mobile Light on/off. While an image or message appears, press to open next one. In text entry windows, toggle Symbol/Pictograph Lists.

16 Microphone (clamshell open)

Handset (Side & Back)

17 Strap Eyelet
Attach straps as shown.

18 Memory Card Slot
Insert miniSD™ Memory Card here.

19 Video Out/Headphone/Optical Digital/Line In Connector
Connect Video Cable, LCD Remote/Mic, etc.

20 Small Light
Illuminates red while charging. Set to flash for incoming calls.

21 Charger Terminal

22 External Device Connector
Connect Charger here.

23 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.

24 Battery Cover Latch

25 Multi Key
Use for Motion Control. Double-press to activate Pen Light.

26 Shutter Key
In Viewer position, press to open selected menu items or execute functions.
Press for 1+ seconds to activate mobile camera.

27 Zoom/Select Key
Select menu items, move cursor, etc.

28 C Key
In Viewer position, press to open Mail menu, cancel current operation/return to previous window; when camera is active, press for 1+ seconds to cancel.
29 Camera (lens cover)
Capture still and video images.
30 Portrait/Macro Selector
31 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail. Serves as a strobe or Pen Light.
32 Sub Display
33 Texture Panel
34 Battery Cover
35 Internal Antenna

About Internal Antenna
- Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna.
- Voice quality will vary depending on where/how handset is used.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge battery before use or after a period of disuse.

■ Battery Life
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified Charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

■ Charging
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move Charger away from TV/radio if interference occurs.

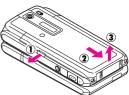
■ Precautions
- Use a dry cotton swab to clean handset, battery and Charger terminals.
- Avoid:
  - ■ Extreme temperatures
  - ■ Humidity, dust and vibration
  - ■ Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

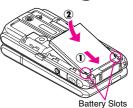
■ Battery Disposal
- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop.
  Follow local regulations regarding battery disposal.

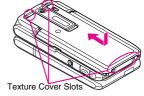
Installing Battery

- Turn handset power off before inserting battery

1 Slide Portrait/Macro Selector to Portrait

2 Pull Battery Cover Latch as shown in ①, slide cover as indicated in ②, then lift and remove it as shown in ③

3 Insert battery

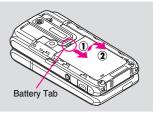
- With printed side up, fit tabs into battery cavity slots.

4 With Portrait/Macro Selector set to Portrait, close cover

- Position and slide the cover as shown until it stops.
- Make sure these tabs are fitted into slots.

5 Push Battery Cover Latch as shown to lock cover

- Push in until it clicks.

Removing Battery

- After Steps 1 - 2 in "Inserting Battery," lift and remove battery.
- Take hold of Battery Tab and push as shown in ①, then lift as indicated in ②.
- Do not remove battery immediately after saving files, sending messages, etc.

Charging (Use Specified Charger Only)

1 Open Terminal Cover and insert Charger connector until it clicks

2 Plug in Charger

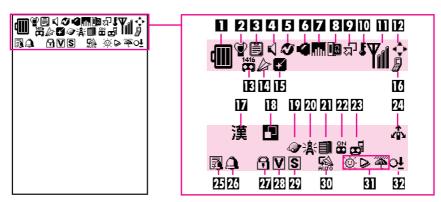
- Charging starts and Small Light illuminaters red.
- Extend blades. Fold back when not in use.

3 Charging is complete when light goes out

- Charging takes approximately 115 minutes* (with handset power off).
  *May vary with temperature.

4 After charging battery, unplug Charger from outlet, then handset

- Squeeze release tabs and pull connector straight out.
- Cap Terminal Cover.

Do not pull, bend or twist Charger cord.

1 Battery Strength, Pen Light
 and flash when Pen Light is in use.

2 Manner Mode Active

3 Information, Off-Line Mode
Appears when there is an item in Information Menu.

4 Speaker Phone Active, Speaker Active, (gray) Station Menu Manual Update

5 Active V-Application, Paused V-Application

6 Line Active, Video Out Active
Mail Server or Service Center transmission is in progress, or handset is connected to other devices via Video Cable.

7 Music Player Active, Voice Recorder Active

8 miniSD™ Memory Card Status

9 User Shortcut, SSL
 appears if a shortcut can be created for the window. appears for SSL encrypted Web information.

10 Secret Mode Active
Flashes when a Secret Mode entry is open.

11 Signal Strength, Infrared Transmission
: Strong : Moderate : Low : Weak OUT: Out-of-Range

12 , , , Scroll

13 New Voice Mail

14 Mail
Unread mail except Super Mail

15 Super Mail
Unread Super Mail

16 Handset, miniSD™ Memory Card
Accessing handset or miniSD™ Memory Card data.

17 Entry Mode

Current Character Type

漢	Kanji (hiragana)
ア	Double-byte katakana
ｱ	Single-byte katakana
Ａ	Double-byte alphanumerics (upper/lower case)
ａ	Double-byte alphanumerics (lower/upper case)
A	Single-byte alphanumerics (upper/lower case)
a	Single-byte alphanumerics (lower/upper case)
1	Single-byte numbers
絵	Pictograph Code
区	Character Code
Ｐ*	Double-byte upper case
P*	Single-byte upper case
ｐ*	Double-byte lower case
p*	Single-byte lower case

*Available in Pager Mode

18 Original, Enlarged

Mail, Web or Data Folder image display size

19 Web

Unread Web information

20 (red) Station

Unread Station information

21 Delivery Report

New Delivery Report

22 Message Recorder Active

23 Message

Message Recorder messages

24 MC Shortcut Active

25 / Schedule

Schedule Alarm On / Off

26 Alarm Set

27 Keypad Lock Active

28 V Vibration Active

29 S Silent, Rising Tone

Ringer is S Silent or set to Rising Tone.

30 Auto Reply Set

31 Weather Indicators

Current forecast (A separate subscription is required.)

32 Key Guard Active

Tip Although Vibration and Ring Tone Level for incoming calls and Vodafone live! functions are set separately, V , S , and are Incoming Call indicators.

Sub Display

Sub Display & Display indicators (☞P.17-17 - 17-18) represent the same functions.

1 Battery Strength, Missed Call, Mail, Message, Voice Mail
Web, Station, Alarm, Pen Light
always appears in Standby. , , , or appears with messages for Alarm, incoming calls, information, etc.
and flash when Pen Light is in use.

2 Signal Strength

3 Information, Off-Line Mode, Auto Reply
Unconfirmed Mail, Web/Station Information, Missed Calls, Message Recorder or Voice Mail messages.
- When appears, press S for 1+ seconds to see specific indicators.

4 Time/Music Player or Voice Recorder Status
Current time or elapsed time for Stopwatch and Kitchen Timer.

Sub Display Backlight illuminates when handset is closed (clamshell closed) or Side Key is pressed, except when Backlight Settings for Sub Display is set to ***Off***.

Using Viewer

V501SH features a rotating Display. Rotate Display into Viewer position for use with mobile camera, etc. (☞P.17-31 "Mobile Camera") with handset closed.

To use Display as Viewer with handset closed: 1) Open handset; 2) rotate Display 180 degrees clockwise; and 3) close handset with Viewer facing outward.

1

2

3

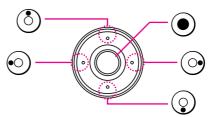
Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc.

In this manual, Multi Selector operations are indicated as shown to the right.

Basic Multi Selector Operations

- ■ : Press or
- ■ : Press or
- ■ : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select 5 *Clock* and press .)

Sample screen shots, etc. are provided for reference only. Actual handset windows, menus, etc. may differ in appearance.

Handset Codes

Both Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions.

- ✱ appears when Security Code is entered.
- If incorrect, ***Invalid Code*** appears. Enter correct Security Code.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access optional service via landlines, and to subscribe to fee-based information.

- Write down Center Access Code. If lost, contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.17-39).
- Do not reveal Security Code and Center Access Code. Vodafone is not liable for misuse or damages.

- Change Security Code as needed.
- Do not attempt to change Center Access Code. Contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.17-39) for details.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Turning On

1 Open handset (clamshell open)
2 Press (PWR) for 1+ seconds

Turning Off

1 Open handset (clamshell open)
2 Press (PWR) for 2+ seconds

English Display

1 Press ● [3 DEF さ] [5 JKL な]
2 Select 2 *English* and press ●

Your Phone Number

1 Press ● [0 わをん]
2 Press (PWR) to exit

Setting Clock

1 Press ● [5 JKL な] [9 WXYZ ら]
2 Enter current date and time
3 Press ●

Initiating a Call

1. Enter a phone number
2. Press [Call key]

Placing an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees required.) Enter [0 わをん][0 わをん][4 GHI た][6 MNO は] + [0 わをん][1 @ あ][0 わをん] + country code + area code + phone number. Call Vodafone Customer Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service" for support.

Example: Calling the United Kingdom

1. Enter [0 わをん][0 わをん][4 GHI た][6 MNO は][0 わをん][1 @ あ][0 わをん]
2. Enter [4 GHI た][4 GHI た] (Country Code)
3. Enter the phone number with the area code
4. Press [Call key]

Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

Redial

1. Press [Left key] [Redial]
2. Select a phone number and press [Center key]
3. Press [Call key]

Total Charges & Talk Time

1 Press [●][6 MNO は][0 わをん] (Total Charges) or [●][6 MNO は][2 ABC か] (Total Talk Time)

2 Press [PWR] to exit

Answering a Call

1 When a call arrives, open handset

2 Press [↷]

Alternatively, press any of the following keys : [0 わをん] - [9 WXYZ ら], [* ﾞﾟ 絵], [# 記号], [スケジュール/メモ], [クリア], [◎], [✉], [•○], [○•]

Placing Callers on Hold

1 When a call arrives, open handset

2 Press [PWR] to place caller on hold

3 Press [↷] to answer the call

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press [●][文字]	Press [●][7 PQRS ま][2 ABC か], select Ring Tone option (1 ***Call*** or 2 ***No Call***) and press [●]
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator	[icon]	[icon]
Play	Press [●][スケジュール/メモ]	Press [●][7 PQRS ま][7 PQRS ま] and choose 1 ***Yes*** and press [●] Press [◎] Dial
Delete	During playback, press [クリア], choose 1 ***Yes*** and press [●]	After playback, press [0 わをん]*
When Handset Power is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

*The key for this operation may vary by Subscription Area. Please call Vodafone Customer Center, General Information.

- While Voice Mail is inactive, press [●] and [PWR] to forward an incoming call. (Activates Voice Mail for the one call only. Voice Mail remains canceled.)
- Activating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Transfer incoming calls to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1. Press ◉ 7 1
2. Select 2 ***Set Fwd Number*** and press ◉
3. Enter a phone number and press ◉

Activating Call Forwarding

1. Press ◉ 7 1
2. Select 1 ***Start Fwd*** and press ◉
3. Select 1 ***Call*** (with Ring Tone) or 2 ***No Call*** (without Ring Tone) and press ◉

Activating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Dialing from Call History

1. Press ⍜
2. Select a phone number and press ◉
3. Press ⌒

Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

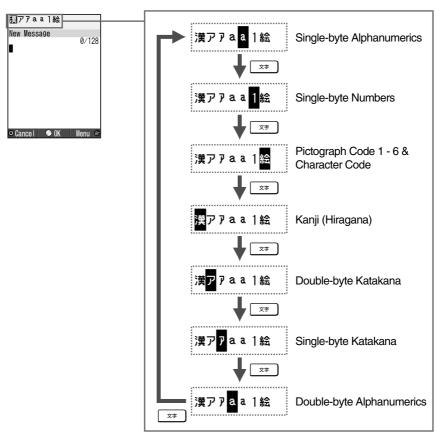
1. In Standby, press 文字 for 1+ seconds
   Default Manner Mode Settings:
   ①Mutes Keypad Sound as well as Power On/Off and Error tones
   ②Volume for Shake Sound and Barcode recognition tone depends on Manner Settings.
   ③Simultaneously invokes: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), Alarm Volume (Silent), Alarm Vibration (On), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On). Adjust settings as required.

Canceling Manner Mode
In Standby, press 文字 for 1+ seconds.

Entering Characters

Entry Modes

Press 文字 to toggle between character entry modes.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
	Upper & Lower Case	Lower Case		
1 @ あ	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2 ABC か	ABCabc2	abc2	2	2
3 DEF さ	DEFdef3	def3	3	3
4 GHI た	GHIghi4	ghi4	4	4
5 JKL な	JKLjkl5	jkl5	5	5
6 MNO は	MNOmno6	mno6	6	6
7 PQRS ま	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8 TUV や	TUVtuv8	tuv8	8	8
9 WXYZ ら	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0 わをん	,.0 ↲ (Line Break)[1]	,.0 ↲ (Line Break)[1]	0	0
＊ ﾞﾟ小 絵	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		＊ - , (Pause)[3]	
# 記号	Log/Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
(Up)	Cursor Up			
(Down)	Cursor Down ↲ (Line Break)[1]			
(Left)	Cursor Left			
(Right)	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)			
クリア	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
(Recover)	Recover up to 64 deleted characters[4]			
(Center)	OK			
(Key)				Log/Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
(Mail)				Pictograph Code 1 - 6

[1] Insert line breaks in mail message text, Text Memo, etc. Press (Down) at the end of text.
[2] Extensions are listed for easy entry.
[3] - and , (Pause) are for phone number entry.
[4] Press (Recover) once for each character to recover immediately after deleting. [Not available after deleting text with クリア (Long Press).]

Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press (Right) to move cursor to the right, then enter the next character.
Editing Characters
Use (Multi-selector) to select a character. Press クリア to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1. Press [# 記号] or [* ゛゜絵] to open Log List (Log List is available in some entry modes)
2. Press ⓞ or [# 記号] to toggle the list as follows: Log List → Symbol List (1 - 3) → Pictograph List (6 - 1)
3. Use ✥ to select one and press ◉
4. Press a key ([0 わをん] - [9 WXYZ ら]) or ✉ Back to exit list

- Single-byte Symbols do not appear in Log List.
- In double-byte character entry, three Symbol Lists appear. Press ⓞ to toggle between them.

Emoticons

1. In a text entry window, press ✉ Menu
2. Select 8*Emoticons* and press ◉
3. Select an emoticon and press ◉

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Enter up to 18 single-byte characters
Reading :		Katakana, alphanumerics and Symbols appear as you enter names (up to 18 single-byte characters including ゛ and ゜)
Phone Number :		Enter up to three phone numbers (24 digits each)
E-mail :		Enter up to three mail addresses (60 single-byte characters each)
Group :		Sort entries into 10 Groups (0 - 9). Change Group names or set Ring Tone by Group.
Personal Data :		Add personal details. Use up to 60 single-byte characters.
Secret Mode :		Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret Mode entries
Photo :		Select an image to appear when you open a Phone Book entry. Activate Picture Call/Mail to see the image set here for incoming calls/mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set Ring Tone by caller
	Incoming Notice	Set Ring Tone by sender
	Picture Call/Mail	Set images to appear by caller or sender
	Mail Folder	Messages are sorted into folders
	Auto Reply	Send a reply automatically to messages from specified senders

- Save up to 500 entries (000 to 499) in Phone Book (handset).
- Save up to 10,000 entries (0000 to 9999) in Phone Book (miniSD™ Memory Card).

Back-up Important Information
Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect information recovery. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address.

1. Press [文字]
2. Enter a name
3. Press ◉
   Characters entered for names (reading for kanji) appear after ▭:

Tip **Correcting Reading**
Select ▭: and press ◉. Correct spelling and press ◉.

15:05
:Ueda Mikio
:Ueda Mikio
:03123XXXX3
:Unsaved
:aaa@xxx.yyy
:Unsaved
:1 Friend
:Unsaved
:Off
:Unsaved
Option settings
Cancel Select Save

4. Select ☎: and press ◉
5. Enter a phone number and press ◉
6. Select an icon and press ◉
7. Select ✉: and press ◉
8. Enter a mail address and press ◉
9. Select an icon and press ◉
10. Press ✎ Save
11. Enter Memory Number (000 - 499)

Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Saving to miniSD™ Memory Card
After Step 10, press ◎ [SD] to switch to miniSD™ Memory Card, then enter Memory Number (0000 - 9999) in Step 11.

Editing Phone Book

1. Open a Phone Book entry (☞P.17-30 "Dialing from Phone Book")
2. Press ◉ Menu
3. Select *Edit* and press ◉
4. Select an item and press ◉
5. Edit contents and press ◉
6. Press ✎ Save when finished
7. Press ◉
8. Choose 1 *Yes* and press ◉

17 Abridged English Manual

Saving from Call History

1 Select a phone number (☞Steps 1 - 2 in "Dialing from Call History" on P.17-24)

2 Press ◉ Menu, select *Add to Phone Book* and press ◉

3 *New Entry*

1. Select 1*New Entry* and press ◉
2. Follow Steps 2 -11 in "New Phone Book Entries" on P.17-29

Add to Existing Entry

1. Select 2*New Item* and press ◉
2. Open a Phone Book entry (☞"Entry Number Search" below) and press ◉ Select an icon and press ◉, then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book" on P.17-29

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1 Press ◉ TEL

The search method used last appears.

2 Press ◉ Menu, select *Memory No. Search* and press ◉

3 Enter Memory No. (000 - 499)

4 Select a name and press ◉

Tip Selecting from Multiple Numbers/Addresses

Use ◉ to select other numbers/addresses.

5 Press ◉

Search by Reading

1 Press ◉ TEL

The search method used last appears.

2 Press ◉ Menu, select *Search by Reading* and press ◉

3 Enter reading and press ◉

Use up to 18 single-byte characters.

4 Select a name and press ◉

Tip Selecting from Multiple Numbers/Addresses

Use ◉ to select other numbers/addresses.

5 Press ◉

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from five different shooting modes. Use ***Sha-mail*** and ***Camera*** for still images and ***Movie Sha-mail***, ***Motion Camera*** and ***Video Camera*** for video.

	Sha-mail	Camera
Image Size	W 240 × H 320 dots W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	W 1280 × H 960 dots W 1024 × H 768 dots W 640 × H 480 dots
Save to	Handset or miniSD™ Memory Card	
File Format	JPEG (.jpg)	

	Movie Sha-mail	Motion Camera	Video Camera
Image Size	W 128 × H 96 dots W 80 × H 60 dots	W 176 × H 144 dots W 128 × H 96 dots	W 320 × H 240 dots
Save to	Handset or miniSD™ Memory Card		
File Format	MPEG-4 (.3gp)		MPEG-4 (.ASF)

Camera Shake

If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

Lens Cover

Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off lens cover.

Camera

- Mobile camera is a precision instrument. However, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Using Camera with Handset Closed

Open handset and rotate Display 180 degrees clockwise (☞P.17-19 "Using Viewer"). Then close handset with Display in Viewer position. Holding handset horizontally with Side Keys up, press Shutter Key for 1+ seconds to activate mobile camera.

Using Viewer for Self Portraits

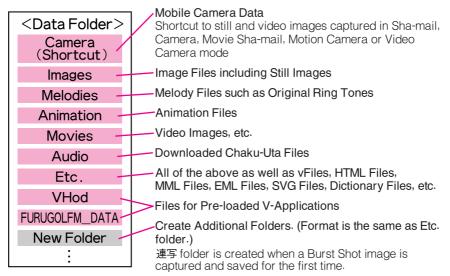
Open handset and activate mobile camera. Then rotate Display 180 degrees clockwise. Turn handset around in your hand so the lens is facing you. Your image appears on Display as a mirror image. After shutter is released, preview image appears reversed.

Capturing Still Images

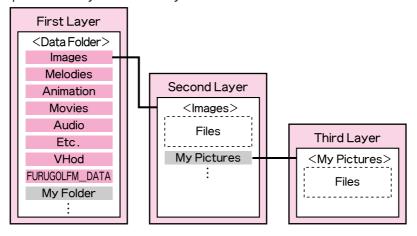
1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select *Camera* and press ◉
3. Select 1*Sha-mail* or 2*Camera* and press ◉
4. Frame image on Display
5. Press ◉ Shoot or Shutter Key
6. Press ◉ Save to save image
7. Press PWR to exit

Data Folder

Data Folder Contents

Files created or obtained via Web or Sky/Super Mail are organized in separate folders according to file format. Files are sorted as follows:

Note Extensions and icons indicate file formats. Extensions do not appear for JPEG Animation, PNG Animation and PNG/JPEG Animation.

Data Folder Structure

Create up to three layers to organize files.
Example: Create ***My Folder*** and ***My Pictures***.

Opening Data Folder

1. Press ◉ 8 5
2. Select a folder and press ◉
3. Select a file and press ◉
4. Press (PWR) to exit

Super Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images folder to Super Mail

1. Press ◉ 8 5
2. Select ***Images*** and press ◉
3. Select a file and press (✉) Menu
4. Select ***Attachment*** and press ◉
5. Select Attachment type and press ◉
6. Enter recipient, complete other fields and press (✉) to send Super Mail

Function List

[1] Also available during calls.
[2] Currently not available in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu and Okinawa areas.
[3] Currently not available in Tohoku, Niigata, Chugoku and Shikoku areas.

Functions Menu	Description
0. My Number[1]	Open handset phone number
1. Sounds	Call Functions, Volume, Sound Effects, etc.
2. Privacy	Manage handset security with Keypad Lock, Auto Key Lock, etc.
3. Settings 1	Check Guide or Memory; activate Off-Line Mode, Battery Saving or Signal Alert; access Language, Light, Sub Display, or Group Settings
4. Settings 2	Open Spending Memo; activate In-Car Recorder, User Dictionary or Calculator; adjust Answer Time, MC Settings, Animation, Manner Settings
5. Clock	Alarm, Clock Display, etc.
6. Charges	Call Charge, Total Talk Time, etc.
7. Services	Activate Optional Services such as Voice Mail and Call Forwarding
8. Vodafone live!	Access Mail, Web, Station, V-Applications, and Data Folder

■ 1. Sounds

Function	Description
0. Call Functions	Set Ring Tones
1. Volume[1]	Adjust volume
3. Sound Effects	Set Sound Effects
5. Ringer Out	Disable handset speaker or use with headphones
6. Speaker[1]	Set Speaker Phone or Speaker
7. Original Tones	Save Original Tones/Original Voice
8. Instrument Effects	Save Instrument Effects
9. Tone Octave	Set Tone Octave

■ 2. Privacy

Function	Description
0. Keypad Lock	Disable Keypad (handset does not respond when keys are pressed)
1. Auto Key Lock	Disable Keypad automatically when power is activated
2. Secret Mode[1]	Enable to see Secret Mode Phone Book entries
3. Phone Book Lock	Disable Phone Book
4. Restrict Dial	Restrict calling from Keypad
5. Accept Call	Accept calls from designated numbers
6. Reject Call	Reject calls from designated numbers
7. Reset All	Delete all saved information, restore defaults
8. Change Code	Change Security Code
9. Reset Defaults	Reset settings to default values

■ 3. Settings 1

Function	Description
0. Guide[1]	Key ops for functions other than Function Shortcuts
1. Memory	Check memory status
2. Off-Line Mode	Suspend handset transmissions
3. Battery Saving	Set Power/Panel Saving
4. Light Settings	Adjust Backlight, Keypad Light, In-Car Backlight and Brightness
5. 言語選択 (Language)	Toggle between Japanese and English menus
6. Sub Display	Set or adjust Sub Display-related settings
7. Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
8. Signal Alert	Activate or cancel weak signal alarm
9. SideKey Settings [sic]	Set functions for Side Key (Long Press)

■ 4. Settings 2

Function	Description
0. Display Settings	Set or adjust Display-related settings
1. Display Patterns	Customize indicators, menu design, etc.
2. Spending Memo[1]	Open total expenditures and item list
3. User Dictionary	Save dictionaries or save/edit entries
4. Message Recorder	Set Message Recorder Answer Time
5. Info Menu Settings	Open Information Menu
6. Manner Settings	Change Manner Mode settings
7. MC Settings	Set or adjust Motion Control-related settings
8. Animation	Set/create animation
9. Calculator	Open Calculator

■ 5. Clock

Function	Description
0. Alarm	Set Alarm
1. Auto Power On	Auto Power On
2. Auto Power Off	Auto Power Off
3. Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
5. Stopwatch	Use Stopwatch
6. Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
9. Clock Settings[1]	Set Date & Time

■ 6. Charges

Function	Description
0. Total Charges	Show Total Charges
1. Call Charge	Show Last Call Charge
2. Total Talk Time	Show Total Talk Time
3. Call Time	Show Last Call Talk Time
4. Instant Display	Show Charge/Call Time after a call

7. Services

Function	Description
0. Ring Time[3]	Set Call Forwarding/Voice Mail Answer Time
1. Call Forwarding	Set a forwarding number/initiate Call Forwarding
2. Voice Mail	Initiate Voice Mail
3. Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
4. Check Secretary	Confirm Call Forwarding or Voice Mail status
5. Call Waiting[2, 3]	Set/cancel Call Waiting
6. Confirm Service[2, 3]	Check Call Waiting Setting
7. Play Voice Mail	Listen to caller messages
9. Setup Preset	Set Prefix when dialing from Phone Book

8. Vodafone live!

Function	Description
1. Mail	Open Mail menu
2. Web	Open Web menu
3. Station	Open Station menu
4. V-Appli	Open V-Appli menu
5. Data Folder	Open Data Folder
6. Network Settings	Access Network-related functions or clear Vodafone live! Server addresses

Specifications

V501SH

Weight	Approximately 137 g (with battery)
Continuous Call Time	Approximately 130 minutes
Continuous Standby Time	Approximately 450 hours (with clamshell closed)
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 115 minutes In-Car Charger: Approximately 115 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 102 × 26 mm (with clamshell closed)
Maximum Output	0.8 W

- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signals. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed (clamshell closed) without calls or operations, in Standby with stable signals. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal is weak. Standby Time may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Call Time and Standby Time decrease with frequent use of Display/Keypad Backlights.
- Call Time and Standby Time may decrease when a V-Application is active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Call Time and Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.
- Display employs precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Power Source	100 VAC, 50/60 Hz
Power Consumption	8 VA
Output Voltage/Current	5.6 VDC/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 48 × 17 × 46 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	750 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 35.5 × 4.9 × 46.0 mm (without protruding parts)

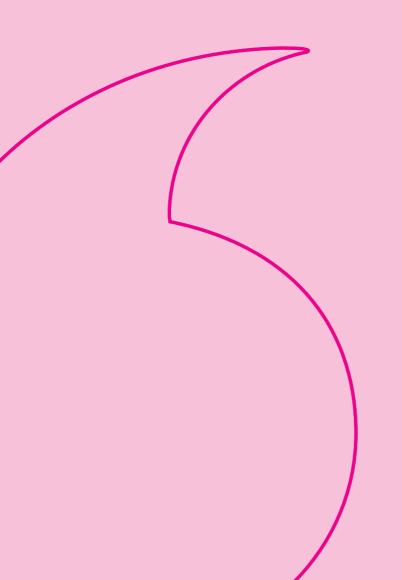
Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

■ ：設定リセットで各種設定は初期状態に戻ります。

※1　通話中も実行できます。

※2　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用になれません。

※3　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用になれません。

※4　切替通話中に限り操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用になれません。

ファンクションメニューの項目	説明
0.ご自分の電話番号※1	V501SHの電話番号を表示します。
1.音関連機能	音に関するメニューを表示します。
2.管理機能	ダイヤル禁止や簡易ロックなど、管理（セキュリティ）に関するメニューを表示します。
3.表示／設定1	画面の照明設定やグループ設定、サイドキー設定などの表示、設定に関するメニューを表示します。
4.表示／設定2	画面表示設定やユーザー辞書登録などの表示、設定に関するメニューを表示します。
5.時計／アラーム機能	時計、アラームに関するメニューを表示します。
6.時間／料金機能	通話時間、料金に関するメニューを表示します。
7.付加サービス	オプションサービスに関するメニューを表示します。
8.ボーダフォンライブ！	ボーダフォンライブ！メニューを表示します。
アドレス帳検索	アドレス帳を検索します。（☞P.5-12）
アドレス帳登録	アドレス帳を登録します。（☞P.5-4）
リダイヤル	以前かけた電話番号を表示します。（☞P.2-4）
着信履歴	着信履歴を表示します。（☞P.2-16）
ノートパッドメモリ	通話中に入力した数字を表示します。（☞P.2-15）

■1.音関連機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.着信設定	「**着信設定**」内の表、ワンコールサイレント：OFF、クローズ終話設定：ON、エニーキーアンサー：ON	P.8-2、P.2-12、P.2-3、P.2-6
1.受話音量調節※1	音量5	P.2-13
3.効果音設定	「**各種効果音設定**」内の表	P.8-6
5.着信音出力切替	イヤホン＋スピーカー	P.15-48
6.スピーカー設定※1	OFF	P.8-22
7.オリジナル着信音	ー	P.8-9
8.オリジナル音色	ー	P.8-17
9.音色オクターブ設定	ー	P.8-22

■2.管理機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ダイヤル操作禁止	OFF	P.14-2
1.簡易ロック	OFF	P.14-3
2.シークレットモード※1	OFF	P.14-6
3.メモリ使用禁止	OFF	P.14-3
4.ダイヤル禁止	OFF	P.14-3
5.指定着信許可	OFF	P.14-5
6.指定着信拒否	すべてOFF	P.14-5
7.オールリセット	ー	P.14-7
8.暗証番号変更	ー	P.14-2
9.設定リセット	ー	P.14-7

■3.表示／設定１のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ガイド機能※1	ー	P.1-35
1.メモリ確認	ー	P.5-8、P.6-30、P.12-3
2.オフラインモード	OFF	P.3-6
3.省電力設定	バッテリーセーブモード：ON、パネルセーブモード：ON／OFF設定：ON（５分）、ランプ表示設定：ランプ表示なし	P.15-41
4.照明設定	パネル照明ON／OFF：ON（15秒）、キー照明ON／OFF：ON（15秒）、車載時設定：OFF、パネル明るさ調整：明るさ４	P.7-12
5.Language	日本語	P.7-14
6.サブディスプレイ設定	サブディスプレイON／OFF：ON、照明設定：ON（15秒）、濃度調整：濃度５、相手先表示設定：ON	P.7-13
7.グループ設定	ー	P.5-16
8.通話品質アラーム	OFF	P.15-2
9.サイドキー設定	着信時：OFF（Ⓜ、Ⓢ、◀、▶）、簡易留守録（Ⓒ）待受時：OFF	P.15-3

■4.表示／設定２のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.画面表示設定	壁紙設定：OFF、マイキャラクタ：すべてOFF、ウェイクアップ：OFF、文字表示設定：中／ふつう／通常、デザイン便箋：OFF、外部出力設定：OFF、インデックスメニュー設定：3Dパターン１、ビューア時表示方向：表示方向１、ダイヤル表示設定：２D	P.7-2、P.7-5、P.7-14、P.7-7、P.4-17、P.15-46、P.7-6、P.7-15
1.画面パターン設定	マーク待受け表示：ON、電池レベル：アイコン１、電波状態：アイコン１、背景パターン：背景１、フレーム：フレーム１、ボタンマーク：ボタンマーク１、カーソル：カーソル１、ガイドボタン：ガイドボタン１、タイトル&ステータス色：パターン１、フロートウインドウ：パターン１、プルアップメニュー：パターン１	P.7-11

機能名称	お買い上げ時	参照先
2.マネー積算メモ※1	ー	P.15-43
3.ユーザー辞書	ー	P.4-15
4.簡易留守	簡易留守設定、録音再生、応答文再生、音量設定、車載簡易留守、応答時間	P.15-4
5.インフォメーションメニュー設定	ランプ表示設定：すべてランプ表示なし、タイムアウト設定：タイムアウトしない	P.2-19
6.マナー設定変更	簡易留守録：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、アラーム音量：サイレント、アラームバイブレータ：ON、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON	P.3-4
7.モーションコントロール設定	Mボタン設定：OFF、ボタン設定：OFF、ビューア時設定：モーションコントロールOFF	P.15-22
8.アニメーション設定	スクリーンアニメ：OFF、背景アニメ：ON、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON	P.7-15、P.7-16
9.簡易電卓	ー	P.15-42

■5.時計／アラーム機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.リピートアラーム設定	ー	P.15-7
1.自動電源ON	OFF	P.15-11
2.自動電源OFF	OFF	P.15-12
3.時計表示設定	時計大1	P.7-3
5.ストップウォッチ	ー	P.15-30
6.キッチンタイマー	ー	P.15-31
9.時刻設定※1	ー	P.1-28

■6.時間／料金機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.累積通話料金	0円	P.2-21
1.通話料金	0円	P.2-21
2.累積通話時間	0時間0分	P.2-20
3.通話時間	0分0秒	P.2-20
4.即時表示	OFF	P.2-20、P.2-21

■7.付加サービスのメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.呼出時間設定※3	20秒	P.16-5
1.転送サービス	ー	P.16-3
2.留守番サービス	あり	P.16-4
3.秘書停止（転送／留守番サービス停止）	ー	P.16-3、P.16-4
4.秘書確認（転送／留守番サービス確認）	ー	P.16-3、P.16-4
5.割込設定※2※3	ー	P.16-6
6.割込確認※2※3	ー	P.16-6
7.留守録再生	ー	P.16-5
8.三者サービス※4	ー	P.16-7
9.プリセット登録	国際発信：0046010	P.2-5

■8.ボーダフォンライブ！のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
1.メール	ー	別冊
2.ウェブ	ー	別冊
3.ステーション	ー	別冊
4.Vアプリ	ー	別冊
5.データフォルダ	画像一覧表示	P.12-8
6.ネットワーク設定	ー	別冊

■初期状態に戻る項目（ファンクションメニュー項目以外）

機能名称	お買い上げ時	参照先
マナーモード	解除	P.3-3
簡易留守録	解除	P.15-4
アドレス帳検索モード	メモリNo検索	P.5-12
メモリカードの暗号化設定	アドレス帳、メール、スケジュール：すべてOFF	P.11-11
スポットライト	継続点灯時間：１分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）	P.15-44
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示	P.15-19
バーコード読み取り／文字読み取り表示サイズ設定	文字サイズ設定：中、画像サイズ設定：等倍	P.15-34
ユーザーショートカット：ダイヤルボタンの長押し／モーションパターン	アドレス帳検索：[1@あ]／-、自動応答メール設定：[2ABCか]／-、簡易電卓：[3DEFさ]／-、リピートアラーム設定：[4GHIた]／-、着信設定：[5JKLな]／-、画面表示設定：[6MNOは]／-、受信メール:[7PQRSま]／上・上（▲▲）、簡単メール宛先：[8TUVや]／左・左（◀◀）、Vアプリライブラリ：◎／-	P.15-27
カメラ	自動保存設定：OFF	P.6-26

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●(PWR)を長く（1秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV501SHに装着されていますか？	●(PWR)を長く（1秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「 」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「 」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-27） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.14-2）
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「 」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「 」表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-27） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.14-2） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.14-3）
アドレス帳を使って電話がかけられない	●アドレス帳をシークレットデータにしていませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.14-6） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.14-3）
発信しても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「 」表示）	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.3-6）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時の画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—
スピーカーで音楽が再生できない	●マナーモードが設定されていませんか？（「 」表示） ●外部出力が「ON」に設定されていませんか？	●マナーモードを解除してください。（☞P.3-3） ●外部出力を「OFF」にしてください。

症状	確認すること	処置
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV501SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV501SHに装着されていますか？ ●V501SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V501SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V501SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。長時間通話すると、V501SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—
電池の消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「**完全に充電したときの利用可能時間**」、「**電池パックの持ちについて**」、「**電池パックの消耗を軽減するには**」を参照してください。（☞P.1-18～P.1-19）
モーションコントロールセンサーを使用した機能（モーションコントロールカーソル、モーションコントロールショートカット、シェイクカウンター、シェイクサウンダー、簡易方位計、表示方向自動切替など）が正常に利用できない	●他のモーションコントロールセンサーを使用した機能も同様に利用できませんか？	●モーションコントロール補正を行ってください。（☞P.15-22）

故障の際の連絡先やアフターサービスについては、P.18-21を参照してください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが１本以上表示される場所へ移動してください。

■「」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.3-6）

設定を解除しないと、電話の発信／着信、ボーダフォンライブ！の利用／受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-19、P.1-20）

電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-27）

設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.14-2）

ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些

18 付録

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
――し――										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
――す――										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
――せ――										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
――そ――										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
――た――										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
――ち――										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
――つ――										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
――て――										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
――と――										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
――な――										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
――に――										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
――ぬ～の――										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
――は――										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
――ひ――										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
――ふ――										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
――へ――										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
――ほ――										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
――ま――										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
440		漫	蔓							
――み――										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
――む――										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
――め――										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
――も――										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
――や――										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
――ゆ――										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
――よ――										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
――ら――										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
――り――										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
――る～れ――										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
――ろ――										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
――わ――										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V501SH

質量	約137 g（電池パック装着時）
連続通話時間	約130分
連続待受時間	約450時間（クローズポジション時）
充電時間 （V501SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器　　　　　：約115分 シガーライター充電器：約115分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約50×102×26mm （クローズポジション時）
最大出力	0.8 W

●上記は、電池パック装着時の数値です。
●連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V501SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
●電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
●パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
●Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
●ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
●操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。（☞P.1-18）
●液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC100 V、50/60 Hz共用
消費電力	８ VA
出力電圧／出力電流	DC5.6 V／500 mA
充電温度範囲	５℃〜35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約48×17×46 mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5 m

■電池パック

電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	750 mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約35.5×4.9×46.0 mm（突起部 除く）

索引

英数字

あ

か

18
付録

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■保証書

V501SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」（☞P.18-6）に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.18-21）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.18-21）までご連絡ください。
なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にV501SHに登録したデータ（アドレス帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　　　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付 ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

V501SH　取扱説明書
基本操作編

2005年６月　第１版

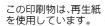
ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V501SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、植物性
大豆油インキで印刷
しています。

TINSJA146AFZZ
05F 125.0 YM AI428①